

第8期 鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書

令和2年3月

鎌ヶ谷市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 回収結果	4
4 報告書の利用にあたって	4
第2章 調査結果の概要	5
1 調査票の記入者	7
2 性別	7
3 年齢	8
4 居住地区（圏域）	9
5 家族の状況	10
6 要介護度	11
7 介護が必要になった原因	12
8 現在の通院の有無	13
9 通院の頻度	13
10 医療処置	14
11 在宅サービスの利用意向	15
12 市独自の在宅サービスについて	16
13 今後（介護が必要になった場合に）希望する介護形態	18
14 施設入所（居）を希望する人の申込み状況	18
15 施設入所（居）を希望する理由	19
16 「地域包括支援センター」の認知・利用状況	19
17 成年後見制度の認知状況	20
18 成年後見制度の利用意向	20
19 主な介護者の続柄	21
20 主な介護者の性別	22
21 主な介護者の年齢	22
22 同居の状況	23
23 主な介護者の健康状態	23
24 介護している時間	24
25 介護疲れの解消（軽減）方法	24
26 介護に関する情報の入手先	25
27 在宅介護での困りごと	26
28 健康や介護に関する相談相手	27

第3章 40～64歳調査結果	29
1 調査票の記入者	31
2 性別	31
3 年齢	32
4 居住地区	32
5 家族の状況	33
6 健康状態	33
7 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師	34
8 近所の人たちと趣味などで交流があるか	35
9 生きがいを感じて現在やっていることや、今後やってみたいこと	36
10 認知症への地域の理解と協力	39
11 認知症予防のために効果的なこと	40
12 認知症に関連する市の施策で知っているもの	41
13 運転免許返納	42
14 介護が必要になった場合に希望する介護形態	43
15 家族を介護する立場になった場合に希望する介護形態	45
16 介護保険サービスの認知状況	47
17 訪問診療ができる医療機関の認知度	49
18 「地域包括支援センター」の認知・利用状況	49
19 介護に関する情報の入手先	50
20 健康や介護に関する相談相手	51
21 成年後見制度の認知状況	52
22 成年後見制度の利用意向	52
23 市民後見人の認知状況	53
24 市民後見人の講座の受講意向	53
25 自由回答	54
第4章 在宅サービス利用者調査結果	55
1 調査票の記入者	57
2 性別	57
3 年齢	58
4 居住地区	58
5 家族の状況	59
6 要介護度	59
7 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師	60
8 介護が必要になった原因	61
9 現在の通院の有無	62

10	通院の頻度	62
11	医療処置	63
12	訪問診療ができる医療機関の認知度	63
13	在宅サービスについて	64
14	ケアマネジャーの選定理由	67
15	ケアマネジャーの訪問状況	67
16	ケアプランへの意向の反映	68
17	市独自の在宅サービスについて	69
18	今後希望する介護形態	71
19	「地域包括支援センター」の認知・利用状況	73
20	成年後見制度の認知状況	73
21	成年後見制度の利用意向	74
22	主な介護者の続柄	75
23	主な介護者の性別	75
24	主な介護者の年齢	76
25	同居の状況	76
26	主な介護者の健康状態	77
27	介護している時間	77
28	介護疲れの解消（軽減）方法	78
29	介護に関する情報の入手先	79
30	在宅介護での困りごと	80
31	健康や介護に関する相談相手	81
32	隣近所の手助け	82
33	認知症に関連する市の施策で知っているもの	84
34	運転免許返納	84
35	市民後見人の認知状況	85
36	市民後見人の講座の受講意向	85
37	自由回答	86

第5章 施設サービス利用者調査結果.....89

1	調査票の記入者	91
2	性別	91
3	年齢	92
4	入所（院）している施設の種類の種類	92
5	要介護度	93
6	介護が必要になった原因	94
7	医療処置	94
8	現在の施設に入所（院）した理由	95

9	施設入所（院）期間	95
10	入所（院）されている施設への評価.....	96
11	サービス利用料の負担感.....	97
12	施設サービス・職員に不満があった場合の対応.....	97
13	今後希望する介護形態	98
14	成年後見制度の認知状況.....	99
15	成年後見制度の利用意向.....	99
16	自由回答.....	100
第6章 介護サービス未利用者調査結果.....		101
1	調査票の記入者.....	103
2	性別.....	103
3	年齢.....	104
4	居住地区.....	104
5	家族の状況.....	105
6	かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師.....	106
7	要介護度.....	106
8	介護が必要になった原因.....	107
9	現在の通院の有無.....	108
10	通院の頻度.....	108
11	医療処置.....	109
12	訪問診療ができる医療機関の認知度.....	109
13	介護サービスを利用していない理由.....	110
14	市が充実させるべき高齢者保健福祉・介護保険事業の施策.....	111
15	市独自の在宅サービスについて.....	112
16	今後希望する介護形態.....	114
17	地域包括支援センターの認知・利用状況.....	115
18	今後希望する在宅サービス形態.....	116
19	成年後見制度の認知状況.....	117
20	成年後見制度の利用意向.....	117
21	主な介護者の続柄.....	118
22	主な介護者の性別.....	118
23	主な介護者の年齢.....	119
24	同居の状況.....	119
25	主な介護者の健康状態.....	120
26	介護している時間.....	120
27	介護疲れの解消（軽減）方法.....	121
28	介護に関する情報の入手先.....	122
29	在宅介護での困りごと.....	123

30	健康や介護に関する相談相手	124
31	認知症に関連する市の施策で知っているもの.....	125
32	運転免許返納	125
33	隣近所の手助け	126
34	市民後見人の認知状況	128
35	市民後見人の講座の受講意向	128
36	自由回答	129
第7章	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	131
F	基本的属性.....	133
	(1) 居住地区(圏域)	133
	(2) 調査票の記入者	133
	(3) 年齢.....	134
	(4) 性別.....	134
1	あなたのご家族や生活状況について	135
	(1) 家族の状況.....	135
	(2) 介護・介助の必要性.....	135
	(3) 現在の暮らしの状況.....	137
	(4) 住居の種類と所有形態.....	137
2	からだを動かすことについて	138
	(1) 階段の昇りの状況	138
	(2) 立ち上がりの状況	138
	(3) 15分くらい続けて歩いているか	139
	(4) 1年間の転倒経験	139
	(5) 転倒に対する不安	140
	(6) 外出の頻度.....	140
	(7) 外出頻度の前年比較.....	141
	(8) 外出時の移動手段	142
3	食べることについて	143
	(1) BMI値	143
	(2) 半年前より固いものが食べにくくなったか	143
	(3) 飲食時むせることがあるか	144
	(4) 口の渇きが気になるか	144
	(5) 毎日歯磨きをしているか	145
	(6) 口腔内の状況.....	145
	(7) 6ヶ月間での体重減少の有無.....	147
	(8) だれかと食事をする頻度	147
4	毎日の生活について	148
	(1) 物忘れが多いと感じるか	148

(2) 自分で電話番号を調べてかけているか.....	148
(3) 日付がわからない時があるか.....	149
(4) 単独での外出の状況.....	149
(5) 買物の状況.....	150
(6) 食事の用意の状況.....	150
(7) 請求書の支払いの状況.....	151
(8) 預貯金の出し入れの状況.....	151
(9) 書類への記入の状況.....	152
(10) 新聞を読んでいるか.....	152
(11) 本や雑誌を読んでいるか.....	153
(12) 健康についての記事や番組への関心.....	153
(13) 友人宅への訪問状況.....	154
(14) 家族や友人の相談にのっているか.....	154
(15) 病人を見舞うことができるか.....	155
(16) 若い人に話しかけることがあるか.....	155
(17) 趣味の有無.....	156
(18) 生きがいの有無.....	156
5 地域での活動について.....	157
(1) 会・グループ等への参加状況.....	157
(2) 地域づくり活動への参加意向（参加者として）.....	158
(3) 地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）.....	159
(4) 社会参加活動や仕事の状況.....	160
6 助け合いについて.....	161
(1) 助け合いの状況.....	161
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手.....	163
(3) 友人・知人と会う頻度.....	164
(4) 1ヶ月間のうちに会った友人・知人の人数.....	164
(5) よく会う友人・知人との関係.....	165
7 健康について.....	166
(1) 現在の健康状態.....	166
(2) 現在の幸福度.....	167
(3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあるか.....	168
(4) 物事に対して興味や楽しい感情が湧かなくなることがよくあるか.....	168
(5) 飲酒の状況.....	169
(6) 喫煙の状況.....	169
(7) 現在治療中または後遺症のある病気.....	170
8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	172
(1) 認知症の症状の有無.....	172
(2) 認知症相談窓口の認知度.....	172
9 自由回答.....	173

第8章 在宅介護実態調査結果	175
F 基本的属性.....	177
(1) 居住地区(圏域)	177
(2) 調査票の記入者	177
(3) 年齢.....	178
(4) 性別.....	178
1 家族の状況.....	179
2 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師.....	180
3 訪問診療ができる医療機関の認知度.....	181
4 施設等への入所(居)の検討状況.....	182
5 現在抱えている傷病.....	183
6 介護保険サービスの利用の有無.....	184
7 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス.....	190
8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	191
9 家族や親族から介護を受ける頻度.....	192
10 介護を理由に仕事を辞めるなどした人.....	193
11 主な介護者.....	194
12 主な介護者の性別.....	194
13 主な介護者の年齢.....	195
14 主な介護者が行っている介護等.....	196
15 生活を継続するうえで主な介護者が不安に思う介護等.....	197
16 主な介護者の勤務形態.....	198
17 認知症に関連する市の施策で知っているもの.....	202
18 運転免許返納.....	203
19 隣近所の手助け.....	204
20 市民後見人の認知状況.....	206
21 市民後見人の講座の受講意向.....	206
22 自由回答.....	207

第1章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、第8期鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（計画期間：令和3年度から令和5年度）を策定するための基礎資料として、市民の皆さまの意見や要望を把握することを目的に実施しました。

2 調査の方法

（1）調査対象者と抽出方法

調査名	調査対象者と抽出方法
40～64 歳調査	市内在住の 40～64 歳の市民の中から無作為抽出
在宅サービス利用者調査	要支援・要介護認定者で在宅サービスを利用している市民の中から無作為抽出
施設サービス利用者調査	要介護認定者で介護保険施設に入所している市民の中から無作為抽出
介護サービス未利用者調査	要支援・要介護認定者で介護保険サービスを利用していないと思われる市民の中から無作為抽出
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市内在住の 65 歳以上の市民の中から無作為抽出
在宅介護実態調査	要支援・要介護認定者で在宅で生活している市民の中から無作為抽出

（2）調査時期

令和2年1月～2月

（3）調査方法

郵送調査法

3 回収結果

	40～64歳 調査	在宅サービス 利用者調査	施設サービス 利用者調査	介護サービス 未利用者 調査	介護予防・ 日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護 実態調査
サンプル数	1,000	1,000	500	500	3,500	1,000
回収数	544	686	315	358	2,794	772
回収率	54.4%	68.6%	63.0%	71.6%	79.8%	77.2%
有効回収数	541	651	272	338	2,783	753
有効回収率	54.1%	65.1%	54.4%	67.6%	79.5%	75.3%
無効回収数	3	35	43	20	11	19
病院に入院中	0	9	3	14	1	9
障がい等のため、 意思表示できない	2				0	
介護付きの施設に 入所（居）中		20				9
認知症等のため、 調査不能			34			
退所（院）			1			
介護保険サービス を利用している				6		
市外に転出	0	0		0	0	0
その他 （無回答を含む）	1	6	5	0	10	1

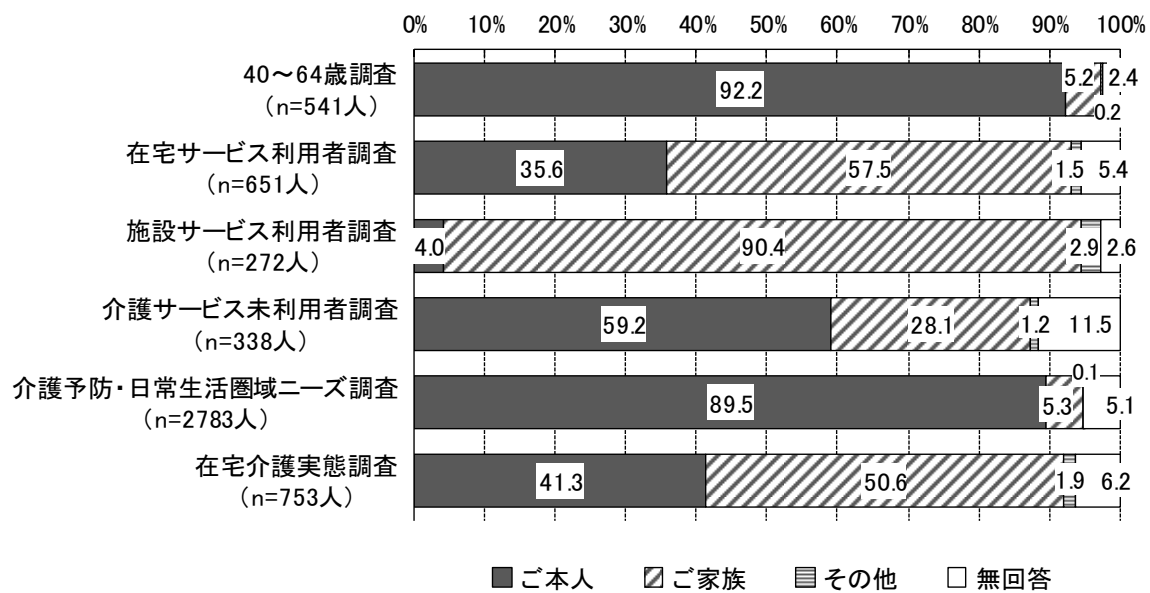
※斜線の項目は、選択肢が設定されていないことを表しています。

4 報告書の利用にあたって

- (1) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数（ n と表記）として、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答形式の場合は、すべての回答者が1つの回答しか選択しなかったという特殊な場合を除き、回答比率の合計が100%を超えます。
- (4) 表中の「全体」は回答者数となっており、複数回答の場合、回答数の合計とは異なります。

第2章 調査結果の概要

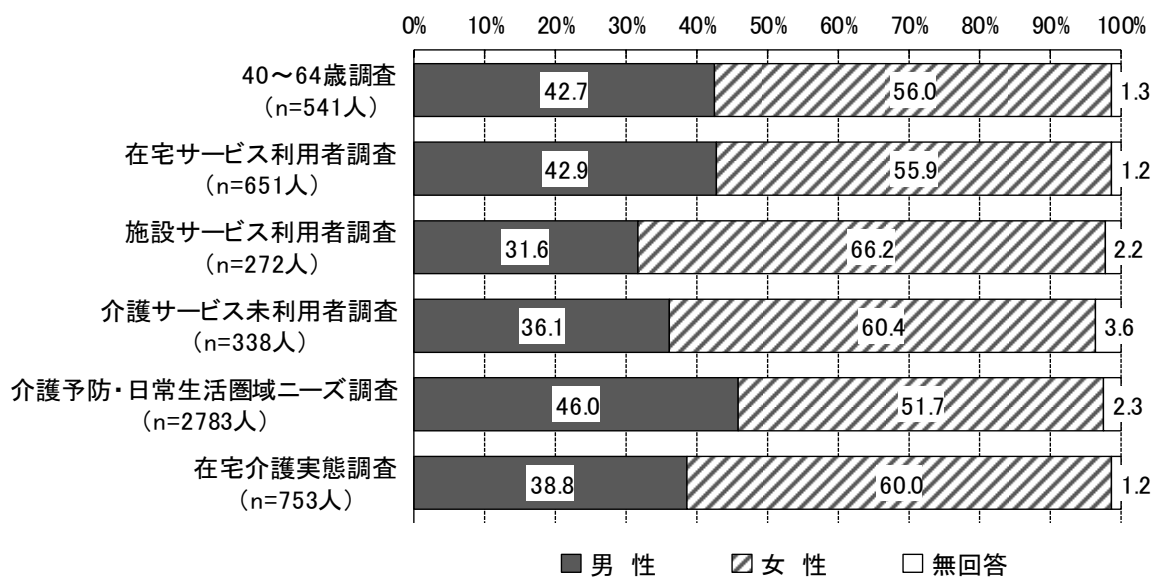
1 調査票の記入者



調査票の記入者についてみると、「ご本人」という回答が【40～64歳調査】で92.2%、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】で89.5%、【介護サービス未利用者調査】で59.2%となっています。

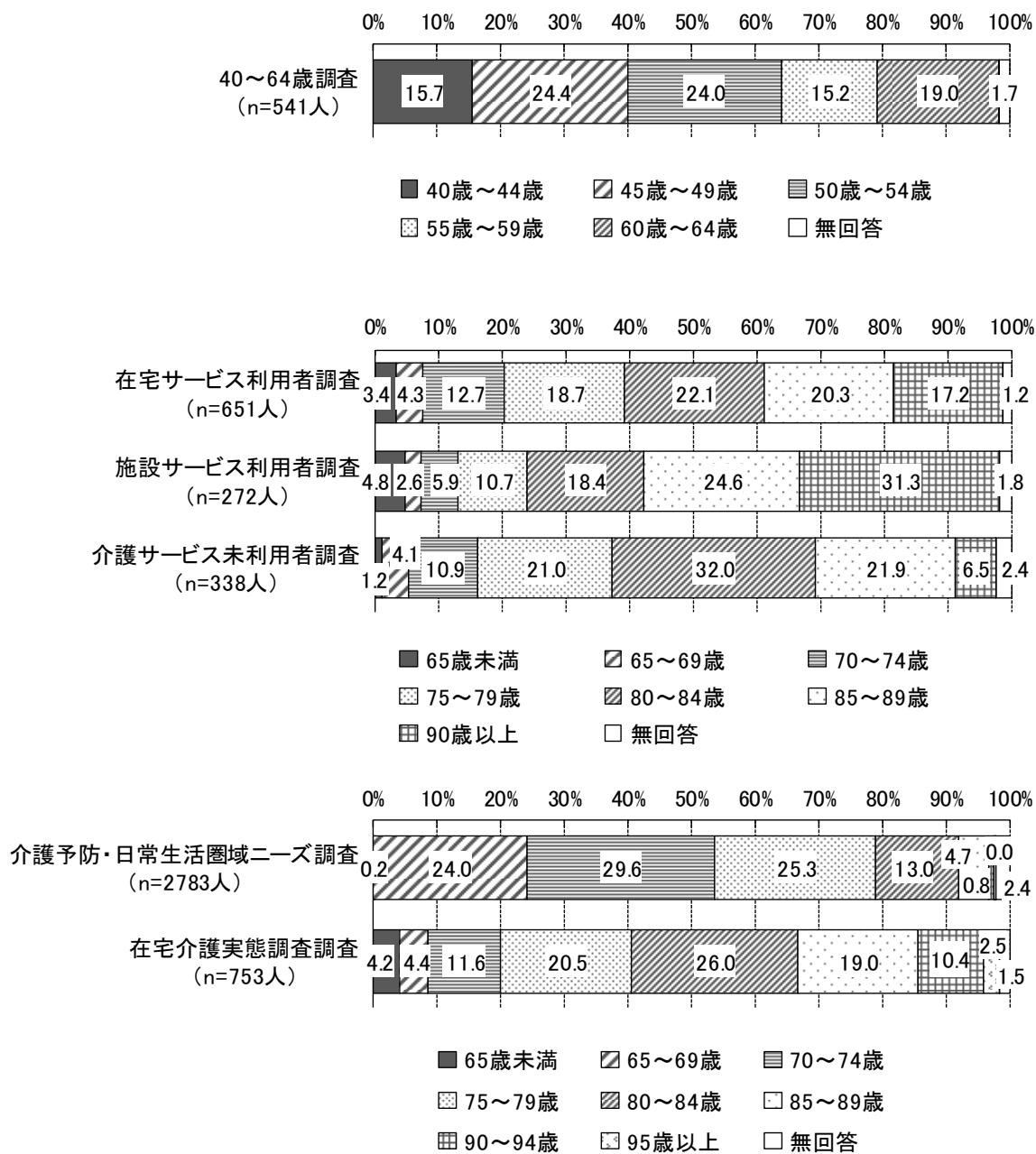
一方、「ご家族」という回答が多かったのは【施設サービス利用者調査】で90.4%、【在宅サービス利用者調査】で57.5%、【在宅介護実態調査】で50.6%となっています。

2 性別



調査対象者の性別についてみると、いずれも「女性」が「男性」を上回っています。

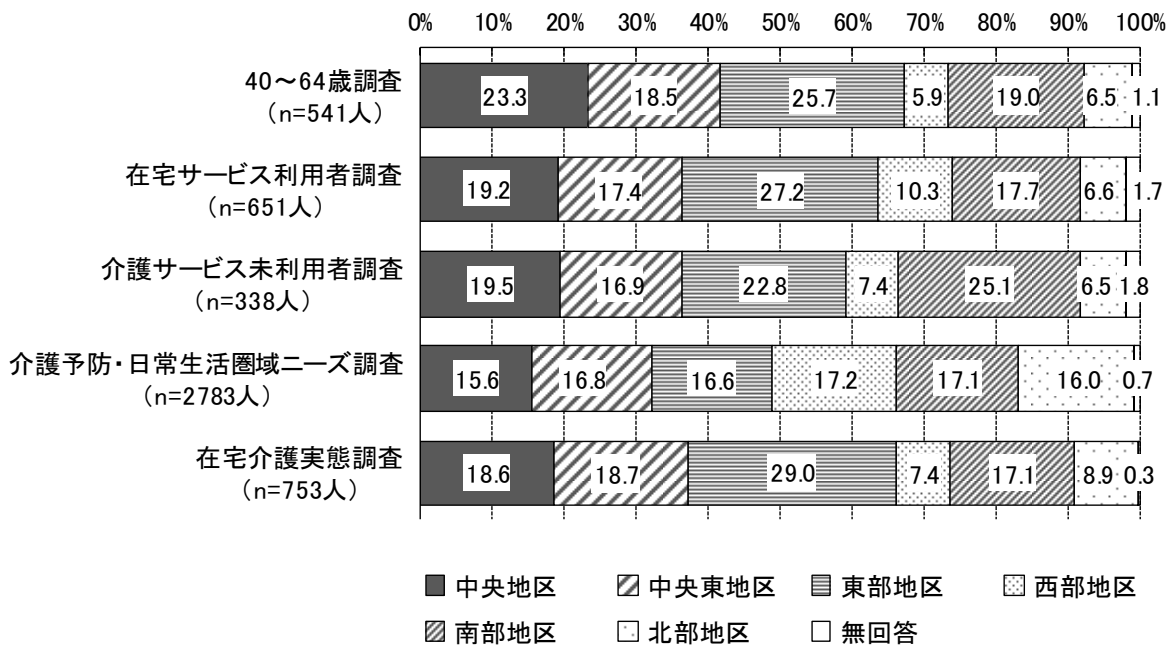
3 年齢



対象者の年齢についてみると、【40～64歳調査】では「45歳～49歳」が24.4%で最も多くなっています。

また、それ以外の調査ではいずれも『75歳以上の後期高齢者』が占める割合が高く、【施設サービス利用者調査】と【介護サービス未利用者調査】で8割台、【在宅サービス利用者調査】【在宅介護実態調査】で7割台となっています。

4 居住地区(圏域)

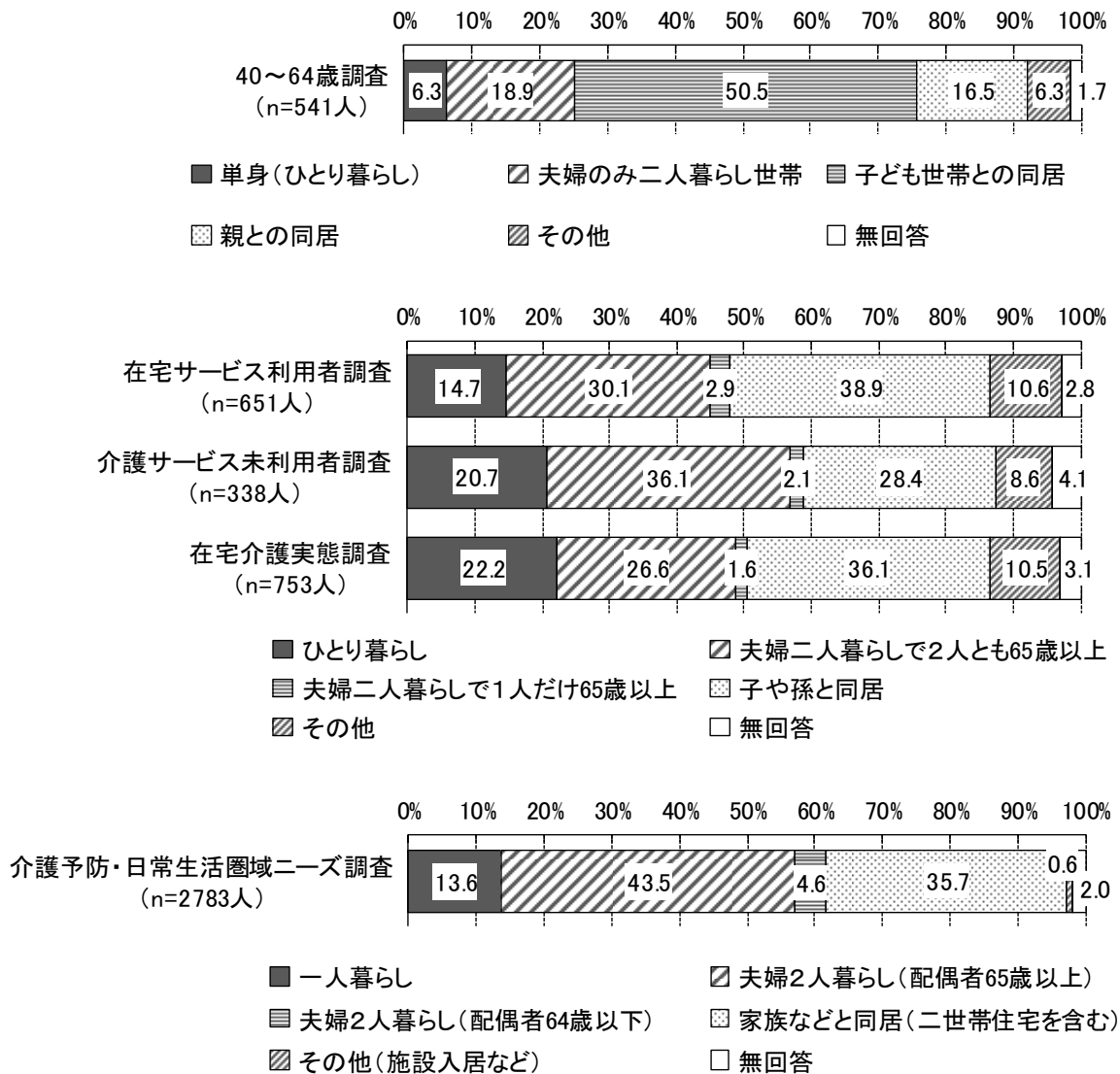


調査対象者の居住地区(圏域)についてみると、【40～64歳調査】では中央地区と東部地区が2割台でやや多く、【在宅サービス利用者調査】では東部地区が2割台で多くなっています。【介護サービス未利用者調査】では東部地区と南部地区が2割台でやや多くなっています。【介護予防・日常生活圏ニーズ調査】では、全ての地区で1割台とほぼ同じ割合になっています。【在宅介護実態調査】では東部地区が29.0%で他の地区より多くなっています。

【圏域区分】

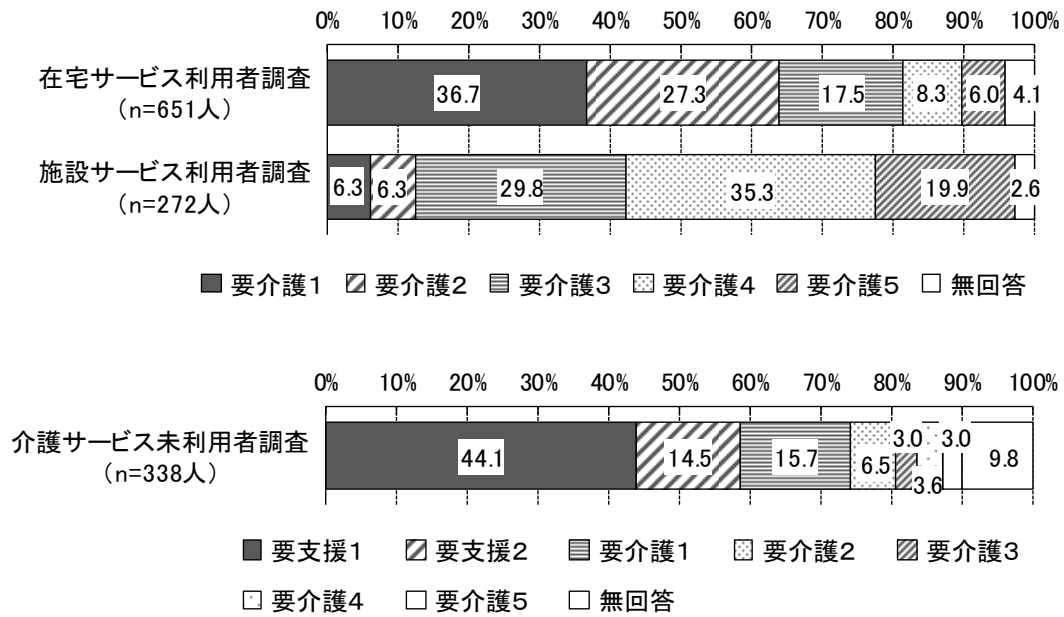
中央地区	道野辺中央、道野辺本町、初富本町、右京塚、南初富4～6丁目、中央、富岡、初富(928～931番地)、新鎌ヶ谷
中央東地区	東鎌ヶ谷、東初富、南初富1～3丁目、初富(700～927番地)
東部地区	丸山、鎌ヶ谷、東道野辺2～7丁目、南鎌ヶ谷
西部地区	くぬぎ山、栗野(426～538番地)、佐津間(1300～1400番地)、串崎新田、北初富、初富(1～399番地・1300番地～)
南部地区	東中沢、東道野辺1丁目、西道野辺、馬込沢、道野辺、中沢、北中沢、中沢新町
北部地区	栗野(1～425番地・539番地～)、佐津間(1～1299番地)、中佐津間、西佐津間、南佐津間、軽井沢

5 家族の状況



家族の状況についてみると、「ひとり暮らし」の占める割合は【介護サービス未利用者調査】と【在宅介護実態調査】で2割以上となっています。「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】が43.5%で最も多く、【在宅サービス利用者調査】【介護サービス未利用者調査】で3割台となっています。

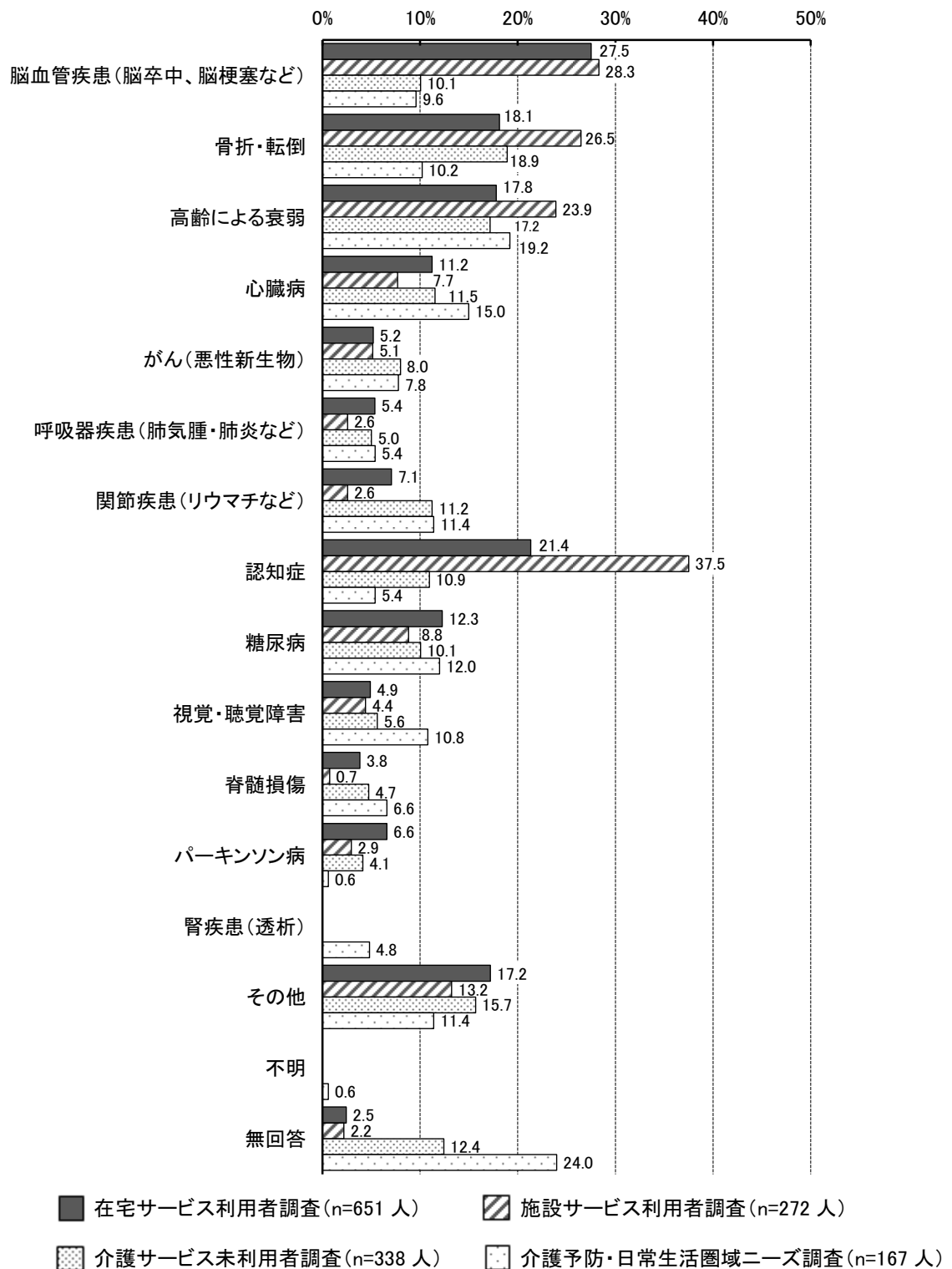
6 要介護度



要介護度についてみると、【在宅サービス利用者調査】では「要介護1」が36.7%、「要介護2」が27.3%で多く、【施設サービス利用者調査】では「要介護4」が35.3%、「要介護3」が29.8%で多くなっています。

また、【介護サービス未利用者調査】では「要支援1」が44.1%で最も多く、次いで「要支援2」「要介護1」が1割台となっています。

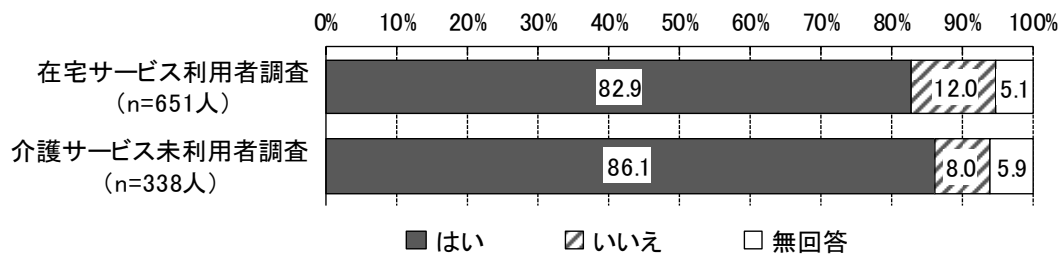
7 介護が必要になった原因



※「腎疾患（透析）」、「不明」は介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のみの調査項目です。

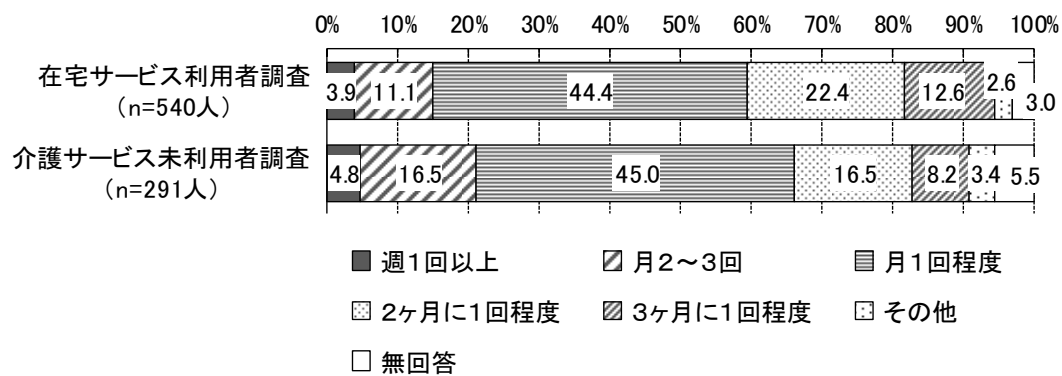
介護が必要になった原因についてみると、「脳血管疾患（脳卒中、脳梗塞など）」が【在宅サービス利用者調査】【施設サービス利用者調査】で2割台と多くなっています。また、「認知症」は【施設サービス利用者調査】で37.5%と、他の調査に比べて多くなっています。

8 現在の通院の有無



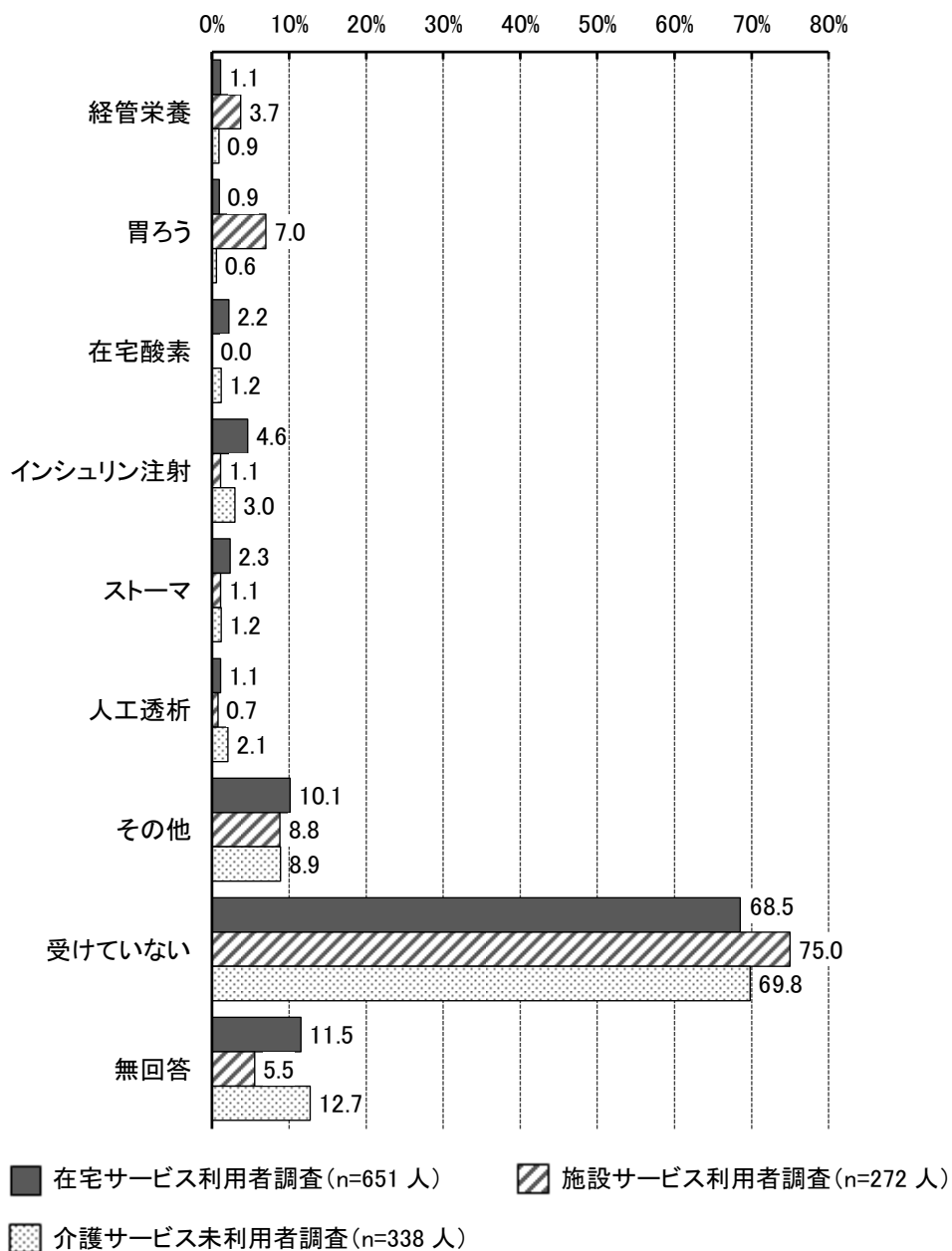
現在の通院の有無についてみると、いずれの調査においても通院をしている「はい」が8割台を占めています。

9 通院の頻度



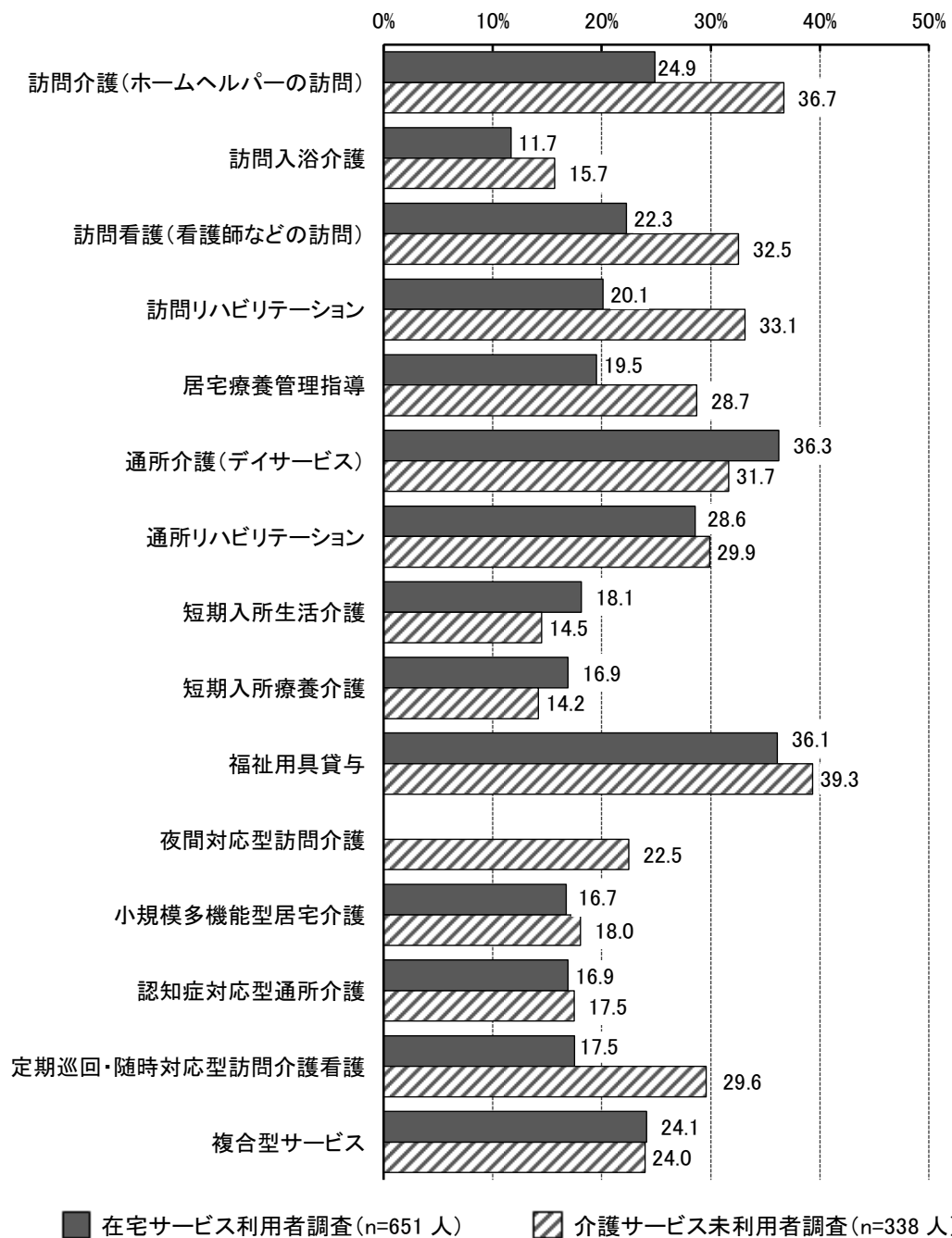
通院の頻度についてみると、いずれの調査においても「月1回程度」が4割台で最も多くなっています。

10 医療処置



現在受けている医療処置についてみると、「経管栄養」「胃ろう」「インシュリン注射」「ストーマ」などが挙げられていますが、いずれも1割未満となっています。また、いずれの調査においても「受けていない」が6割を超えています。

11 在宅サービスの利用意向



※「夜間対応型訪問介護」は介護サービス未利用者調査のみの調査項目です。

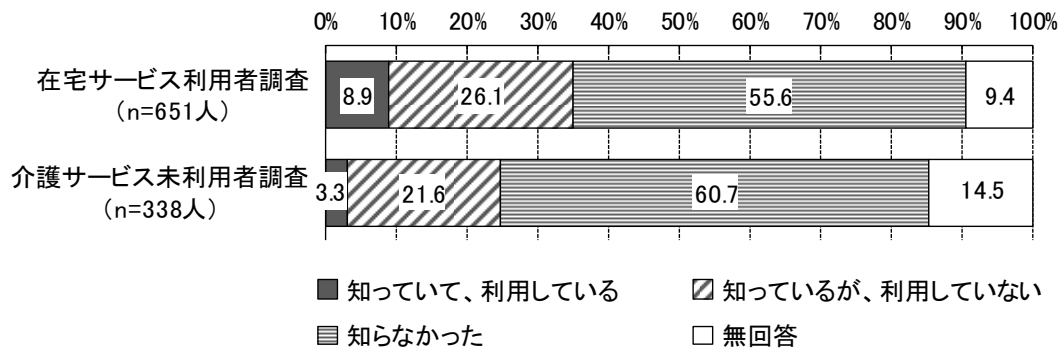
在宅サービスの利用意向について「利用したい」の回答をみると、【在宅サービス利用者調査】では「通所介護（デイサービス）」、「福祉用具貸与」で3割を超えて多くなっています。

【介護サービス未利用者調査】では「福祉用具貸与」、「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）」、「訪問リハビリテーション」、「訪問看護（看護師などの訪問）」「通所介護（デイサービス）」などの順で多くなっています。

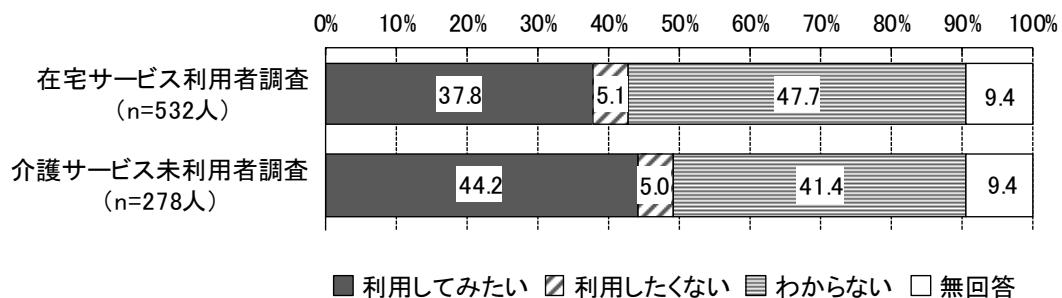
12 市独自の在宅サービスについて

(1) 介助移送サービス

■ 認知・利用状況



■ 利用意向

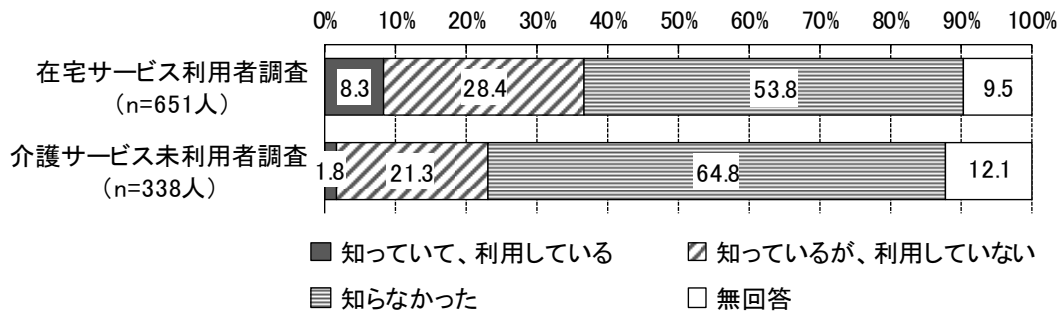


介助移送サービスの認知・利用状況についてみると、「知っている、利用している」は、【在宅サービス利用者調査】で8.9%、【介護サービス未利用者調査】で3.3%にとどまっています。また「知っているが利用していない」はいずれの調査でも2割台となっており、『介護移送サービスの認知あり』は「知らなかった」を下回っています。

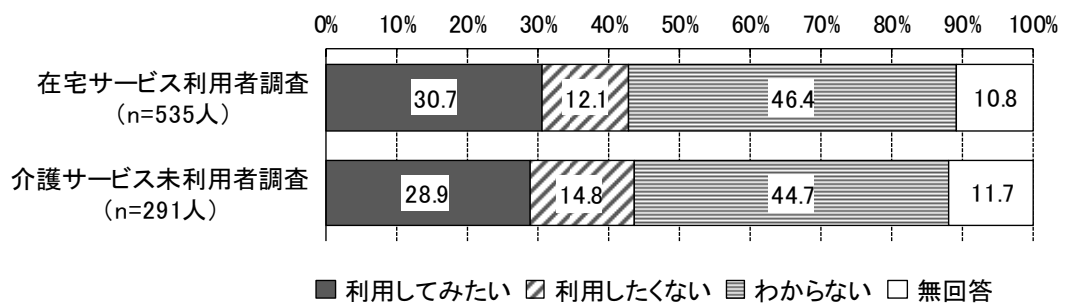
利用意向についてみると、今後「利用してみたい」という回答は、【介護サービス未利用者調査】で44.2%、【在宅サービス利用者調査】で37.8%となっています。

(2) 訪問理美容サービス

■ 認知・利用状況



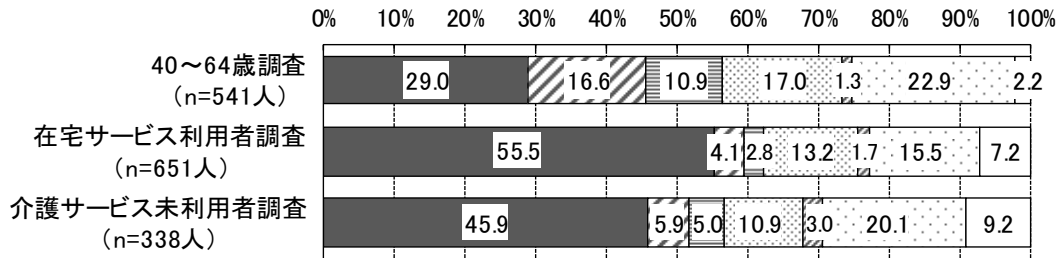
■ 利用意向



訪問理美容サービスの認知・利用状況についてみると、いずれの調査でも「知っている、利用している」は1割未満にとどまり、「知っているが利用していない」は2割台となっています。また『訪問理美容サービスの認知あり』は【在宅サービス利用者調査】で3割台、【介護サービス未利用者調査】で2割台と、「知らなかった」を下回っています。

利用意向についてみると、今後「利用してみたい」という回答はいずれの調査においても3割程度となっています。

13 今後(介護が必要になった場合に)希望する介護形態

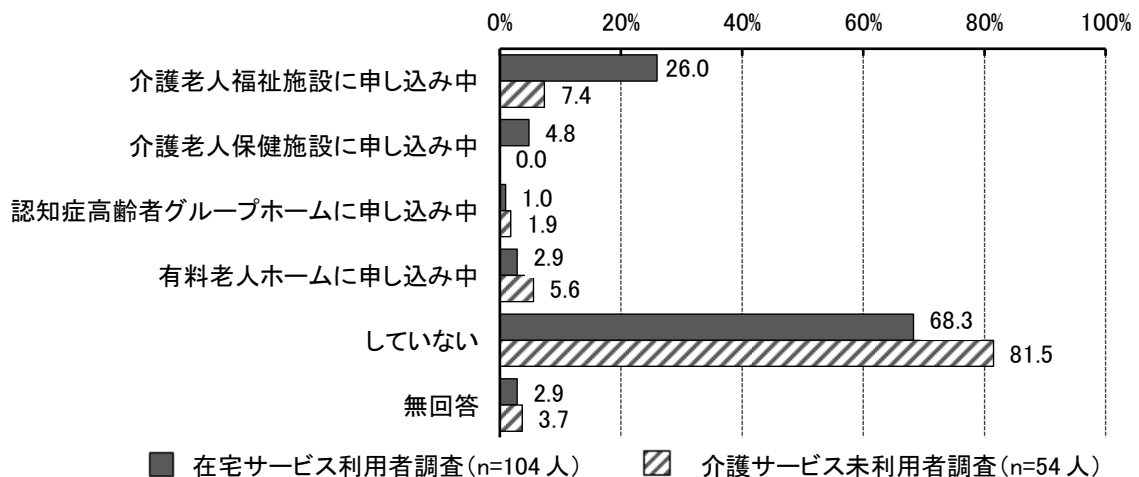


- 自宅で介護を受けながら暮らし続けたい
- ▨ バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅サービスを受けながら暮らしたい
- ▩ 有料老人ホームなどの介護付き住宅に入りたい
- ▧ 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい
- ▩ その他
- わからない
- 無回答

今後(介護が必要になった場合に)希望する介護形態についてみると、いずれの調査においても「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」の割合が最も高く、特に【在宅サービス利用者調査】では5割を超えています。

また、【40～64歳調査】では「バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅サービスを受けながら暮らしたい」「有料老人ホームなどの介護付き住宅に入りたい」「特別養護老人ホームなどの介護住宅に入りたい」の割合が、他の調査結果に比べ高くなっています。

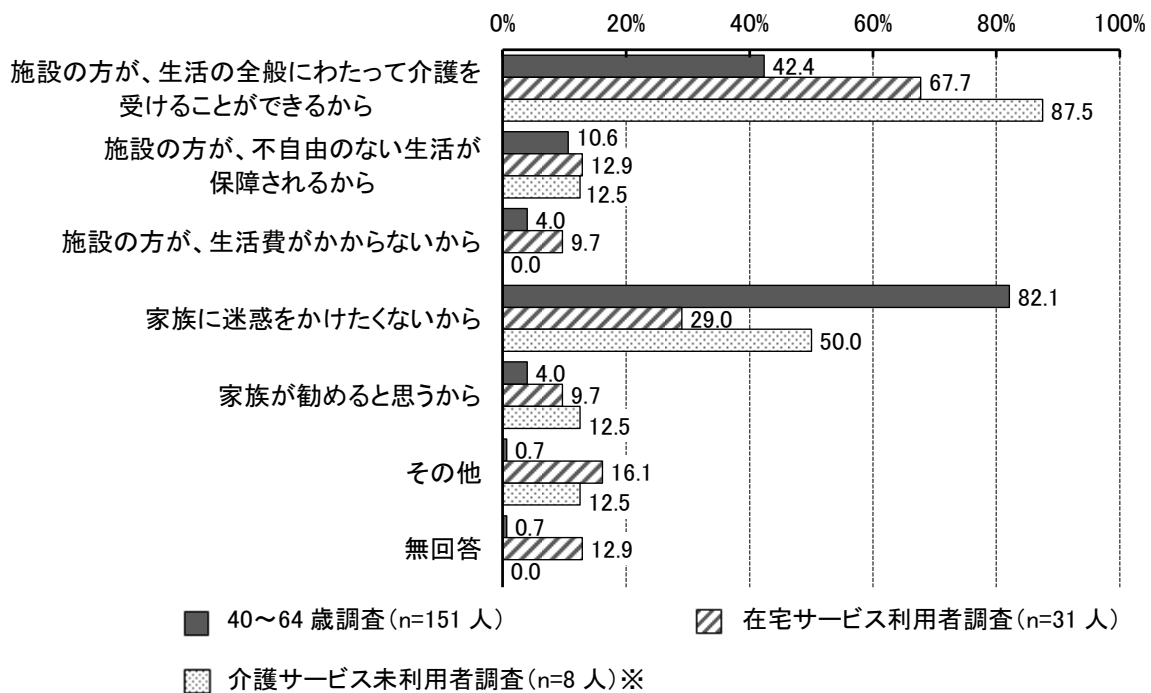
14 施設入所(居)を希望する人の申込み状況



施設入所(居)を希望する人の申込み状況についてみると、「介護老人福祉施設に申し込み中」は【在宅サービス利用者調査】で26.0%、【介護サービス未利用者調査】で7.4%となっています。

また、申込みを「していない」は【在宅サービス利用者調査】で68.3%、【介護サービス未利用者調査】では81.5%となっています。

15 施設入所(居)を希望する理由

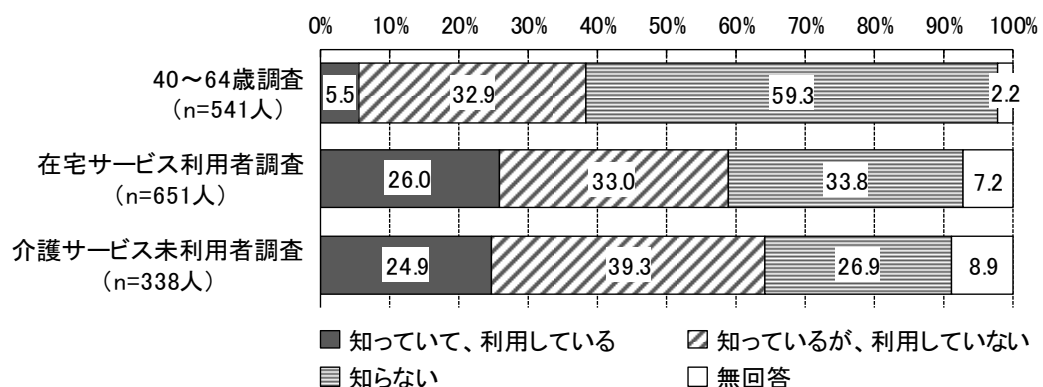


施設入所(居)を希望する理由についてみると、【40～64歳調査】では「家族に迷惑をかけたくないから」が82.1%で最も多くなっています。

【在宅サービス利用者調査】では「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が67.7%で最も多くなっています。

※【介護サービス未利用者調査】においては、基数が少ないため、参考として図示するにとどめます。

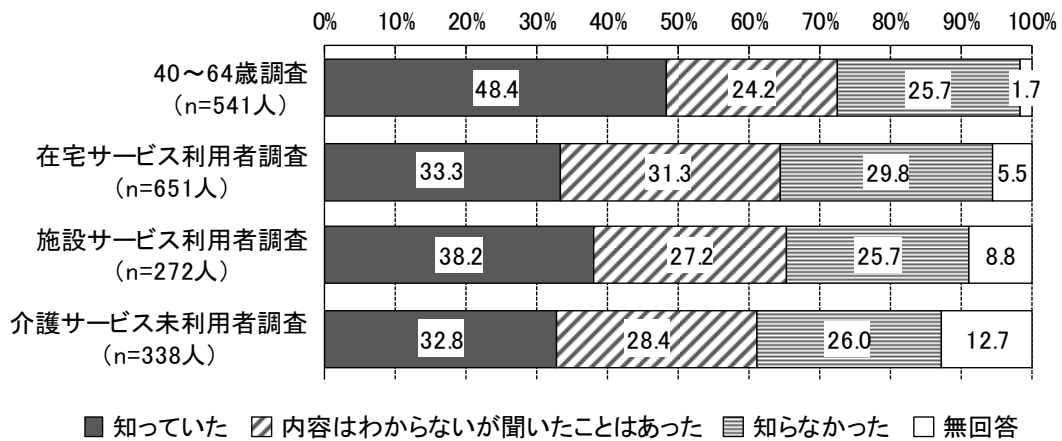
16 「地域包括支援センター」の認知・利用状況



「地域包括支援センター」の認知・利用状況についてみると、【在宅サービス利用者調査】と【介護サービス未利用者調査】では「知っているが、利用している」が2割台、「知っているが、利用していない」が3割台となっており、『地域包括支援センターを知っている』はどちらの調査でも5割を超えています。

一方、【40～64歳調査】では「知らない」という回答が59.3%で、『地域包括支援センターを知っている』を上回っています。

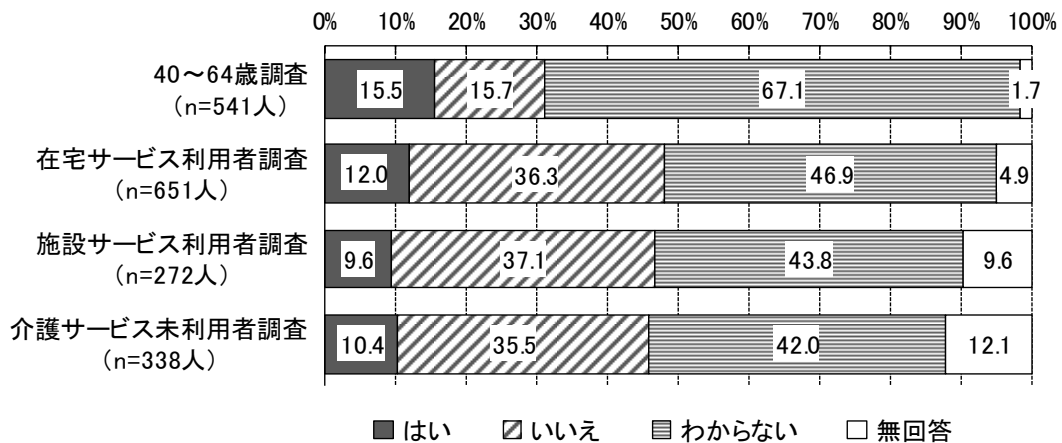
17 成年後見制度の認知状況



成年後見制度の認知状況についてみると、【40～64歳調査】では「知っていた」が48.4%で、「内容はわからないが聞いたことはあった」をあわせた『成年後見制度の認知あり』が7割以上を占めています。

【在宅サービス利用者調査】【施設サービス利用者調査】【介護サービス未利用者調査】では、いずれも「知っていた」が3割台となっており、『成年後見制度の認知あり』が6割台となっています。

18 成年後見制度の利用意向



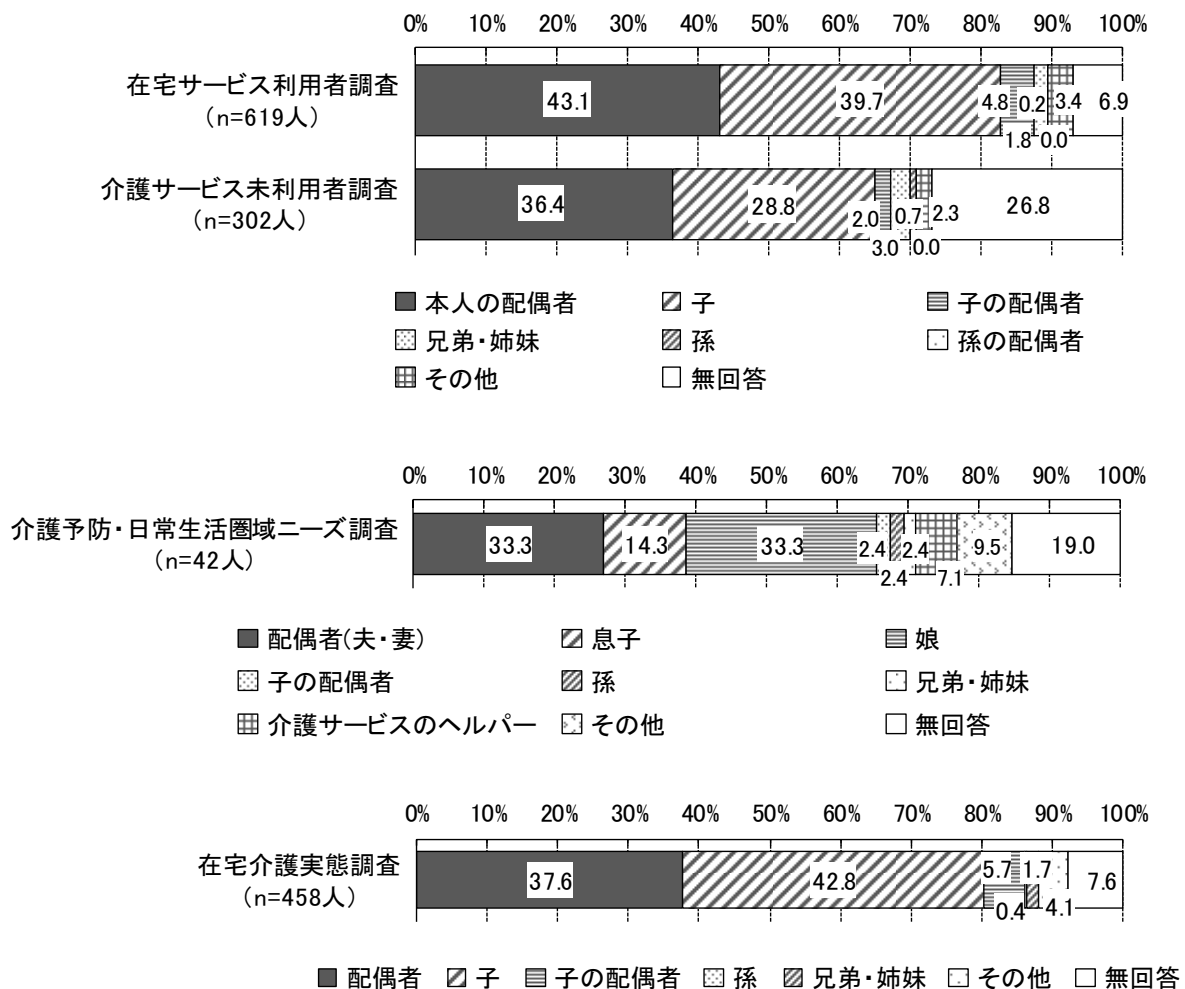
成年後見制度の利用意向についてみると、「はい」は、全ての調査で1割程度にとどまっています。

【在宅サービス利用者調査】【施設サービス利用者調査】【介護サービス未利用者調査】では、「いいえ」が3割台となっています。

また、「わからない」は【40～64歳調査】で6割台、その他の調査で4割台となっています。

介護者について

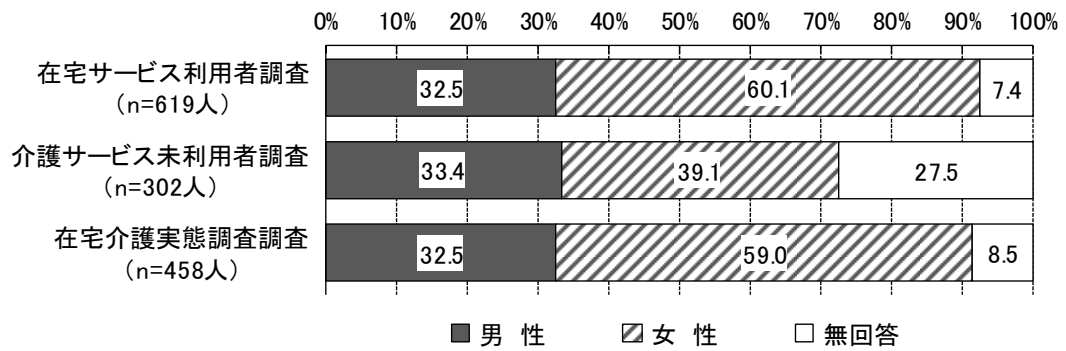
19 主な介護者の続柄



主な介護者の続柄についてみると、【在宅サービス利用者調査】では「本人の配偶者」が43.1%で最も多く、その他の調査でも3割台となっています。

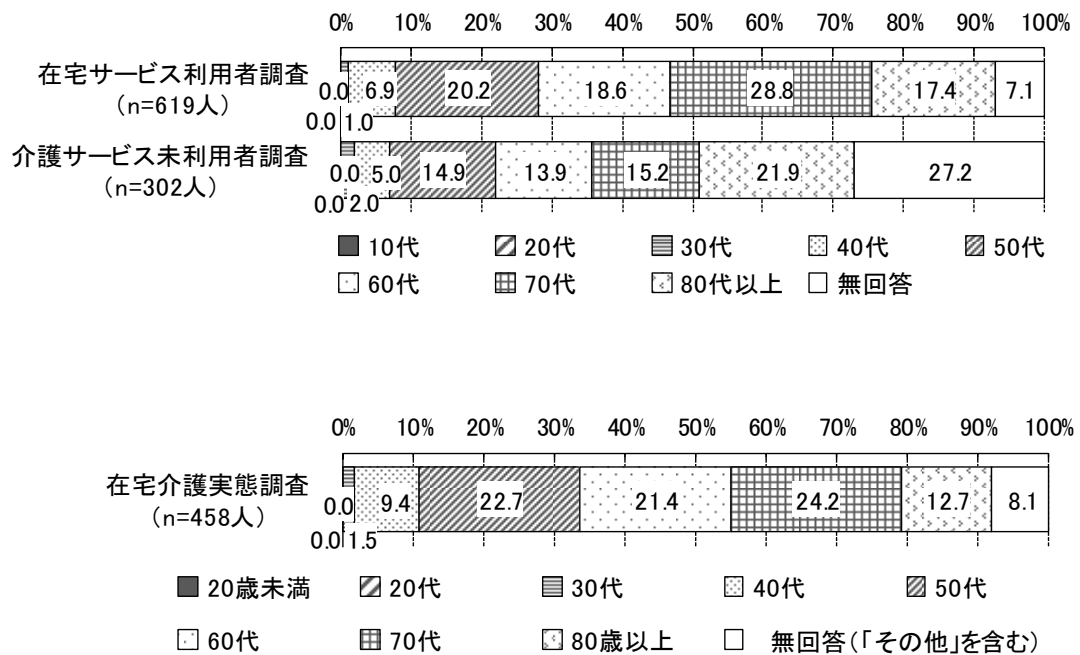
【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では「配偶者(夫・妻)」、「娘」が33.3%で多くなっています。【在宅介護実態調査】では「子」が42.8%で最も多くなっています。

20 主な介護者の性別



主な介護者の性別についてみると、いずれの調査においても「女性」の占める割合が「男性」を上回り、【在宅サービス利用者調査】では6割以上となっています。

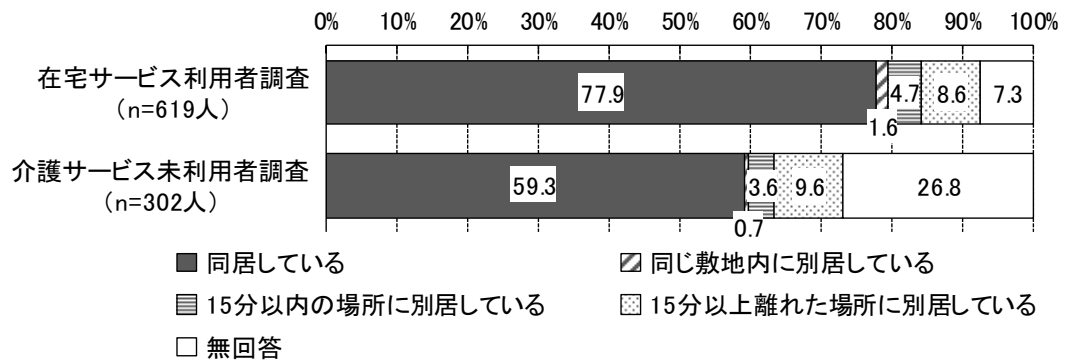
21 主な介護者の年齢



主な介護者の年齢についてみると、【在宅サービス利用者調査】では、「70代」が28.8%で最も多く、『70代以上』が4割以上となっています。【介護サービス未利用者調査】では「80代以上」が21.9%で最も多くなっています。

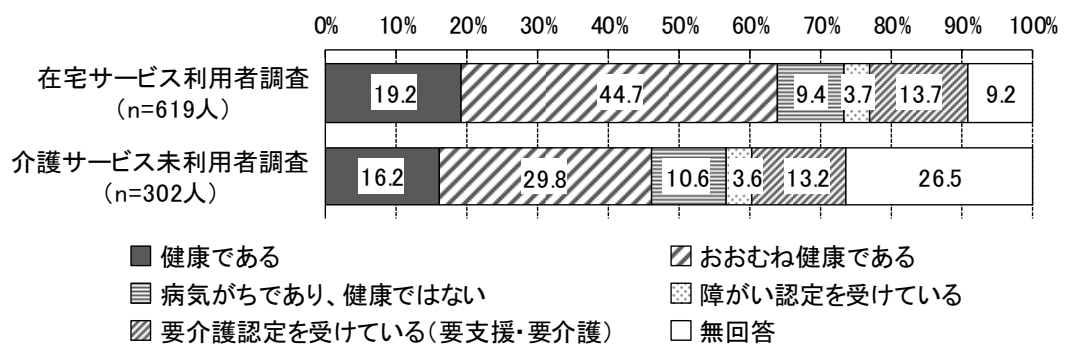
【在宅介護実態調査】では「50代」「60代」「70代」が2割台となっており、『70代以上』が3割以上となっています。

22 同居の状況



主な介護者の同居の状況についてみると、「同居している」は【在宅サービス利用者調査】で77.9%、【介護サービス未利用者調査】で59.3%となっています。

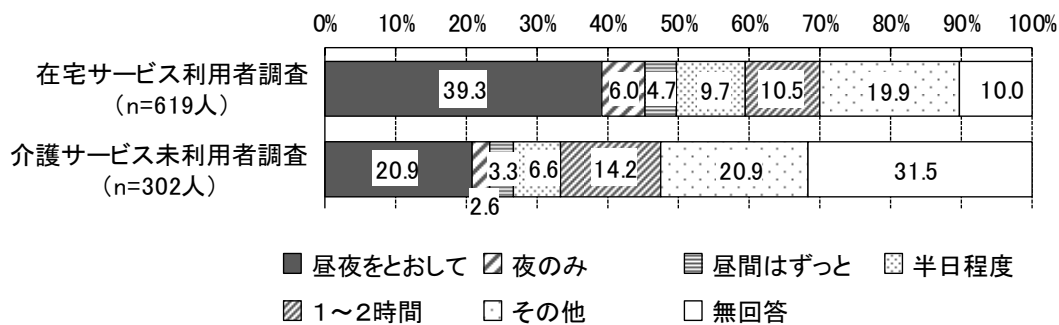
23 主な介護者の健康状態



主な介護者の健康状態についてみると、「健康である」と「おおむね健康である」をあわせた『健康』という回答は、【在宅サービス利用者調査】で6割を超え、【介護サービス未利用者調査】で4割台となっています。

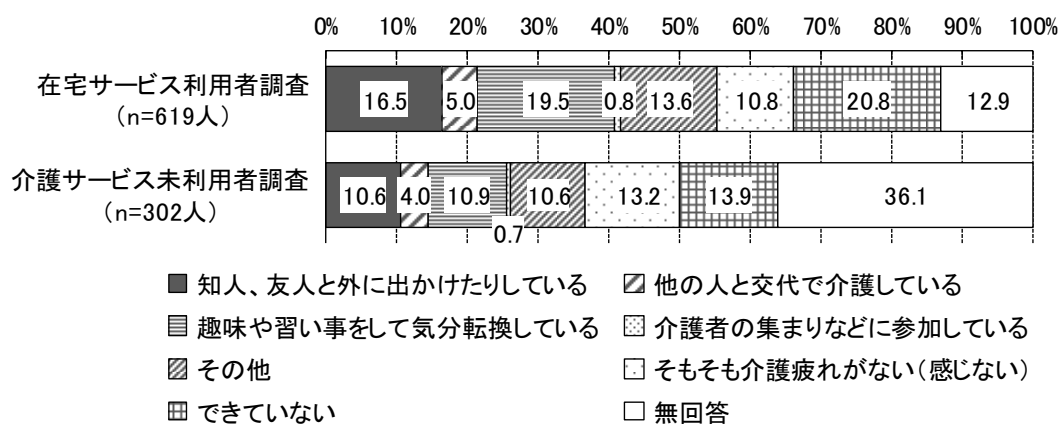
また、「要介護認定を受けている(要支援・要介護)」はいずれの調査でも1割を超えています。

24 介護している時間



介護している時間についてみると、「昼夜をとおして」は【在宅サービス利用者調査】で39.3%と多く、【介護サービス未利用者調査】では20.9%となっています。

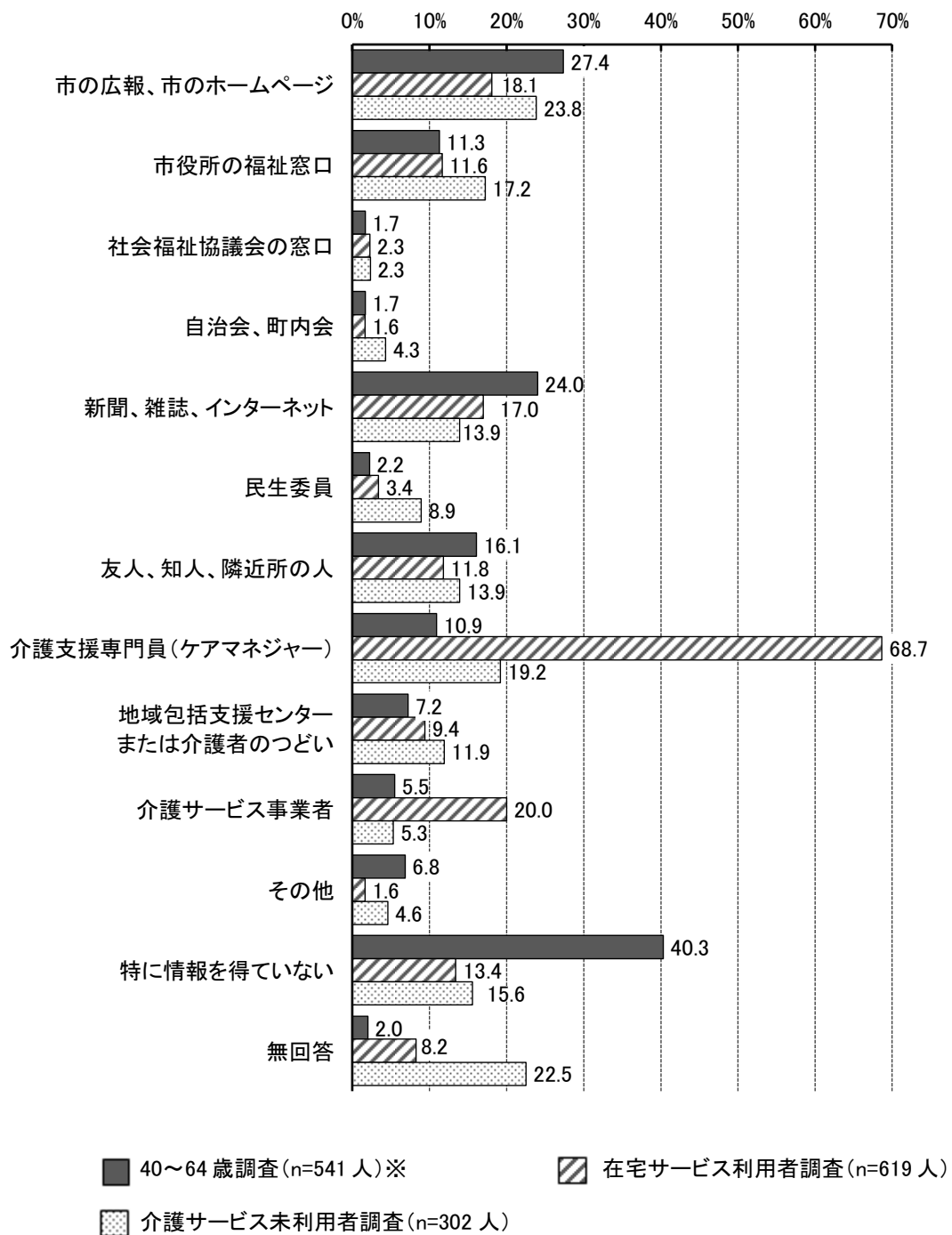
25 介護疲れの解消(軽減)方法



介護疲れの解消（軽減）方法についてみると、いずれの調査においても「趣味や習い事をして気分転換している」「友人、知人と外に出かけたりしている」などが挙げられています。

一方、「できていない」は【在宅サービス利用者調査】では20.8%、【介護サービス未利用者調査】では13.9%となっています。

26 介護に関する情報の入手先

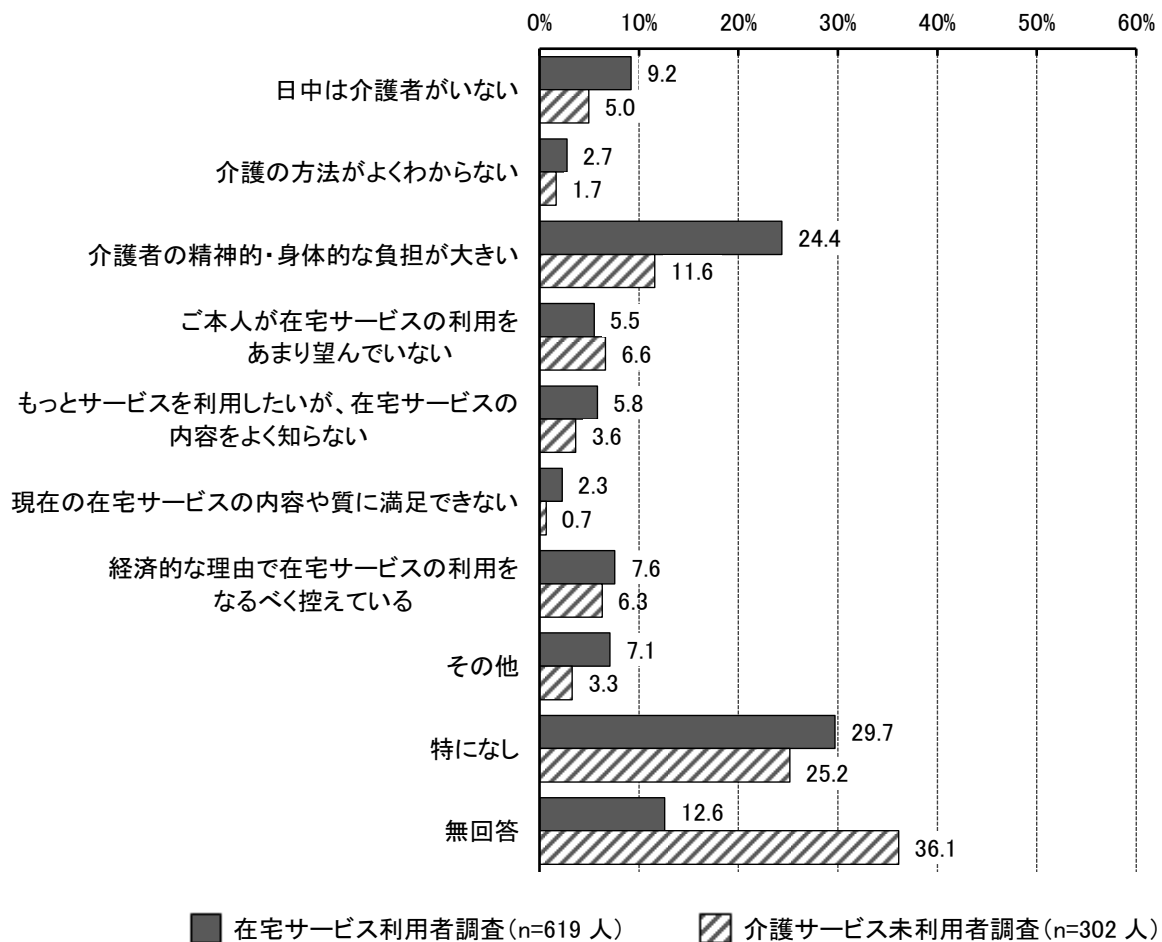


介護に関する情報の入手先についてみると、「市の広報、市のホームページ」「市役所の福祉窓口」「新聞、雑誌、インターネット」「友人、知人、隣近所の人」「介護支援専門員（ケアマネジャー）」はいずれの調査でも 1 割を超えています。特に【在宅サービス利用者調査】では「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が 68.7%と多くなっています。

一方、「特に情報を得ていない」は【40～64 歳調査】で 40.3%となっています。

※【40～64 歳調査】では、調査対象者の方にお聞きしています。

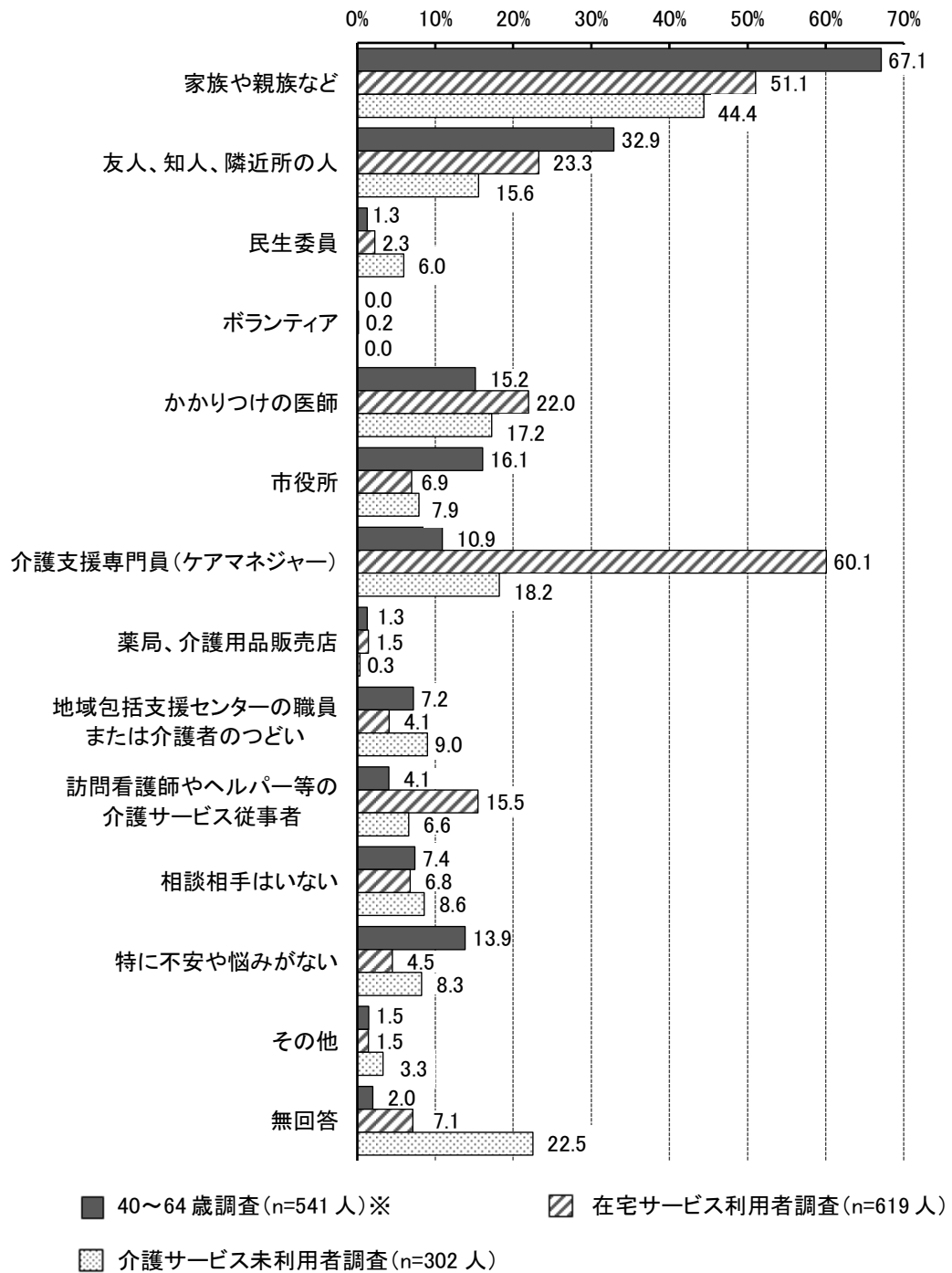
27 在宅介護での困りごと



在宅介護での困りごとについてみると、いずれの調査でも「介護の精神的・身体的な負担が大きい」が多くなっており、【在宅サービス利用者調査】では 24.4%となっています。

一方、「特になし」は【在宅サービス利用者調査】で 29.7%、【介護サービス未利用者調査】で 25.2%となっています。

28 健康や介護に関する相談相手



健康や介護に関する相談相手についてみると、「家族や親族など」はいずれの調査においても4割を超え、特に【40～64歳調査】では67.1%と多くなっています。

また、【在宅サービス利用者調査】では「介護支援専門員(ケアマネジャー)」が60.1%で最も多く、他の調査と比較しても割合が高くなっています。

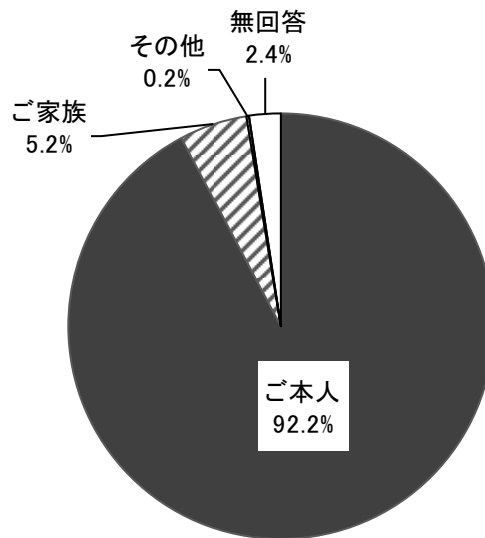
※【40～64歳調査】では、調査対象者の方にお聞きしています。

第3章 40～64歳調査結果

1 調査票の記入者

問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(○は1つ)

n=541人

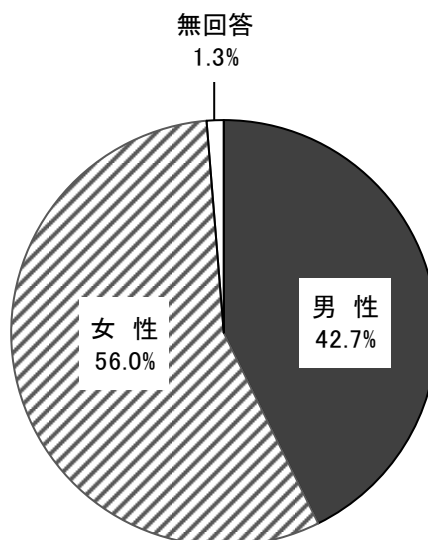


調査票の記入者についてみると、「ご本人」が92.2%となっています。

2 性別

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

n=541人

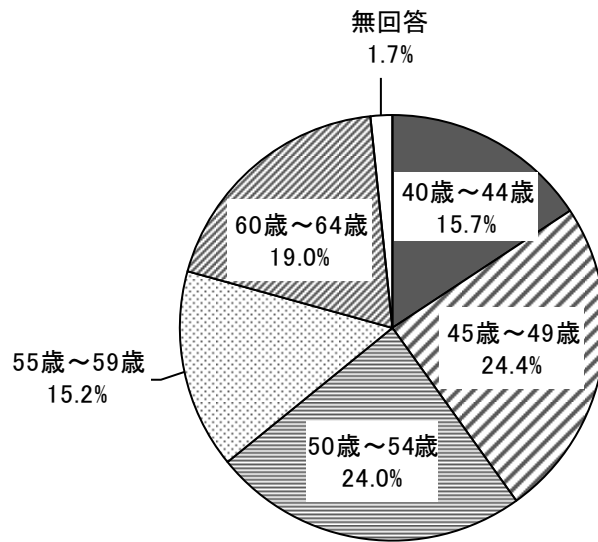


調査対象者の性別についてみると、「男性」が42.7%、「女性」が56.0%となっています。

3 年齢

問3 あなたの年齢は(令和2年1月1日現在)。(○は1つ)

n=541人

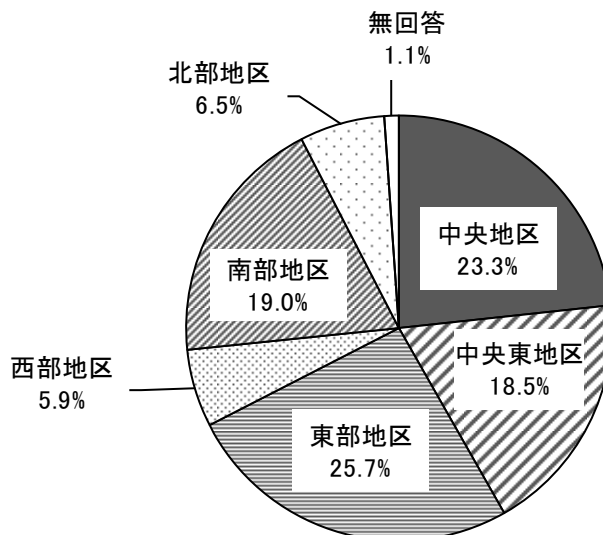


調査対象者の年齢は、「45歳～49歳」が24.4%で最も多くなっています。

4 居住地区

問4 あなたのお住いの地区は。(○は1つ)

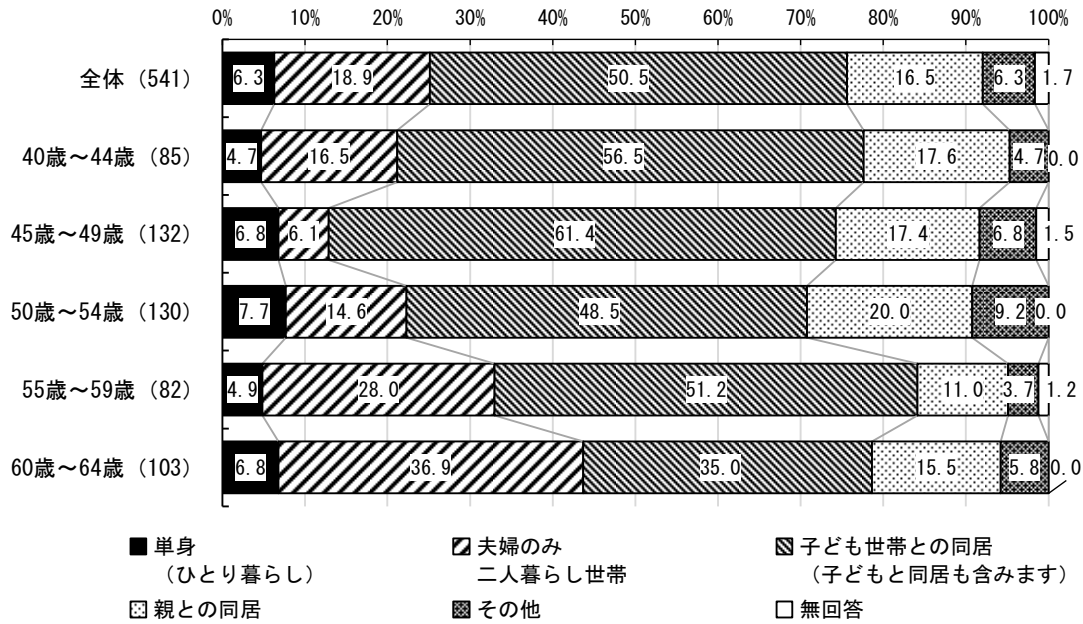
n=541人



調査対象者の居住地区についてみると、「中央地区」「東部地区」が2割台、「中央東地区」「南部地区」が1割台、「西部地区」「北部地区」は1割未満となっています。

5 家族の状況

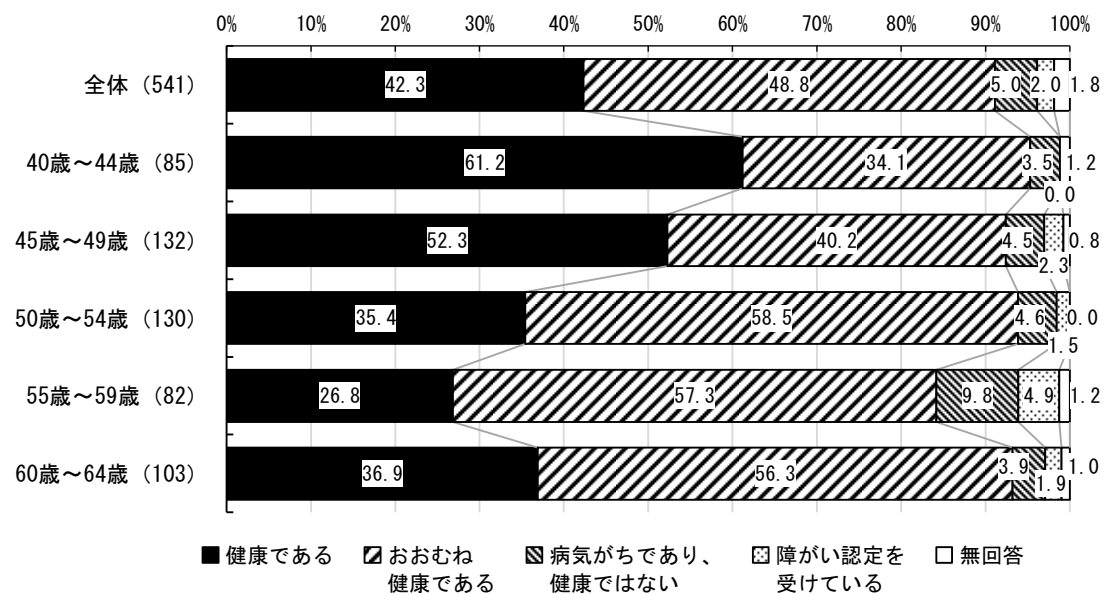
問5 あなたと同居されているご家族は。(〇は1つ)



調査対象者と同居している家族についてみると、「子ども世帯との同居 (子どもと同居も含まれます)」が50.5%で、最も多くなっています。年齢別にみると、60歳～64歳では、「単身」、「夫婦のみ二人暮らし世帯」を合わせて4割以上と多くなっています。

6 健康状態

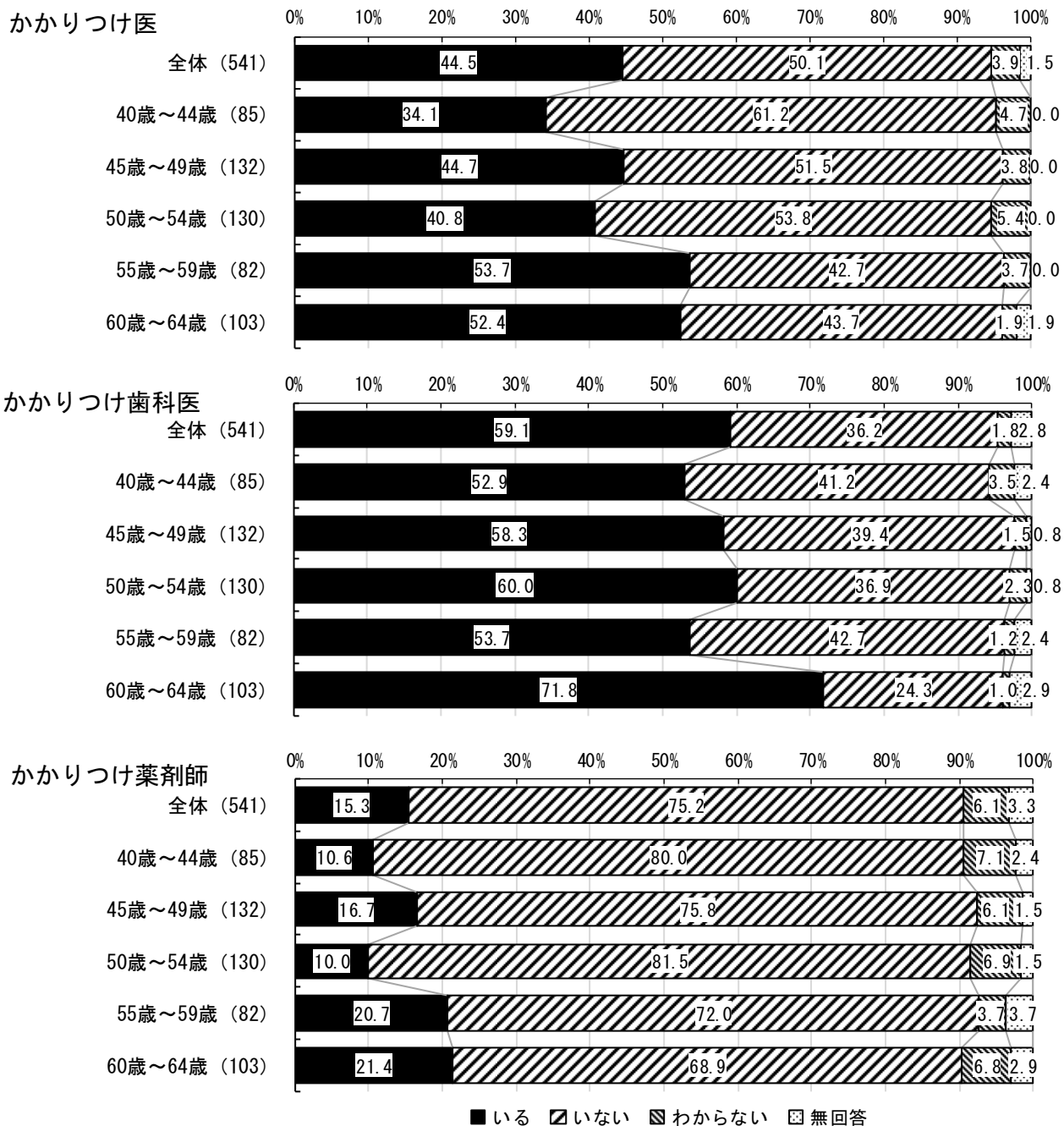
問6 あなたご自身の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)



調査対象者の健康状態についてみると、「健康である」(42.3%)と「おおむね健康である」(48.8%)をあわせた『健康』という回答が約9割となっています。年齢別にみると、「健康である」は40～44歳が61.2%で最も多く、50歳以上の年齢では4割以下と低くなっています。

7 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師

問7 あなたは、健康や病気のことを相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師」がいますか。(それぞれ1つに○)

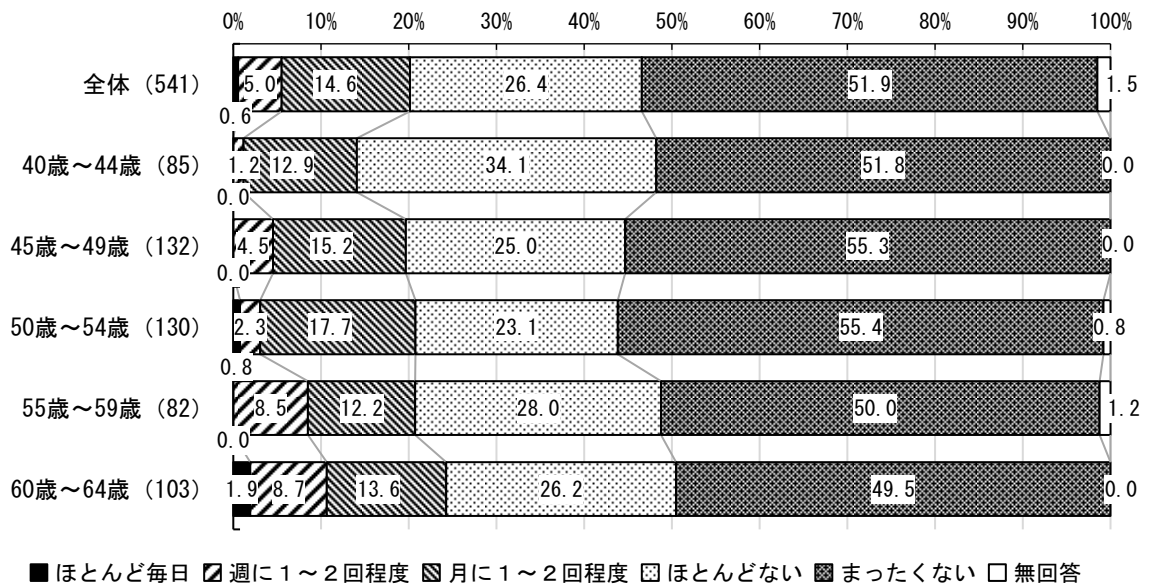


調査対象者の健康や病気のことを相談できるかかりつけ医が「いる」割合は、「かかりつけ歯科医」が59.1%で最も多く、「かかりつけ医」で44.5%となっています。「かかりつけ薬剤師」は15.3%と1割台にとどまっています。年齢別にみると、「かかりつけ医」は55歳以上、「かかりつけ歯科医」は全ての年齢で「いる」が5割以上となっています。「かかりつけ薬剤師」では、全ての年齢で「いない」が6割以上を占めています。

8 近所の人たちと趣味などで交流があるか

問8 あなたは、近所の人たちと一緒にお茶を飲んだり、趣味を楽しんだりすることがありますか。

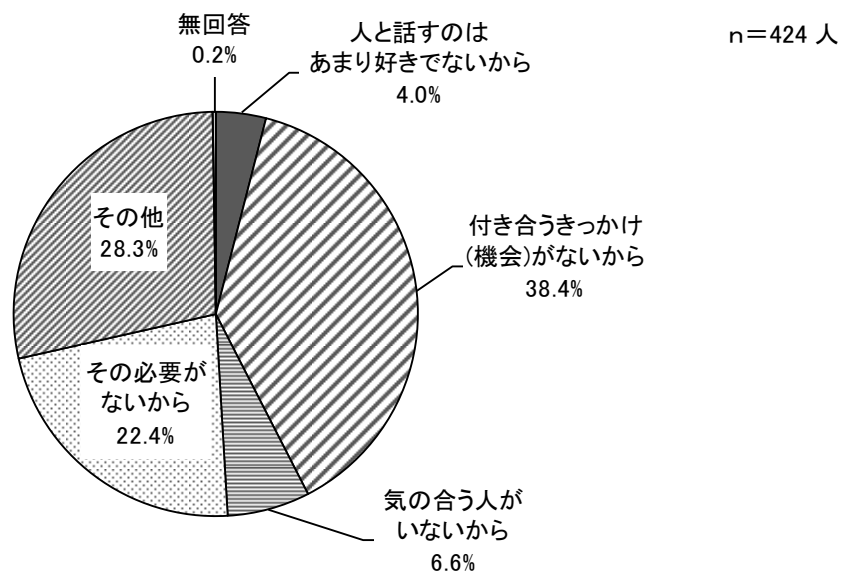
(○は1つ)



近所の人たちと趣味などで交流があるかについてみると、「まったくない」が51.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」が26.4%となっています。年齢別にみると、「ほとんど毎日」、「週に1～2回程度」の合計は55歳以上の年齢で約1割と比較的高くなっています。一方、60～64歳を除く年齢で、「まったくない」が半数以上となっています。

■ 近所の人たちと趣味などで交流がない理由

付問8-1 問8で「4. ほとんどない」または「5. まったくない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。(主な理由1つに○)

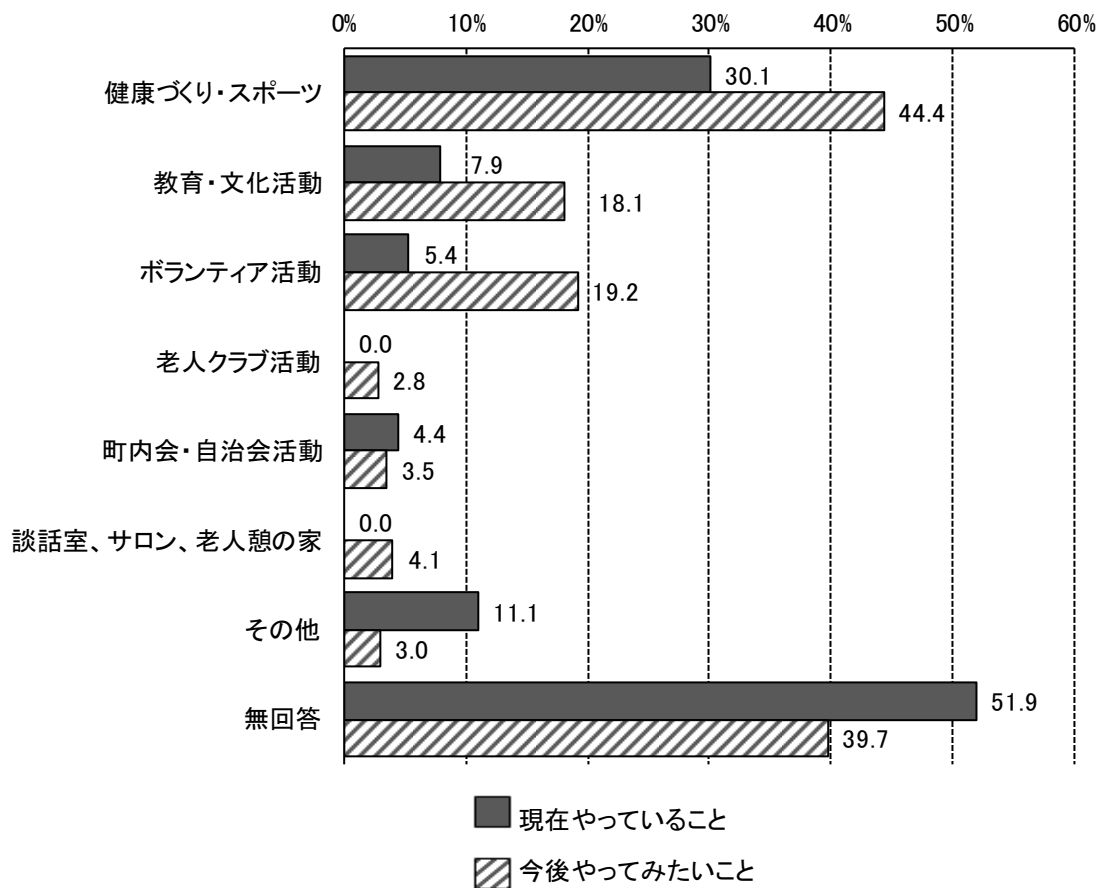


近所の人たちと趣味などで交流がない方に理由を聞いたところ、「付き合いきっかけ(機会)がないから」が38.4%で最も多く、次いで「その必要がないから」が22.4%となっています。

9 生きがいを感じて現在やっていることや、今後やってみたいこと

問9 あなたが生きがいを感じて、現在やっていることはどんなことですか。また、今後やってみたいことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

n=541人



生きがいを感じて現在やっていることについてみると、「健康づくり・スポーツ」が30.1%で最も多く、次いで「教育・文化活動」が7.9%、「ボランティア活動」が5.4%、「町内会・自治会活動」が4.4%などとなっています。

今後やってみたいことについてみると、「健康づくり・スポーツ」(44.4%)が最も多く、次いで「ボランティア活動」(19.2%)、「教育・文化活動」(18.1%)となっており、いずれも現在やっていることより割合が高くなっています。

＜性別・年齢別集計＞

(1) 現在やっていること

	調査数	健康づくり・スポーツ	教育・文化活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	町内会・自治会活動	談話室、サロン、老人憩の家	その他	無回答
【総数】	541	30.1	7.9	5.4	0.0	4.4	0.0	11.1	51.9
【性別】									
男性	231	35.9	5.2	3.5	0.0	3.9	0.0	10.0	50.6
女性	303	26.1	10.2	6.9	0.0	5.0	0.0	12.2	52.1
【年齢】									
40歳～44歳	85	24.7	3.5	3.5	0.0	0.0	0.0	11.8	58.8
45歳～49歳	132	25.0	3.0	4.5	0.0	3.8	0.0	11.4	59.1
50歳～54歳	130	32.3	10.0	3.8	0.0	5.4	0.0	10.0	47.7
55歳～59歳	82	35.4	14.6	9.8	0.0	9.8	0.0	11.0	42.7
60歳～64歳	103	35.0	9.7	5.8	0.0	3.9	0.0	12.6	47.6

(2) 今後やってみたいこと

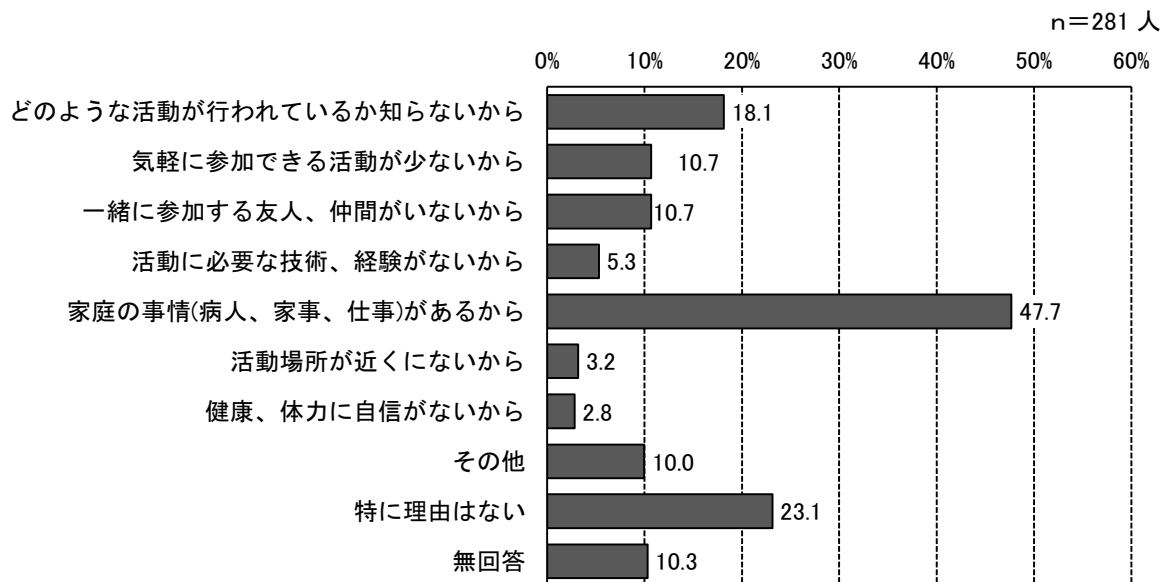
	調査数	健康づくり・スポーツ	教育・文化活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	町内会・自治会活動	談話室、サロン、老人憩の家	その他	無回答
【総数】	541	44.4	18.1	19.2	2.8	3.5	4.1	3.0	39.7
【性別】									
男性	231	39.4	18.6	19.0	2.2	3.9	1.3	3.0	43.3
女性	303	49.2	18.2	19.8	3.3	3.3	6.3	3.0	35.6
【年齢】									
40歳～44歳	85	49.4	20.0	21.2	3.5	3.5	4.7	2.4	38.8
45歳～49歳	132	49.2	17.4	21.2	1.5	1.5	2.3	3.0	35.6
50歳～54歳	130	44.6	17.7	16.2	3.1	2.3	3.8	3.8	38.5
55歳～59歳	82	40.2	18.3	24.4	4.9	8.5	7.3	2.4	37.8
60歳～64歳	103	39.8	18.4	16.5	1.9	3.9	3.9	2.9	44.7

現在やっていることについて性別で見ると、男女ともに「健康づくり・スポーツ」が最も多く、男性では3割以上となっています。女性では「教育・文化活動」が約1割となっています。年齢別で見ると、全ての年齢で「健康づくり・スポーツ」が最も多く、50歳以上の年齢では3割以上となっています。

今後やってみたいことについて性別で見ると、男女ともに「健康づくり・スポーツ」が最も多く、女性では約5割となっています。年齢別で見ると、全ての年齢で「健康づくり・スポーツ」が最も多く、49歳以下の年齢では約5割となっています。

■ 地域活動やイベントなどへ参加していない理由

付問9-1 問9で「現在やっていること」が1つもない方にお伺いします。ア～キの活動に参加していないのはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)



地域活動やイベントなどへ参加していない方に理由を聞いたところ、「家庭の事情(病人、家事、仕事)があるから」が47.7%で最も多く、次いで「どのような活動が行われているか知らないから」が18.1%などとなっています。

一方、「特に理由はない」は23.1%となっています。

<性別・年齢別集計>

	調査数	健康づくり・スポーツ	活動が少なすぎるから	一人、仲間参加する友	一人、仲間参加する友	経験が必要ないから	家庭の事情(病人、家事、仕事)	活動場所が近くにないから	健康、体力に自信がないから	その他	特に理由はない	無回答
【総数】	281	18.1	10.7	10.7	5.3	47.7	3.2	2.8	10.0	23.1	10.3	
【性別】												
男性	117	20.5	11.1	12.8	5.1	41.0	0.9	1.7	12.0	29.9	7.7	
女性	158	17.1	10.8	9.5	5.7	54.4	5.1	3.8	8.9	19.0	8.9	
【年齢】												
40歳～44歳	50	20.0	8.0	10.0	6.0	56.0	2.0	2.0	2.0	20.0	8.0	
45歳～49歳	78	12.8	10.3	14.1	3.8	43.6	0.0	0.0	10.3	28.2	12.8	
50歳～54歳	62	19.4	12.9	9.7	4.8	61.3	3.2	8.1	12.9	14.5	3.2	
55歳～59歳	35	22.9	20.0	5.7	8.6	37.1	8.6	0.0	14.3	22.9	8.6	
60歳～64歳	49	20.4	6.1	12.2	6.1	42.9	6.1	4.1	12.2	32.7	8.2	

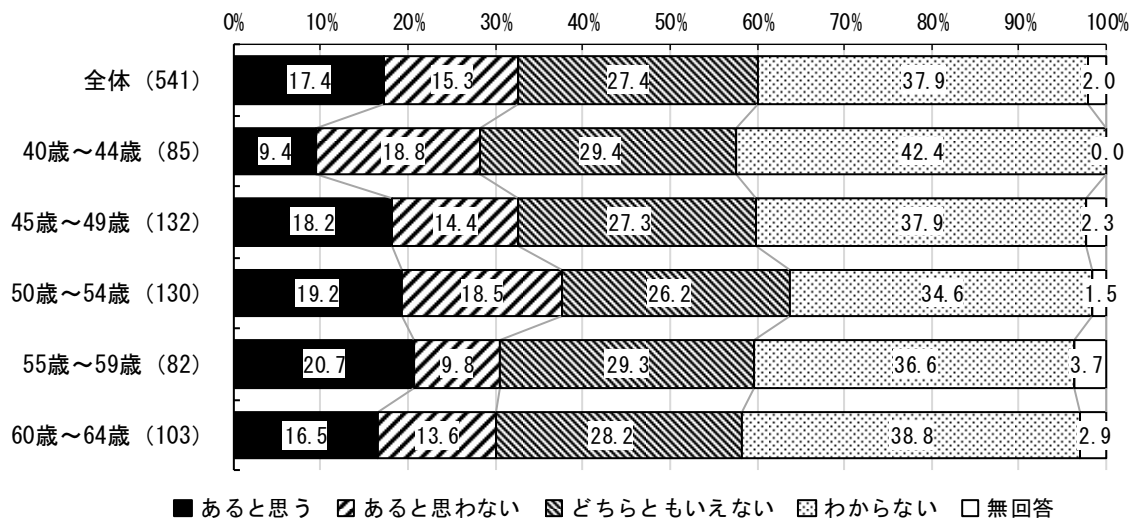
性別にみると、男女ともに「家庭の事情があるから」が最も多く、女性では5割以上となっています。男性では、「特に理由はない」が約3割となっています。

年齢別にみると、「家庭の事情があるから」は50歳～54歳が61.3%で最も多く、次いで40歳～44歳が56.0%となっています。

10 認知症への地域の理解と協力

問10 認知症のある方が地域で生活することに、地域の方々の理解や協力があると思いますか。

(○は1つ)



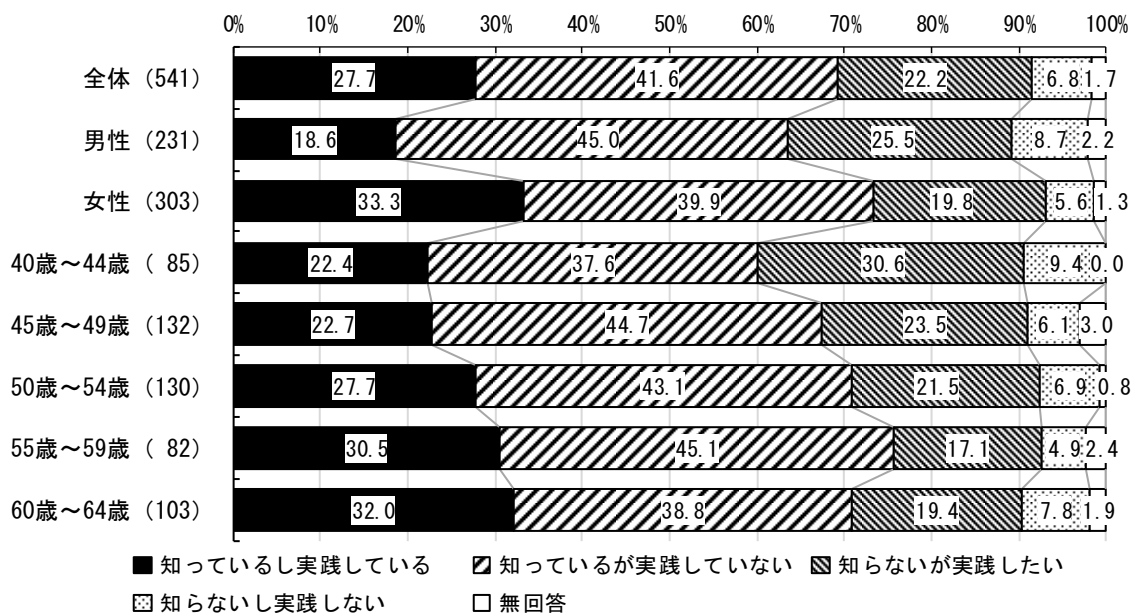
認知症への地域の理解や協力があるかどうかについてみると、「あると思う」が17.4%で、「あると思わない」(15.3%)を上回っています。

また、「わからない」(37.9%)が約4割で最も多くなっています。

年齢別にみると、「あると思う」は55歳～59歳が20.7%で最も多く、「あると思わない」は40歳～44歳が18.8%で最も多くなっています。

11 認知症予防のために効果的なこと

問11 認知症を予防するために規則正しい生活や食生活、生きがい活動が効果的だと知っていますか。(○は1つ)



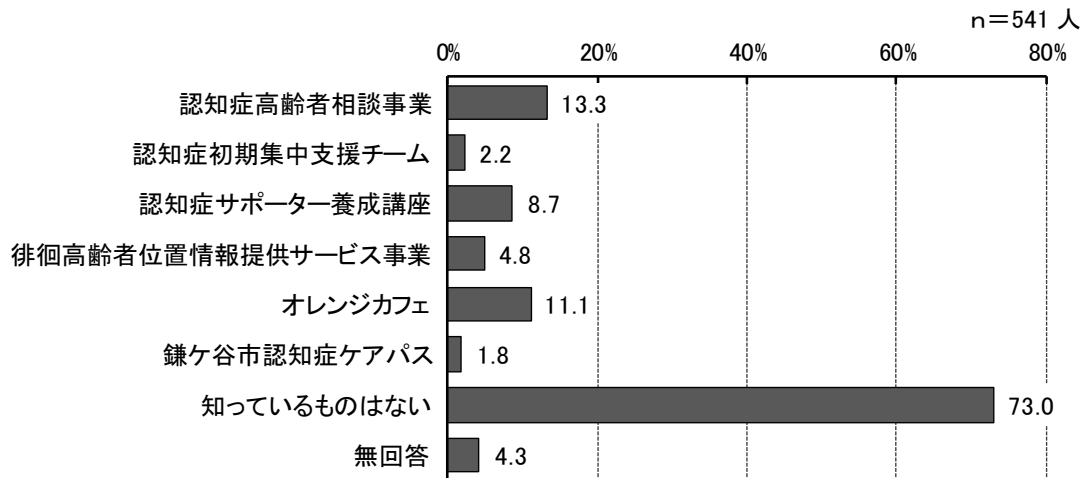
認知症予防のために規則正しい生活や食生活、生きがい活動が効果的だと知っているかは、「知っているが実践していない」が41.6%で最も多く、次いで「知っているし実践している」が27.7%、「知らないが実践したい」が22.2%などとなっています。一方、「知らないし実践しない」は6.8%となっています。

性別にみると、「知っているし実践している」は女性が33.3%で、男性(18.6%)を上回っています。

年齢別にみると、「知っているし実践している」は60歳～64歳が32.0%で最も多く、年齢が上がるほど多くなっています。

12 認知症に関連する市の施策で知っているもの

問12 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)



認知症に関連する市の施策で知っているものは、「認知症高齢者相談事業」が13.3%で最も多く、次いで「オレンジカフェ」が11.1%、「認知症サポーター養成講座」が8.7%などとなっています。一方、「知っているものはない」は73.0%となっています。

＜性別・年齢別集計＞

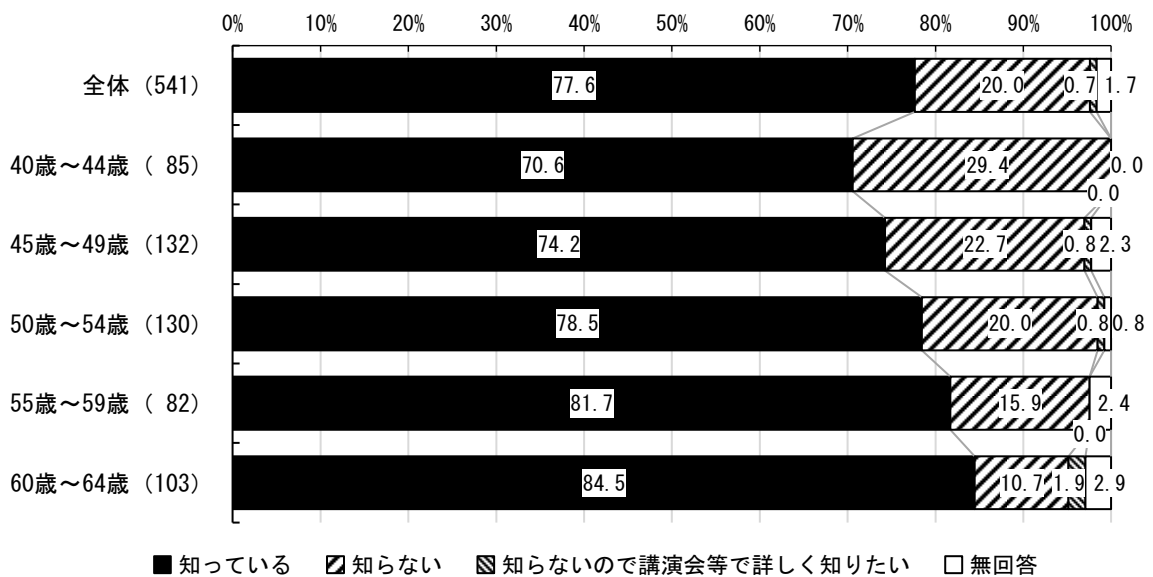
	調査数	事業 認知症 高齢者 相談	援 チ 知 症 初 期 集 中 支 援	養 成 知 症 講 座 サ ポ ー タ ー	業 報 提 供 サ ー ビ ス 事 業	オ レ ン ジ カ フ ェ	ア 鎌 ヶ 谷 市 認 知 症 ケ ア パ ス	な 知 っ て い る も の は な い	無 回 答
【総数】	541	13.3	2.2	8.7	4.8	11.1	1.8	73.0	4.3
【性別】									
男性	231	8.7	0.9	3.0	3.5	5.2	1.7	81.8	5.2
女性	303	16.8	3.3	13.2	5.6	15.2	2.0	66.7	3.3
【年齢】									
40歳～44歳	85	10.6	1.2	12.9	3.5	8.2	1.2	74.1	2.4
45歳～49歳	132	11.4	3.8	10.6	3.8	15.9	2.3	72.7	5.3
50歳～54歳	130	13.8	1.5	6.2	4.6	10.8	1.5	72.3	3.8
55歳～59歳	82	17.1	3.7	9.8	4.9	8.5	0.0	73.2	4.9
60歳～64歳	103	13.6	1.0	5.8	6.8	7.8	3.9	75.7	3.9

性別にみると、女性では「認知症高齢者相談事業」、「認知症サポーター養成講座」、「オレンジカフェ」で1割以上となっており、全ての施策で女性が男性より多くなっています。

年齢別にみると、「認知症高齢者相談事業」は全ての年齢で1割以上となっており、55歳～59歳が17.1%で最も多くなっています。「オレンジカフェ」は45歳～49歳が15.9%で最も多く、「認知症サポーター養成講座」は40歳～44歳が12.9%で最も多くなっています。一方、「知っているものはない」は全ての年齢で7割以上となっています。

13 運転免許返納

問13 認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることを知っていますか。(○は1つ)

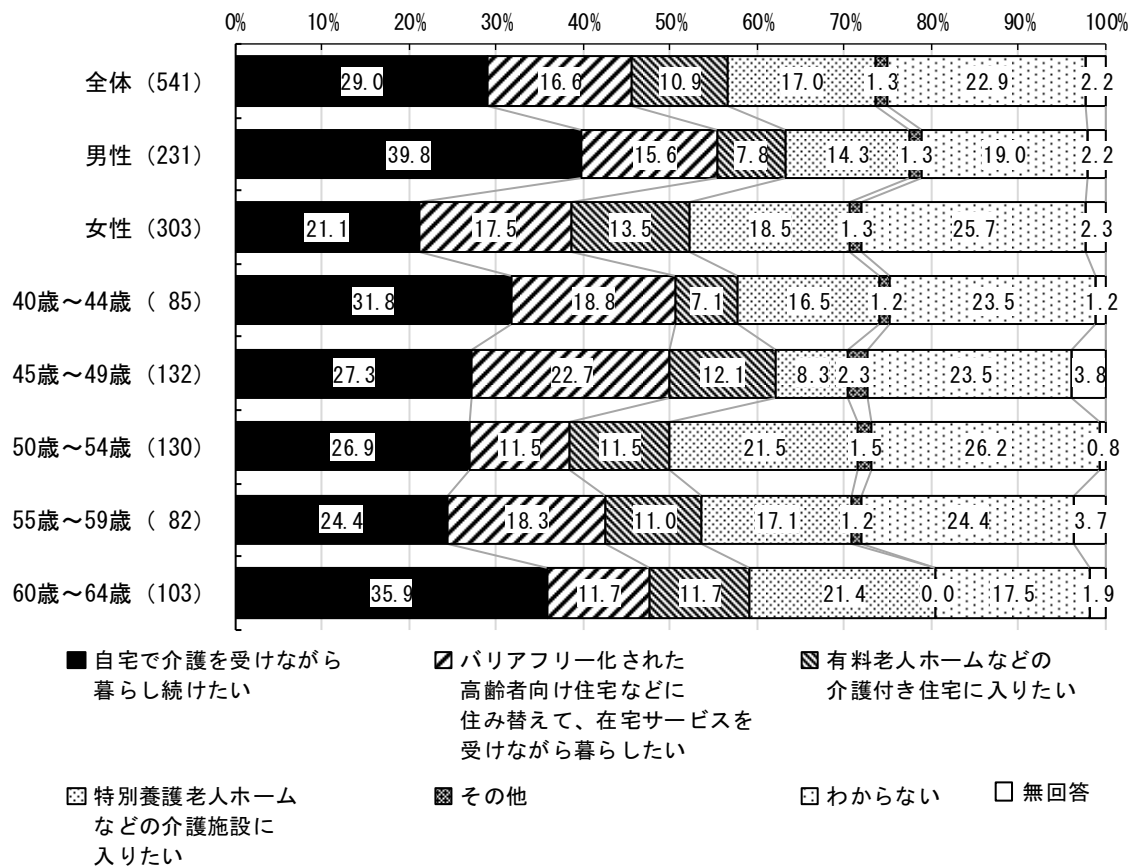


認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることの認知度は、「知っている」が77.6%、「知らない」が20.0%、「知らないので講演会等で詳しく知りたい」が0.7%などとなっています。

年齢別にみると、「知っている」は60歳～64歳が84.5%で最も多く、年齢が上がるほど多くなっています。

14 介護が必要になった場合に希望する介護形態

問14 仮に、あなたが将来介護が必要になった場合、介護を受ける場所としてどのような場所を希望しますか。(○は1つ)



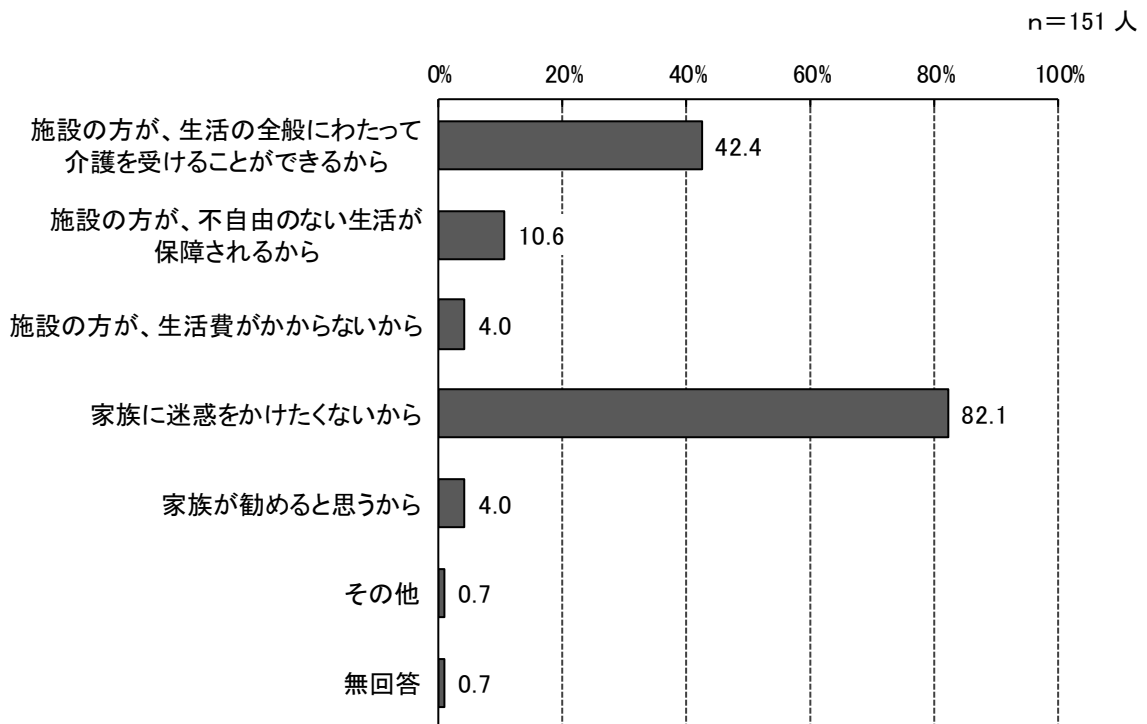
介護が必要になった場合に希望する介護形態についてみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が29.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」が17.0%となっています。

性別にみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」は男性が39.8%で女性(21.1%)より多くなっています。

年齢別にみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」は40歳～44歳と60歳～64歳で3割以上と多くなっています。「バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅サービスを受けながら暮らしたい」は45歳～49歳が22.7%で最も多くなっています。

■ 介護が必要になった場合に、施設入所(居)を希望する理由

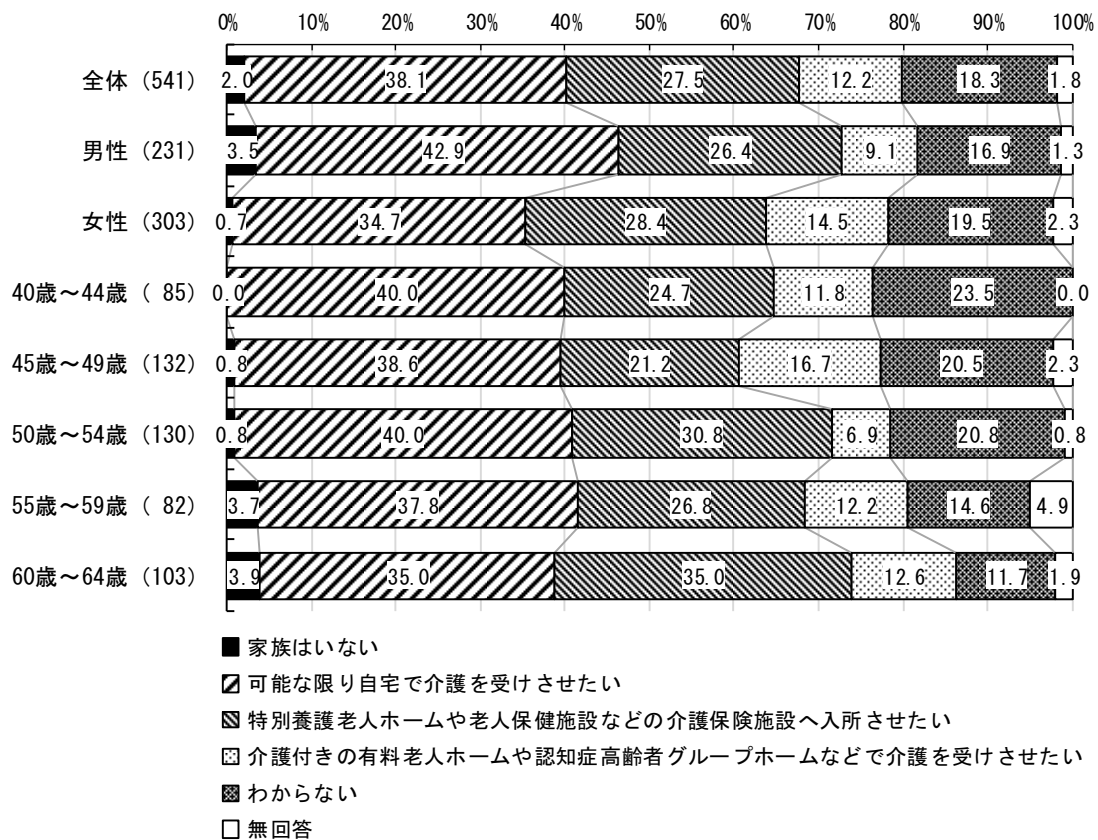
付問14-1 問14で「3」または「4」を選んだ方にお伺いします。入所(居)を希望する理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)



介護が必要になった場合に施設入所(居)を希望する方に理由を聞いたところ、「家族に迷惑をかけたくないから」が82.1%で最も多く、次いで「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が42.4%などとなっています。

15 家族を介護する立場になった場合に希望する介護形態

問15 仮に、ご家族が寝たきりや認知症になり、あなたが介護する立場になったら、どこで介護を受けさせたいと思いますか。(〇は1つ)



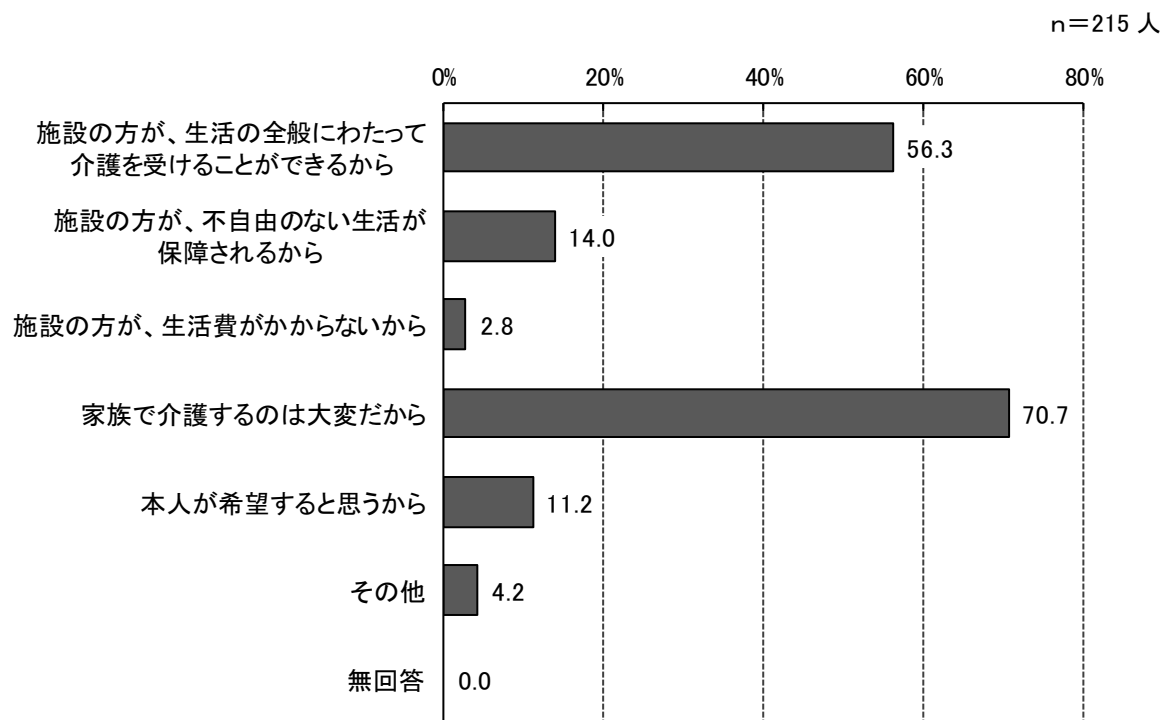
家族を介護する立場になった場合に希望する介護形態についてみると、「可能な限り自宅で介護を受けさせたい」が38.1%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設へ入所させたい」が27.5%、「介護付きの有料老人ホームや認知症高齢者グループホームなどで介護を受けさせたい」が12.2%などとなっています。

性別で見ると、男女ともに「可能な限り自宅で介護を受けさせたい」が最も多く、男性が42.9%で女性(34.7%)より多くなっています。

年齢別にみると、「可能な限り自宅で介護を受けさせたい」は40歳～44歳、50歳～54歳が4割と多くなっています。「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設へ入所させたい」は60歳～64歳で35.0%と多くなっています。

■ 家族を介護する立場になった場合に、施設入所(居)を希望する理由

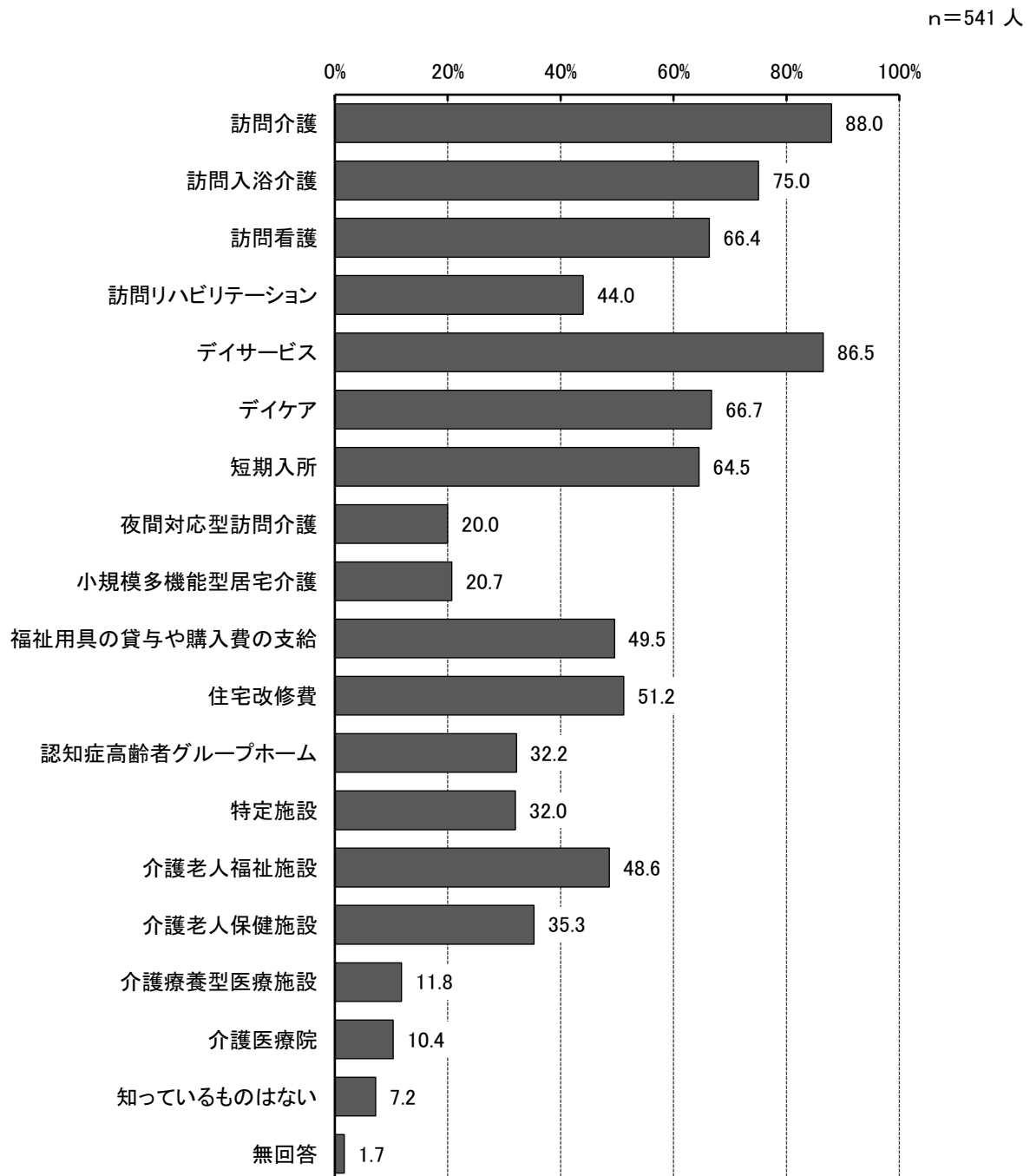
付問15-1 問15で「3」または「4」を選んだ方にお伺いします。入所(居)を希望する理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)



家族を介護する立場になった場合に、施設入所(居)を希望する方に理由を聞くと、「家族で介護するのは大変だから」が70.7%で最も多く、次いで「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が56.3%で、特に多くなっています。

16 介護保険サービスの認知状況

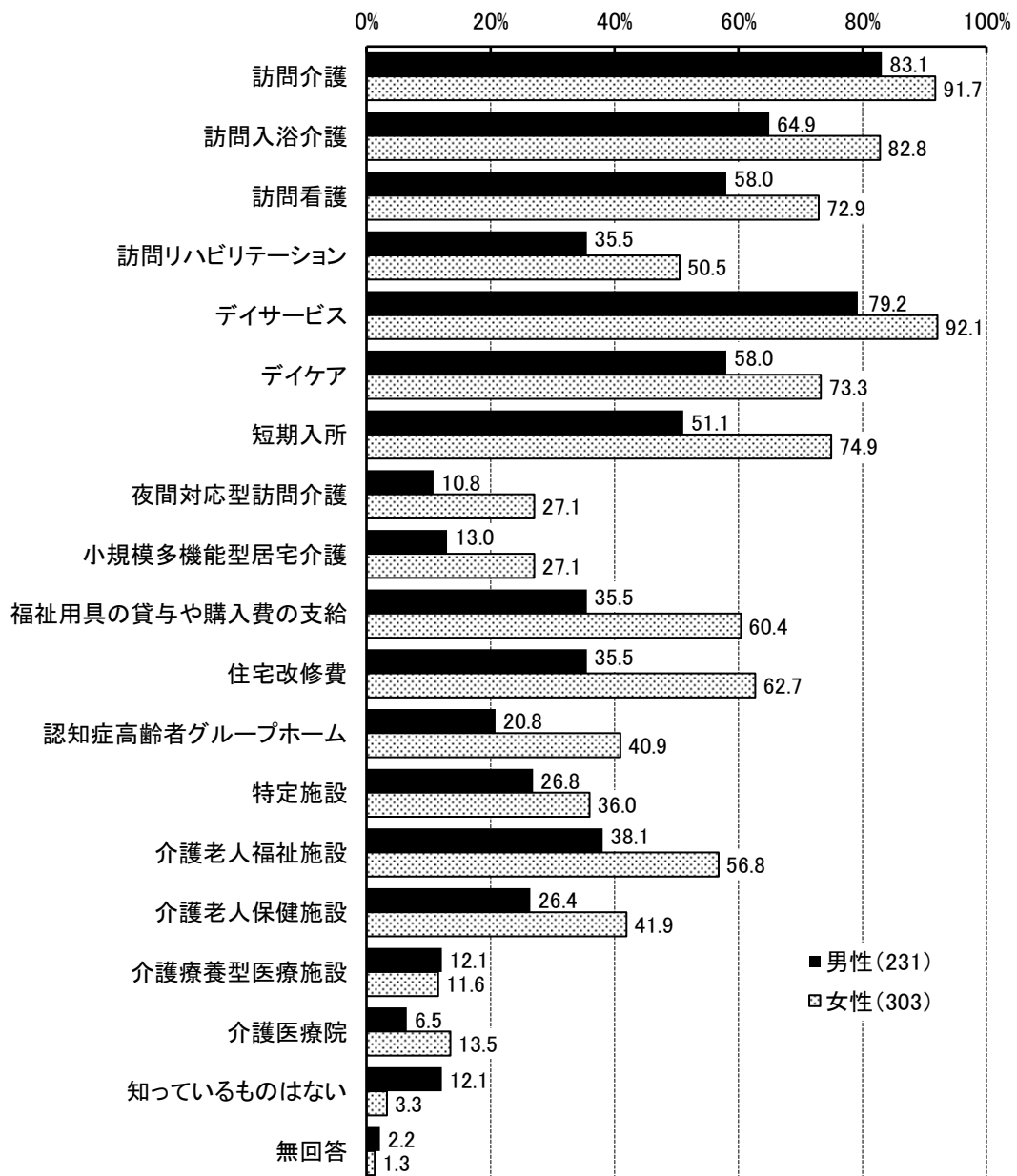
問16 次の介護保険サービスについてご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)



介護保険サービスの認知状況についてみると、「訪問介護」が88.0%で最も多く、次いで「デイサービス」が86.5%、「訪問入浴介護」が75.0%などとなっており、これらの認知度が特に高くなっています。

一方、比較的認知度が低いサービスは「介護療養型医療施設」(11.8%)、「介護医療院」(10.4%)で、いずれも1割台にとどまっています。

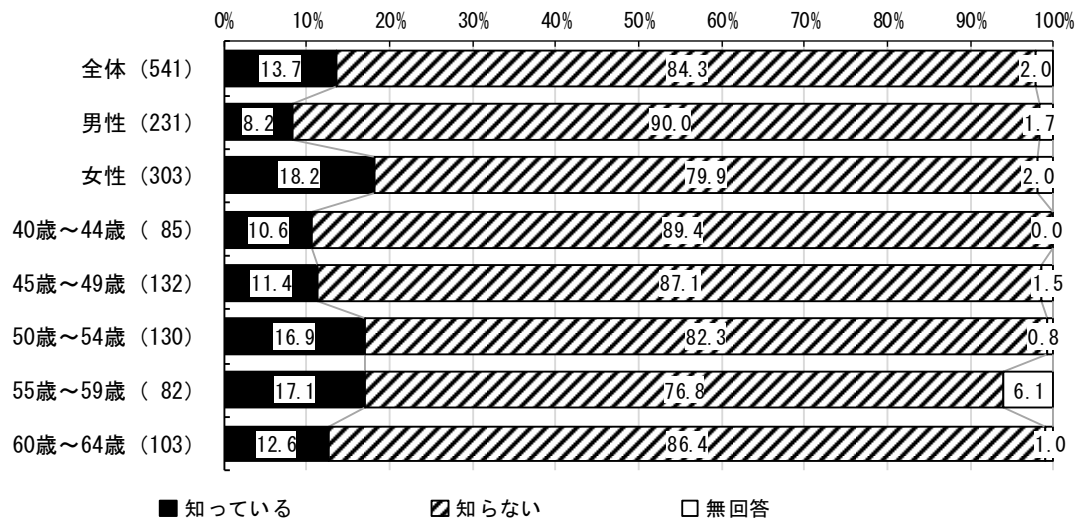
<性別集計>



性別にみると、ほぼ全てのサービスで女性が男性より多くなっています。「訪問介護」、「デイサービス」は女性で9割以上となっています。

17 訪問診療ができる医療機関の認知度

問17 市内で訪問診療ができる医療機関を知っていますか。(○は1つ)

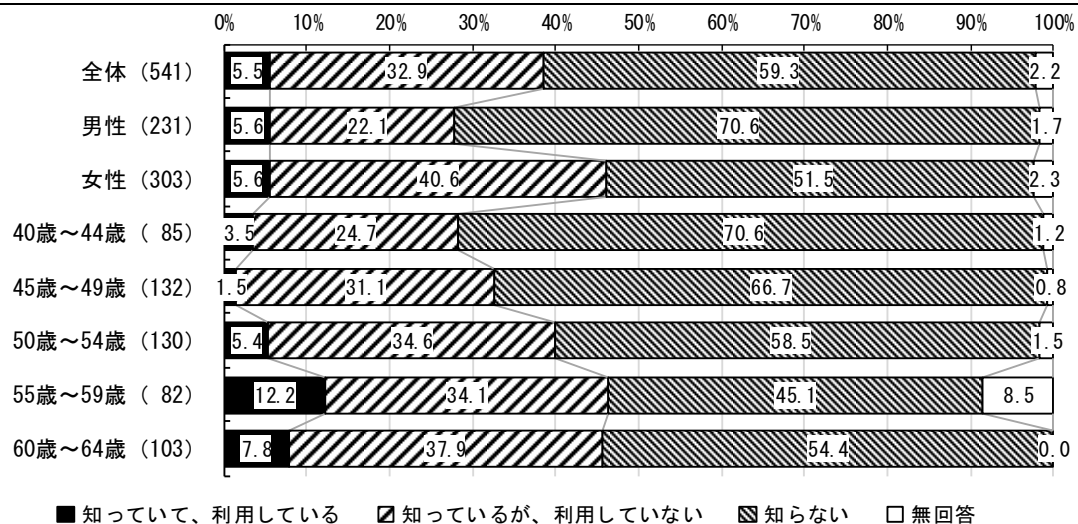


訪問診療ができる医療機関の認知度についてみると、「知っている」が13.7%で、「知らない」(84.3%)を大きく下回っています。

性別にみると、「知っている」は女性が18.2%で男性(8.2%)より多くなっています。年齢別にみると、「知っている」はすべての年齢で1割台にとどまっています。

18 「地域包括支援センター」の認知・利用状況

問18 高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、利用されていますか。(○は1つ)



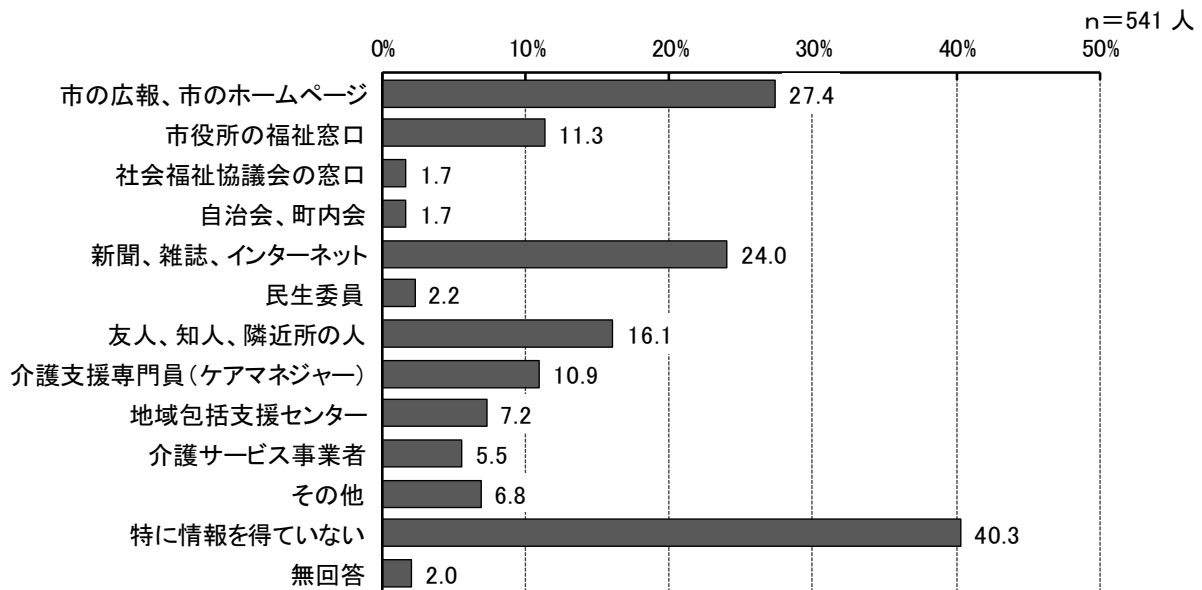
地域包括支援センターの認知・利用状況についてみると、「知っている、利用している」(5.5%)と「知っているが、利用していない」(32.9%)をあわせた『地域包括支援センターを知っている』は約4割となっています。一方、「知らない」は59.3%となっています。

性別にみると、『地域包括支援センターを知っている』は女性が46.2%で男性(27.7%)より多くなっています。

年齢別にみると、『地域包括支援センターを知っている』は50歳以上の年齢で4割以上となっています。

19 介護に関する情報の入手先

問19 介護に関する情報は、どのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)



介護に関する情報の入手先についてみると、「市の広報、市のホームページ」(27.4%)、「新聞、雑誌、インターネット」(24.0%)が2割台で多くなっています。

一方、「特に情報を得ていない」は40.3%となっています。

<性別・年齢別集計>

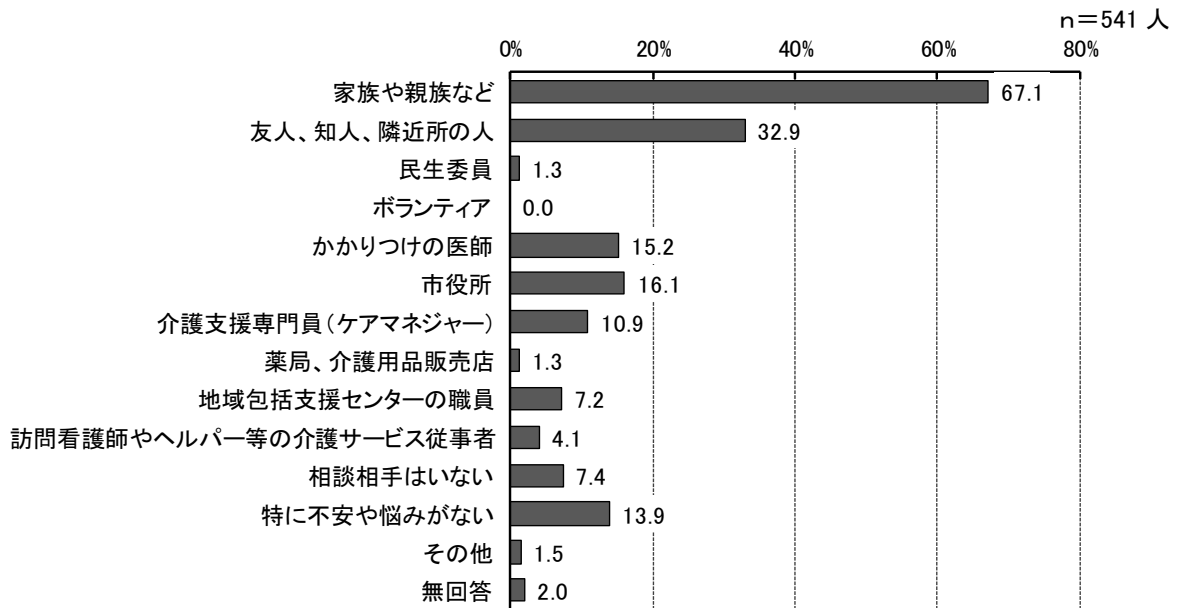
	調査数	市の広報、市のホームページ	市役所の福祉窓口	社会福祉協議会の窓口	自治会、町内会	新聞、雑誌、インターネット	民生委員	友人、知人、隣近所の人	介護支援専門員	地域包括支援センター	介護サービス事業者	その他	特に情報を得ていない	無回答
【総数】	541	27.4	11.3	1.7	1.7	24.0	2.2	16.1	10.9	7.2	5.5	6.8	40.3	2.0
【性別】														
男性	231	26.0	11.7	0.9	2.2	22.5	1.7	10.0	9.1	6.1	5.6	6.5	47.2	1.7
女性	303	28.4	10.2	2.0	1.3	25.4	2.3	20.5	12.2	7.9	5.6	7.3	35.3	2.0
【年齢】														
40歳～44歳	85	23.5	8.2	0.0	1.2	23.5	4.7	11.8	5.9	4.7	7.1	8.2	44.7	0.0
45歳～49歳	132	20.5	6.1	0.8	0.8	20.5	0.0	12.9	5.3	3.0	0.8	7.6	52.3	0.8
50歳～54歳	130	30.0	13.8	0.8	0.8	23.8	0.8	17.7	10.8	6.9	6.2	4.6	42.3	0.8
55歳～59歳	82	32.9	15.9	3.7	3.7	20.7	3.7	17.1	14.6	12.2	7.3	9.8	24.4	9.8
60歳～64歳	103	30.1	11.7	2.9	2.9	31.1	2.9	20.4	18.4	9.7	8.7	5.8	32.0	0.0

性別にみると、「市の広報、市のホームページ」、「新聞、雑誌、インターネット」は男女ともに2割台となっています。「友人、知人、隣近所の人」は女性が20.5%で男性(10.0%)より多くなっています。「特に情報を得ていない」は男性が47.2%と多くなっています。

年齢別にみると、「市の広報、市のホームページ」は50歳以上の年齢で3割以上と多くなっています。「特に情報を得ていない」は45歳～49歳で52.3%と多くなっています。

20 健康や介護に関する相談相手

問20 あなたは、健康や介護についての不安や悩みを誰に相談していますか。または相談しようと思
いますか。(あてはまるものすべてに○)



健康や介護に関する相談相手についてみると、「家族や親族など」が67.1%で最も多く、次いで「友人、知人、隣近所の人」が32.9%、「市役所」が16.1%、「かかりつけの医師」が15.2%などとなっています。一方、「相談相手はいない」は7.4%となっています。また、「特に不安や悩みがない」は13.9%となっています。

<性別・年齢別集計>

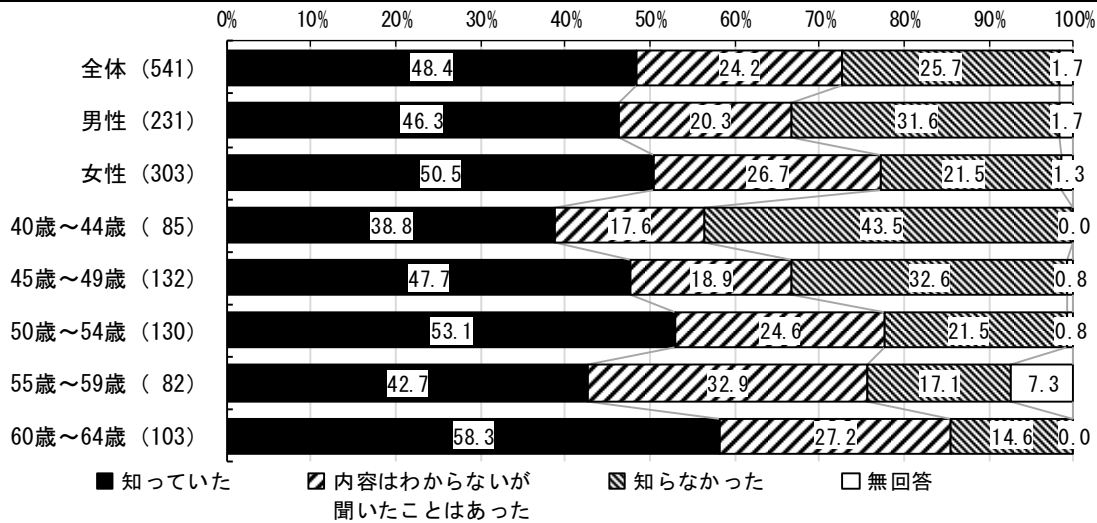
	調査数	家族や親族など	友人、知人、隣近所の人	民生委員	ボランティア	かかりつけの医師	市役所	介護支援専門員	薬局、介護用品販売店	地域包括支援センターの職員	訪問看護師やヘルパー等の介護サービス従事者	相談相手はいない	特に不安や悩みがない	その他	無回答
【総数】	541	67.1	32.9	1.3	0.0	15.2	16.1	10.9	1.3	7.2	4.1	7.4	13.9	1.5	2.0
【性別】															
男性	231	62.3	16.9	0.9	0.0	14.7	14.7	8.2	0.9	3.9	2.6	10.8	17.3	0.9	2.6
女性	303	71.0	44.9	1.3	0.0	15.5	16.8	13.2	1.7	9.6	5.3	4.6	11.2	2.0	1.3
【年齢】															
40歳～44歳	85	65.9	28.2	0.0	0.0	8.2	8.2	8.2	0.0	5.9	8.2	8.2	23.5	1.2	1.2
45歳～49歳	132	72.7	34.8	3.0	0.0	13.6	14.4	8.3	1.5	5.3	0.8	5.3	15.2	1.5	0.8
50歳～54歳	130	65.4	39.2	0.0	0.0	16.9	18.5	10.0	3.1	6.9	3.8	10.0	9.2	2.3	1.5
55歳～59歳	82	62.2	32.9	1.2	0.0	18.3	18.3	17.1	1.2	9.8	4.9	12.2	8.5	2.4	7.3
60歳～64歳	103	68.0	25.2	1.0	0.0	17.5	19.4	13.6	0.0	8.7	4.9	1.9	14.6	0.0	0.0

性別にみると、男女ともに「家族や親族など」が最も多く、全ての相談先で女性が男性より多くなっています。

年齢別にみると、全ての年齢で「家族や親族など」が6割以上と多くなっています。「特に不安や悩みがない」は40歳～44歳で23.5%となっています。

21 成年後見制度の認知状況

問21 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(○は1つ)

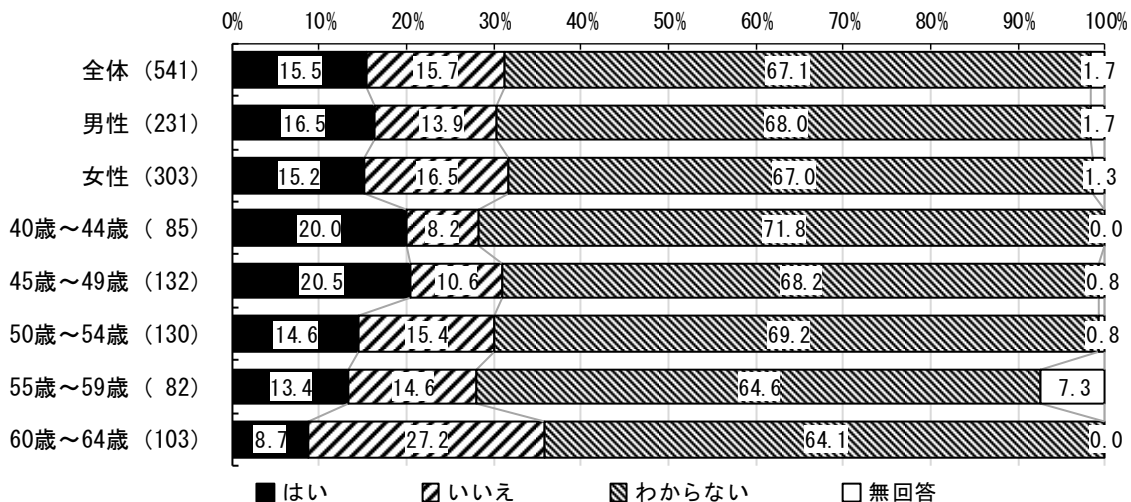


成年後見制度の認知状況についてみると、「知っていた」(48.4%)と「内容はわからないが聞いたことはあった」(24.2%)をあわせた『成年後見制度の認知あり』は約7割となっています。一方、「知らなかった」は25.7%となっています。

性別にみると、『成年後見制度の認知あり』は、女性が77.2%で男性(66.6%)より多くなっています。年齢別にみると、「知っていた」は50歳～54歳と60歳～64歳で5割以上となっています。

22 成年後見制度の利用意向

問22 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)



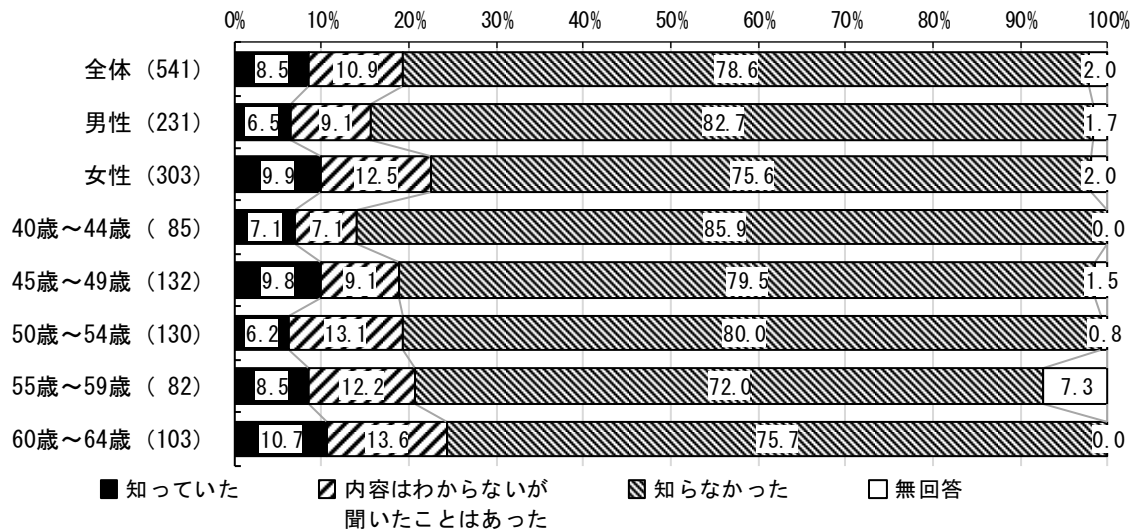
成年後見制度の利用意向についてみると、「はい」(15.5%)と「いいえ」(15.7%)がほぼ同じ割合となっています。また、「わからない」は67.1%となっています。

性別にみると、男女で大きな差はみられません。

年齢別にみると、「はい」は49歳以下の年齢で2割台と多くなっています。

23 市民後見人の認知状況

問23 このアンケート前から市民後見人を知っていましたか。(○は1つ)



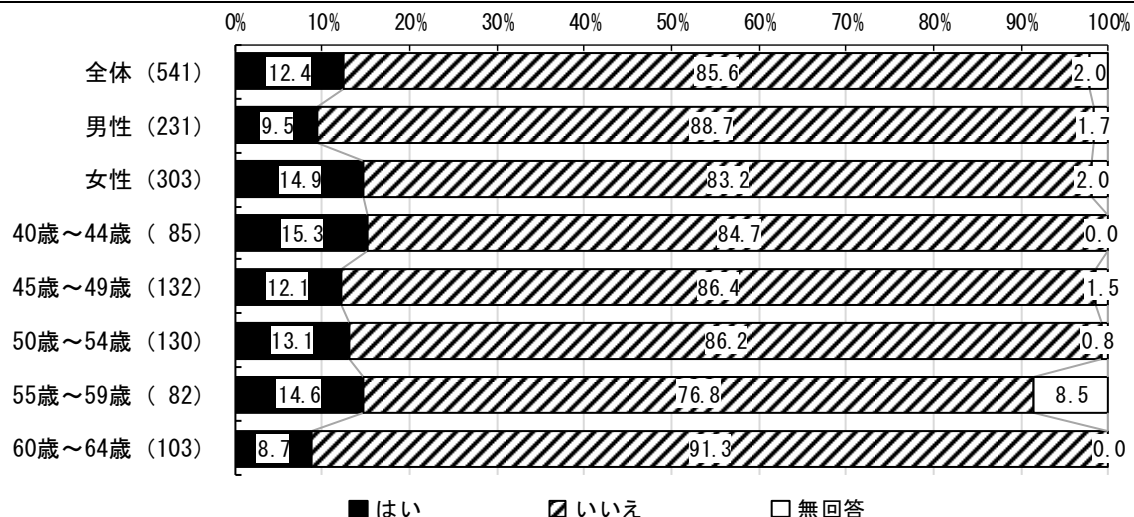
市民後見人の認知状況についてみると、「知っていた」(8.5%)と「内容はわからないが聞いたことはあった」(10.9%)をあわせた『市民後見人の認知あり』は約2割となっています。一方、「知らなかった」は78.6%となっています。

性別にみると、『市民後見人の認知あり』は女性が22.4%で男性(15.6%)より多くなっています。

年齢別にみると、『市民後見人の認知あり』は60歳～64歳が24.3%で最も多く、年齢が上がるほど多くなっています。

24 市民後見人の講座の受講意向

問24 市民後見人の講座を受講したいと思いますか。(○は1つ)



市民後見人の講座を受講したいと思うかは、「はい」が12.4%で、「いいえ」(85.6%)を大きく下回っています。

性別にみると、「はい」は女性が14.9%で男性(9.5%)より多くなっています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で1割前後にとどまっています。

25 自由回答

問25 ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は42件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	15
医療	2
情報提供	4
経済的な不安	2
その他	12
お礼など	7
合計	42

<回答結果> ※一部を抜粋、要約しています。

○現在、母と私の2人暮らしです。最近母の認知症が進んでいるように思えます。私は普段は正社員として働いているので、母が一人で家にいることが多いです。まだデイサービスに通うほどでもないと思うのですが、母のように介護認定を受けるほどでもない老人が通えるような所はないでしょうか。そういった場所を増やしてほしい。

○現在、親の介護をしていますが、デイサービスのみの使用です。息抜きのための外泊に、ショートステイを使用した事もありますが、介護保険外になるため少し補助があると、助かります。

○鎌ヶ谷市は道路事情が良くないと思います。高齢者のためにも、市バスを運行させたり、歩道を広くしたりする必要があると思います。特に初富辺りは歩道が狭いため歩きにくく、車もよく通るので、事故にならないかと不安になります。

○介護の手続きや必要な情報が一ヶ所で済んだり、得られたりできるとよい。困ったら、ここに行けば全て相談できるようなところを周知して欲しい。又仕事をしていても相談できるよう、休日や夜間にもそのような窓口を利用できるとよい。

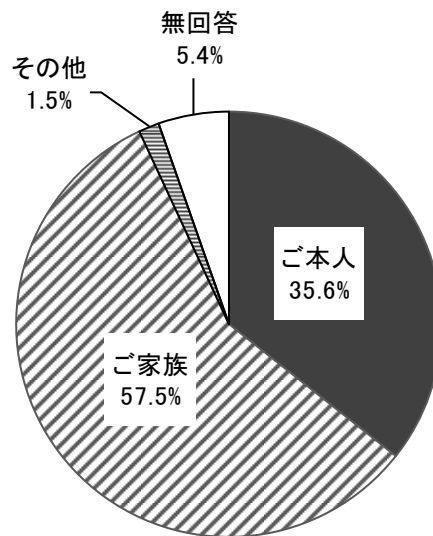
○現在介護は必要ありませんが、介護に関する情報は誰もがきちんと入手できるようにして欲しいと思います（以前介護が必要な家族がいた際、新しい制度や介護保険サービスで使うことができる内容の情報がなく、入手するまで利用ができなかったため）。今情報が必要な方でも知らない方もいると思います。必要な人に必要な情報が届く仕組みを構築してほしいと思います。

第4章 在宅サービス利用者調査結果

1 調査票の記入者

問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(〇は1つ)

n=651 人

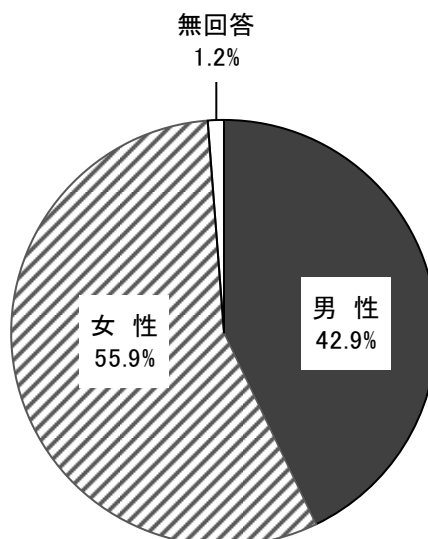


調査票の記入者についてみると、「ご家族」が57.5%で半数以上を占めており、「ご本人」は35.6%となっています。

2 性別

問2 あなたの性別は。(〇は1つ)

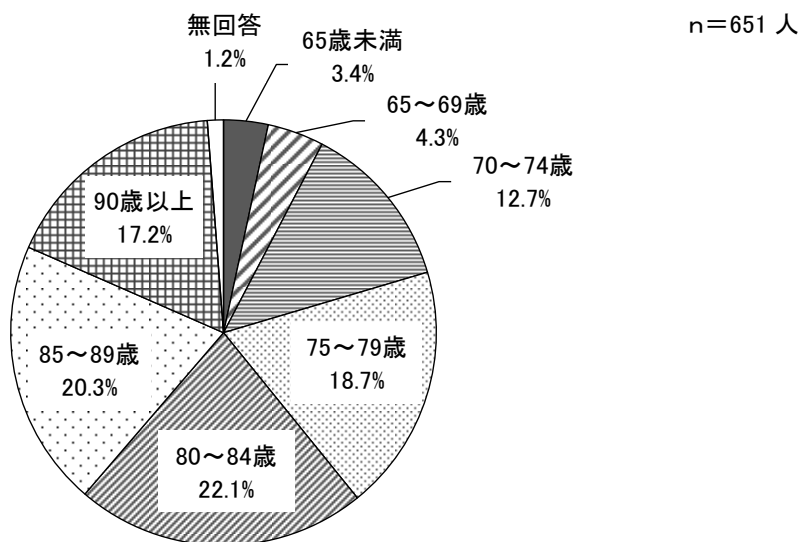
n=651 人



調査対象者の性別についてみると、「男性」が42.9%、「女性」が55.9%となっています。

3 年齢

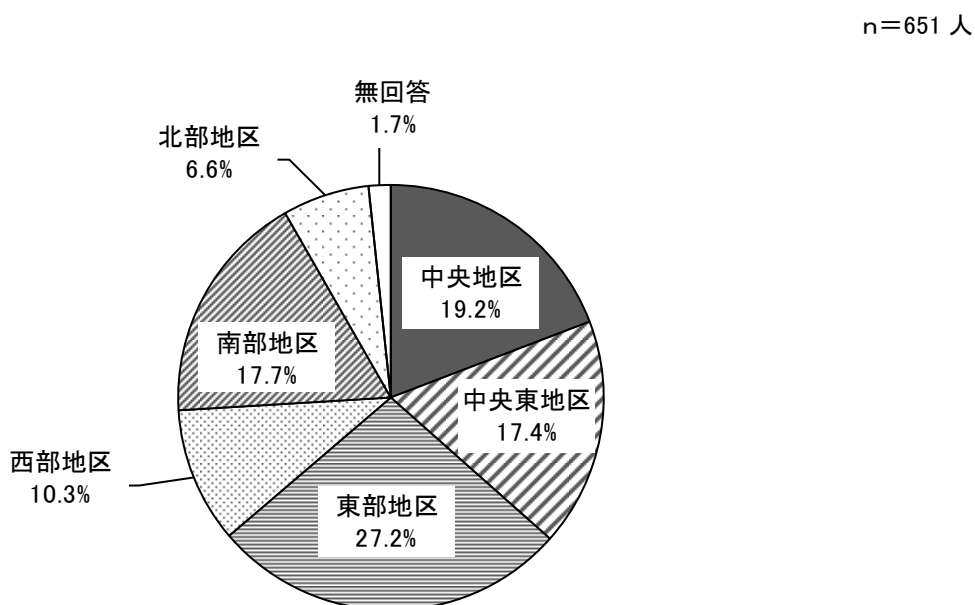
問3 あなたの年齢は(令和2年1月1日現在)。(○は1つ)



調査対象者の年齢についてみると、「80~84歳」が22.1%で最も多く、また『75歳以上の後期高齢者』が7割以上を占めています。

4 居住地区

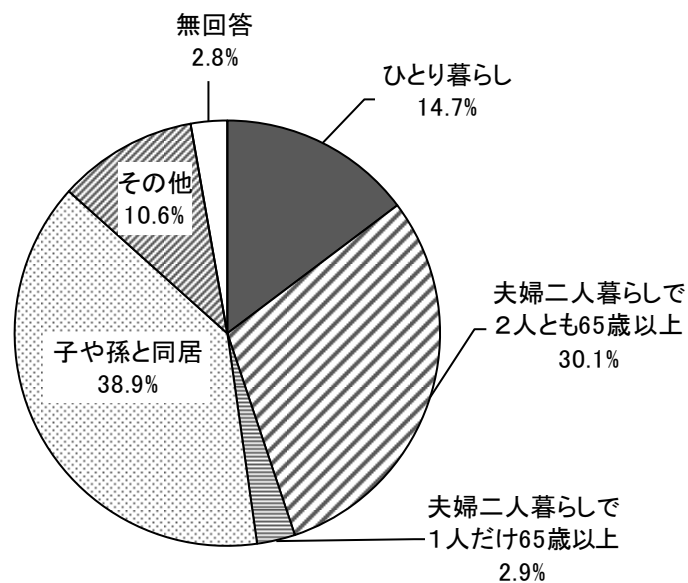
問4 あなたのお住いの地区は。(○は1つ)



調査対象者の居住地区についてみると、「東部地区」が27.2%で最も多く、「中央地区」「中央東地区」「南部地区」「西部地区」は1割台、「北部地区」は1割未満となっています。

5 家族の状況

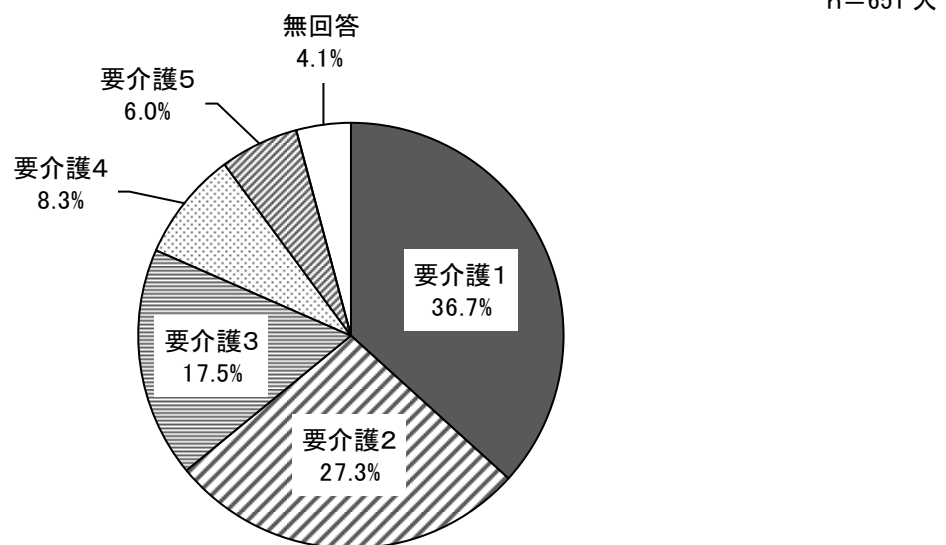
問5 あなたと同居されているご家族は。(〇は1つ)



調査対象者と同居している家族についてみると、「子や孫と同居」が 38.9%で最も多く、次いで「夫婦二人暮らしで2人とも65歳以上」が 30.1%となっています。

6 要介護度

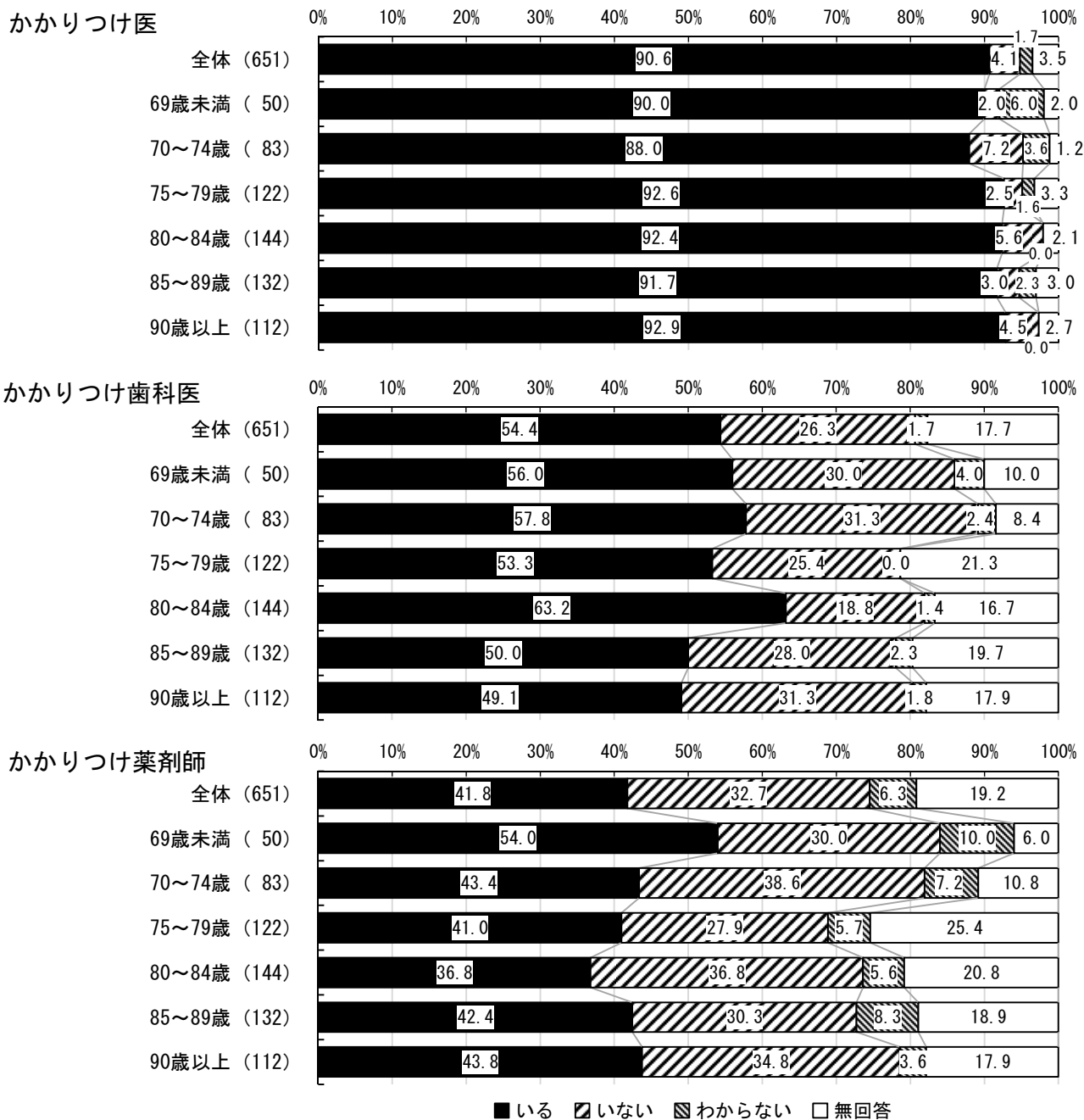
問6 現在の要介護度を教えてください。(〇は1つ)



調査対象者の要介護度についてみると、「要介護1」が 36.7%で最も多く、次いで「要介護2」が 27.3%となっています。

7 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師

問7 あなたは、健康や病気のことを相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師」がいますか。(それぞれ1つに○)



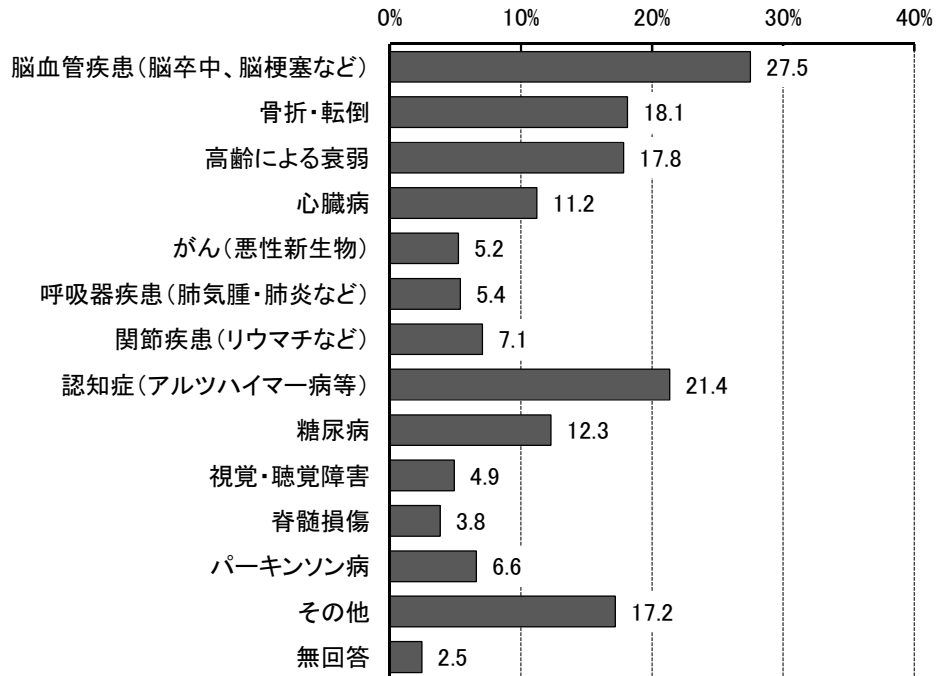
調査対象者の健康や病気のことを相談できるかかりつけ医が「いる」割合は、「かかりつけ医」が90.6%で最も多く、「かかりつけ歯科医」が54.4%、「かかりつけ薬剤師」が41.8%となっています。年齢別にみると、「かかりつけ医」は全ての年齢で「いる」が8割以上となっています。「かかりつけ歯科医」は80~84歳で「いる」が63.2%、「かかりつけ薬剤師」は69歳未満で「いる」が54.0%と多くなっています。

8 介護が必要になった原因

問8 介護が必要となった原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※複数の回答をされた方が多かった為、集計は複数回答扱いとしています。

n=651人



介護が必要になった原因についてみると、「脳血管疾患(脳卒中、脳梗塞など)」が27.5%で最も多く、次いで「認知症」が21.4%、「骨折・転倒」が18.1%、「高齢による衰弱」が17.8%などとなっています。

<性別・年齢別集計>

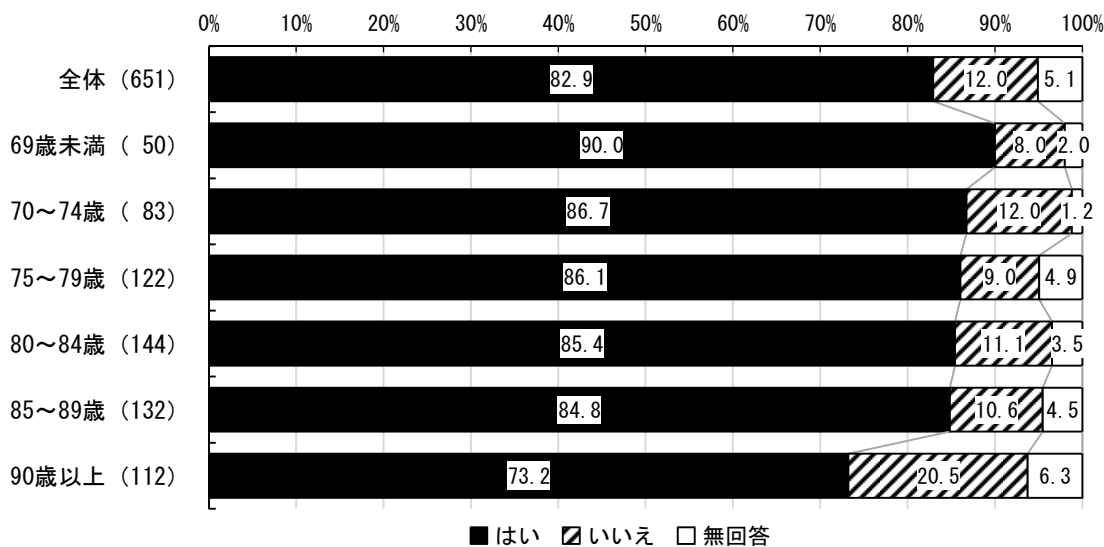
	調査数	中脳血管疾患(脳卒)	骨折・転倒	高齢による衰弱	心臓病	がん(悪性新生物)	腫呼吸器疾患(肺気)	チ関節疾患(リウマ)	イ認知症(アルツハ)	糖	視	脊	パ	そ	無
		血管疾患(脳卒)	骨折・転倒	高齢による衰弱	心臓病	がん(悪性新生物)	腫呼吸器疾患(肺気)	チ関節疾患(リウマ)	イ認知症(アルツハ)	糖	視	脊	パ	そ	無
【総数】	651	27.5	18.1	17.8	11.2	5.2	5.4	7.1	21.4	12.3	4.9	3.8	6.6	17.2	2.5
【性別】															
男性	279	37.3	12.5	12.2	10.4	6.5	7.9	3.6	19.4	14.0	4.3	4.3	7.2	16.1	1.1
女性	364	20.6	22.8	22.3	11.8	4.4	3.6	9.9	23.4	11.0	5.5	3.6	6.3	18.1	1.9
【年齢】															
69歳未満	50	50.0	16.0	8.0	4.0	10.0	2.0	2.0	14.0	14.0	4.0	4.0	4.0	24.0	0.0
70～74歳	83	44.6	12.0	3.6	8.4	6.0	2.4	2.4	12.0	8.4	1.2	4.8	12.0	18.1	1.2
75～79歳	122	37.7	9.8	2.5	12.3	4.1	6.6	8.2	22.1	13.9	0.0	7.4	9.8	15.6	2.5
80～84歳	144	19.4	22.2	14.6	10.4	5.6	4.9	8.3	25.0	14.6	5.6	2.1	8.3	20.8	1.4
85～89歳	132	18.2	22.0	22.7	15.2	5.3	7.6	10.6	26.5	11.4	8.3	4.5	4.5	15.9	1.5
90歳以上	112	16.1	24.1	48.2	11.6	3.6	6.3	6.3	21.4	10.7	8.9	0.9	0.9	13.4	1.8

性別にみると、男性は「脳血管疾患」が37.3%で最も多く、女性は「認知症」が23.4%で最も多くなっています。

年齢別にみると、「脳血管疾患」は69歳未満が50.0%で最も多く、年齢が上がるほど低くなっています。「認知症」は75歳以上の全ての年齢で2割以上となっています。

9 現在の通院の有無

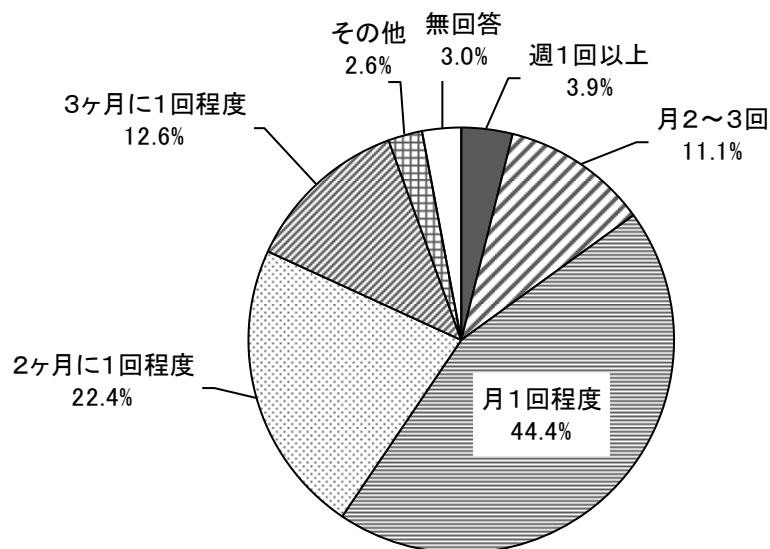
問9 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。(○は1つ)



現在の通院の有無についてみると、通院をしている「はい」が 82.9%で、「いいえ」(12.0%) を大きく上回っています。年齢別にみると、「はい」は 69 歳未満が 90.0%で最も高く、年齢が上がるほど低くなっています。

10 通院の頻度

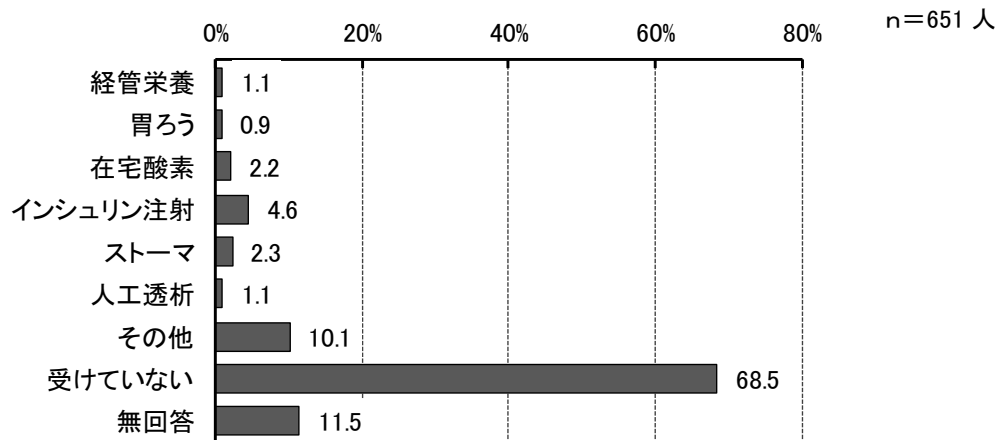
問10 (通院している方のみ)その頻度は次のどれですか。(○は1つ)



通院している方に、その頻度を聞いたところ、「月 1 回程度」が 44.4%で最も多くなっています。

11 医療処置

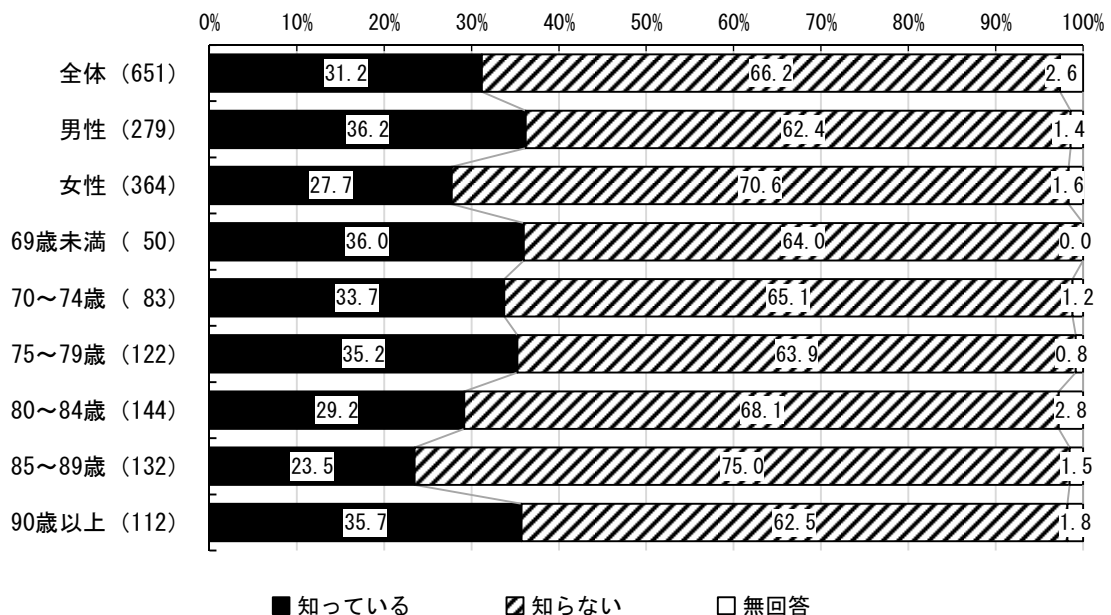
問11 あなたは、次のような医療処置を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)



現在受けている医療処置についてみると、「インシュリン注射」(4.6%)、「ストーマ」(2.3%)、「在宅酸素」(2.2%)などが挙げられています。一方、「受けていない」は68.5%となっています。

12 訪問診療ができる医療機関の認知度

問12 市内で訪問診療ができる医療機関を知っていますか。(○は1つ)

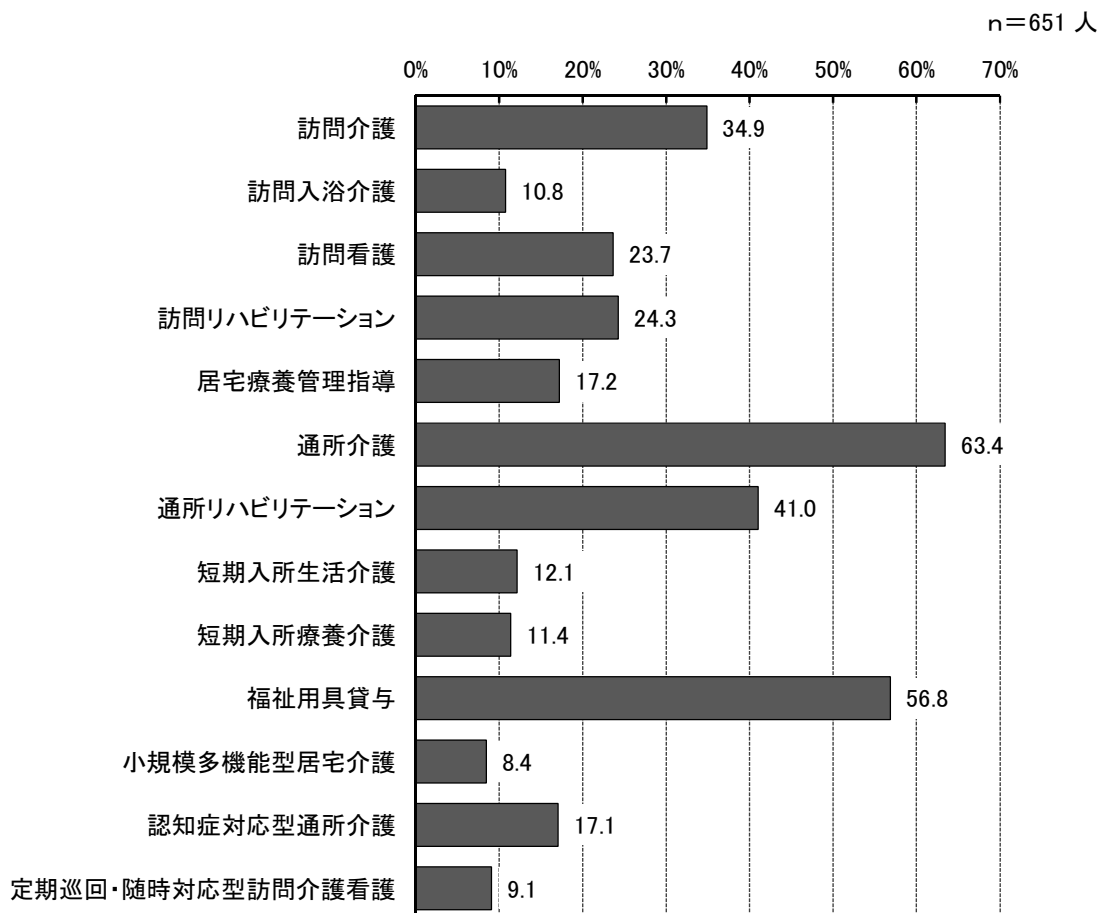


訪問診療ができる医療機関の認知度についてみると、「知っている」が31.2%で、「知らない」(66.2%)を大きく下回っています。性別にみると、「知っている」は男性が36.2%で女性(27.7%)より多くなっています。年齢別にみると、「知っている」は80歳代を除く年齢で3割以上となっています。

13 在宅サービスについて

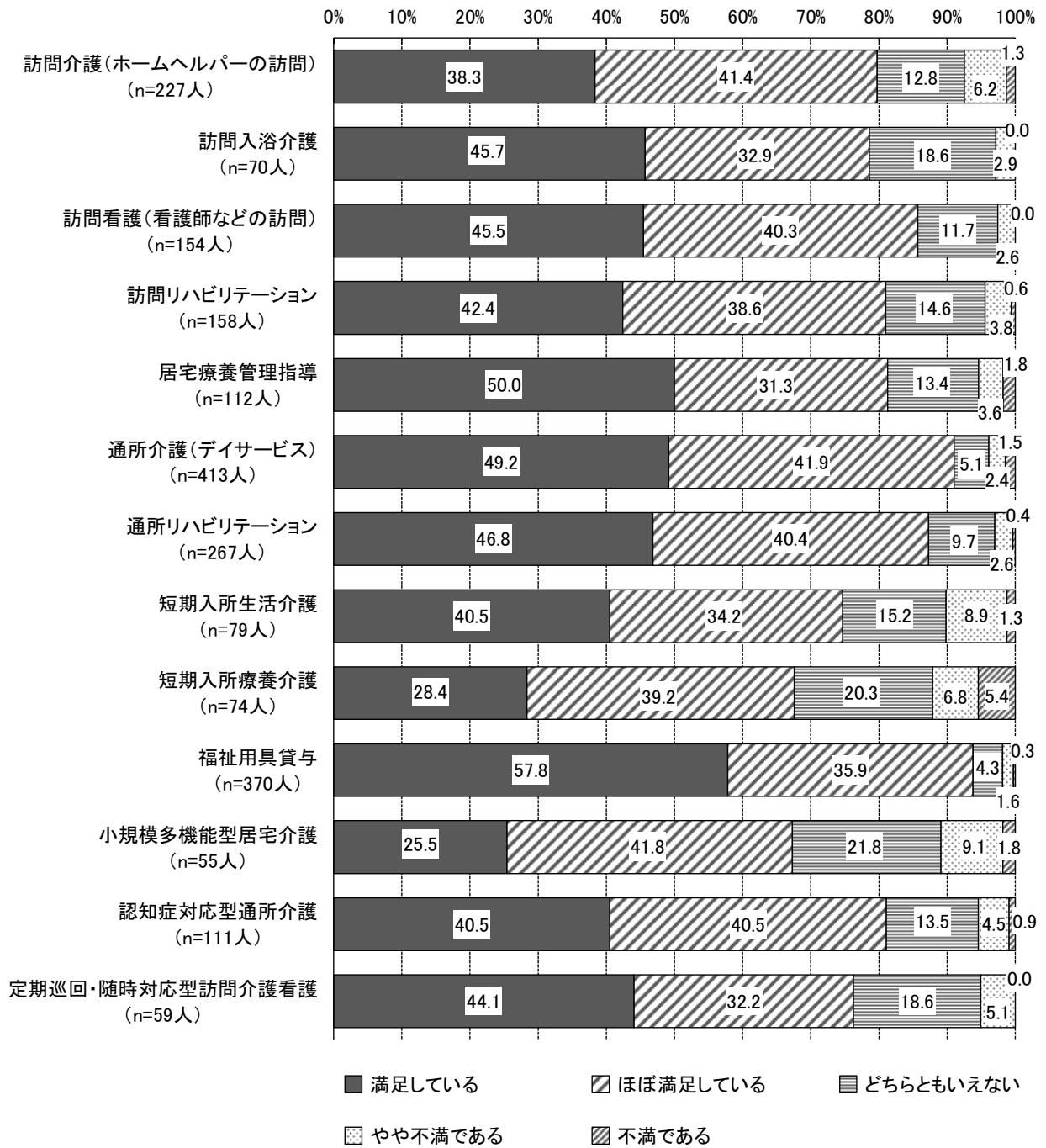
問13 介護保険の在宅サービスの利用状況についてお伺いします。あなたは、次のサービスを利用したことがありますか。また、サービス内容(サービスの質や量)や今後のサービス利用についてどうお考えですか。

■ 在宅サービスの利用状況



在宅サービスの利用状況についてみると、利用したことがあるサービスは「通所介護」が63.4%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が56.8%、「通所リハビリテーション」が41.0%、「訪問介護」が34.9%などとなっています。

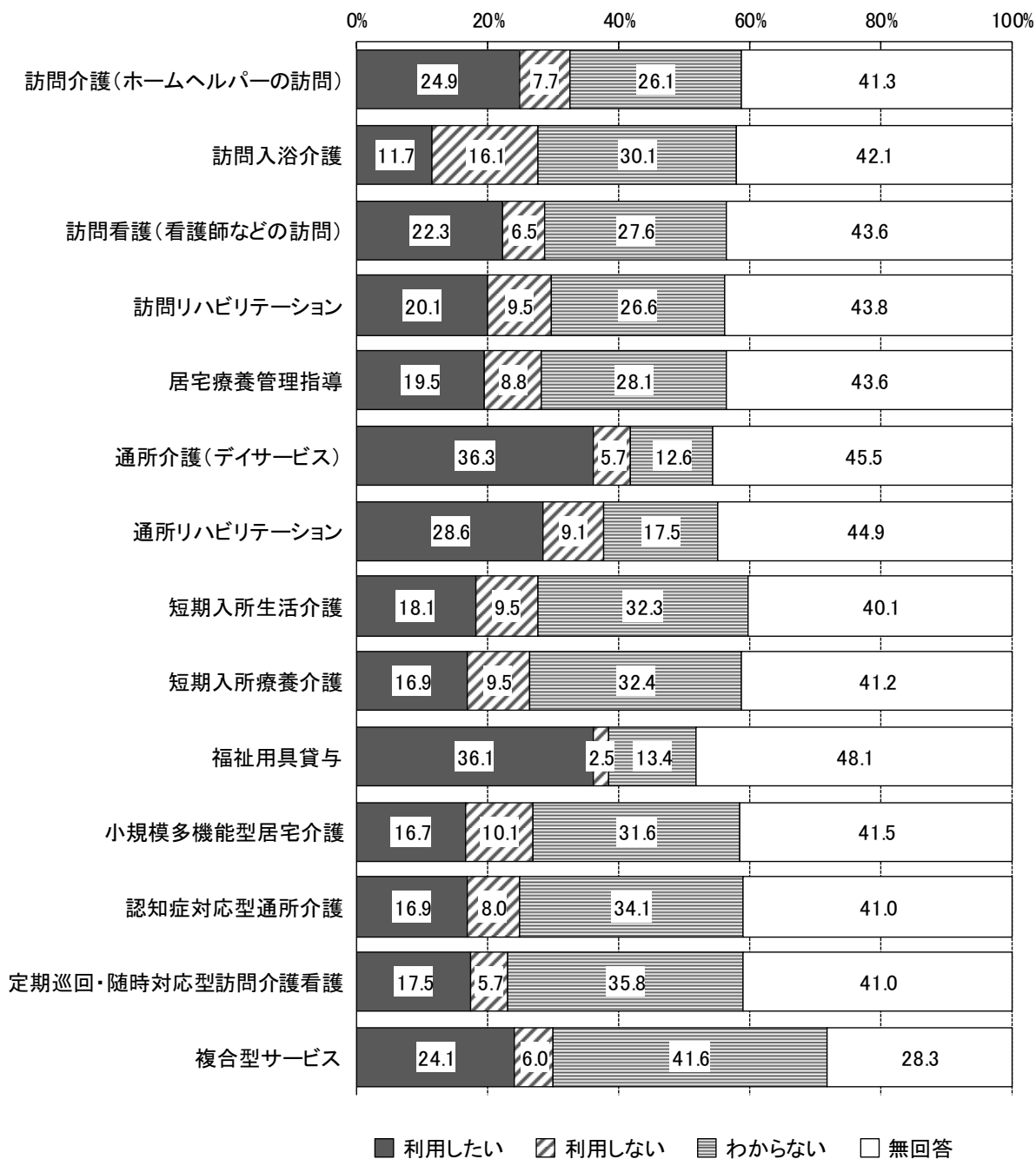
■ サービス内容に対する満足度



利用したことがある在宅サービスの内容に対する満足度についてみると、「福祉用具貸与」で「満足している」が57.8%で最も多くなっています。「満足している」と「ほぼ満足している」をあわせた『満足度の高い評価』は、「福祉用具貸与」と「通所介護(デイサービス)」で9割を超えています。その他のサービスでも、「短期入所療養介護」と「小規模多機能型居宅介護」をのぞき、『満足度の高い評価』が7割以上を占めています。

■ 今後の在宅サービス利用意向

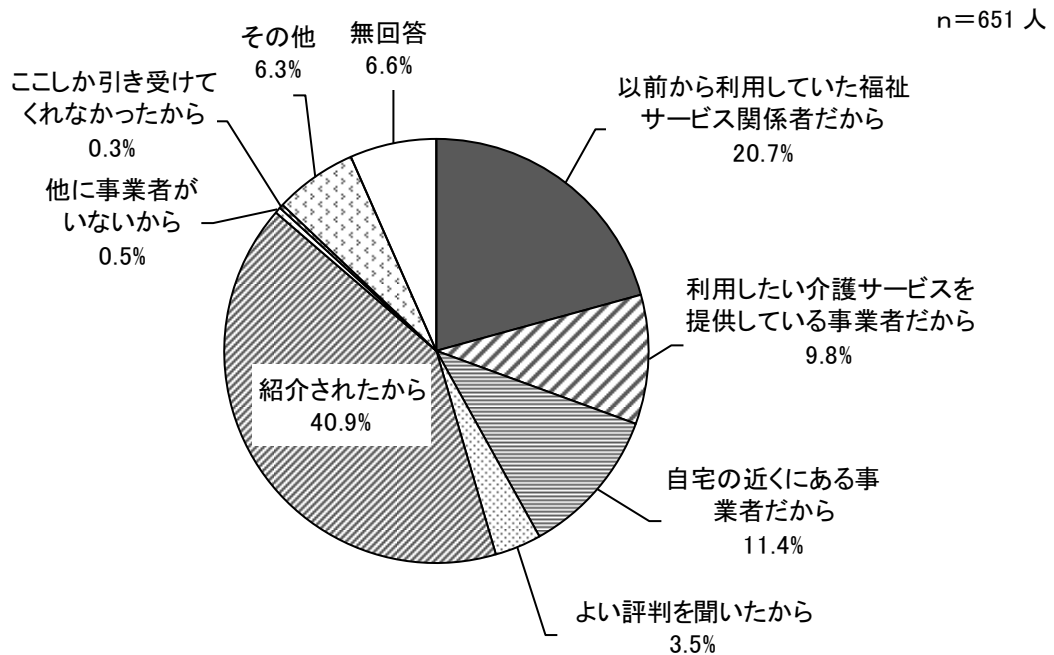
n=651人



今後の在宅サービス利用意向についてみると、「通所介護(デイサービス)」(36.3%)と「福祉用具貸与」(36.1%)で3割以上が利用したいと回答しています。そのほかにも「通所リハビリテーション」(28.6%)、「訪問介護(ホームヘルパーの訪問)」(24.9%)、「訪問看護(看護師などの訪問)」(22.3%)など、『利用したことがある』割合が多いサービスでの利用意向が高くなっています。

14 ケアマネジャーの選定理由

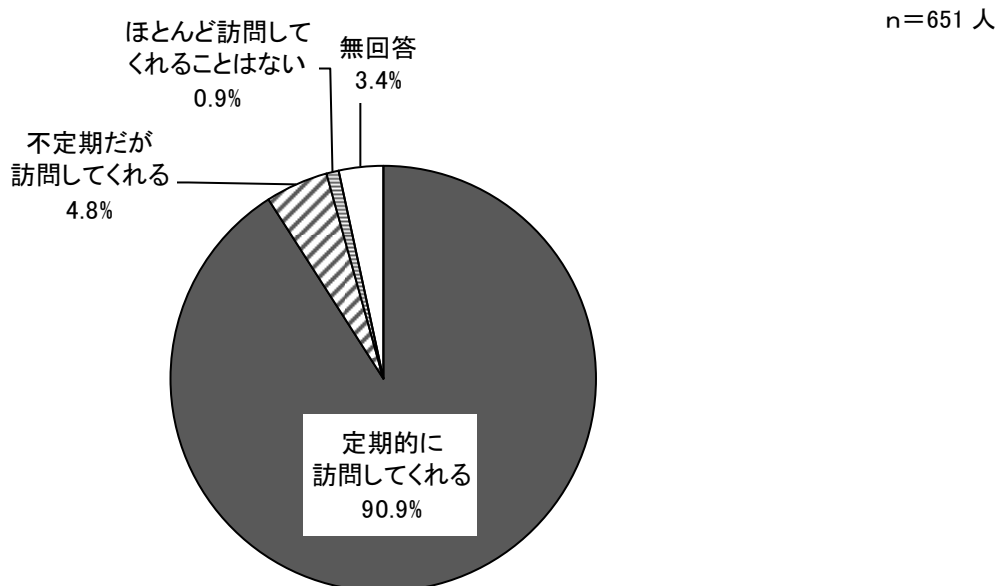
問14 ケアマネジャー(介護支援専門員)をどのような理由で選びましたか。(主な理由1つに○)



ケアマネジャーの選定理由についてみると、「紹介されたから」が 40.9%で最も多く、次いで「以前から利用していた福祉サービス関係者だから」が 20.7%となっています。

15 ケアマネジャーの訪問状況

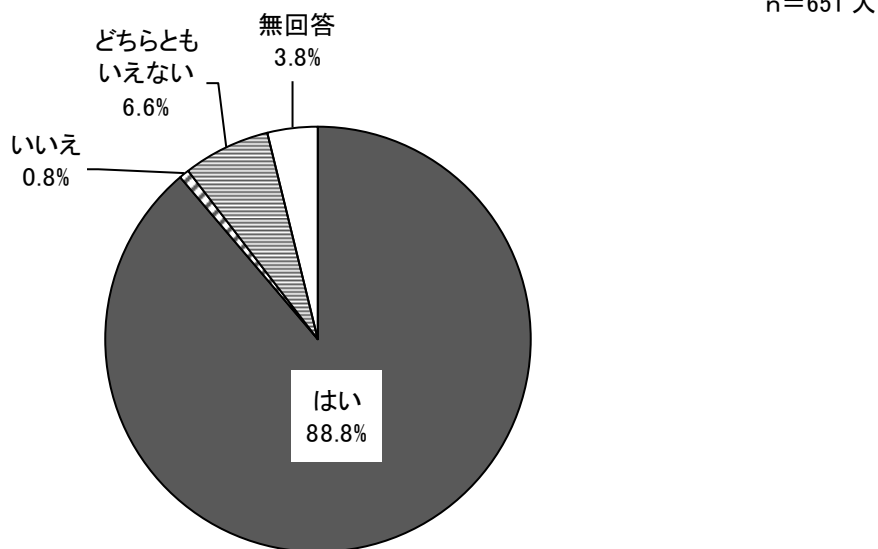
問15 ケアマネジャーは定期的に訪問してくれますか。(○は1つ)



ケアマネジャーの訪問状況についてみると、「定期的に訪問してくれる」が 90.9%で、9割台を占めています。

16 ケアプランへの意向の反映

問16 ケアマネジャーはケアプランを作成するにあたって、あなたの意向を十分に反映してくれていますか。(○は1つ)



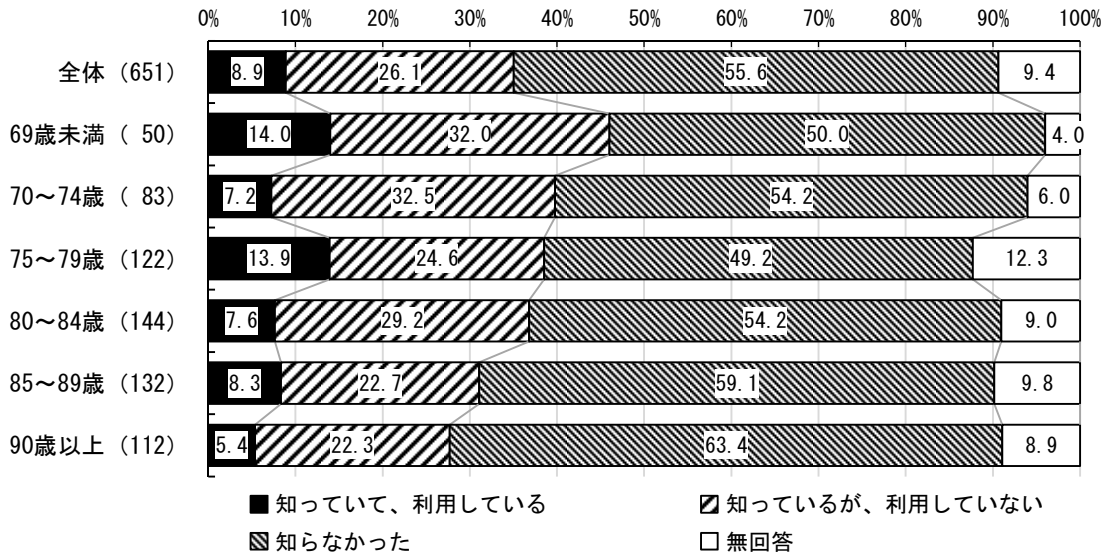
ケアプランへの意向の反映についてみると、ケアマネジャーが自分の意向を十分に反映してくれた「はい」が88.8%で、約9割を占めています。

17 市独自の在宅サービスについて

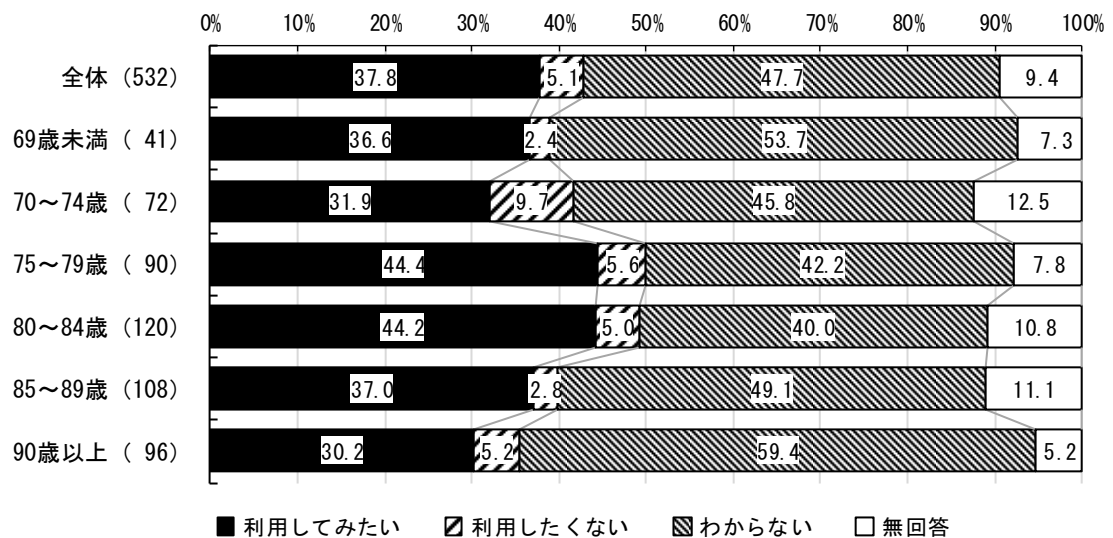
問17 鎌ヶ谷市では、介護保険制度にない市独自の在宅サービスとして、介助移送サービスと訪問理美容サービスを実施しています。このサービスについてお伺いします。

(1) 介助移送サービス

■ 認知・利用状況



■ 利用意向

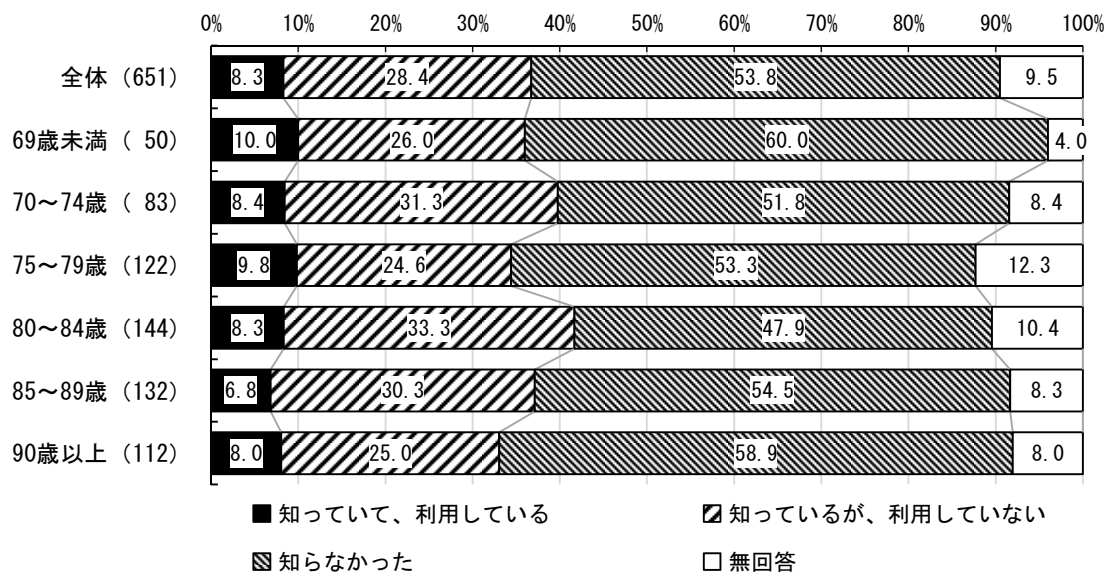


介助移送サービスの認知・利用状況、利用意向についてみると、「知っている、利用している」(8.9%)と「知っているが、利用していない」(26.1%)をあわせた『介助移送サービスを知っている』は3割台で、「知らなかった」(55.6%)を下回っています。また、利用したことがない人のうち、今後「利用してみたい」は37.8%となっています。

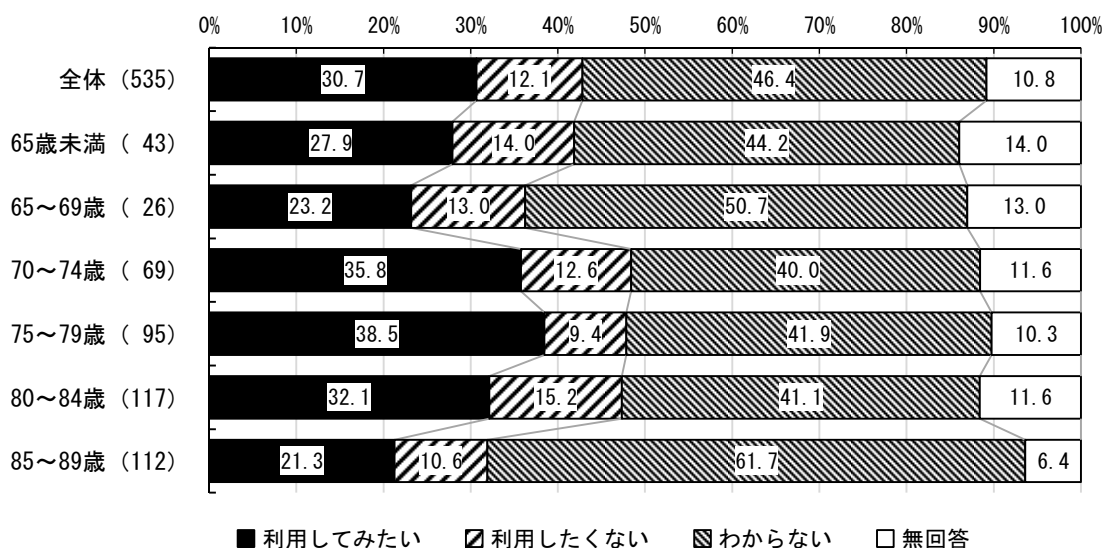
年齢別にみると、『介助移送サービスを知っている』は69歳未満で4割台となっており、年齢が上がるほど低くなっています。また、今後「利用してみたい」は75~84歳で4割台となっています。

(2) 訪問理美容サービス

■ 認知・利用状況



■ 利用意向



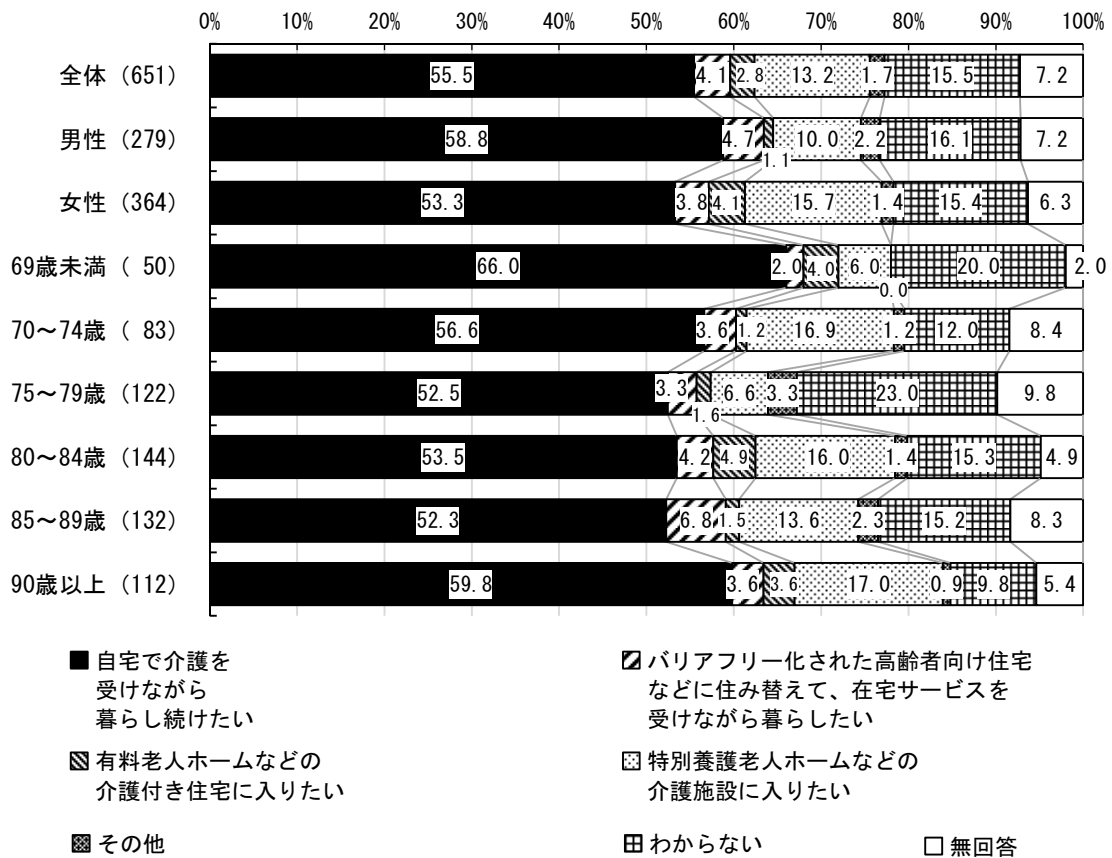
訪問理美容サービスの認知・利用状況、利用意向についてみると、「知っている、利用している」(8.3%)と「知っているが、利用していない」(28.4%)をあわせた『訪問理美容サービスを知っている』は3割台になるものの、「知らなかった」(53.8%)を下回っています。

また、利用したことがない人のうち、今後「利用してみたい」は30.7%で、「利用したくない」(12.1%)を上回っています。また、「わからない」は46.4%となっています。

年齢別にみると、『訪問理美容サービスを知っている』は80~84歳で4割台となっています。また、今後「利用してみたい」は70歳から84歳で3割台となっています。

18 今後希望する介護形態

問18 これから先、介護を受ける場所として、どのような場所を望まれますか。(○は1つ)



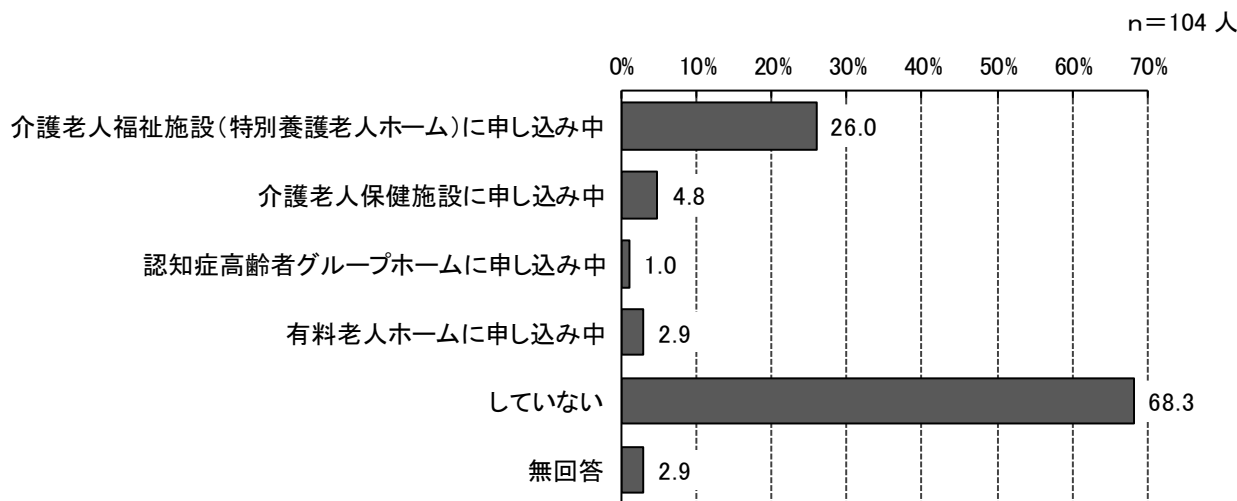
今後希望する介護形態についてみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が55.5%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」が13.2%となっています。

性別にみると、男女ともに「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が5割台となっています。

年齢別にみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」は69歳未満が66.0%で最も多く、全ての年齢で5割以上となっています。

■ 施設入所(居)を希望する人の申込み状況

付問18-1 問18で「3」、「4」を選んだ方にお伺いします。あなたは、介護保険施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設)またはその他の施設に入所(居)の申し込みをしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

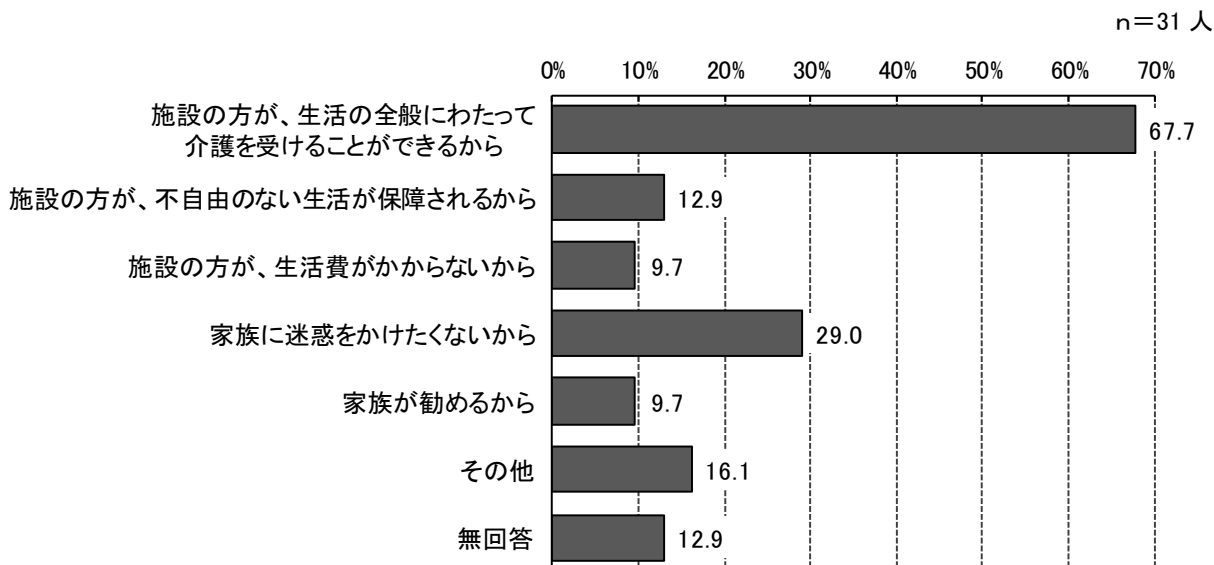


今後希望する介護形態で施設入所(居)を希望する方の、申込み状況についてみると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に申し込み中」が26.0%で多くなっています。

一方、申込みを「していない」は68.3%となっています。

■ 施設入所(居)を希望する理由

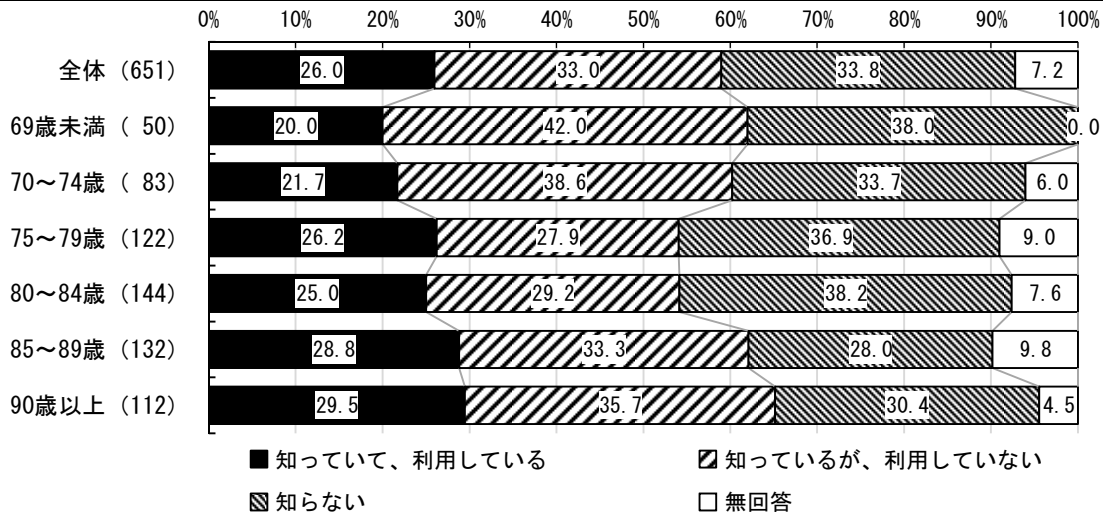
付問18-2 付問18-1で「1」から「4」までを選んだ方にお伺いします。入所(居)を希望した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



施設入所(居)の申込みをしている方に、その理由を聞いたところ、「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が67.7%で最も多く、次いで「家族に迷惑をかけたくないから」が29.0%などとなっています。

19 「地域包括支援センター」の認知・利用状況

問19 高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、利用されていますか。(〇は1つ)

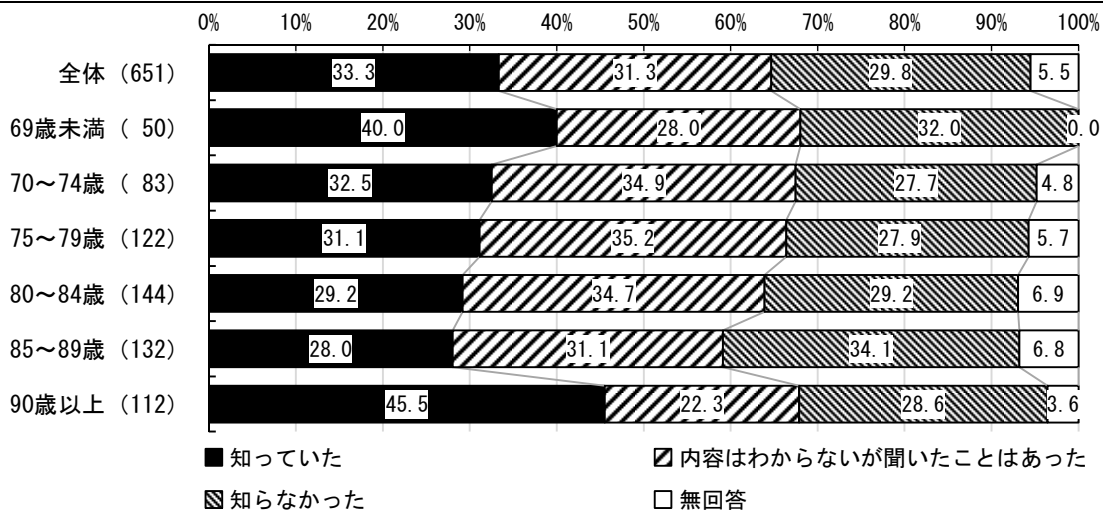


「地域包括支援センター」の認知・利用状況についてみると、「知っている、利用している」(26.0%)と「知っているが、利用していない」(33.0%)をあわせた『地域包括支援センターを知っている』は5割を超えています。一方、「知らない」は33.8%となっています。

年齢別にみると、「知っている、利用している」は全ての年齢で2割台となっています。

20 成年後見制度の認知状況

問20 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(〇は1つ)

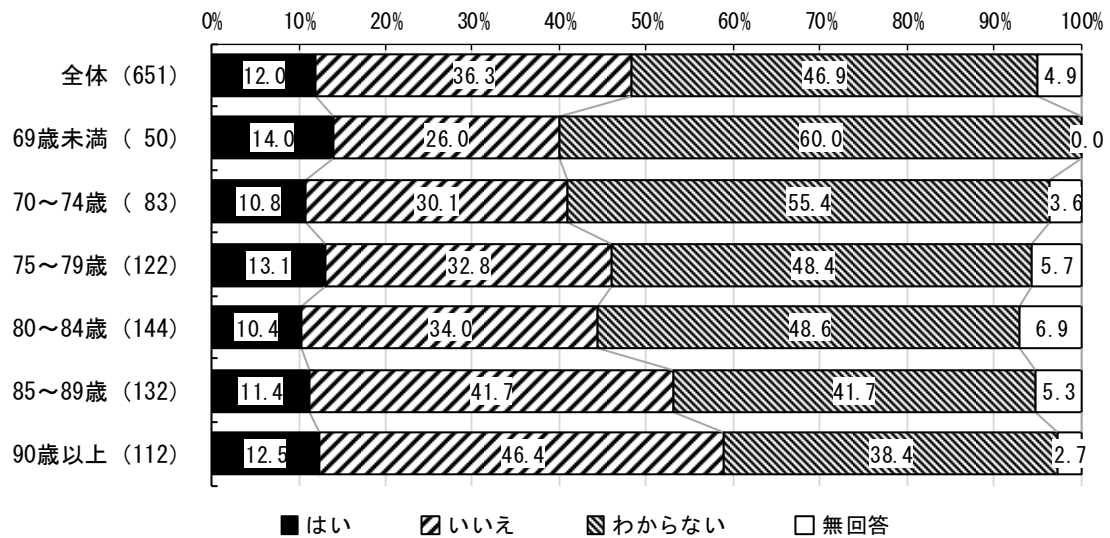


成年後見制度の認知状況についてみると、「知っていた」が33.3%で最も多く、「内容はわからないが聞いたことはあった」(31.3%)をあわせた『成年後見制度の認知あり』は6割台となっています。一方、「知らなかった」は29.8%となっています。

年齢別にみると、「知っていた」は90歳以上が45.5%で最も多くなっています。

21 成年後見制度の利用意向

問21 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)



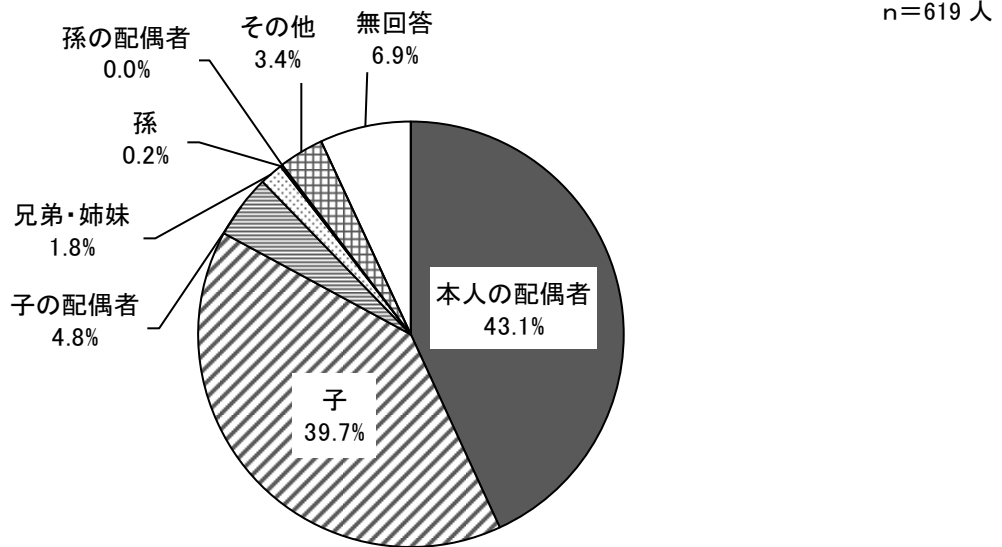
成年後見制度の利用意向についてみると、利用したいと思う「はい」は12.0%で、「いいえ」(36.3%)を下回っています。また、「わからない」は46.9%となっています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で1割台となっています。「いいえ」は90歳以上が46.4%で最も多く、年齢が上がるほど多くなっています。

主な介護者について

22 主な介護者の続柄

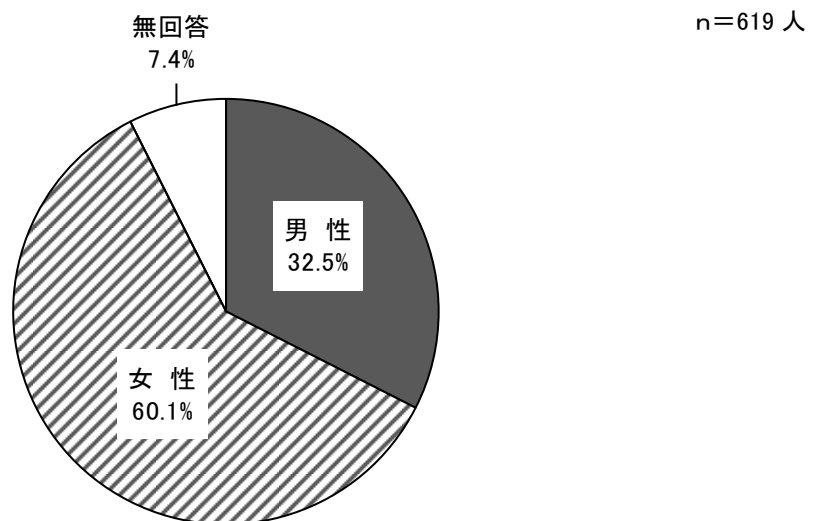
問22 介護者の続柄を教えてください(本人からみた続柄)。(〇は1つ)



調査対象者の主な介護者の続柄についてみると、「本人の配偶者」が 43.1%で最も多く、次いで「子」が 39.7%で、特に多くなっています。

23 主な介護者の性別

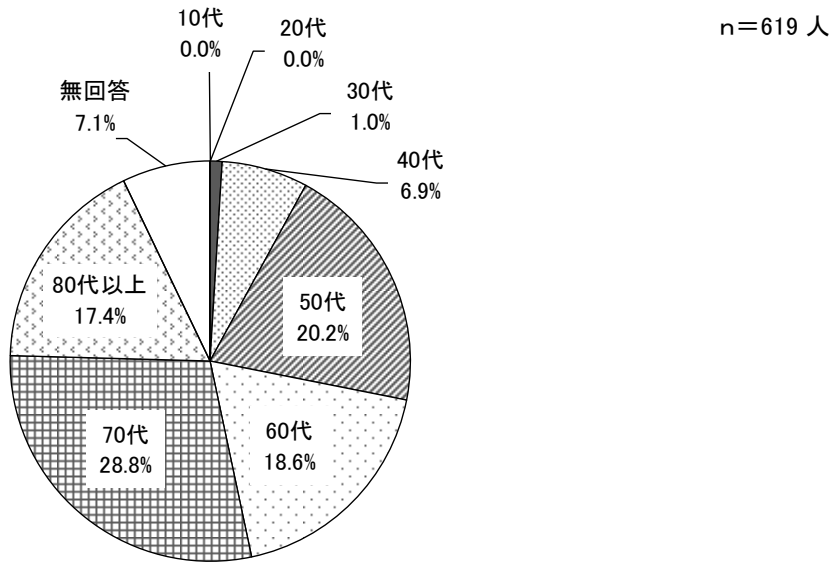
問23 介護者の性別を教えてください。(〇は1つ)



主な介護者の性別についてみると、「女性」が 60.1%で、「男性」(32.5%)を上回っています。

24 主な介護者の年齢

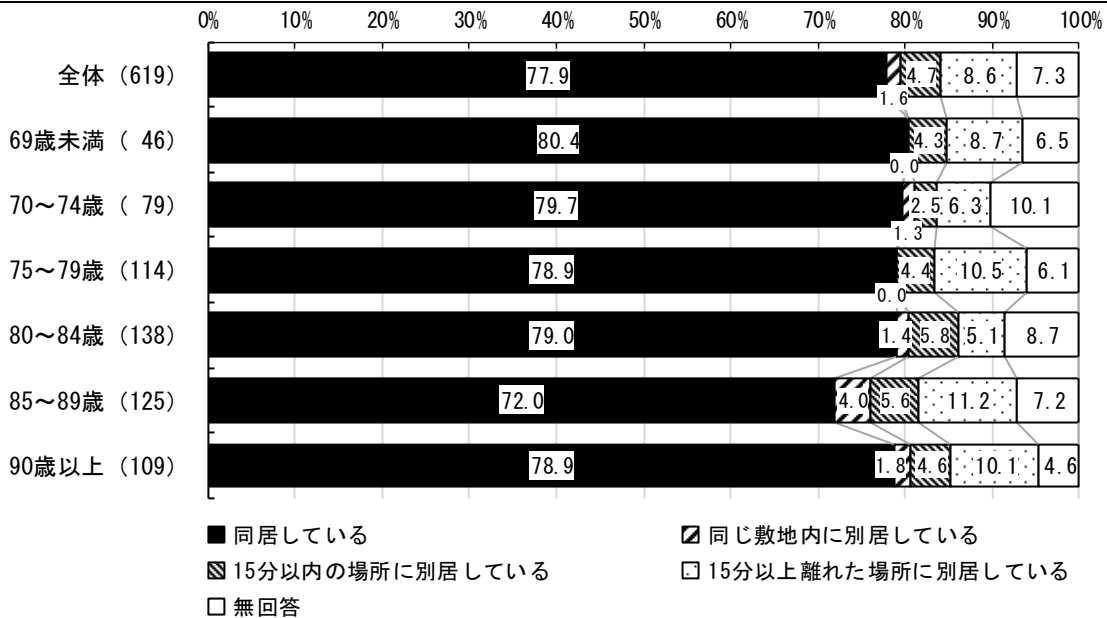
問24 介護者の年齢を教えてください(令和2年1月1日現在)。(○は1つ)



主な介護者の年齢についてみると、「70代」が28.8%で最も多く、次いで「50代」が20.2%、「60代」が18.6%となっています。また、『70代以上』の占める割合が全体の4割を超えています。

25 同居の状況

問25 介護者はご本人と同居していますか。(○は1つ)

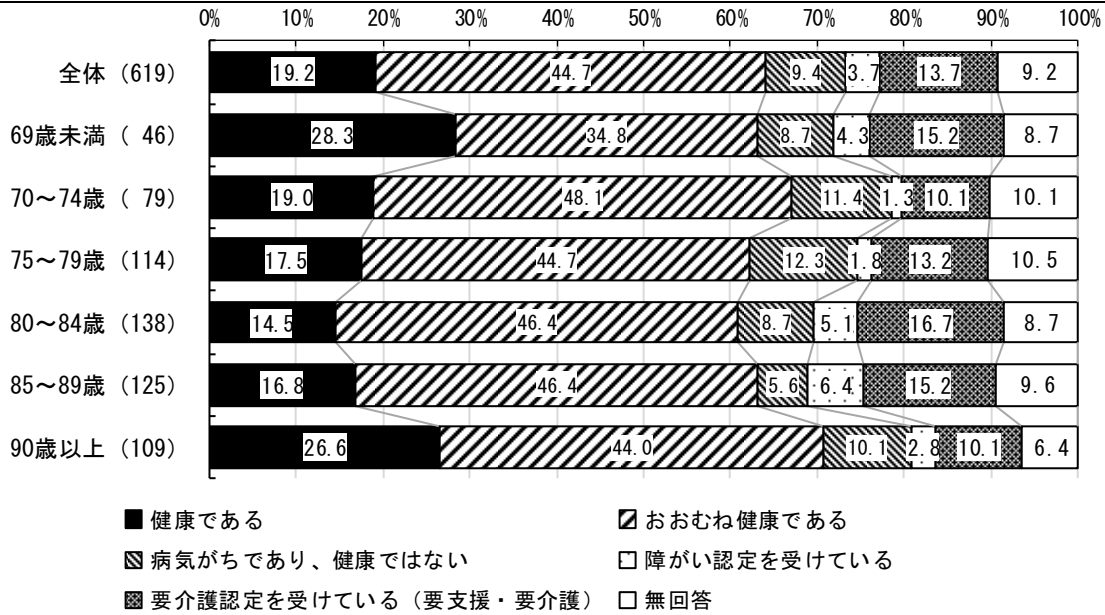


主な介護者の同居状況についてみると、「同居している」が77.9%で最も多くなっています。

年齢別にみると、「同居している」は全ての年齢で7割以上となっています。

26 主な介護者の健康状態

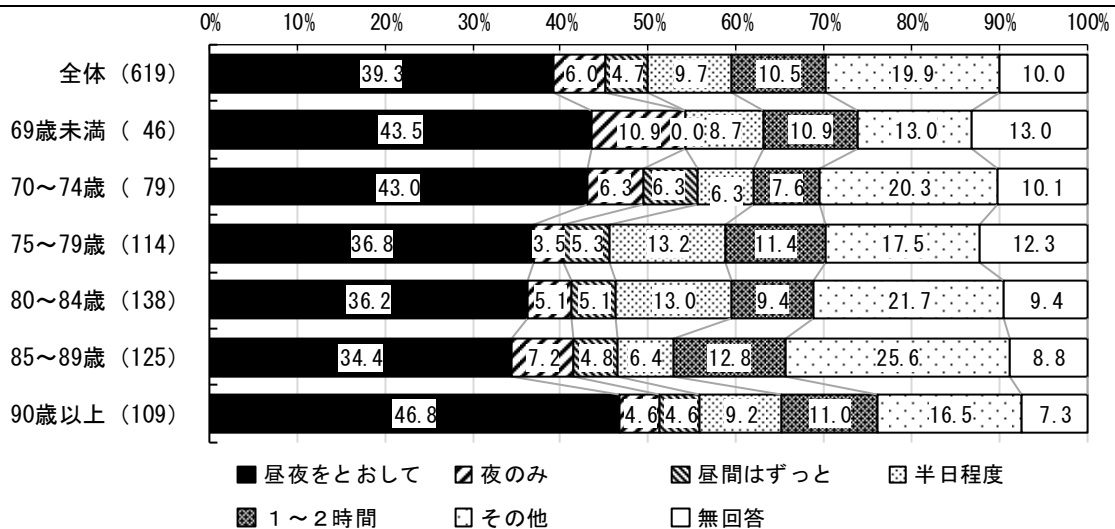
問26 介護者の健康状態について教えてください。(○は1つ)



主な介護者の健康状態についてみると、「おおむね健康である」が44.7%で最も多く、「健康である」(19.2%)をあわせた『健康』という回答は6割を超えています。一方、「要介護認定を受けている」が13.7%、「病気がちであり、健康ではない」が9.4%となっています。年齢別にみると、『健康』は全ての年齢で6割以上となっています。「要介護認定を受けている」は80～84歳が16.7%で最も多く、全ての年齢で1割台となっています。

27 介護している時間

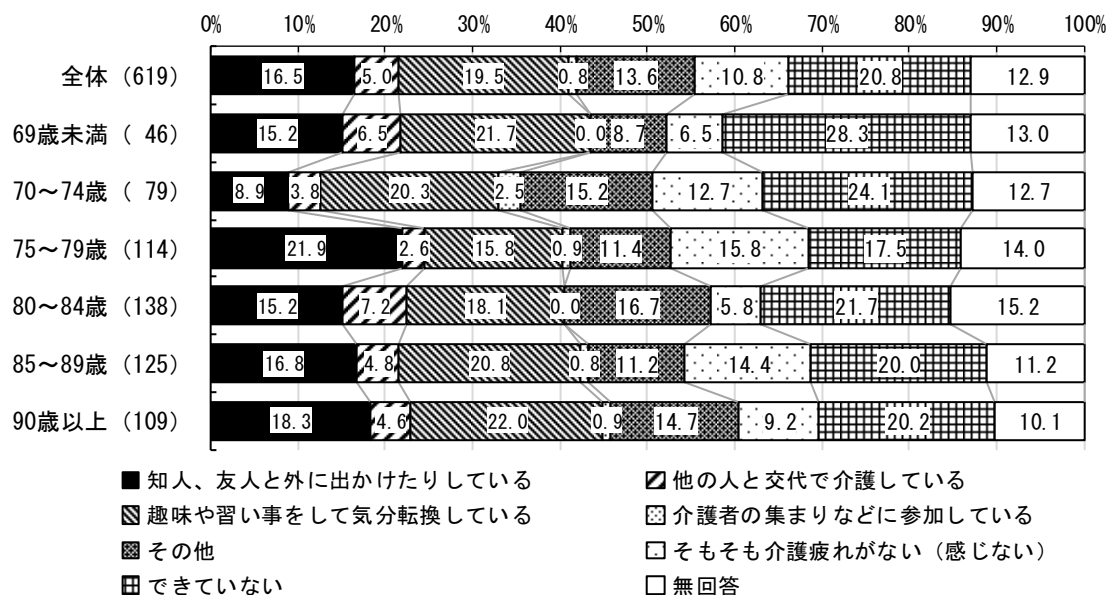
問27 介護者が介護している時間はどのくらいですか。(○は1つ)



介護している時間についてみると、「昼夜をとおして」が39.3%で最も多くなっています。年齢別にみると、「昼夜をとおして」は90歳以上が46.8%で最も多くなっています。

28 介護疲れの解消(軽減)方法

問28 あなたは、日頃、介護疲れをどのように解消(軽減)していますか。(○は1つ)

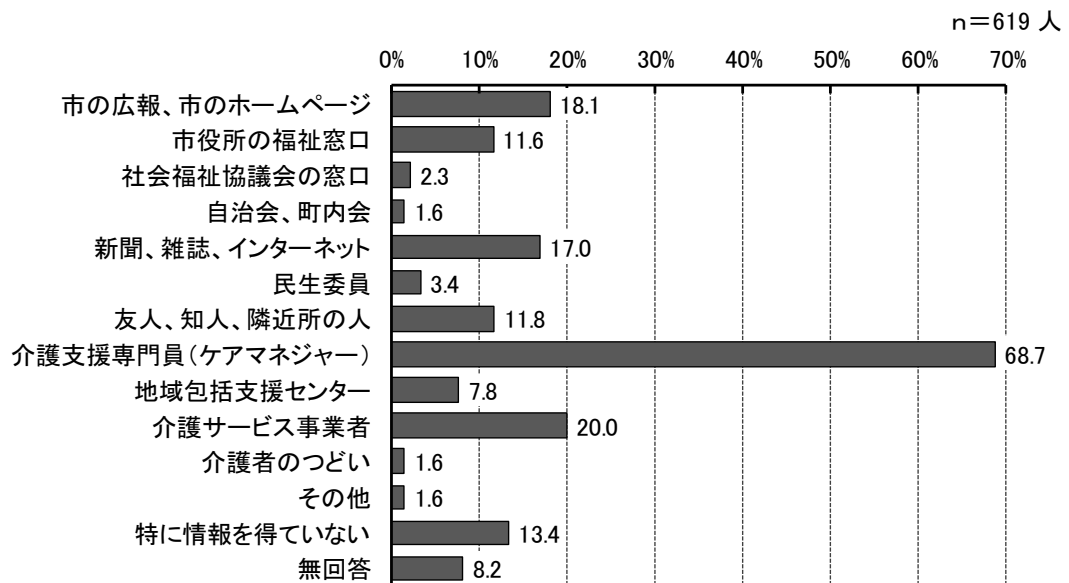


介護疲れの解消(軽減)方法についてみると、「趣味や習い事をして気分転換している」(19.5%)、「知人、友人と外に出かけたりしている」(16.5%)などが挙げられています。一方、「できていない」が20.8%となっています。

年齢別にみると、「趣味や習い事をして気分転換している」は69歳未満、70~74歳、85~89歳、90歳以上の年齢で2割台となっています。「知人、友人と外に出かけたりしている」は75~79歳が21.9%で最も多くなっています。「できていない」は69歳未満が最も多く、28.3%となっています。

29 介護に関する情報の入手先

問29 介護に関する情報は、どのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)



介護に関する情報の入手先についてみると、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が68.7%で最も多く、次いで「介護サービス事業者」が20.0%、「市の広報、市のホームページ」が18.1%、「新聞、雑誌、インターネット」が17.0%などとなっています。

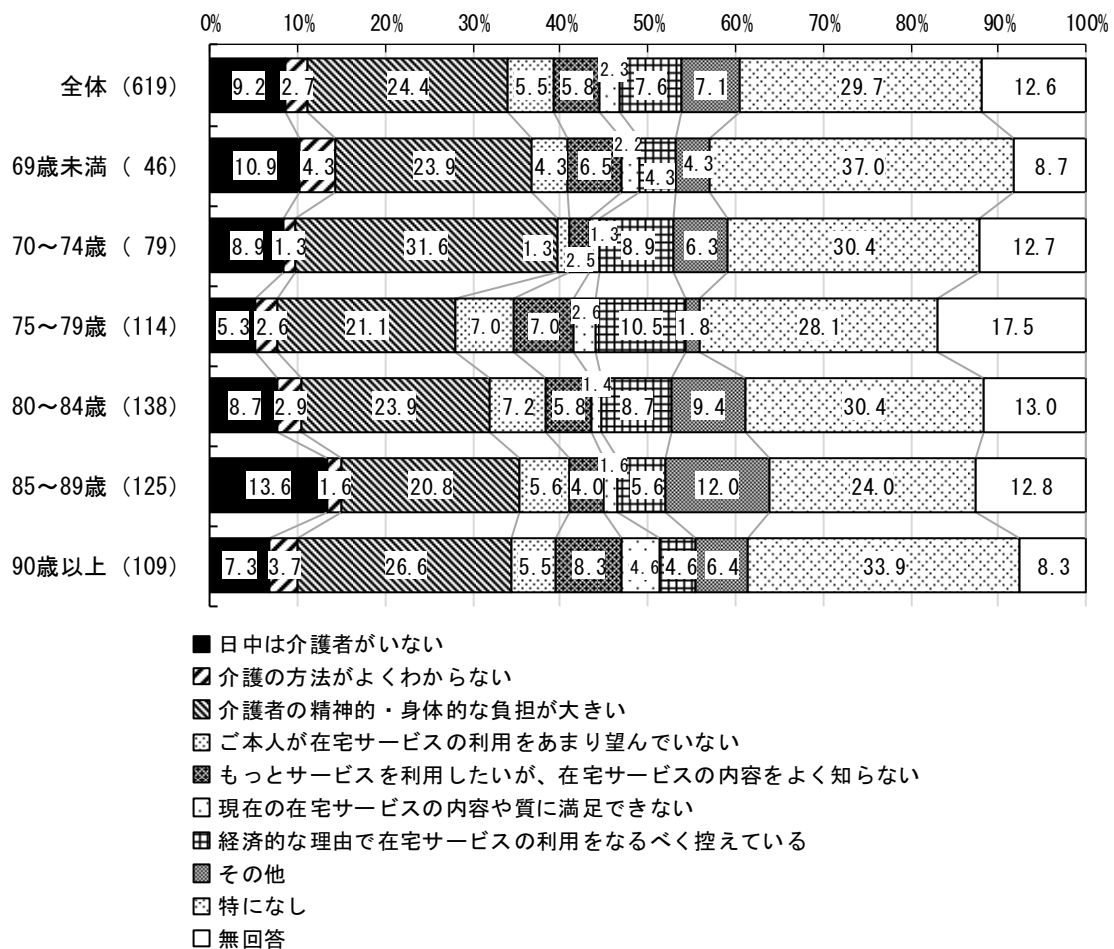
<年齢別集計>

	調査数	市の広報、市のホームページ	市役所の福祉窓口	社会福祉協議会の窓口	自治会、町内会	新聞、雑誌、インターネット	民生委員	友人、知人、隣近所の人	介護支援専門員(ケアマネジャー)	地域包括支援センター	介護サービス事業者	介護者のつどい	その他	特に情報を得ていない	無回答
【総数】	619	18.1	11.6	2.3	1.6	17.0	3.4	11.8	68.7	7.8	20.0	1.6	1.6	13.4	8.2
【年齢】															
69歳未満	46	17.4	19.6	2.2	0.0	13.0	2.2	4.3	69.6	8.7	21.7	0.0	0.0	13.0	4.3
70～74歳	79	15.2	11.4	2.5	0.0	16.5	3.8	5.1	63.3	5.1	17.7	2.5	2.5	17.7	11.4
75～79歳	114	17.5	11.4	1.8	1.8	13.2	0.9	10.5	64.9	12.3	18.4	3.5	0.0	20.2	9.6
80～84歳	138	15.9	14.5	2.2	1.4	21.0	2.9	14.5	67.4	5.8	23.9	0.7	2.2	8.7	10.9
85～89歳	125	18.4	7.2	1.6	2.4	19.2	4.0	13.6	68.0	5.6	18.4	0.8	4.0	10.4	7.2
90歳以上	109	23.9	11.0	3.7	1.8	14.7	5.5	15.6	78.0	9.2	20.2	1.8	0.0	13.8	3.7

年齢別にみると、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」は90歳以上が78.0%で最も多く、全ての年齢で6割以上となっています。「介護サービス事業者」は80～84歳が23.9%で最も多く、「市の広報、市のホームページ」は90歳以上が23.9%で最も多くなっています。

30 在宅介護での困りごと

問30 在宅での介護について、困っていることはありますか。(主なもの1つに○)

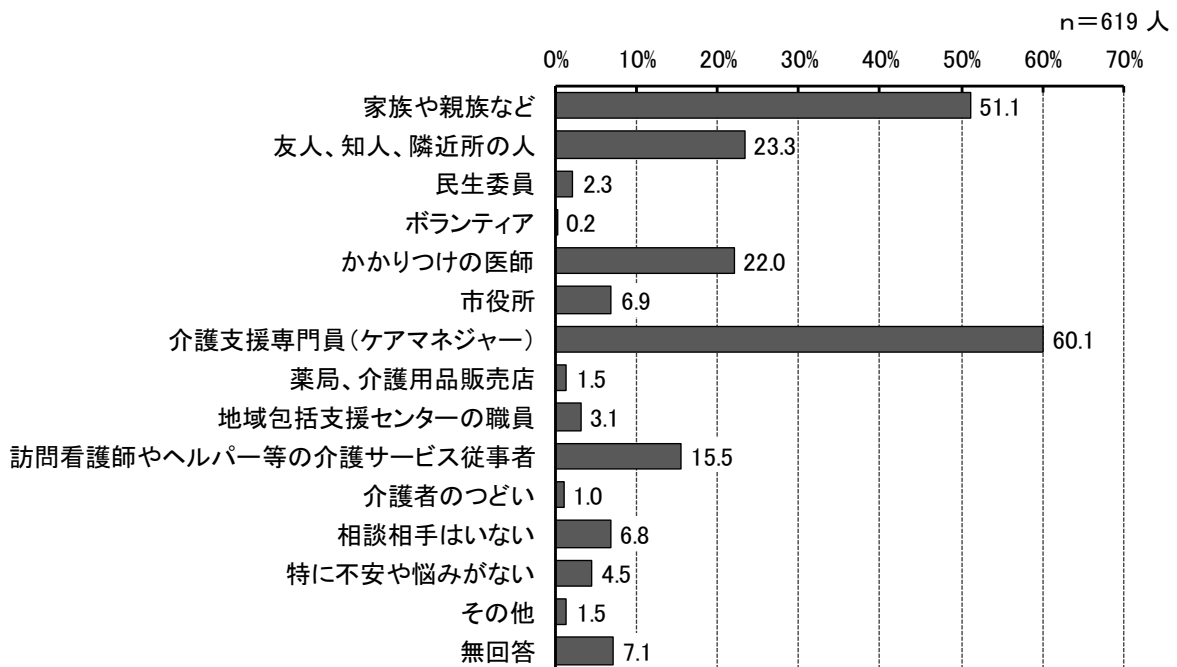


在宅介護での困りごとについてみると、「介護者の精神的・身体的な負担が大きい」が 24.4%で最も多く、次いで「日中は介護者がいない」が 9.2%となっています。一方、「特になし」は 29.7%となっています。

年齢別にみると、「介護者の精神的・身体的な負担が大きい」は 70~74 歳が 31.6%で最も多く、全ての年齢で2割以上となっています。「特になし」は 69 歳未満が 37.0%で最も多くなっています。

31 健康や介護に関する相談相手

問31 あなたは、健康や介護についての不安や悩みを誰に相談していますか。または相談しようと思
いますか。(あてはまるものすべてに○)



健康や介護に関する相談相手についてみると、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」が60.1%で最も多く、次いで「家族や親族など」が51.1%、「友人、知人、隣近所の人」が23.3%、「かかりつけの医師」が22.0%などとなっています。

<年齢別集計>

	調査数	家族や親族など	友人、知人、隣近所の人	民生委員	ボランティア	かかりつけの医師	市役所	介護支援専門員(ケアマネジャー)	薬局、介護用品販売店	地域包括支援センターの職員	訪問看護師やヘルパー等の介護サービス従事者	介護者のつどい	相談相手はいない	特に不安や悩みがない	その他	無回答
【総数】	619	51.1	23.3	2.3	0.2	22.0	6.9	60.1	1.5	3.1	15.5	1.0	6.8	4.5	1.5	7.1
【年齢】																
69歳未満	46	34.8	15.2	4.3	0.0	17.4	10.9	41.3	4.3	2.2	15.2	0.0	10.9	10.9	0.0	4.3
70～74歳	79	45.6	19.0	2.5	0.0	13.9	6.3	57.0	1.3	3.8	12.7	1.3	8.9	10.1	2.5	12.7
75～79歳	114	43.9	25.4	0.9	0.0	21.1	6.1	64.9	0.0	3.5	14.9	0.9	5.3	3.5	0.9	6.1
80～84歳	138	55.1	22.5	2.9	0.7	28.3	8.0	60.9	0.7	3.6	14.5	0.0	5.1	1.4	2.2	8.7
85～89歳	125	56.8	24.0	1.6	0.0	20.8	4.0	62.4	1.6	2.4	19.2	0.8	8.8	3.2	0.8	5.6
90歳以上	109	56.9	29.4	2.8	0.0	24.8	8.3	60.6	2.8	2.8	16.5	2.8	3.7	4.6	1.8	4.6

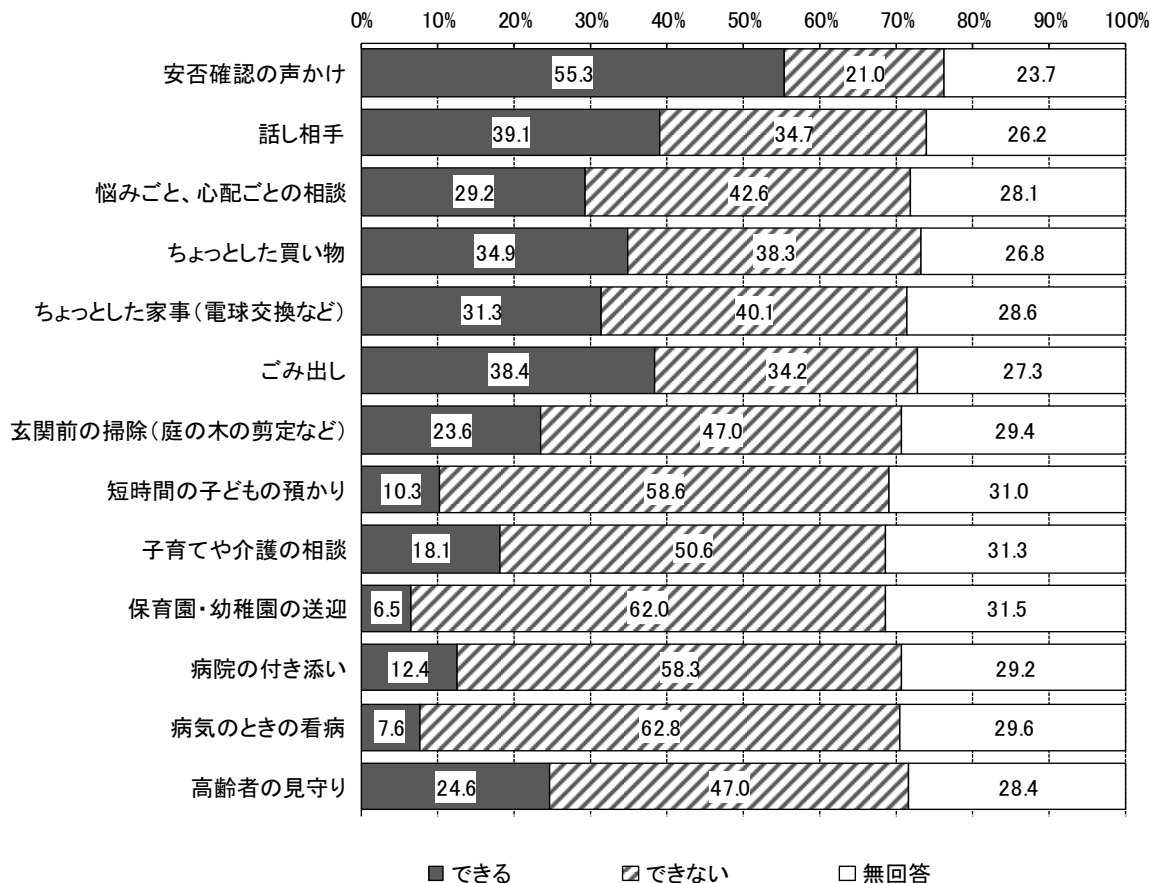
年齢別にみると、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」は75～79歳が64.9%で最も多く、75歳以上の年齢で6割台となっています。「家族や親族など」は80歳以上の年齢で5割台となっています。

32 隣近所の手助け

問32 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてもらいたいですか。各項目の「ア. 手助けできること」、「イ. 手助けして欲しいこと」それぞれにご回答ください。

■ ア. 手助けできること

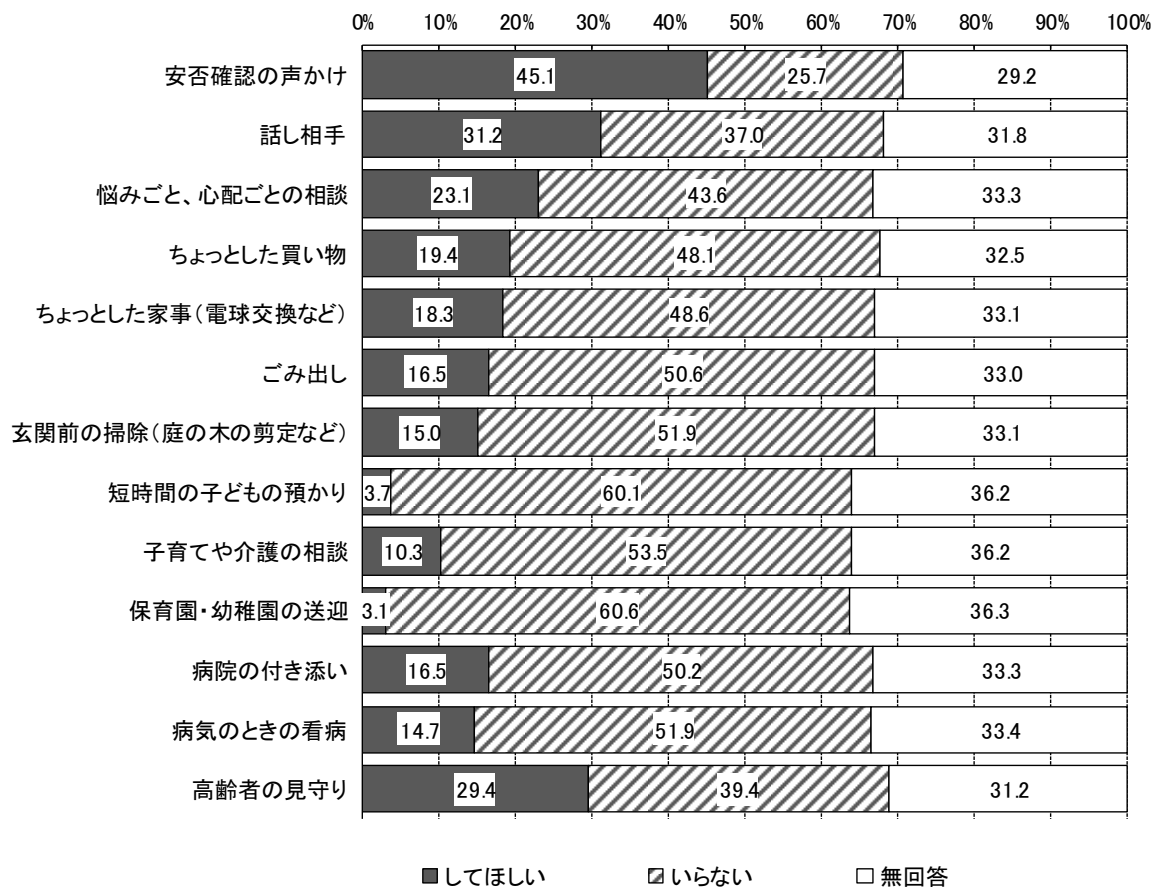
n=619 人



手助けできることについてみると、「できる」は「安否確認の声かけ」が 55.3% で最も多く、次いで「話し相手」(39.1%)、「ごみ出し」(38.4%) などとなっています。

■ イ. 手助けして欲しいこと

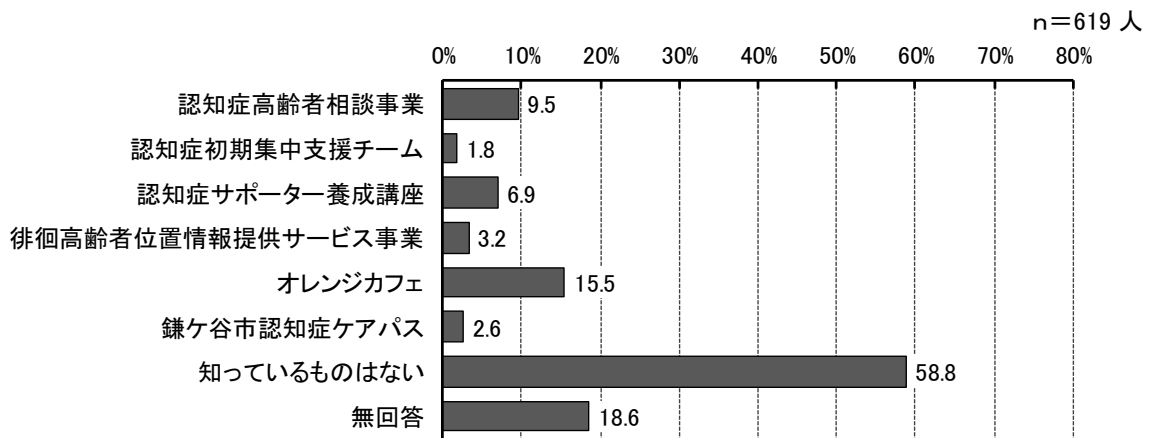
n=619人



手助けしてほしいことについてみると、「してほしい」は「安否確認の声かけ」が45.1%で最も多く、次いで「話し相手」(31.2%)、「高齢者の見守り」(29.4%)などとなっています。

33 認知症に関連する市の施策で知っているもの

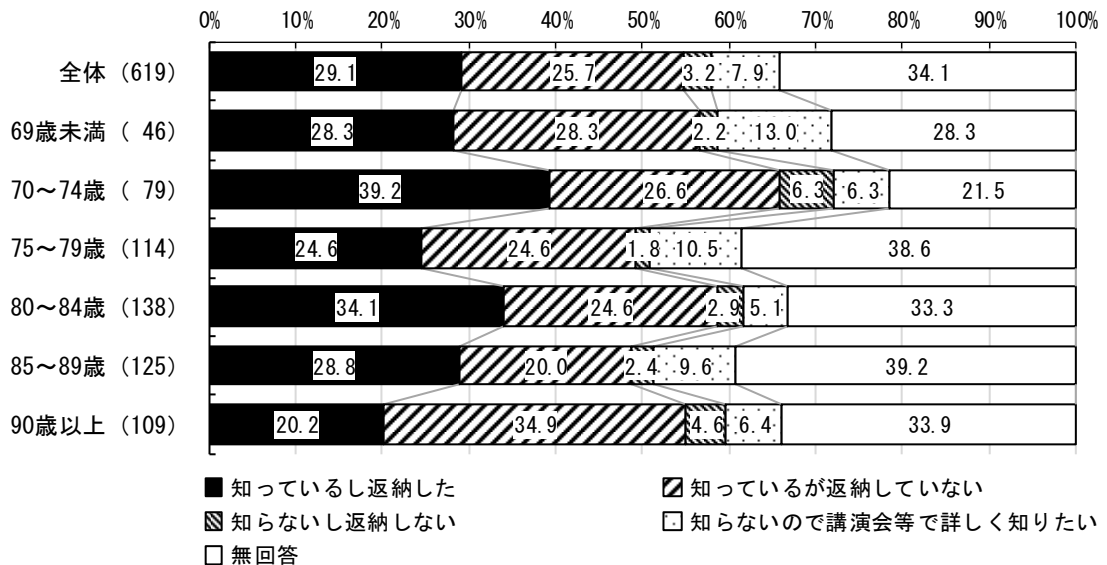
問33 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)



認知症に関連する市の施策で知っているものは、「オレンジカフェ」が 15.5%で最も多く、次いで「認知症高齢者相談事業」が 9.5%、「認知症サポーター養成講座」が 6.9%などとなっています。一方、「知っているものはない」は 58.8%となっています。

34 運転免許返納

問34 認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることを知っていますか。(○は1つ)

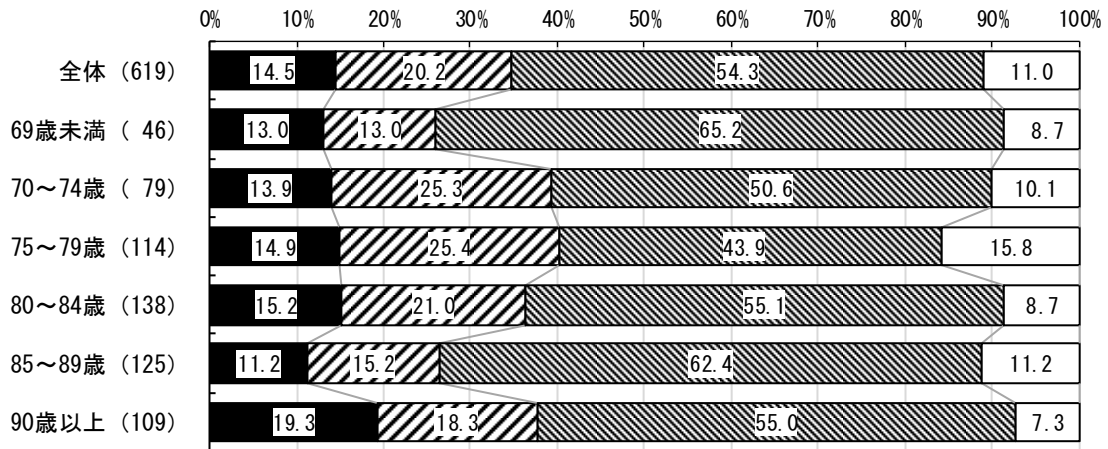


認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることの認知度は、「知っているし返納した」が 29.1%、「知っているが返納していない」が 25.7%、「知らないので講演会等で詳しく知りたい」が 7.9%などとなっています。

年齢別にみると、「知っているし返納した」は 70~74 歳が 39.2%で最も多く、次いで 80~84 歳が 34.1%となっています。「知っているが返納していない」は 90 歳以上が 34.9%で最も多くなっています。

35 市民後見人の認知状況

問35 このアンケート前から市民後見人を知っていましたか。(〇は1つ)



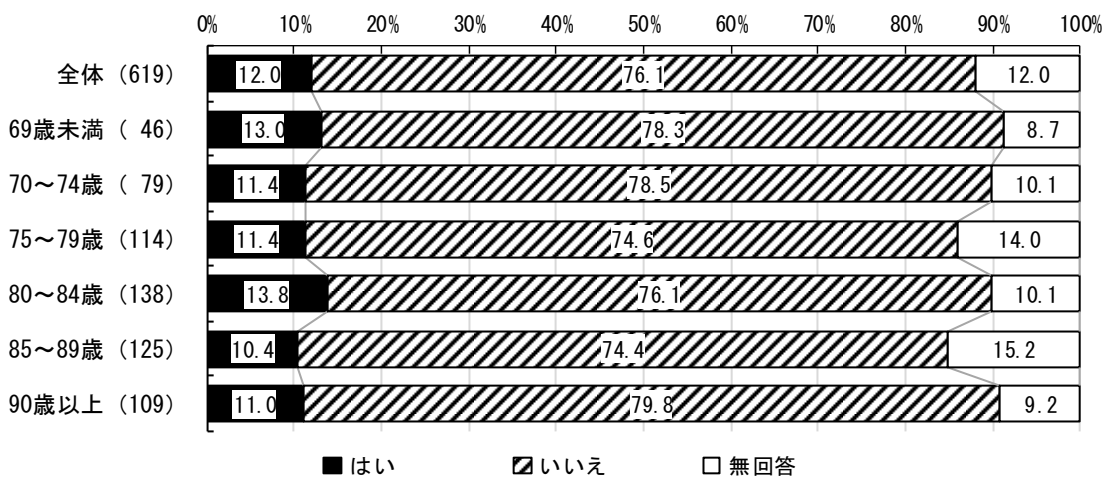
■ 知っていた □ 内容はわからないが聞いたことはあった ▨ 知らなかった □ 無回答

市民後見人の認知状況についてみると、「知っていた」(14.5%)と「内容はわからないが聞いたことはあった」(20.2%)をあわせた『市民後見人の認知あり』は3割台となっています。一方、「知らなかった」は54.3%となっています。

年齢別にみると、「知っていた」は全ての年齢で1割台となっており、『市民後見人の認知あり』は75~79歳が最も多く、40.3%となっています。

36 市民後見人の講座の受講意向

問36 市民後見人の講座を受講したいと思いますか。(〇は1つ)



■ はい □ いいえ □ 無回答

市民後見人の講座の受講意向についてみると、受講したいと思う「はい」(12.0%)は、「いいえ」(76.1%)を大きく下回っています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で1割台となっています。

37 自由回答

問37 ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は 121 件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	37
医療	4
住まい	2
交通機関・公共施設	4
情報提供	10
経済的な不安	3
将来について	2
その他	51
お礼など	8
合計	121

<回答結果>

※一部を抜粋し、要約しています。

○一番困っているのはオムツやパットが足りていない事です。他の県より転入してきましたが、以前の市では介護保険内でオムツを購入できました。今は2ヶ月で30枚、1日0.5枚です。せめて1日1枚はないと、オムツやパット代で1万~1万5千円かかり、生活を圧迫しています。毎月点数は残っていますので、点数内で購入できるよう考えて頂きたい。

○ヘルパーさんが来ない日に、薬を飲んだか確認する、見守りのようなサービスがあったら使いたいです。他市に住んでいるため、毎日自宅まで来るのは困難です。また、話し好きのため、知らない人でも家にあげてしまう事があり、詐欺に合わないか心配です。

○タクシー券が少なく、通院のみに使っても足らず、通院できない事もある。船橋市などでは一級身障者要介護3では、必要なだけもらえるとの事です。

○仕事、家庭がありながら、実家の世話サポートをしています。通院のつきそいが大変です。デイサービスで歯科や内科の先生が来てくれる日があればよい。予防注射お願いだけでも、楽になります。

○現在賃貸住宅で暮らしています。もろもろ8万円ほどの家賃がかかり年金では苦しいです。高齢者向け住宅で、安く、借りれたら助かります。賃貸補助金等あったら良いと思います。

○病院通院で付添っていますが、ききょうバス等、停留所まで行けません。自宅からの送迎手段は無いものでしょうか。

○認知症の介護について、市の施策等は案内物や自分で市役所に問い合わせる以外に、ケアマネージャーが定期訪問時に案内してくれると助かります。現在、母が初期の認知症で介護1だが、今後どのような点に注意すれば良いか知っておきたい。

○鎌ヶ谷市にも要介護の方が使えるタクシー券が欲しいです。又、もう少し介護費用の負担を抑えるような事ができればありがたいです。要介護5は1割負担ですが、色々なサービスを必要とする為、費用がおさえたくても、おさえられない。結局、色々なサービスを合計すると大きな負担になります。介護する側としては、金銭の負担が大きく感じます。

○私の父親も、私も前住んでいたところで民生委員をしていました。月一回各家庭を回っていましたが、ここでは1度来ただけで、それっきり来ていません。娘が近くに住んでいるからでしょうか。

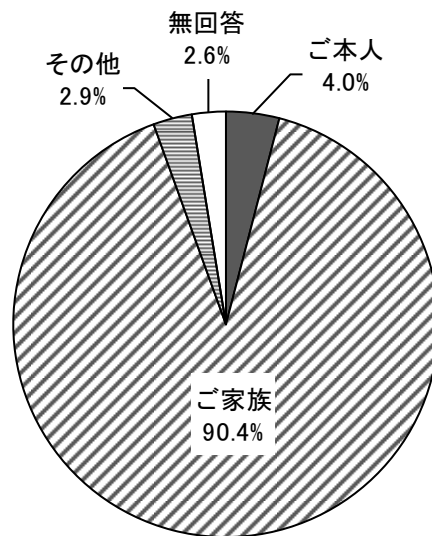
○70歳以上の2人で生活していますが、主人は認知症で物事の判断が難しくなっています。台風とか地震が起きたら、避難場所まで行くのに車はなく、車椅子で押して行くのは無理で考えてしまいます。

第5章 施設サービス利用者調査結果

1 調査票の記入者

問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(○は1つ)

n=272 人

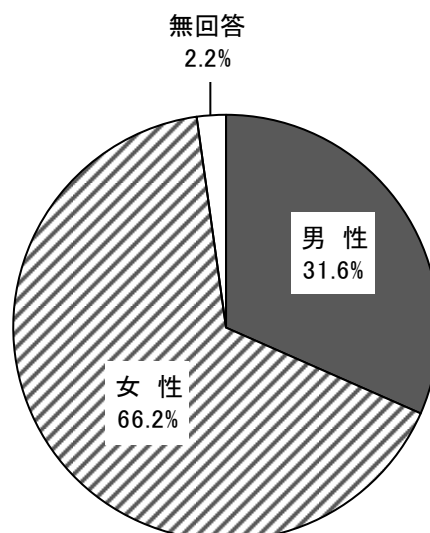


調査票の記入者についてみると、「ご家族」が90.4%で9割台を占めており、「ご本人」は4.0%にとどまっています。

2 性別

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

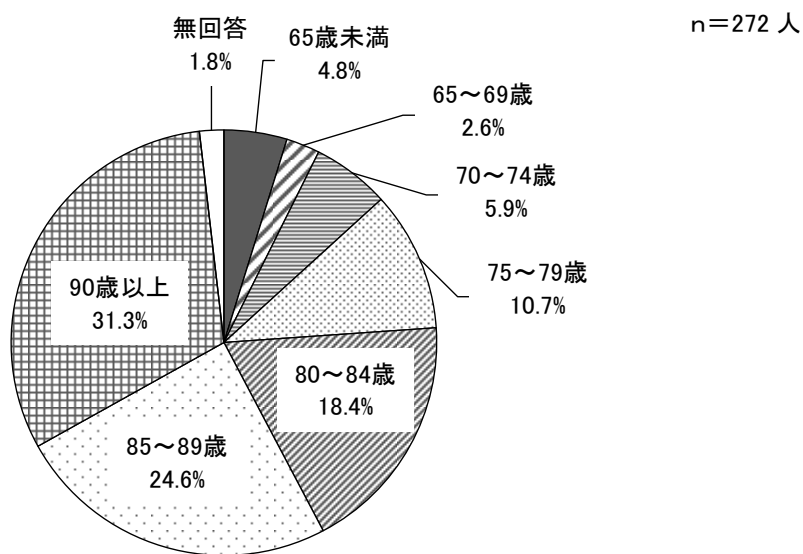
n=272 人



調査対象者の性別についてみると、「男性」が31.6%、「女性」が66.2%となっています。

3 年齢

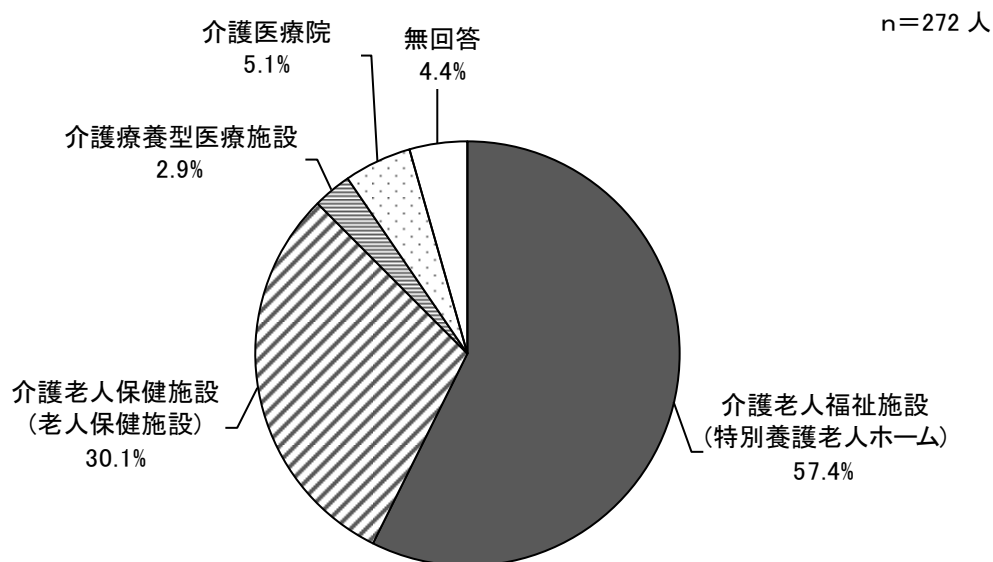
問3 あなたの年齢は(令和2年1月1日現在)。(○は1つ)



調査対象者の年齢についてみると、「90歳以上」が31.3%で最も多く、また『75歳以上の後期高齢者』が8割台となっています。

4 入所(院)している施設の種類の種類

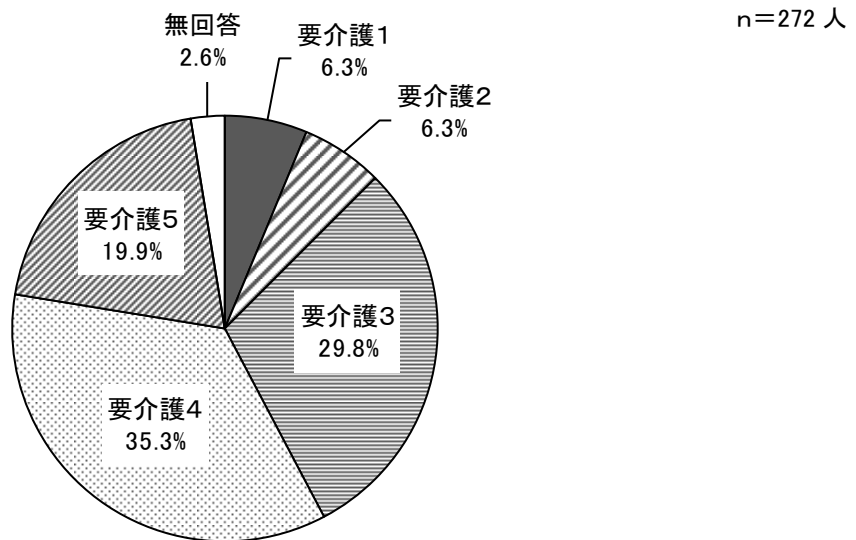
問4 入所(院)されている施設の種類の種類はどれですか。(○は1つ)



調査対象者が入所(院)している施設についてみると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が57.4%で最も多く、次いで「介護老人保健施設(老人保健施設)」が30.1%となっています。

5 要介護度

問5 現在の要介護度を教えてください(令和2年1月1日現在)。(○は1つ)

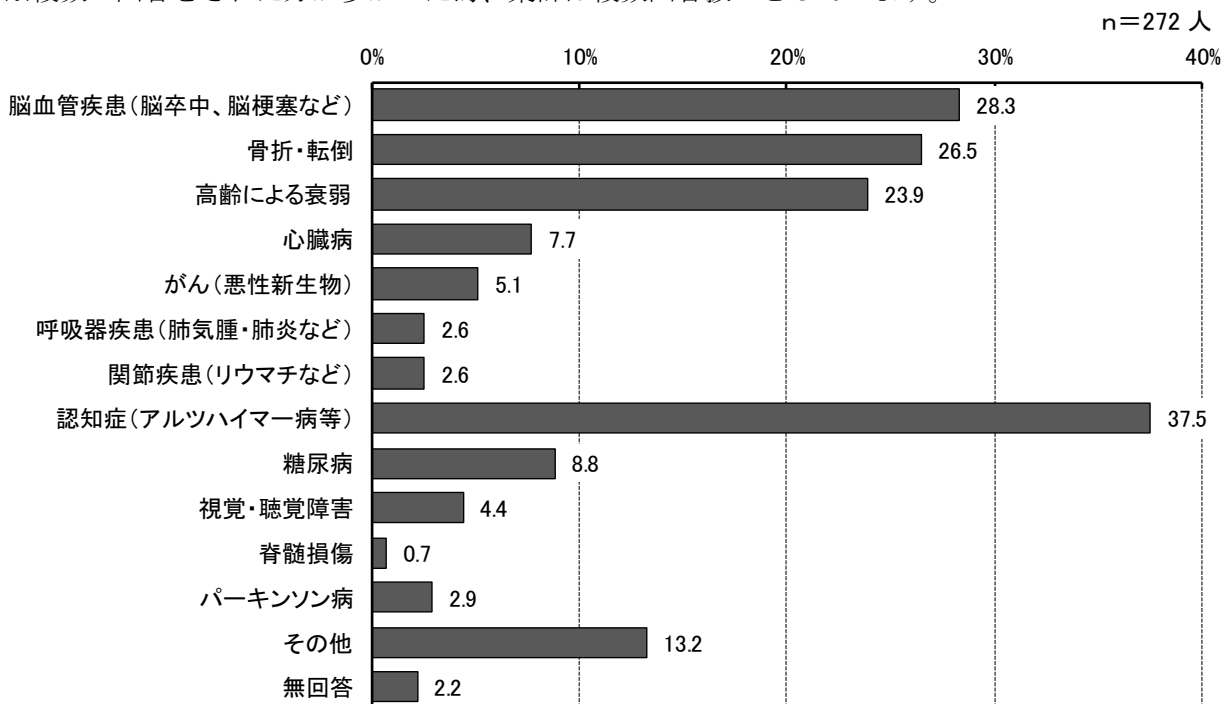


調査対象者の要介護度についてみると、「要介護 4」が 35.3%で最も多く、次いで「要介護 3」が 29.8%、「要介護 5」が 19.9%となっています。「要介護 3」以上の合計は全体の 8 割以上を占めています。

6 介護が必要になった原因

問6 介護が必要となった原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

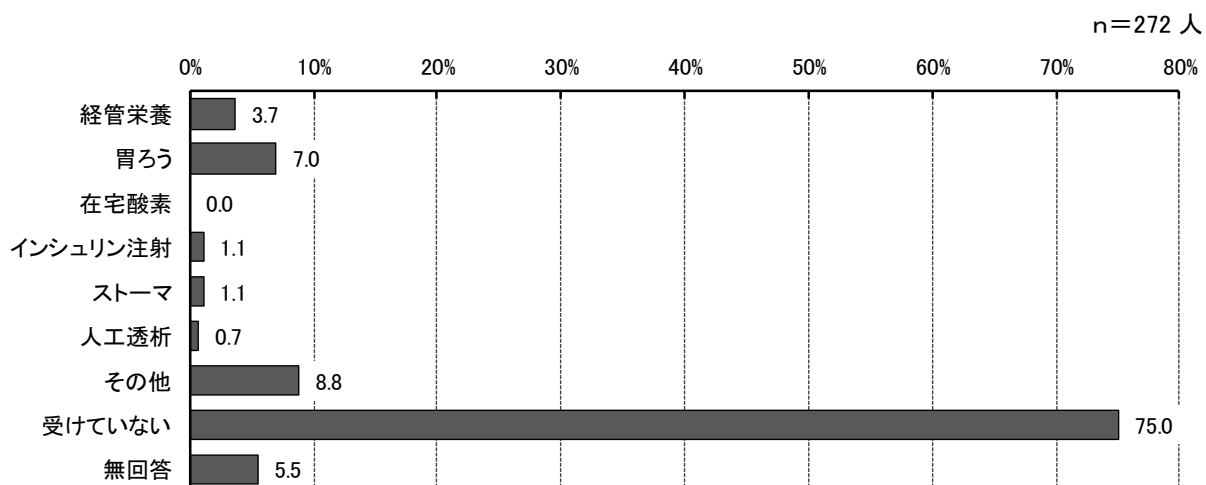
※複数の回答をされた方が多かった為、集計は複数回答扱いとしています。



介護が必要になった原因についてみると、「認知症（アルツハイマー病等）」が37.5%で最も多く、次いで「脳血管疾患（脳卒中、脳梗塞など）」が28.3%、「骨折・転倒」が26.5%、「高齢による衰弱」が23.9%などとなっています。

7 医療処置

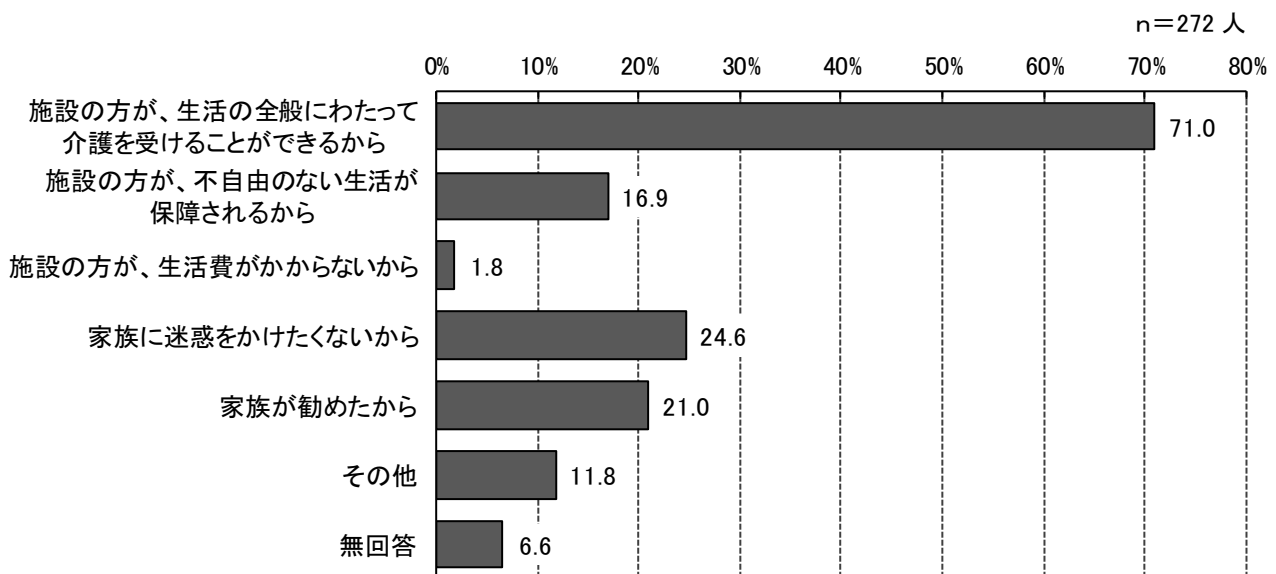
問7 あなたは、次のような医療処置を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)



現在受けている医療処置についてみると、「胃ろう」(7.0%)、「経管栄養」(3.7%)、「インシュリン注射」「ストーマ」(ともに1.1%)などが挙げられています。一方、「受けていない」は75.0%となっています。

8 現在の施設に入所(院)した理由

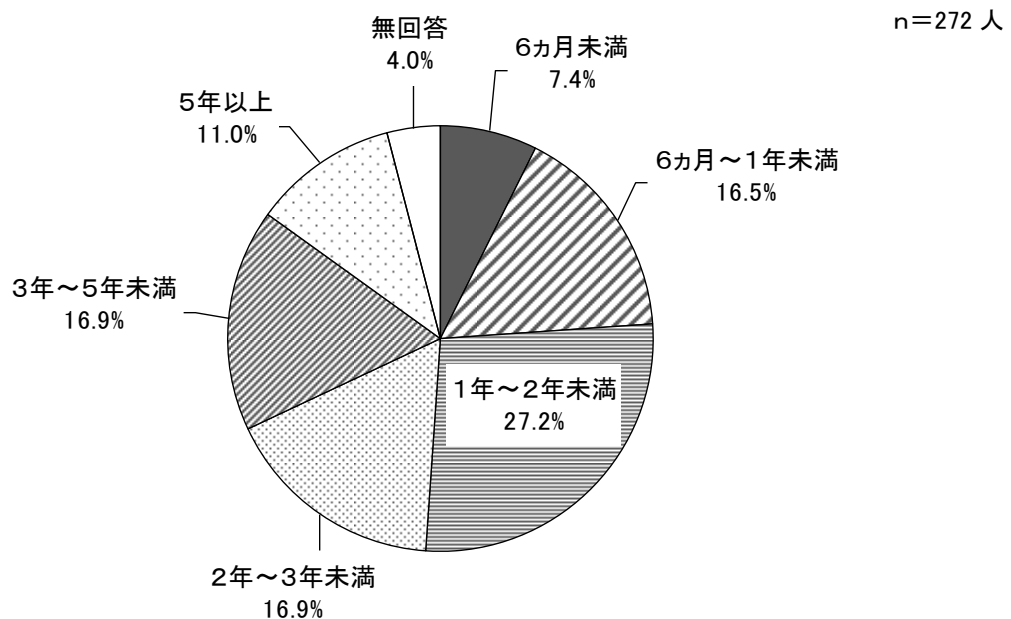
問8 現在の施設に入所(院)した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



現在の施設に入所(院)した理由についてみると、「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が71.0%で最も多くなっています。

9 施設入所(院)期間

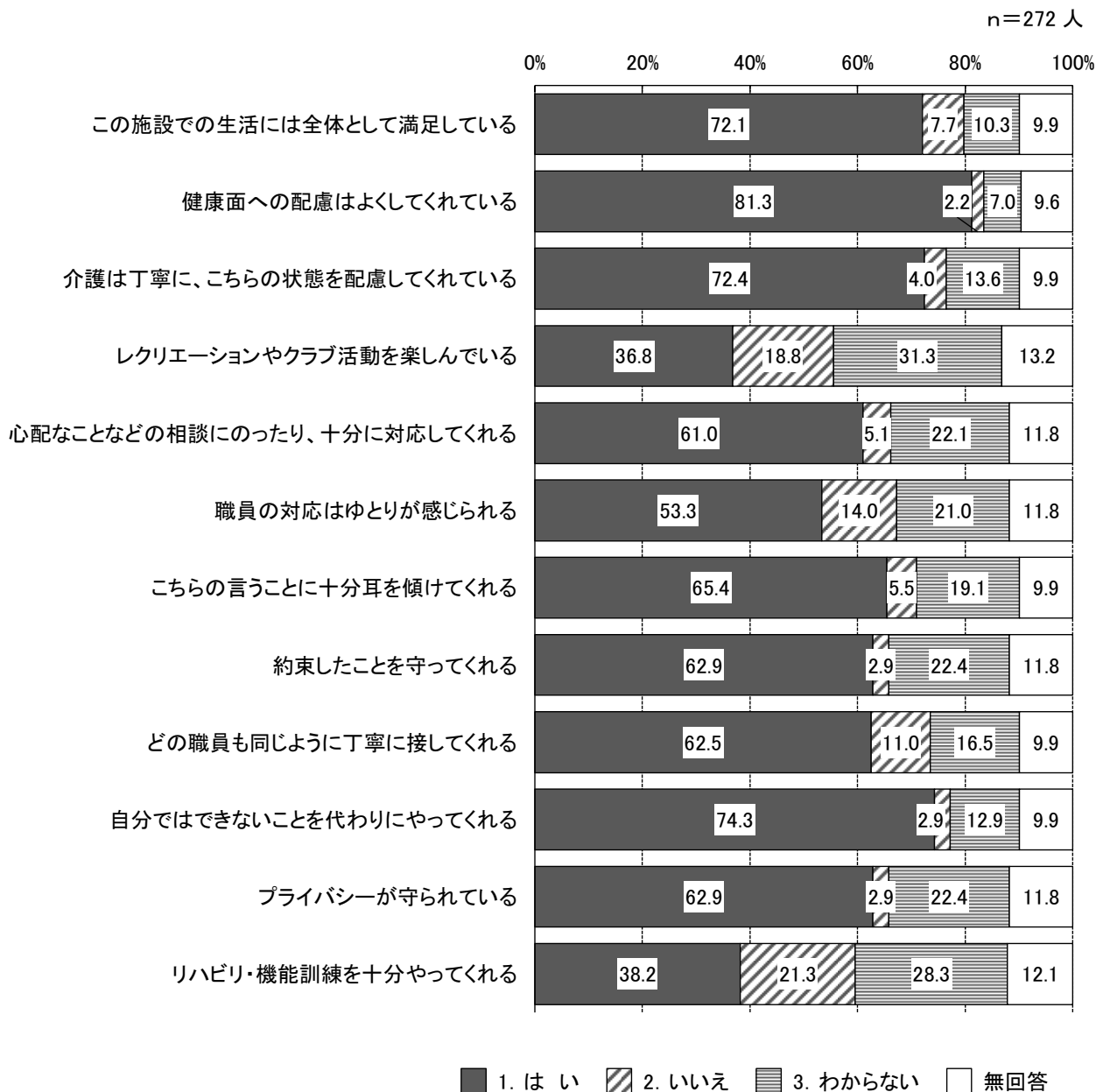
問9 現在の施設に入所(院)してからどのくらいたちますか。(○は1つ)



現在の施設への入所(院)期間についてみると、「1年～2年未満」が27.2%で最も多く、次いで「2年～3年未満」と「3年～5年未満」が16.9%、「6カ月～1年未満」が16.5%となっています。

10 入所(院)されている施設への評価

問10 現在、入所(院)されている施設について、どのように感じていますか。
次の項目ごとに1、2、3のいずれか1つに○をつけてください。

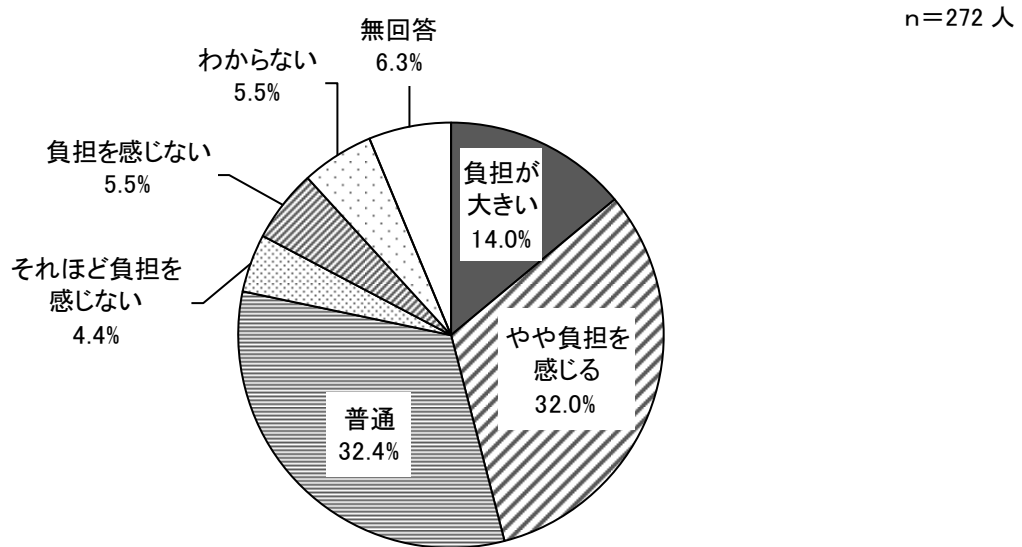


現在入所(院)している施設の評価についてみると、「健康面への配慮はよくしてくれている」(81.3%)、「自分ではできないことを代わりにやってくれる」(74.3%)、「介護は丁寧に、こちらの状態を配慮してくれている」(72.4%)、「この施設での生活には全体として満足している」(72.1%)への肯定的評価「はい」は、それぞれ7割を超えて高くなっています。

一方、「レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいる」(36.8%)、「リハビリ・機能訓練を十分やってくれる」(38.2%)は3割台にとどまっています。

11 サービス利用料の負担感

問11 サービスの利用者負担(利用料)について、負担感はどうですか。(○は1つ)

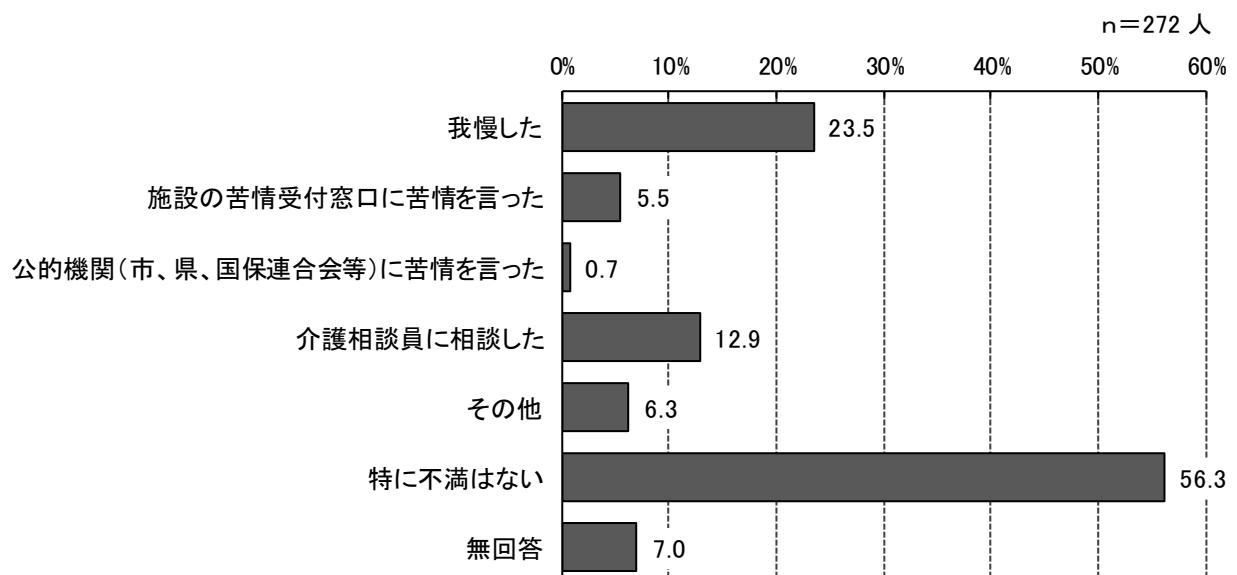


サービス利用料の負担感についてみると、「やや負担を感じる」が 32.0%で最も多く、「負担が大きい」(14.0%)をあわせた『負担を感じる』は、4割台となっています。

12 施設サービス・職員に不満があった場合の対応

問12 施設のサービス内容や職員の対応などに不満があった場合、どのようにしましたか。

(あてはまるものすべてに○)



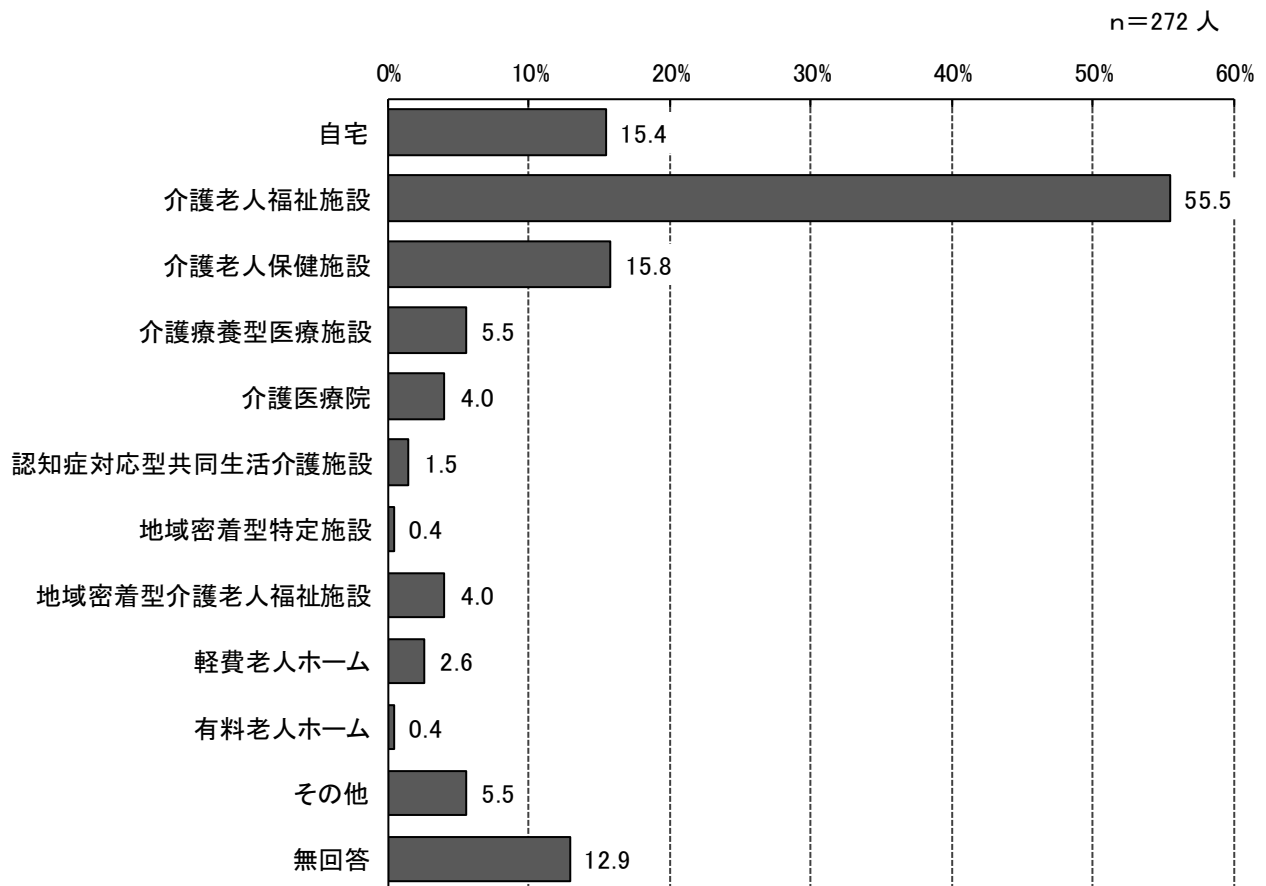
施設サービス・職員に不満があった場合の対応についてみると、「我慢した」が 23.5%で最も多くなっています。

一方、「特に不満はない」は 56.3%となっています。

13 今後希望する介護形態

問13 あなたの希望として、今後、どこで介護を受けたいと考えていますか。

(あてはまるものすべてに○)

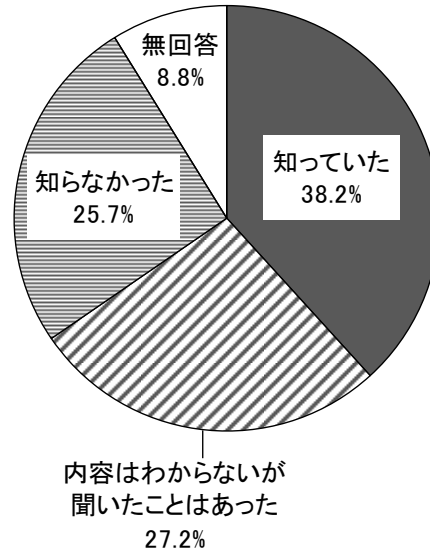


今後希望する介護形態についてみると、「介護老人福祉施設」が 55.5%で最も多く、次いで「介護老人保健施設」が 15.8%、「自宅」が 15.4%などとなっています。

14 成年後見制度の認知状況

問14 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(〇は1つ)

n=272 人



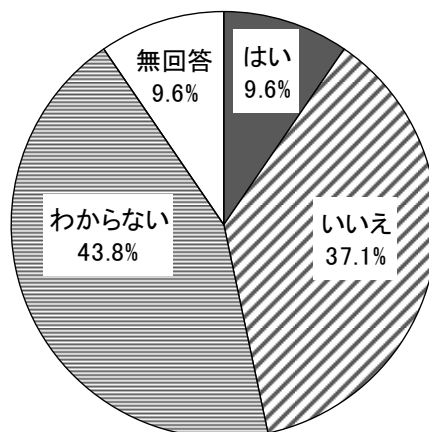
成年後見制度の認知状況についてみると、「知っていた」(38.2%)と「内容はわからないが聞いたことはあった」(27.2%)をあわせた『成年後見制度の認知あり』は6割台となっています。

一方、「知らなかった」は25.7%となっています。

15 成年後見制度の利用意向

問15 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

n=272 人



成年後見制度の利用意向についてみると、利用したいと思う「はい」は9.6%で、「いいえ」(37.1%)を下回っています。また、「わからない」は43.8%となっています。

16 自由回答

問 16 ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は 42 件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	15
医療	2
情報提供	4
経済的な不安	2
その他	12
お礼など	7
合計	42

<回答結果>※一部を抜粋し、要約しています。

○鎌ヶ谷市として福祉車両を用意していただけたら助かります。無料でなくても安い料金でお借りすることができればありがたいです。

○施設に入所当時は脳トレ、お散歩、ドライブ、催し物へのお出かけなどがありましたが、今は殆どありません。加湿器もあちこちにありましたが今はあっても飾りだけだったりします。職員の方は精一杯やって下さっています。人手が不足しているのだと思います。

○特養を増やしてもらいたい。本人の年金だけでは有料老人ホームには入れません。老健に入所中ですが3ヶ月ごと更新で早く特養に入れれば良いと思っています。

○病気の治療の際に、実費が必要の為、経済的負担が大きいので何とか施設内で治療してほしいと思いました。

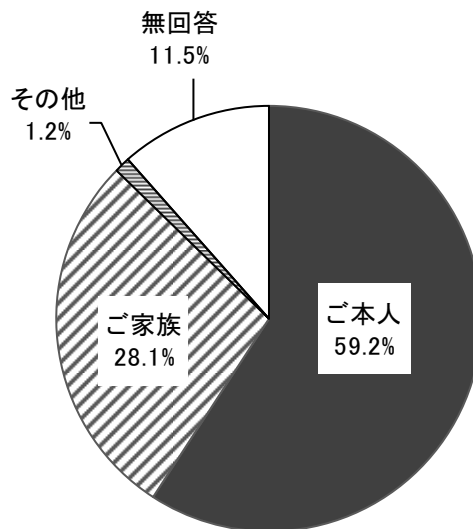
○介護老人保健施設に短期長期～退所と介護を受けましたが、年金だけの収入で支払いの件で心配をしました。

第6章 介護サービス未利用者調査結果

1 調査票の記入者

問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(○は1つ)

n=338人

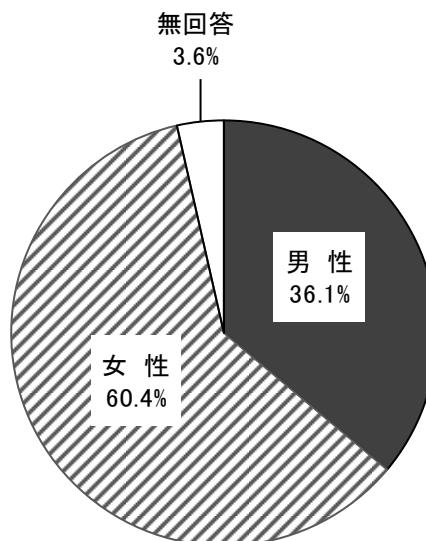


調査票の記入者についてみると、「ご本人」が59.2%、「ご家族」が28.1%となっています。

2 性別

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

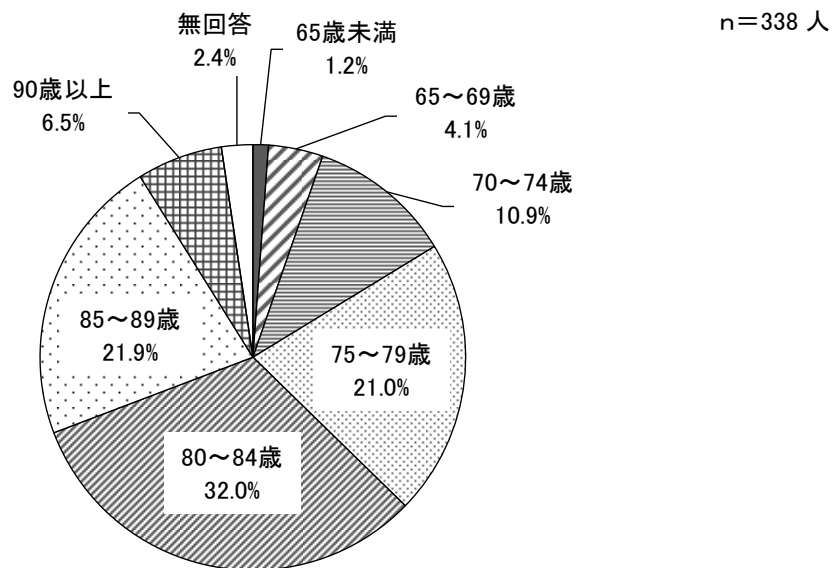
n=338人



調査対象者の性別についてみると、「男性」が36.1%、「女性」が60.4%となっています。

3 年齢

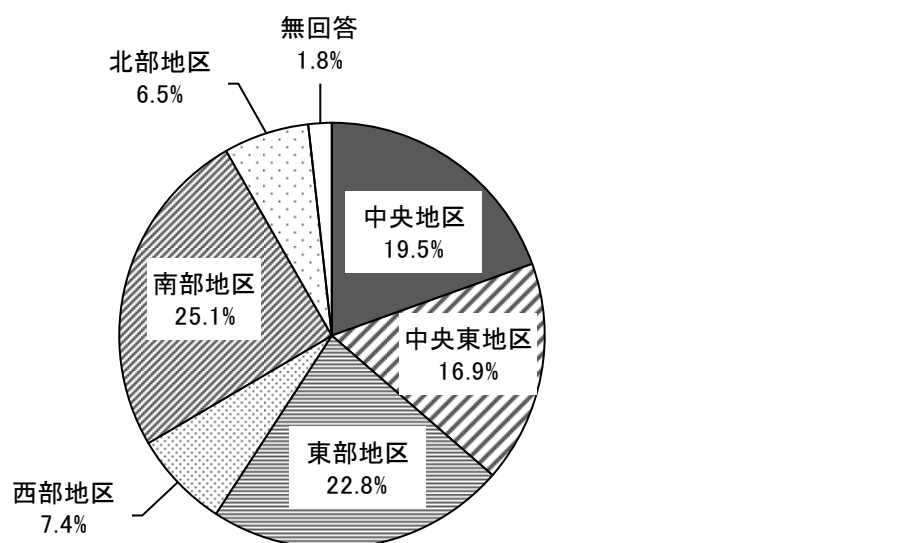
問3 あなたの年齢は(令和2年1月1日現在)。(○は1つ)



調査対象者の年齢についてみると、「80~84歳」が32.0%で最も多く、次いで、「85~89歳」が21.9%、「75~79歳」が21.0%となっています。また『75歳以上の後期高齢者』が8割以上を占めています。

4 居住地区

問4 あなたのお住いの地区は。(○は1つ)

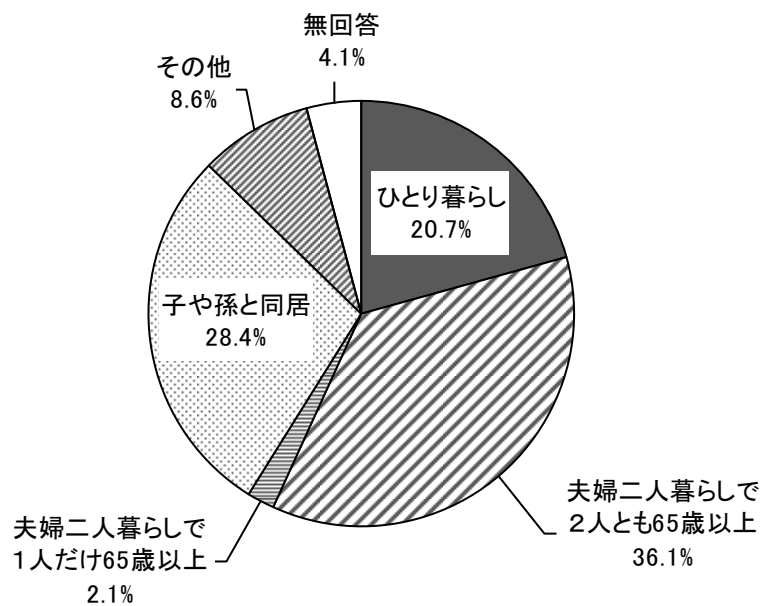


調査対象者の居住地区についてみると、「南部地区」「東部地区」が2割台、「中央地区」「中央東地区」が1割台、「西部地区」「北部地区」が1割未満となっています。

5 家族の状況

問5 あなたと同居されているご家族は。(○は1つ)

n=338人

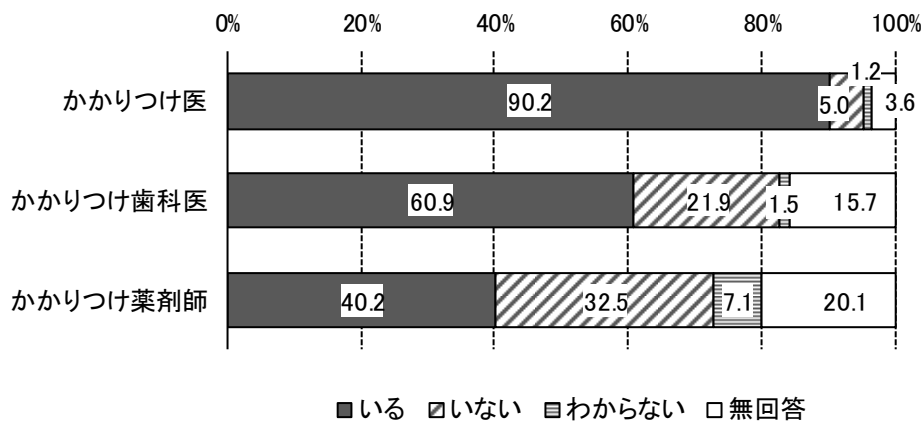


調査対象者と同居している家族についてみると、「夫婦二人暮らしで2人とも65歳以上」が36.1%で最も多く、次いで「子や孫と同居」が28.4%となっています。

6 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師

問6 あなたは、健康や病気のことを相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師」がいますか。(それぞれ1つに○)

n=338人

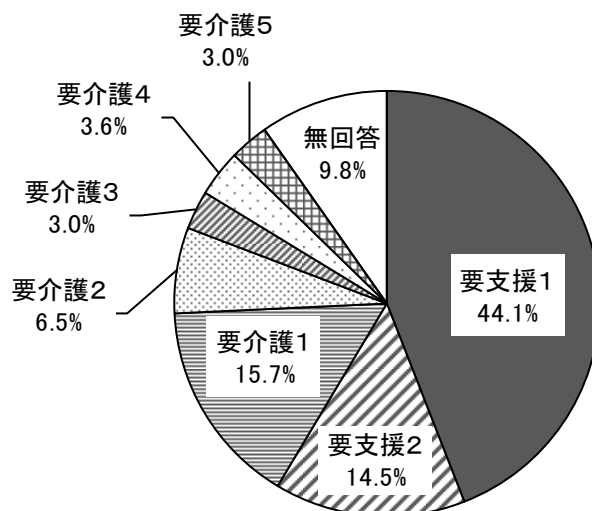


調査対象者の健康や病気のことを相談できるかかりつけ医が「いる」割合は、「かかりつけ医」が90.2%で最も多く、「かかりつけ歯科医」で60.9%となっています。「かかりつけ薬剤師」は40.2%と4割台にとどまっています。

7 要介護度

問7 現在の要介護度を教えてください。(○は1つ)

n=338人

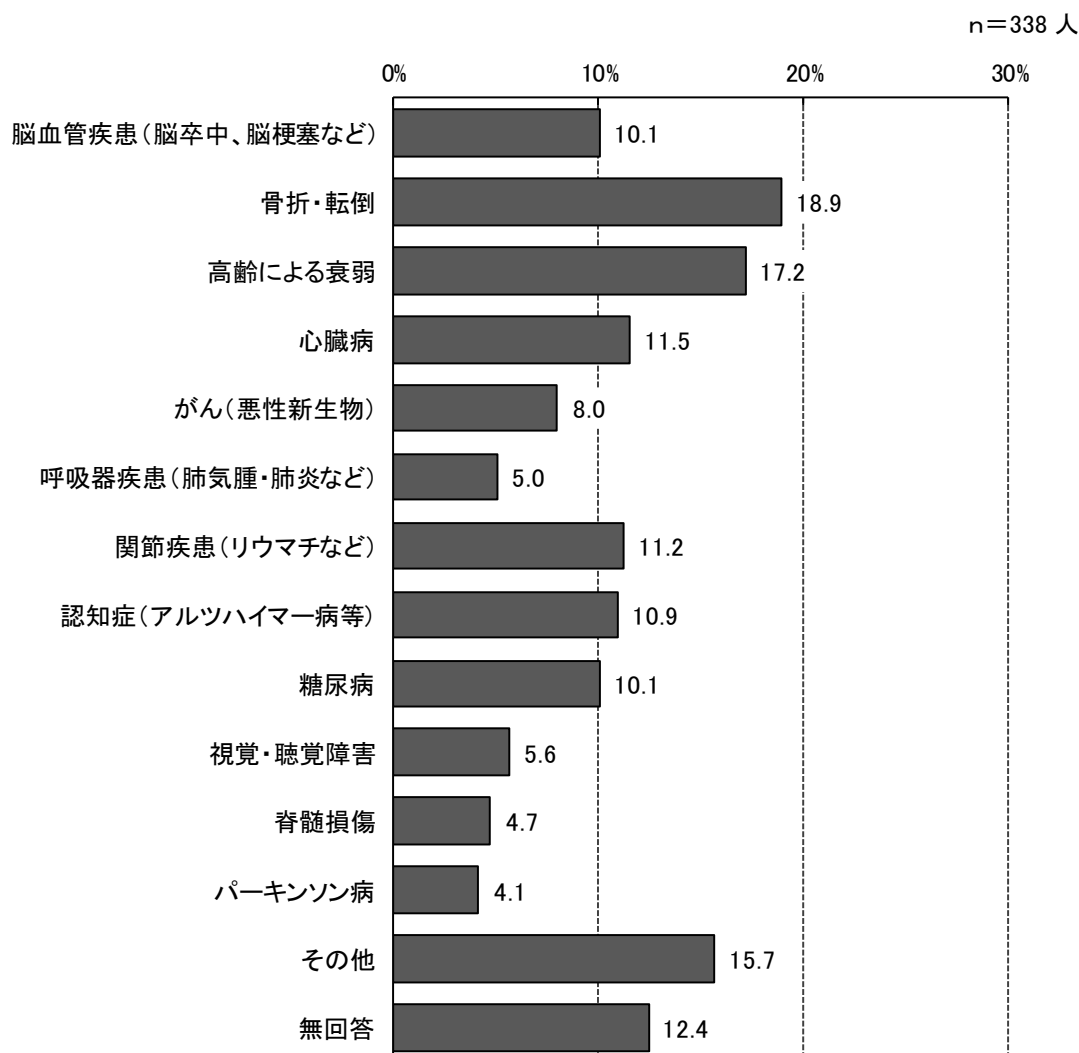


調査対象者の要介護度についてみると、「要支援1」が44.1%で最も多く、次いで「要介護1」が15.7%、「要支援2」が14.5%となっています。

8 介護が必要になった原因

問8 介護が必要となった原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※複数の回答をされた方が多かった為、集計は複数回答扱いとしています。

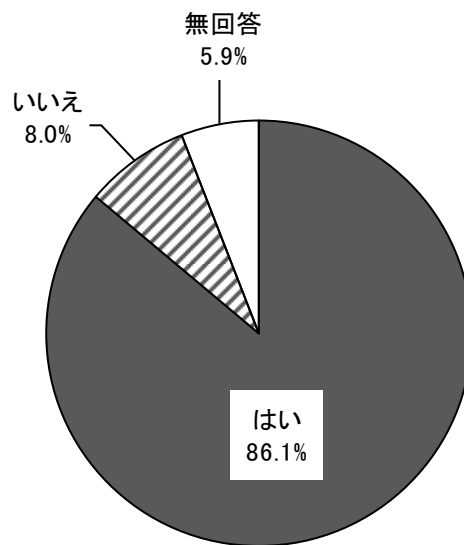


介護が必要になった原因についてみると、「骨折・転倒」が 18.9%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が 17.2%、「心臓病」が 11.5%、「関節疾患（リウマチなど）」が 11.2%などとなっています。

9 現在の通院の有無

問9 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。

n=338 人

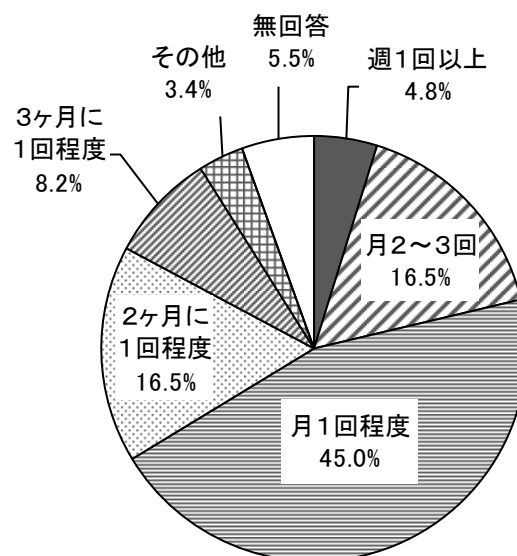


現在の通院の有無についてみると、通院をしている「はい」が 86.1%で、「いいえ」(8.0%) を大きく上回っています。

10 通院の頻度

問10 (問9で「1. はい」を選んだ方のみ)その頻度は次のどれですか。(○は1つ)

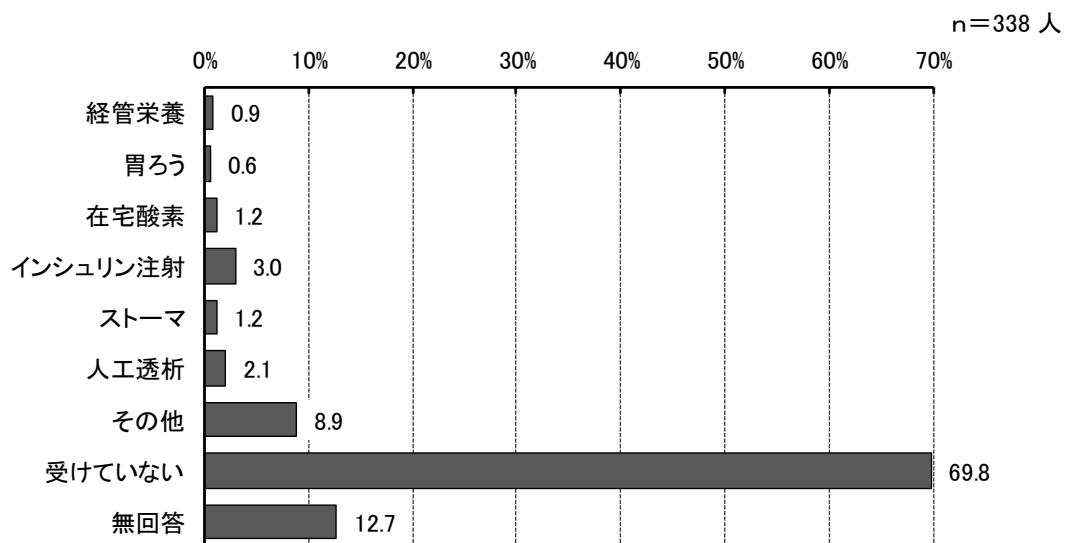
n=291 人



通院している方に、その頻度を聞いたところ、「月1回程度」が 45.0%で最も多くなっています。

11 医療処置

問11 あなたは、次のような医療処置を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

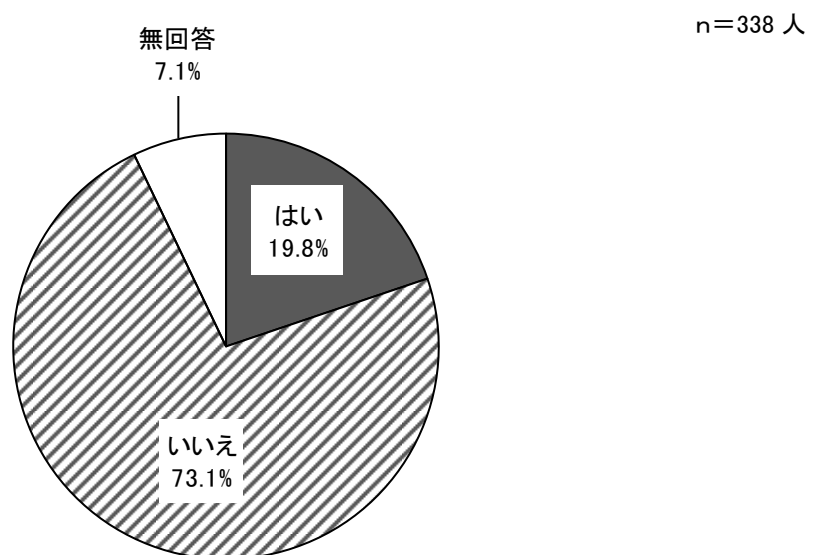


現在受けている医療処置についてみると、「インシュリン注射」が3.0%で最も多く、次いで「人工透析」(2.1%)、「在宅酸素」「ストーマ」(ともに1.2%)となっています。

一方、「受けていない」は69.8%となっています。

12 訪問診療ができる医療機関の認知度

問12 市内で訪問診療ができる医療機関を知っていますか。(○は1つ)

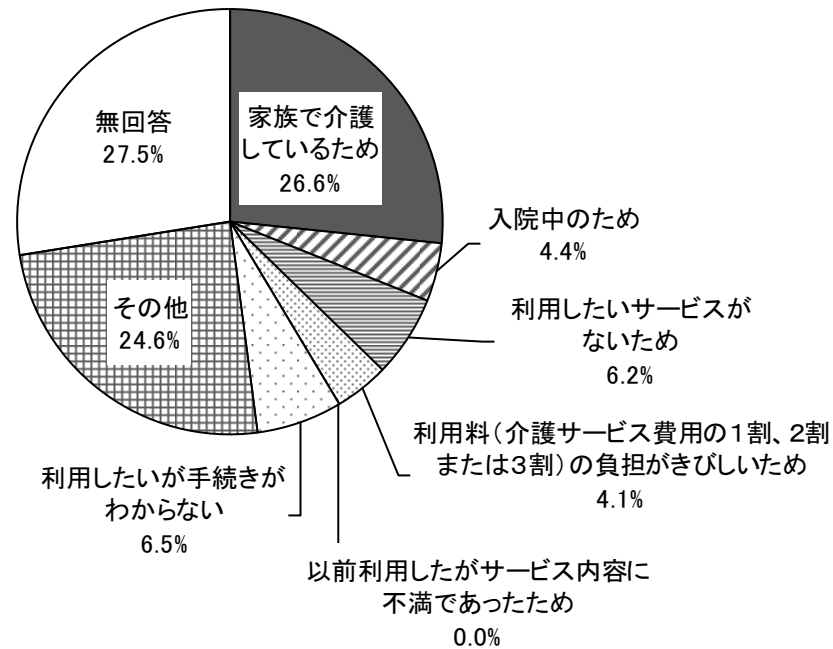


市内で訪問診療ができる医療機関の認知度についてみると、知っている「はい」が19.8%で、「いいえ」(73.1%)を大きく下回っています。

13 介護サービスを利用していない理由

問13 サービスを利用していない理由は何ですか。(○は1つ)

n=338人

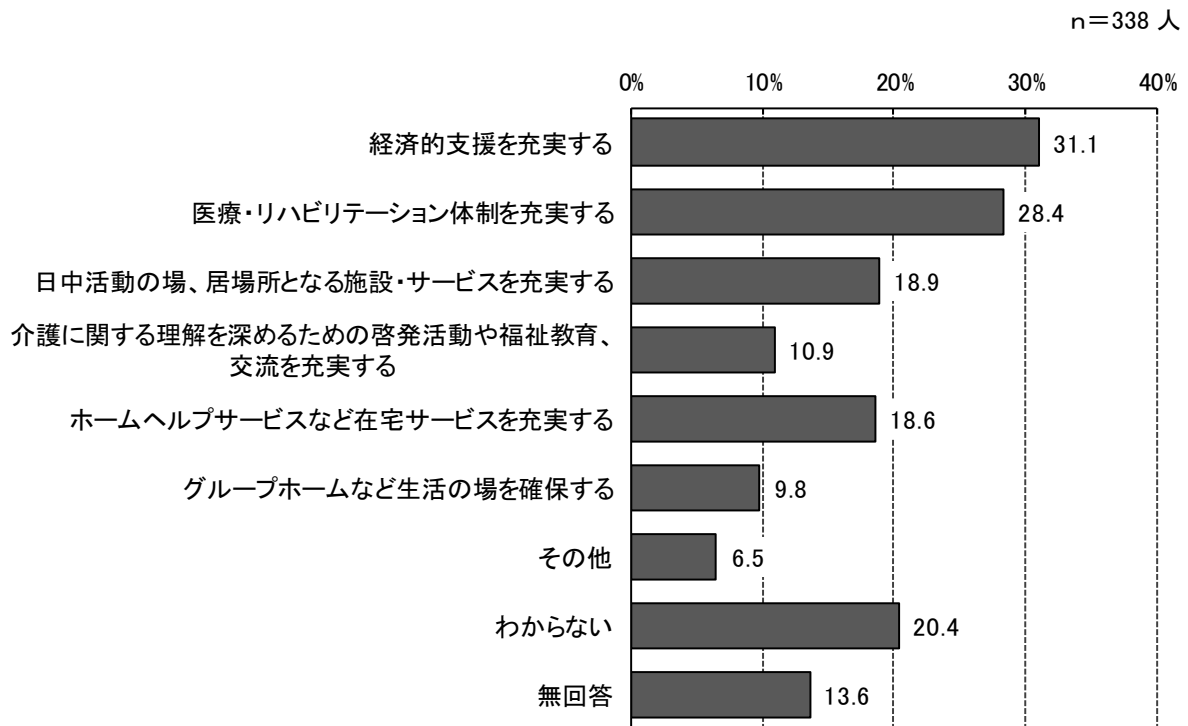


現在介護サービスを利用していない理由としては、「家族で介護しているため」が26.6%で最も多く、次いで「利用したいが手続きがわからない」が6.5%、「利用したいサービスがないため」が6.2%などとなっています。

14 市が充実させるべき高齢者保健福祉・介護保険事業の施策

問14 鎌ヶ谷市における高齢者保健福祉・介護保険事業において、あなたが充実させるべきと考える施策は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※複数の回答をされた方が多かった為、集計は複数回答扱いとしています。



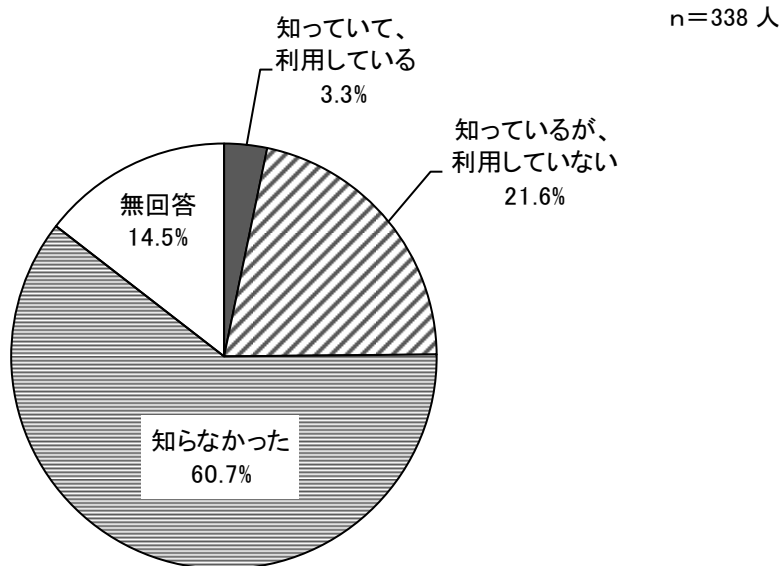
市が充実させるべき高齢者保健福祉・介護保険事業の施策についてみると、「経済的支援を充実する」が31.1%で最も多く、次いで「医療・リハビリテーション体制を充実する」が28.4%となっています。

15 市独自の在宅サービスについて

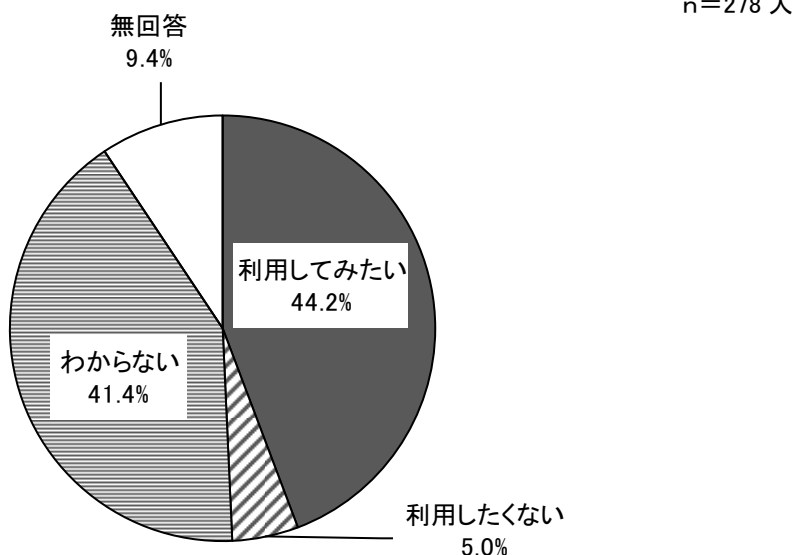
問15 鎌ヶ谷市では、介護保険制度にない市独自の在宅サービスとして、介助移送サービスと訪問理美容サービスを実施しています。このサービスについてお伺いします。

(1) 介助移送サービス

■ 認知・利用状況



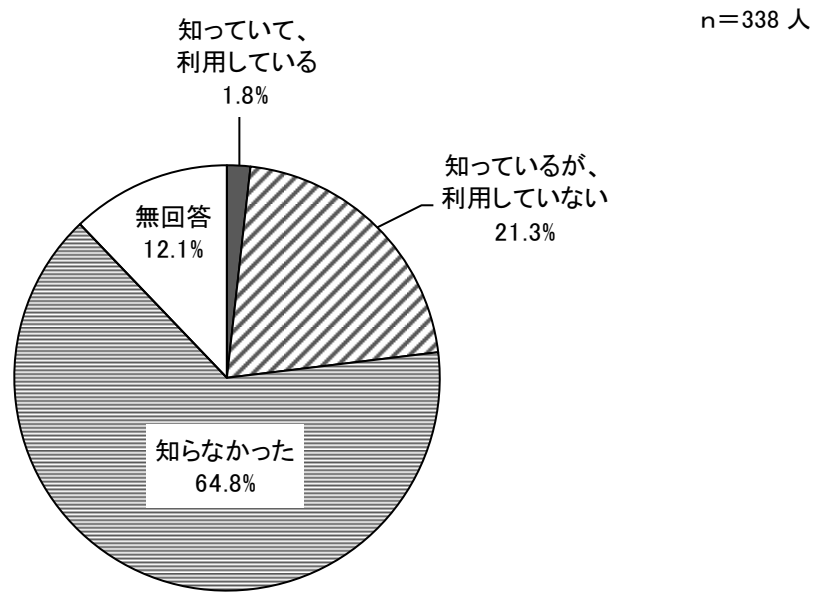
■ 利用意向



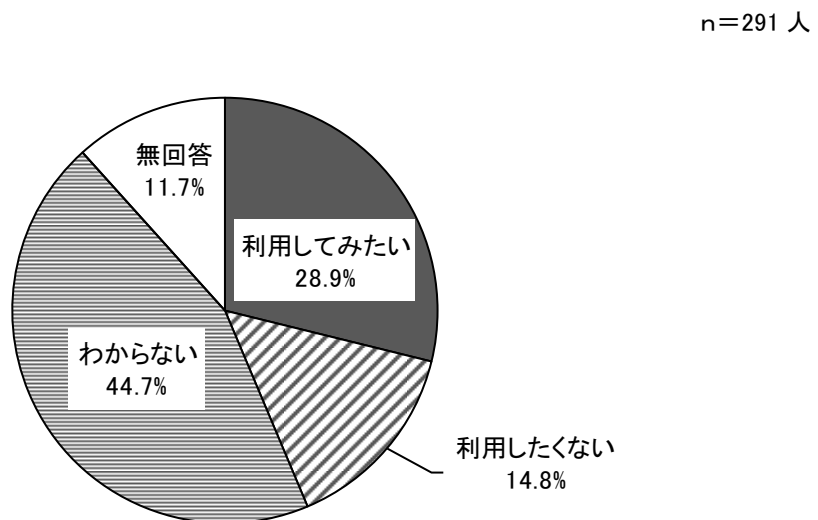
介助移送サービスの認知・利用状況、利用意向についてみると、「知っている、利用している」(3.3%)と「知っているが、利用していない」(21.6%)をあわせた『介助移送サービスを知っている』は2割を超えるものの、「知らなかった」(60.7%)を下回っています。また、利用したことがない人のうち、今後「利用してみたい」は44.2%で、「利用したくない」(5.0%)を上回っています。また、「わからない」は41.4%となっています。

(2) 訪問理美容サービス

■ 認知・利用状況



■ 利用意向

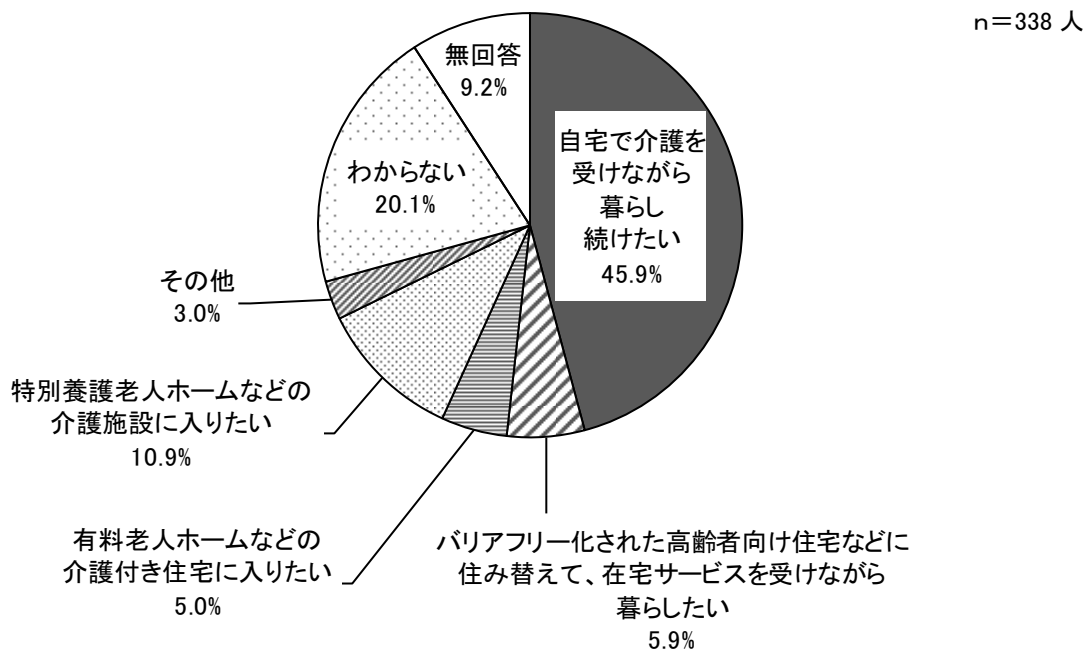


訪問理美容サービスの認知・利用状況、利用意向についてみると、「知っていて、利用している」(1.8%)と「知っているが、利用していない」(21.3%)をあわせた『訪問理美容サービスを知っている』は2割台にとどまり、「知らなかった」(64.8%)を大きく下回っています。

また、利用したことがない人のうち、今後「利用してみたい」は28.9%で、「利用したくない」(14.8%)を上回っています。また、「わからない」は44.7%となっています。

16 今後希望する介護形態

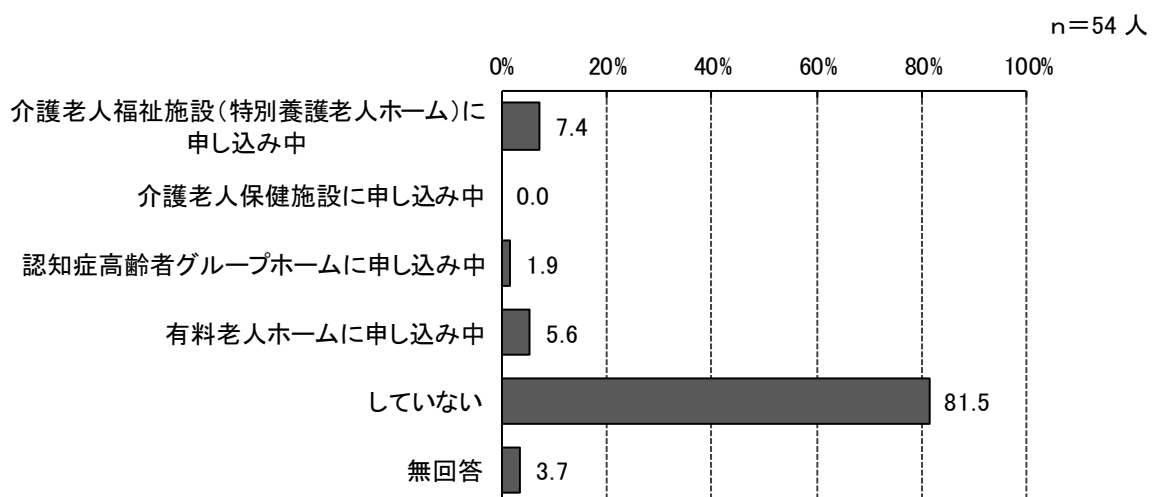
問16 これから先、介護を受ける場所として、どのような場所を希望しますか。(○は1つ)



今後希望する介護形態についてみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が45.9%で、最も多くなっています。

■ 施設入所(居)を希望する人の申込み状況

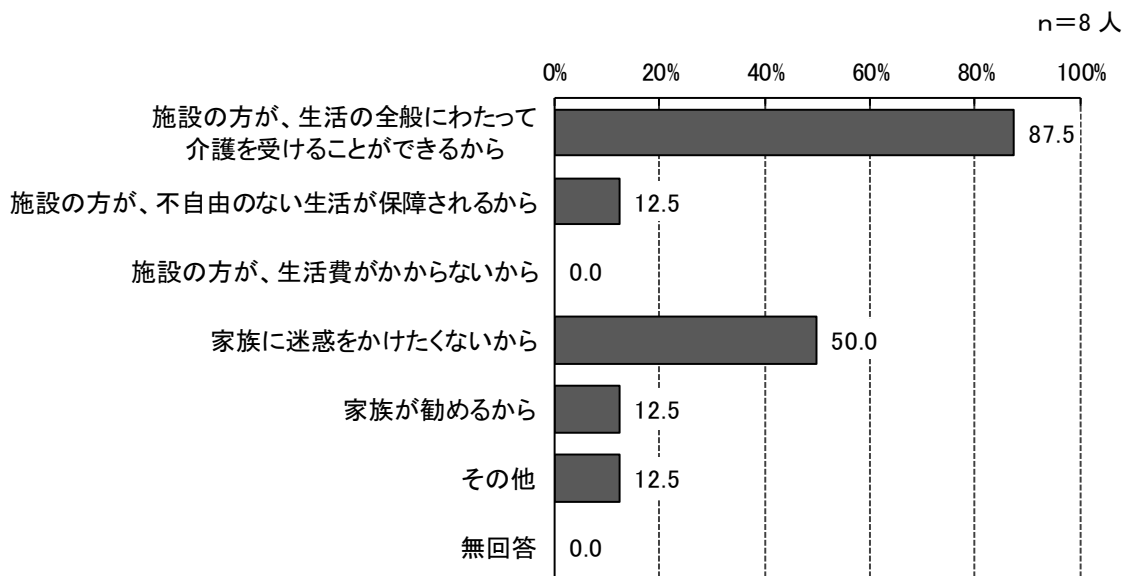
付問16-1 問16で「3」または「4」を選んだ方にお伺いします。あなたは、介護保険施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設)またはその他の施設に入所(居)の申し込みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)



今後希望する介護形態で施設入所(居)を希望する方の、申込み状況についてみると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に申し込み中」(7.4%)、「有料老人ホームに申し込み中」(5.6%)が挙げられており、ともに1割未満となっています。一方、申込みを「していない」(81.5%)は8割以上を占めています。

■ 施設入所(居)を希望する理由

付問16-2 付問16-1で「1」から「4」までを選んだ方にお伺いします。入所(居)を希望した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

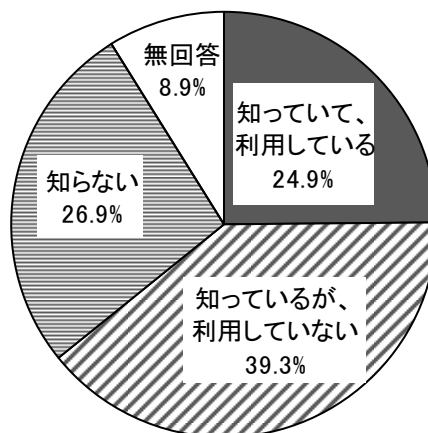


[基数が少ないため、参考として図示するにとどめます。]

17 地域包括支援センターの認知・利用状況

問17 高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、利用されていますか。(○は1つ)

n=338人

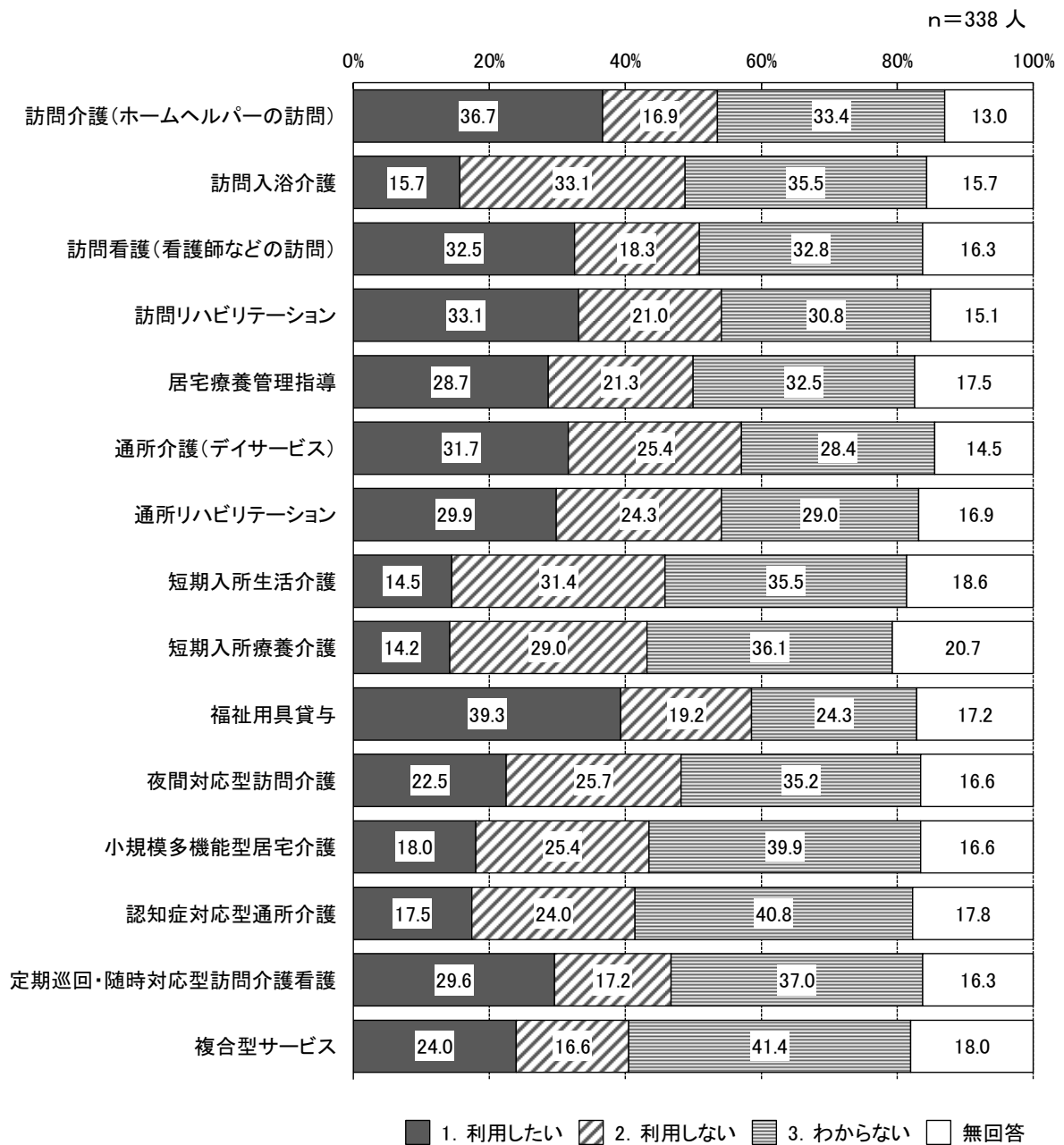


「地域包括支援センター」の認知・利用状況についてみると、「知っている、利用している」(24.9%)と「知っているが、利用していない」(39.3%)をあわせた『地域包括支援センターを知っている』は6割を超えています。

一方、「知らない」は26.9%となっています。

18 今後希望する在宅サービス形態

問18 介護保険の在宅サービスの利用意向についてお伺いします。あなたは、今後、次のサービスを利用したいと思いますか。サービスごとに1、2、3のいずれか1つに○をつけてください。

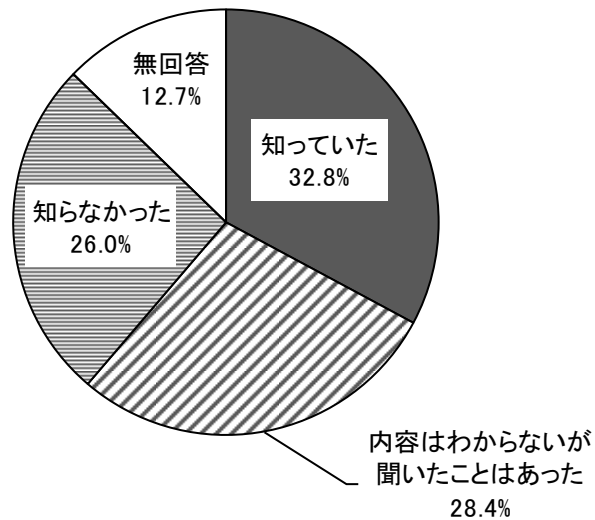


今後の在宅サービス利用意向についてみると、「福祉用具貸与」が39.3%で最も多く、次いで「訪問介護(ホームヘルパーの訪問)」が36.7%、「訪問リハビリテーション」が33.1%などとなっています。

19 成年後見制度の認知状況

問19 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(○は1つ)

n=338 人

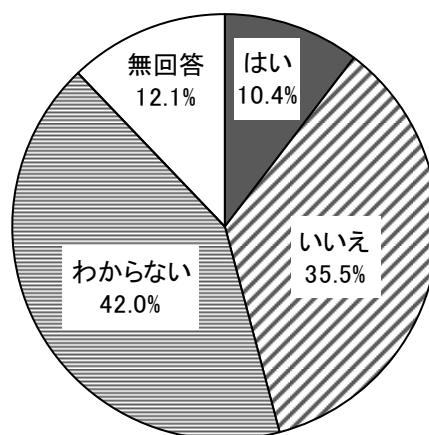


成年後見制度の認知状況についてみると、「知っていた」が32.8%で最も多く、「内容はわからないが聞いたことはあった」(28.4%)をあわせた『成年後見制度の認知あり』は6割を超えています。

20 成年後見制度の利用意向

問20 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

n=338 人



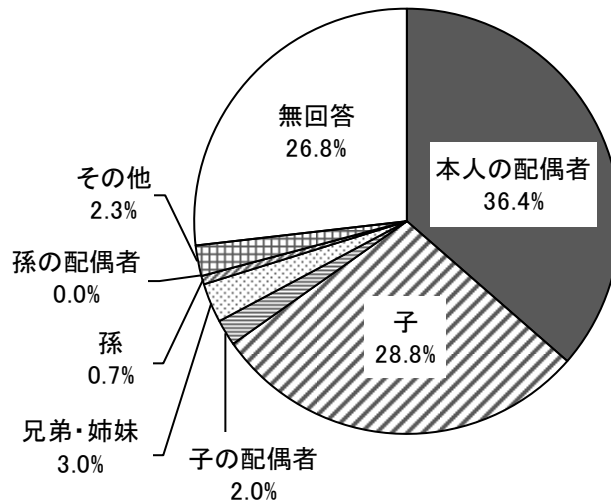
成年後見制度の利用意向についてみると、利用したいと思う「はい」は10.4%で、「いいえ」(35.5%)を下回っています。また、「わからない」は42.0%となっています。

主な介護者について

21 主な介護者の続柄

問21 介護者の続柄を教えてください(本人からみた続柄)。(○は1つ)

n=302人

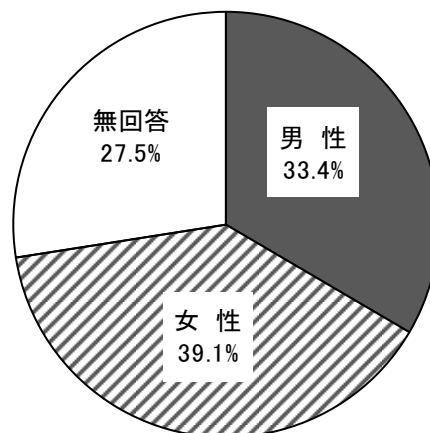


調査対象者の主な介護者の続柄についてみると、「本人の配偶者」が36.4%で最も多く、次いで「子」が28.8%となっています。

22 主な介護者の性別

問22 介護者の性別を教えてください。(○は1つ)

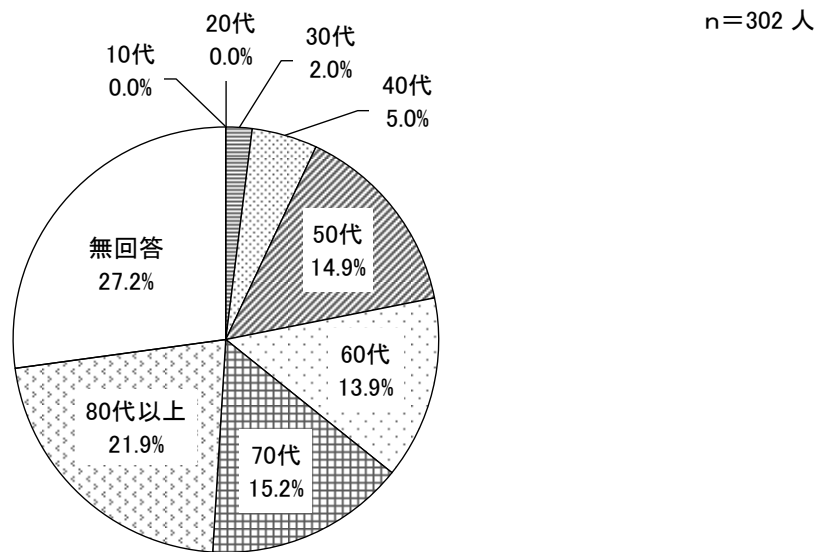
n=302人



主な介護者の性別についてみると、「女性」が39.1%で、「男性」(33.4%)を上回っています。

23 主な介護者の年齢

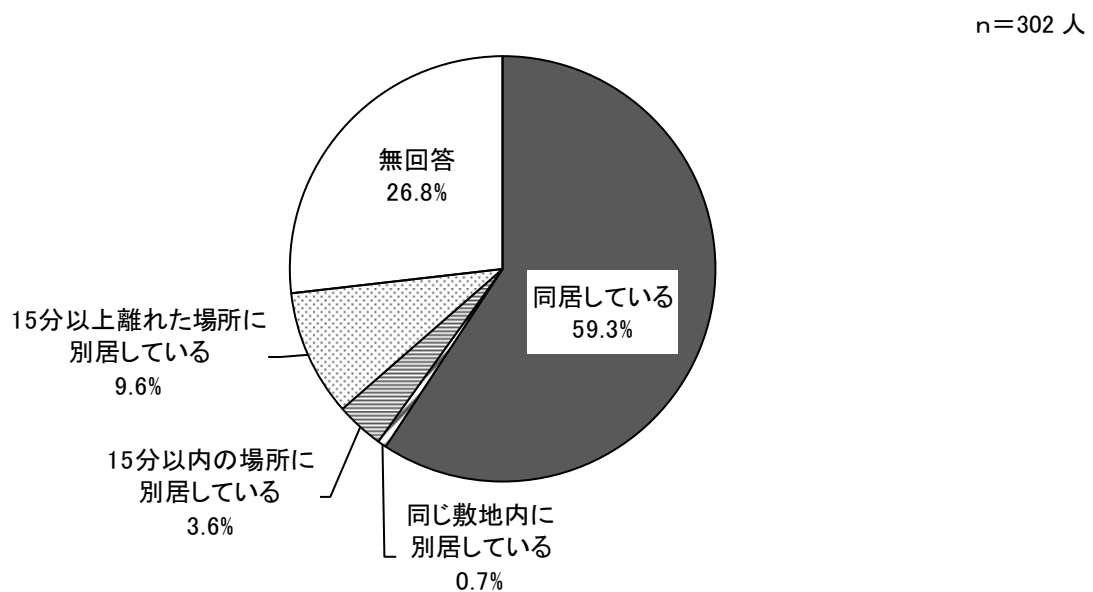
問23 介護者の年齢を教えてください(令和2年1月1日現在)。(○は1つ)



主な介護者の年齢についてみると、「80代」が21.9%で最も多く、次いで「70代」が15.2%、「50代」が14.9%となっています。また、『70代以上』が全体の3割を超えています。

24 同居の状況

問24 介護者はご本人と同居していますか。(○は1つ)

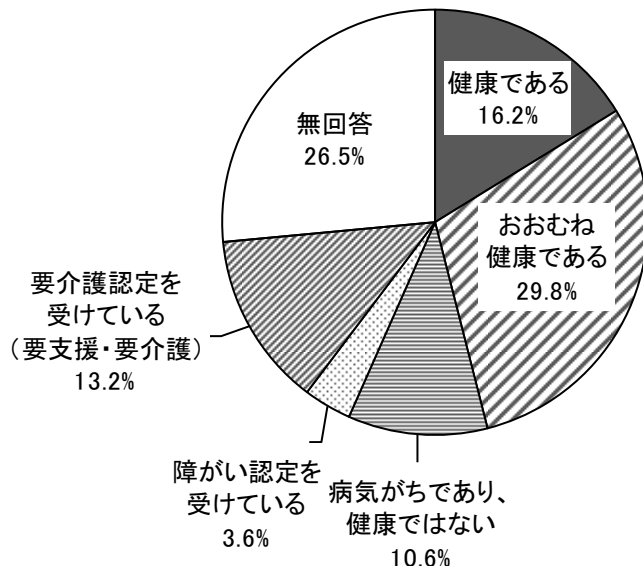


主な介護者の同居状況についてみると、「同居している」が59.3%で最も多くなっています。

25 主な介護者の健康状態

問25 介護者の健康状態について教えてください。(〇は1つ)

n=302 人



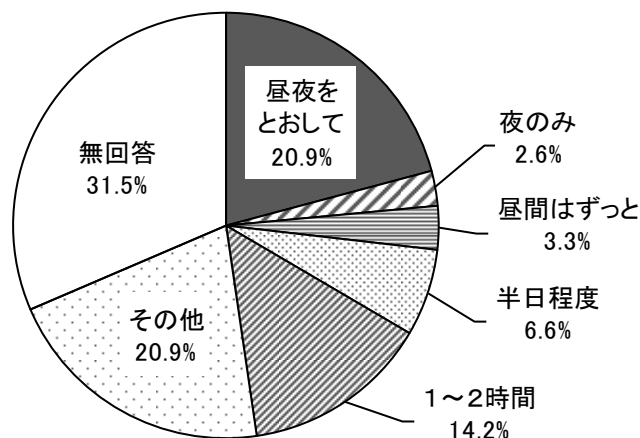
主な介護者の健康状態についてみると、「おおむね健康である」が 29.8%で最も多く、「健康である」(16.2%)をあわせた『健康』という回答は 4 割を超えています。

一方、「要介護認定を受けている (要支援・要介護)」(13.2%)と「病気がちであり、健康ではない」(10.6%)がそれぞれ 1 割を超えています。

26 介護している時間

問26 介護者が介護している時間はどのくらいですか。(〇は1つ)

n=302 人

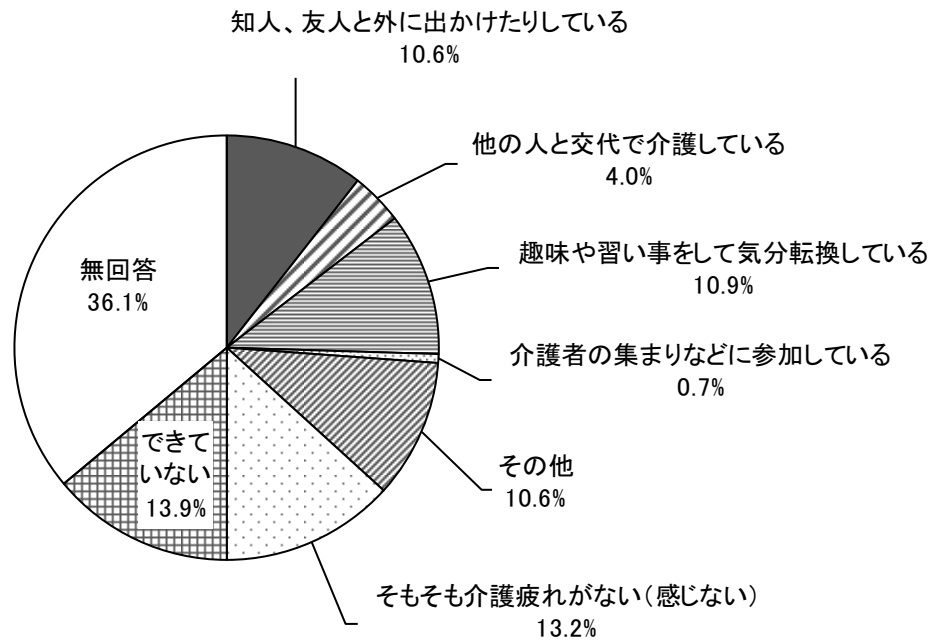


介護している時間についてみると、「昼夜をとおして」が 20.9%で最も多くなっています。

27 介護疲れの解消(軽減)方法

問27 あなたは、日頃、介護疲れをどのように解消(軽減)していますか。(〇は1つ)

n=302人

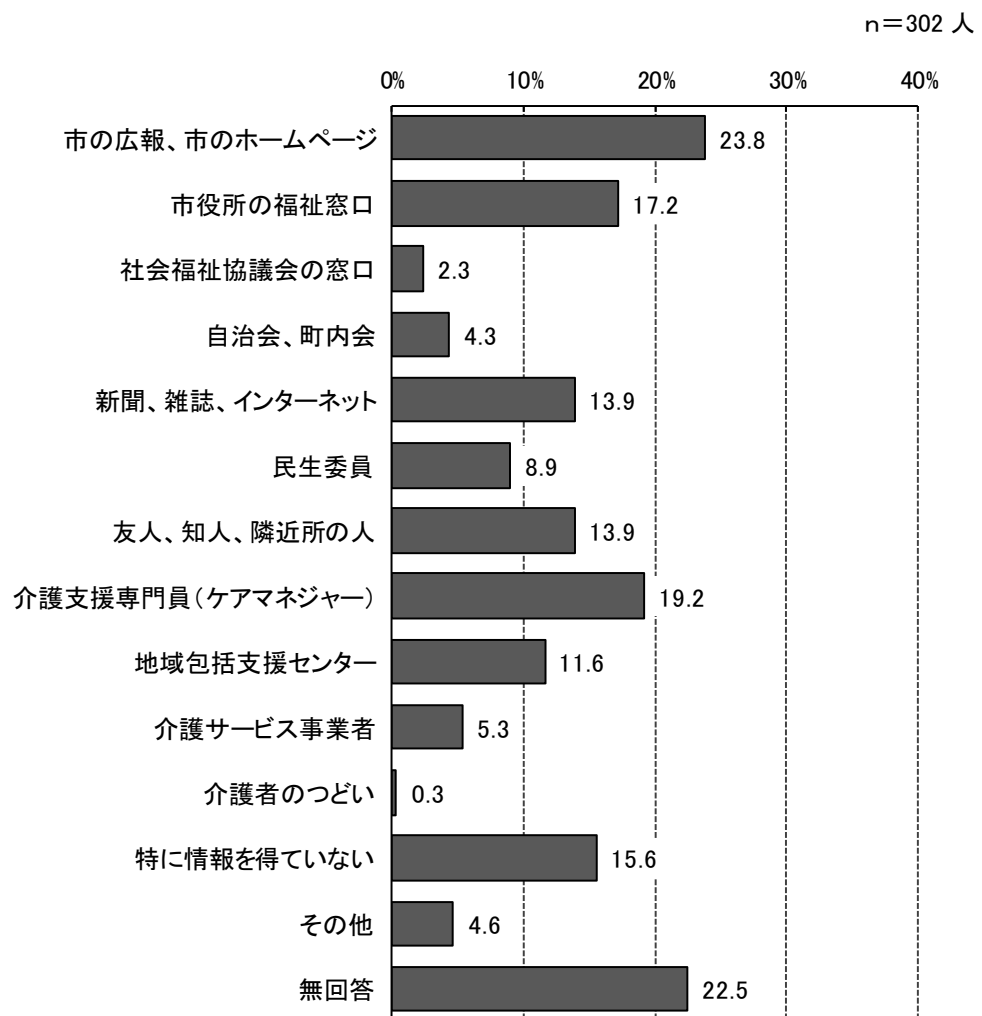


介護疲れの解消(軽減)方法についてみると、「趣味や習い事をして気分転換している」(10.9%)、「知人、友人と外に出かけたりしている」(10.6%)などが挙げられています。

一方、「できていない」が13.9%、「そもそも介護疲れがない(感じない)」が13.2%となっています。

28 介護に関する情報の入手先

問28 介護に関する情報は、どのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)



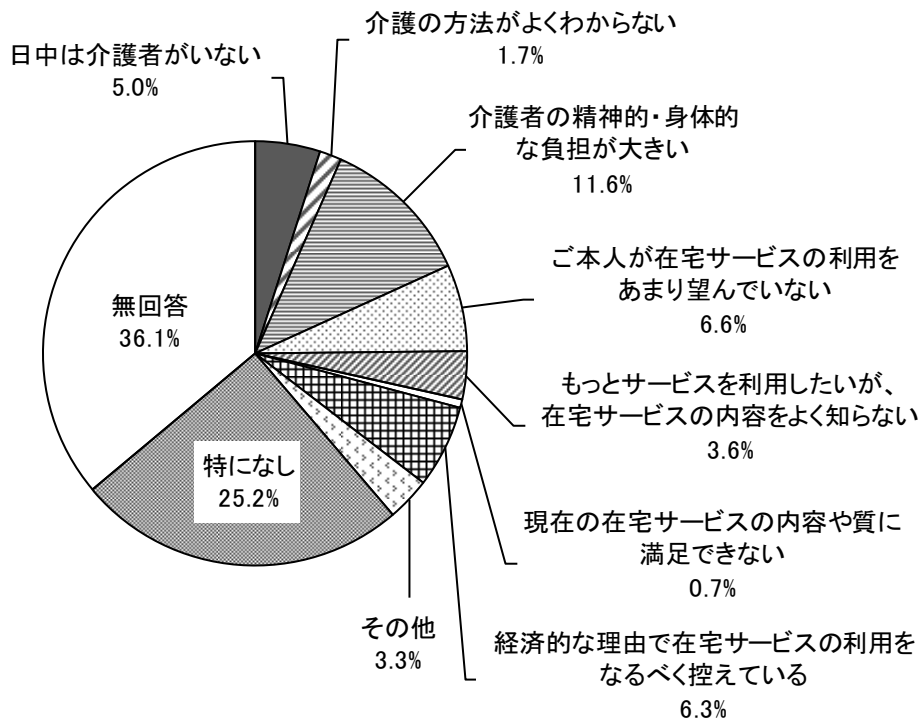
介護に関する情報の入手先についてみると、「市の広報、市のホームページ」が23.8%で最も多く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が19.2%、「市役所の福祉窓口」が17.2%となっています。

一方、「特に情報を得ていない」は15.6%となっています。

29 在宅介護での困りごと

問29 在宅での介護について、困っていることはありますか。(主なもの1つに○)

n=302人

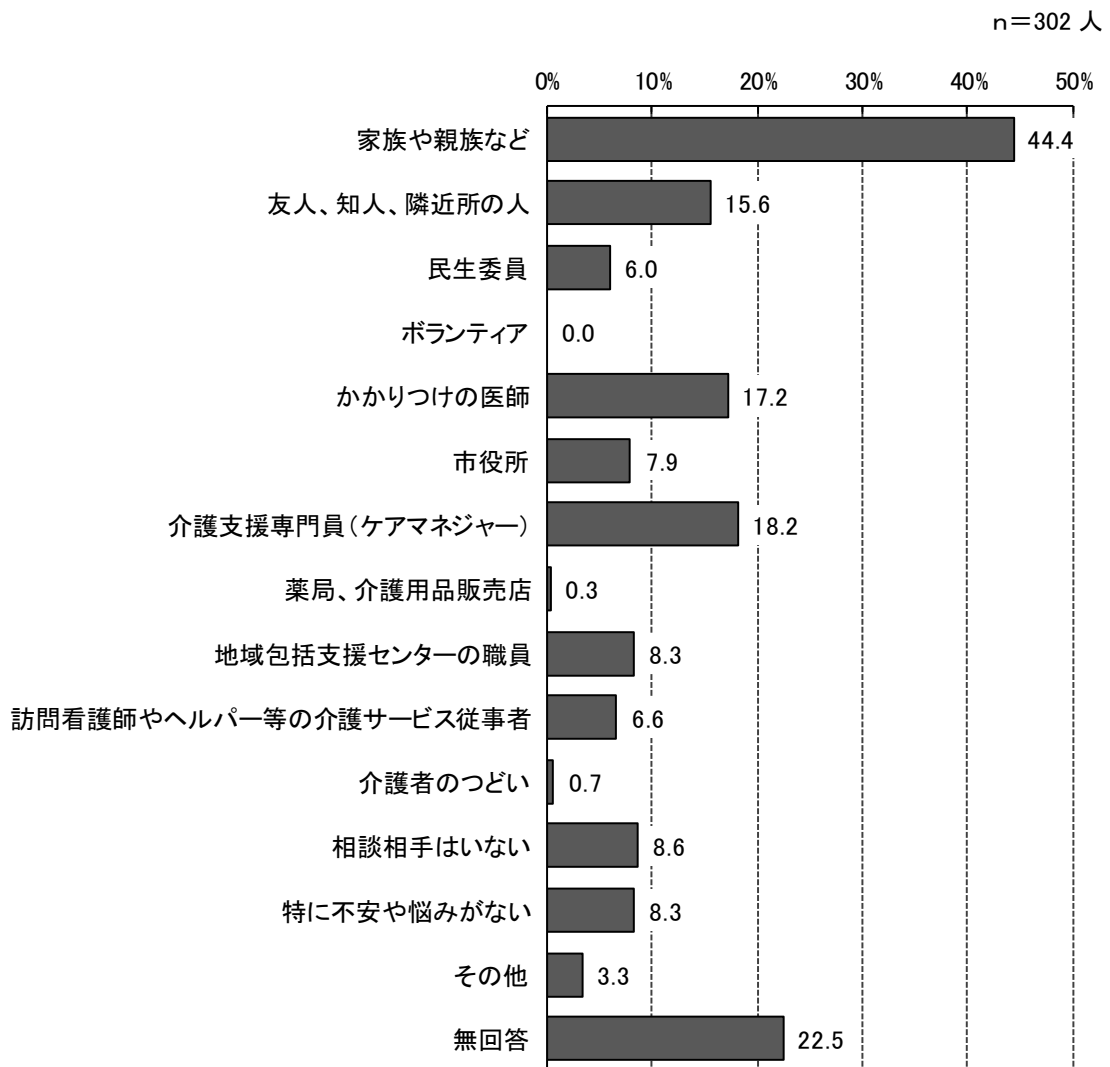


在宅介護での困りごとについてみると、「介護者の精神的・身体的な負担が大きい」(11.6%)、「ご本人が在宅サービスの利用をあまり望んでいない」(6.6%)、「経済的な理由で在宅サービスの利用をなるべく控えている」(6.3%)などが挙げられています。

一方、「特になし」は25.2%となっています。

30 健康や介護に関する相談相手

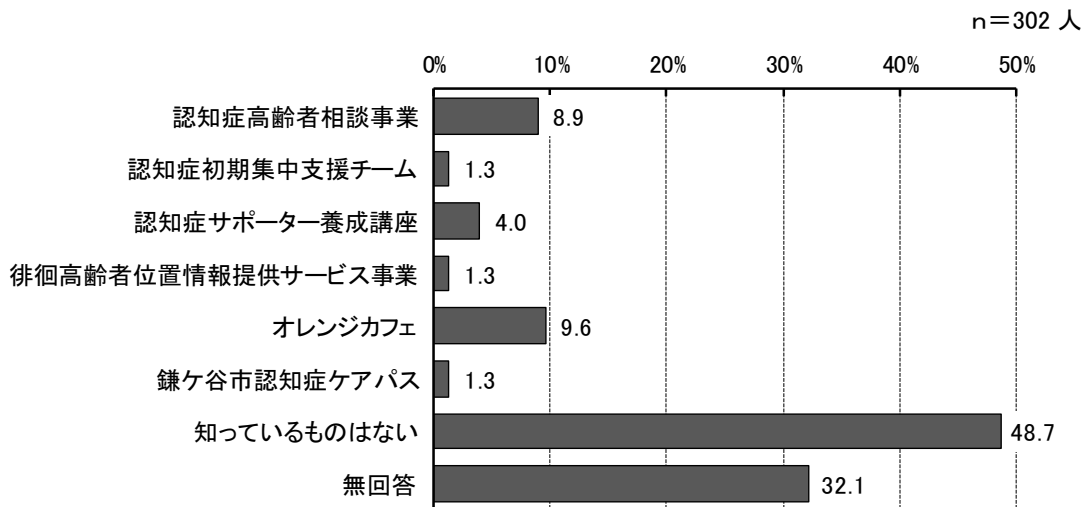
問30 あなたは、健康や介護についての不安や悩みを誰に相談していますか。または相談しようと思
いますか。(あてはまるものすべてに○)



健康や介護に関する相談相手についてみると、「家族や親族など」が 44.4%で最も多く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が 18.2%、「かかりつけの医師」が 17.2%などとなっています。

31 認知症に関連する市の施策で知っているもの

問31 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

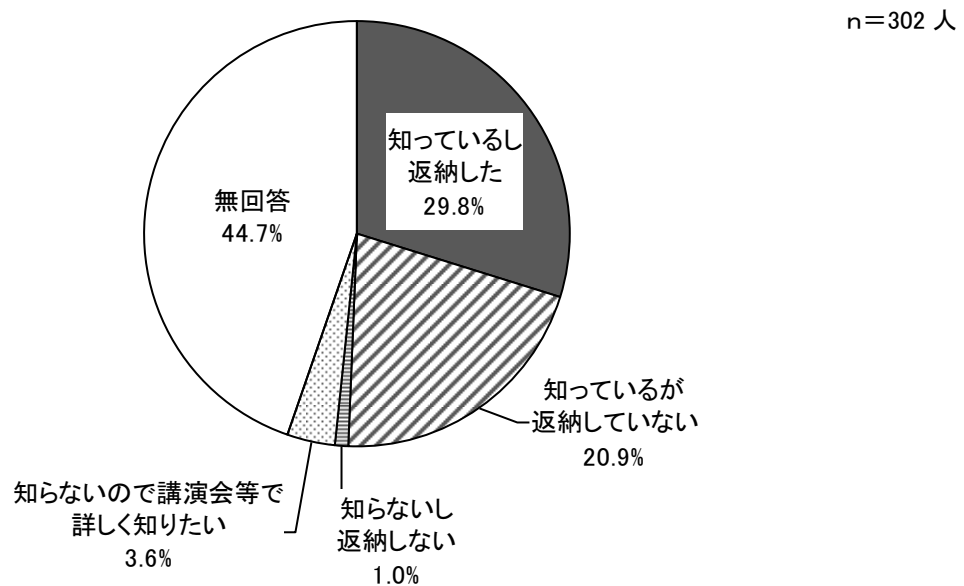


認知症に関連する市の施策で知っているものは、「オレンジカフェ」が9.6%で最も多く、次いで「認知症高齢者相談事業」が8.9%、「認知症サポーター養成講座」が4.0%などとなっています。

一方、「知っているものはない」は48.7%となっています。

32 運転免許返納

問32 認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることを知っていますか。(○は1つ)

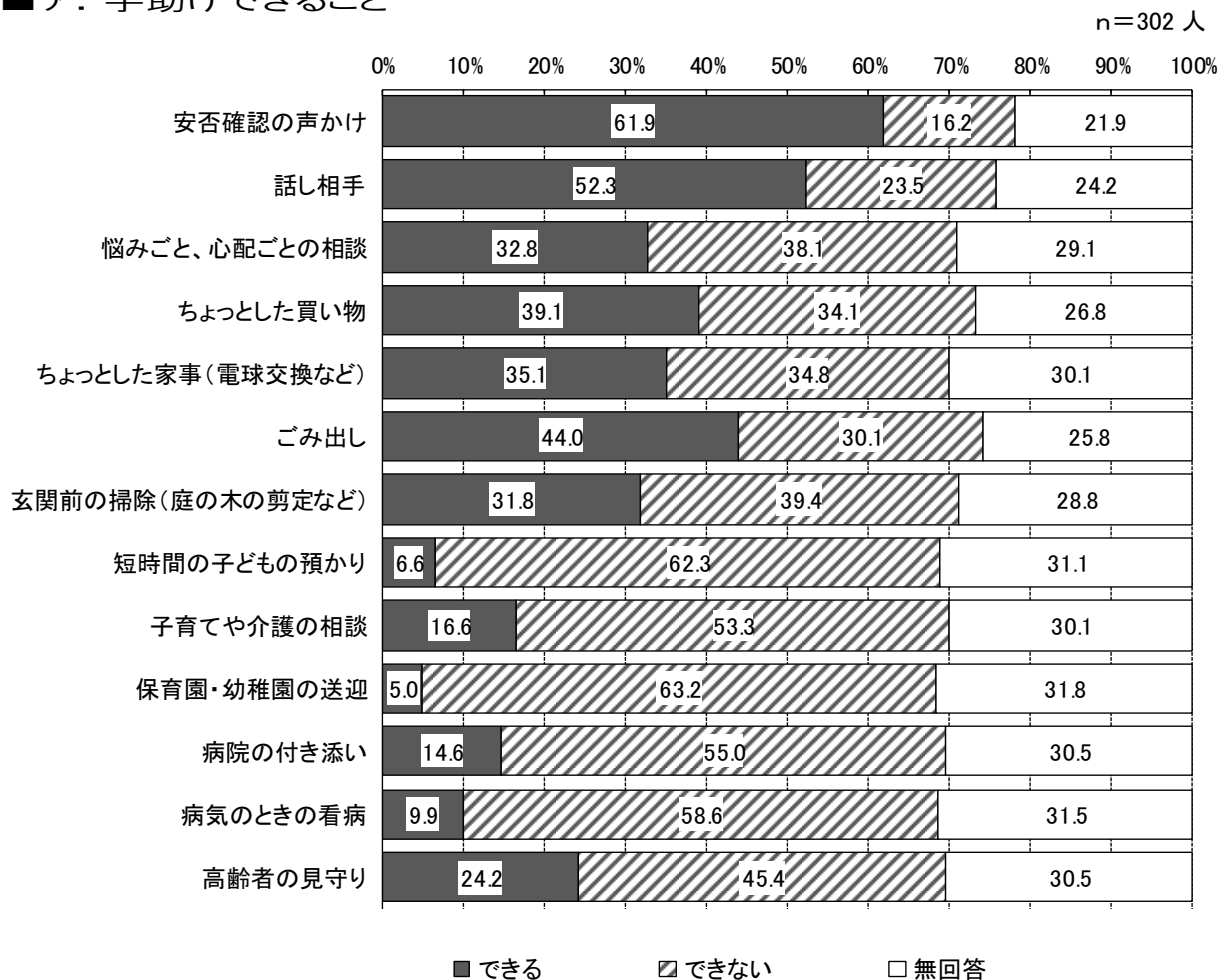


認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることの認知度は、「知っているし返納した」が29.8%、「知っているが返納していない」が20.9%、「知らないので講演会等で詳しく知りたい」が3.6%などとなっています。

33 隣近所の手助け

問33 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてもらいたいですか。各項目の「ア. 手助けできること」、「イ. 手助けして欲しいこと」それぞれにご回答ください

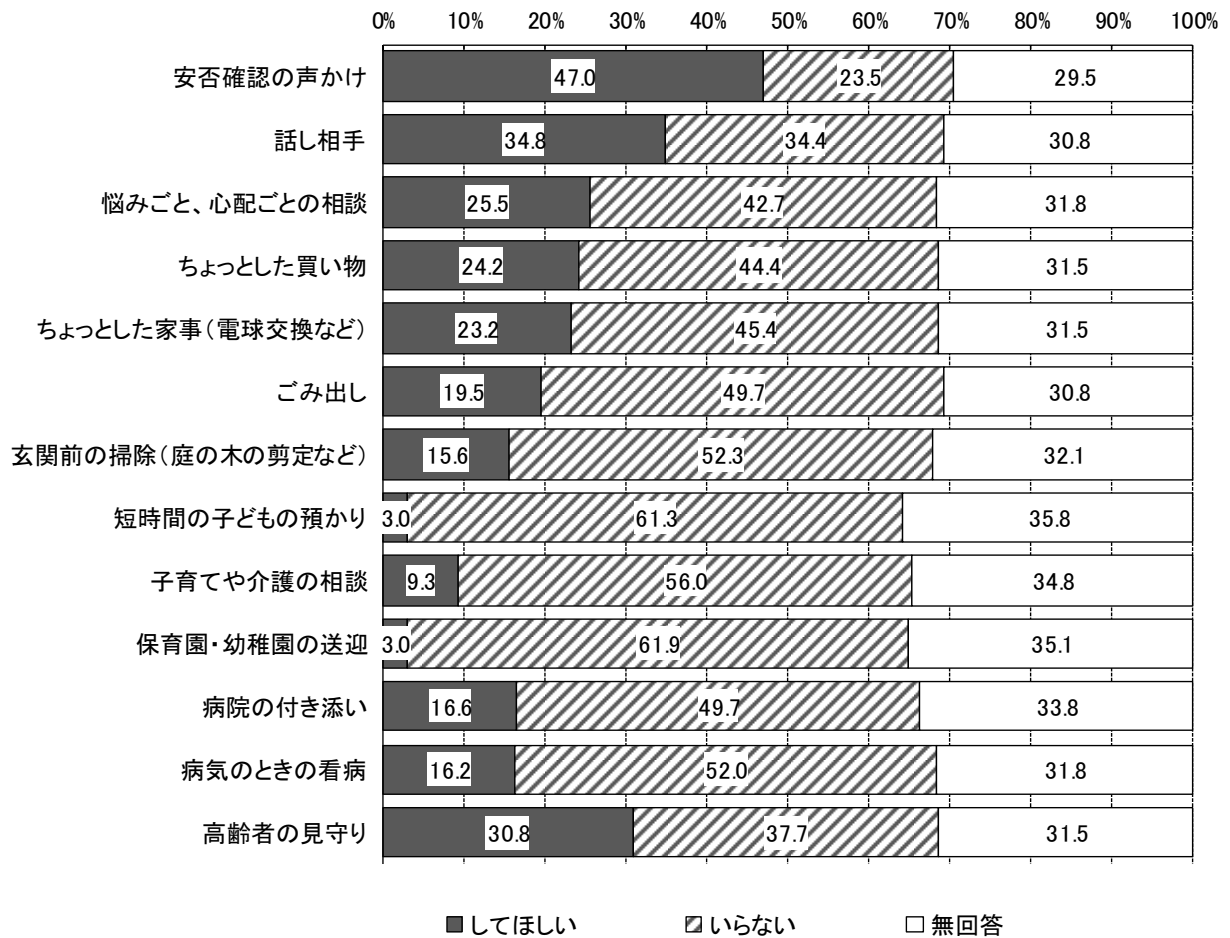
■ ア. 手助けできること



手助けできることについてみると、「できる」は「安否確認の声かけ」が 61.9% で最も多く、次いで「話し相手」(52.3%)、「ごみ出し」(44.0%) などとなっています。

■イ. 手助けして欲しいこと

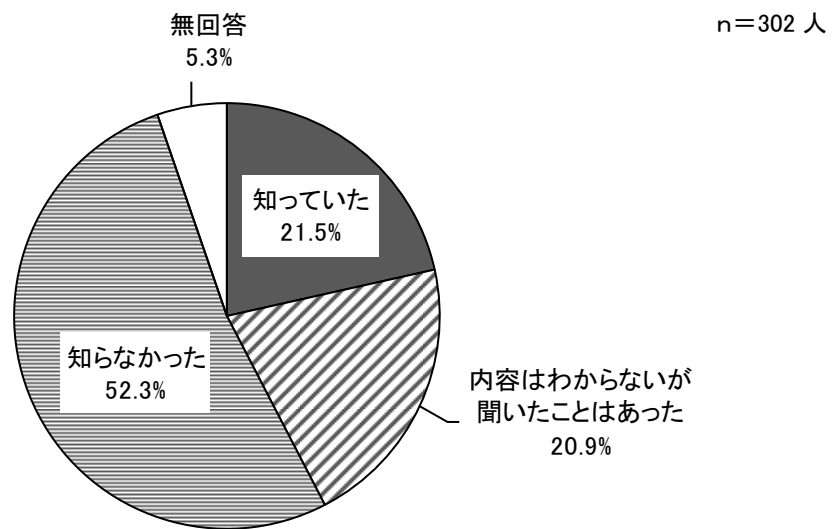
n=302人



手助けしてほしいことについてみると、「してほしい」は「安否確認の声かけ」が47.0%で最も多く、次いで「話し相手」(34.8%)、「高齢者の見守り」(30.8%)などとなっています。

34 市民後見人の認知状況

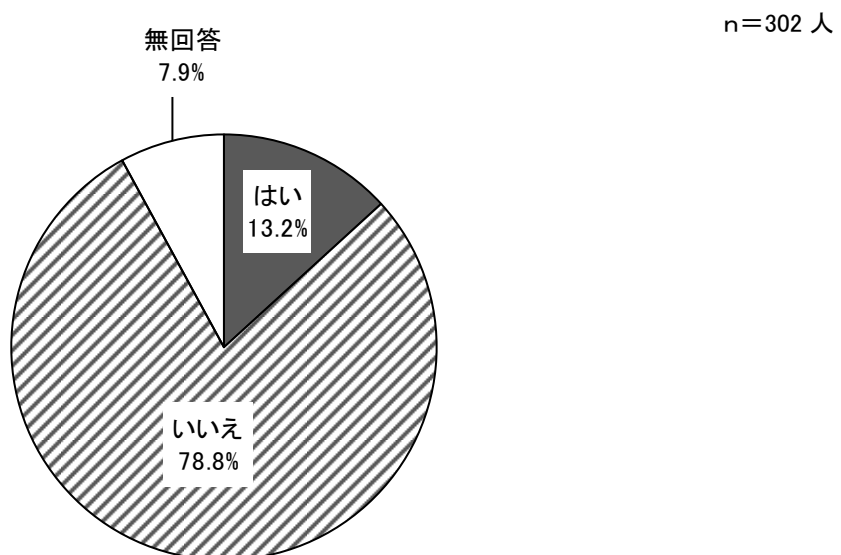
問34 このアンケート前から市民後見人を知っていましたか。(〇は1つ)



市民後見人の認知状況についてみると、「知っていた」(21.5%)と「内容はわからないが聞いたことはあった」(20.9%)をあわせた『市民後見人の認知あり』は4割台となっています。一方、「知らなかった」は52.3%となっています。

35 市民後見人の講座の受講意向

問35 市民後見人の講座を受講したいと思いますか。(〇は1つ)



市民後見人の講座の受講意向についてみると、受講したいと思う「はい」(13.2%)で、「いいえ」(78.8%)を大きく下回っています。

36 自由回答

問 36 ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は 55 件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	5
住まい	1
情報提供	5
将来について	4
その他	37
お礼など	3
合計	55

<回答結果>※一部を抜粋し、要約しています。

○介護者は高齢で車の運転が出来ない。低料金で利用できる巡回タクシーの様な移動手段を確保してほしい。

○歩行困難のため、タクシーを利用せざるを得ず、タクシー代の補助をして戴きたい。

○体に不自由な所がある為、認定程度は重くなくても日常の歩行やトイレ、立つ事が大変困難です。障害年金のみの生活で、サービスを利用したくても無理があることが現実です。

○後見人制度を深く知りたいので、広報等で講座受講の募集をして欲しい。

○市民後見人や介護に対する手助けを行いたいが、仕事が忙しく時間がとれない状況です。研修を受けた後、定期的に行えなくても時間がある時に手助けできることがあれば、参加したい。

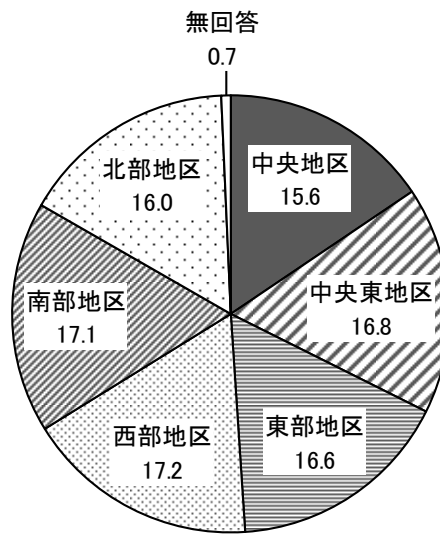
○夫婦で同居していますが、5年前より夫が入退院をくり返し、私も腰、膝痛あり心身共につかれ気味です。この先老々介護だと思つと心が不安定になります。

第7章 介護予防・日常生活圏域ニーズ 調査結果

F 基本的属性

(1) 居住地区（圏域）

n=2,783 人

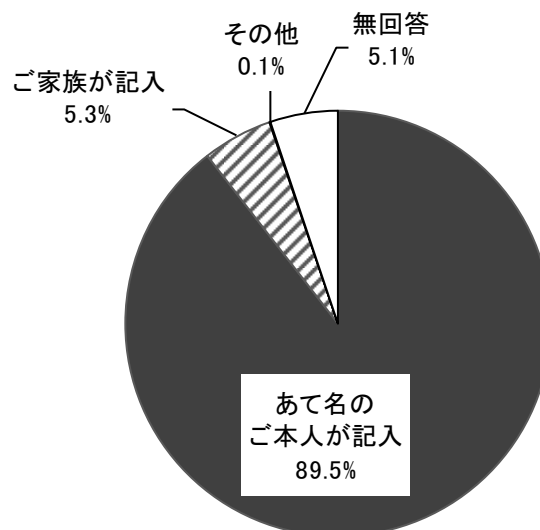


調査対象者の居住地区（圏域）についてみると、いずれも 1 割台半ばとなっています。

(2) 調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

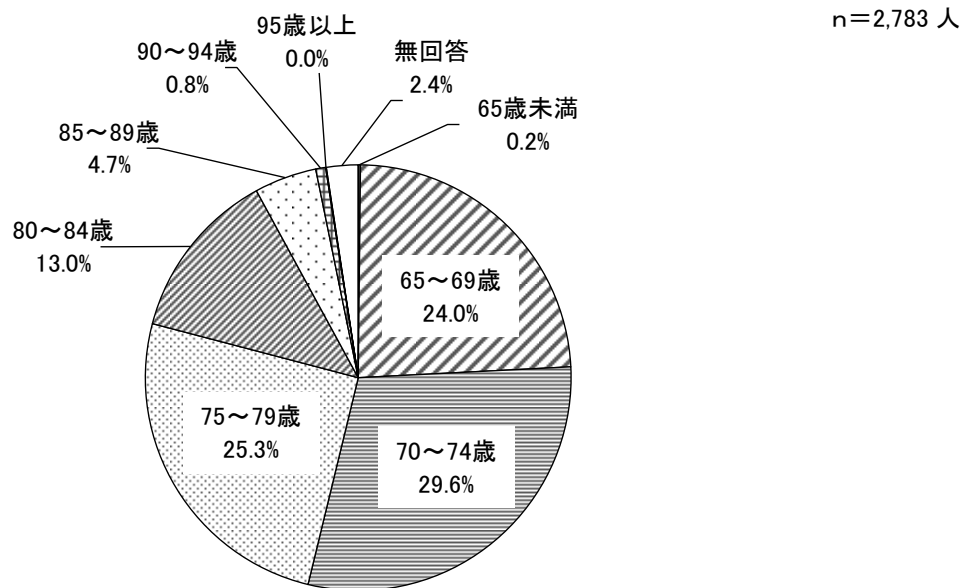
n=2,783 人



調査票の記入者についてみると、「あて名のご本人が記入」が 89.5%、「ご家族が記入」が 5.3%となっています。

(3) 年齢

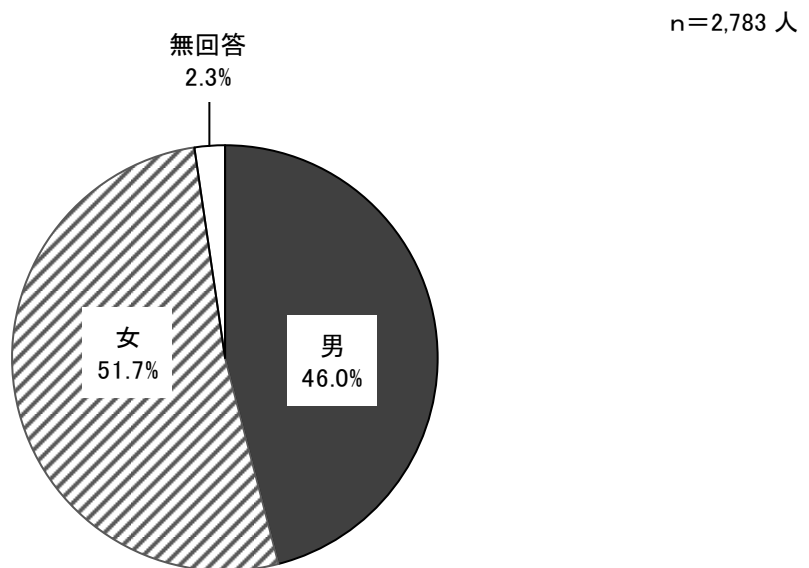
あて名のご本人情報を記入してください。



調査対象者の年齢についてみると、「70~74 歳」(29.6%)、「75~79 歳」(25.3%)、「65~69 歳」(24.0%) が2割台で多くなっています。また、『75 歳以上の後期高齢者』は、4割以上を占めています。

(4) 性別

あて名のご本人情報を記入してください。

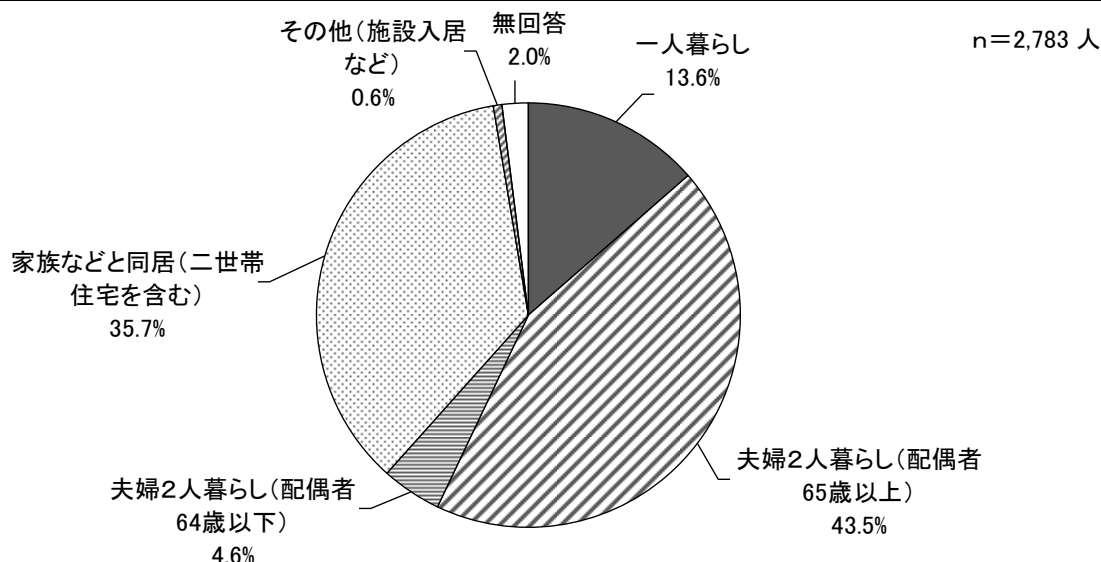


調査対象者の性別についてみると、「男性」が 46.0%、「女性」が 51.7%となっています。

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族の状況

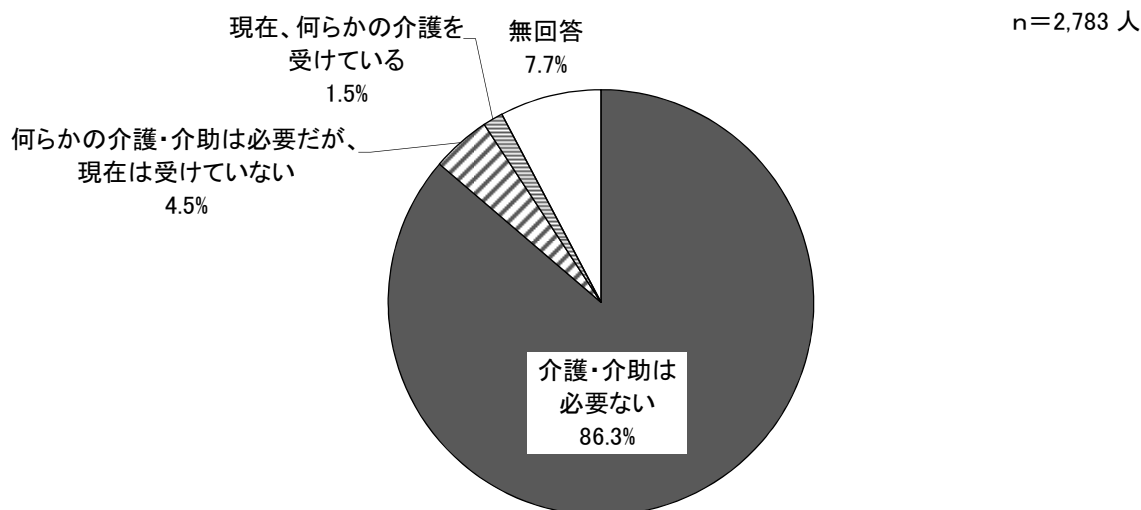
問1. 家族構成をお教えてください(○は1つ)



調査対象者と同居している家族についてみると、「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」が 43.5%で最も多く、次いで「家族など同居(二世帯住宅を含む)」が 35.7%、「一人暮らし」が 13.6%となっています。

(2) 介護・介助の必要性

問2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(○は1つ)



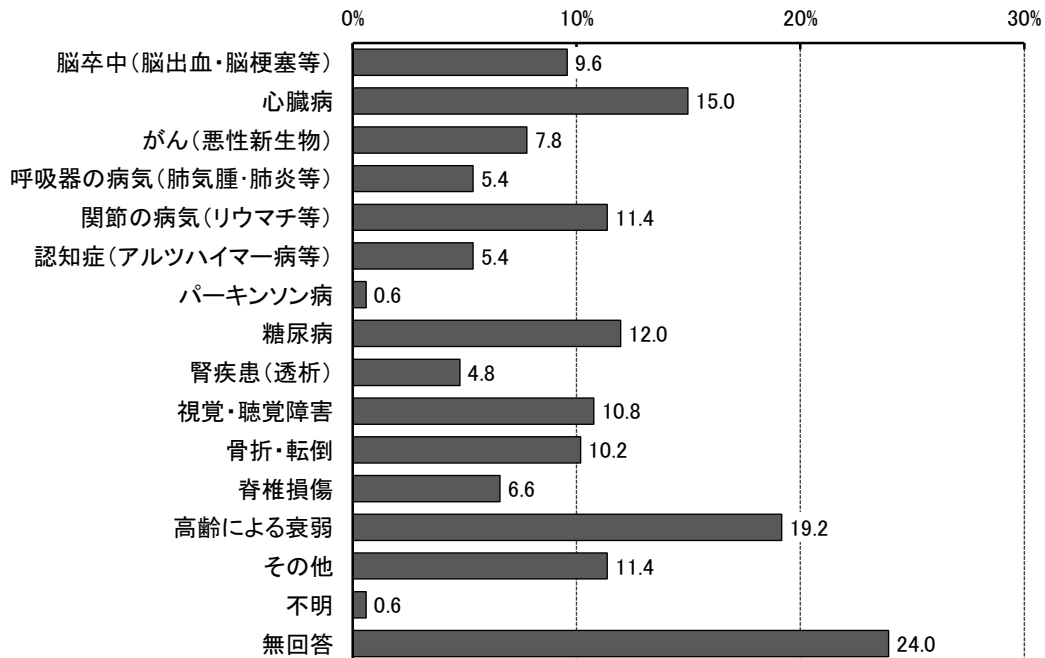
日常生活をする上での介護・介助の必要性についてみると、「現在、何らかの介護を受けている」が 1.5%で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(4.5%)をあわせた『介護・介助が必要』は 1割未満となっています。一方、「介護・介助は必要ない」は 86.3%となっています。

■ 介護・介助が必要となった原因

付問2-1. (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか

(あてはまるものすべてに○)

n=167人



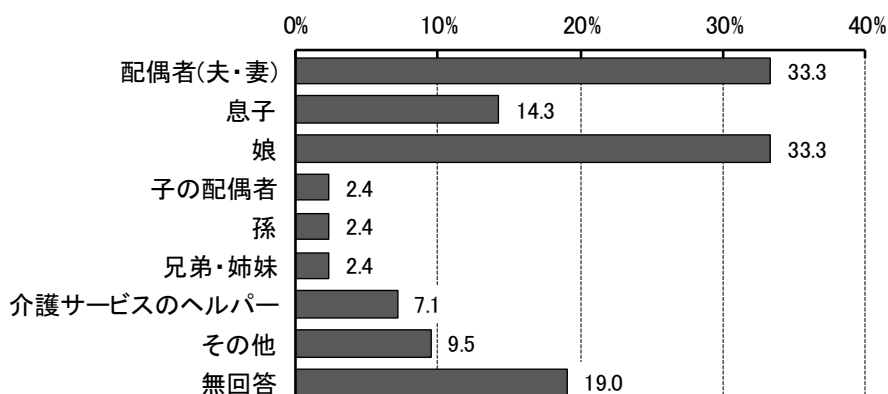
日常生活をする上で介護・介助が必要と回答した方に、そうなった主な原因を聞いたところ、「高齢による衰弱」が19.2%で最も多く、次いで「心臓病」が15.0%、「糖尿病」が12.0%、「関節の病気(リウマチ等)」が11.4%などとなっています。

■ 主な介護・介助者

付問2-2. (介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか

(あてはまるものすべてに○)

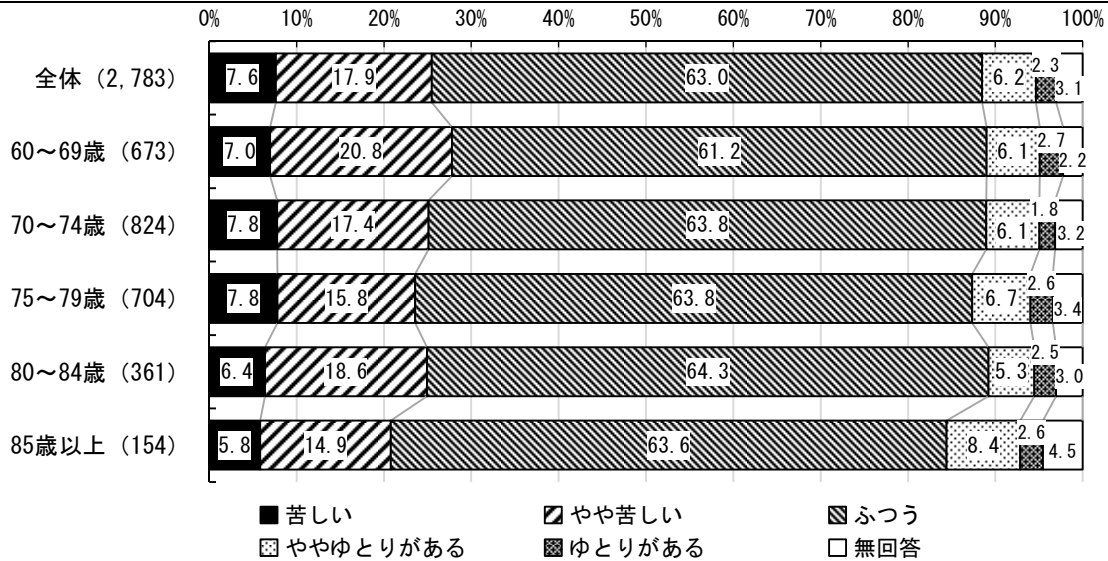
n=42人



日常生活をする上で、現在何らかの介護・介助を受けていると回答した方に、主な介護・介助者を聞いたところ、「配偶者(夫・妻)」、「娘」が、ともに33.3%で最も多く、次いで「息子」が14.3%となっています。

(3) 現在の暮らしの状況

問3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(○は1つ)

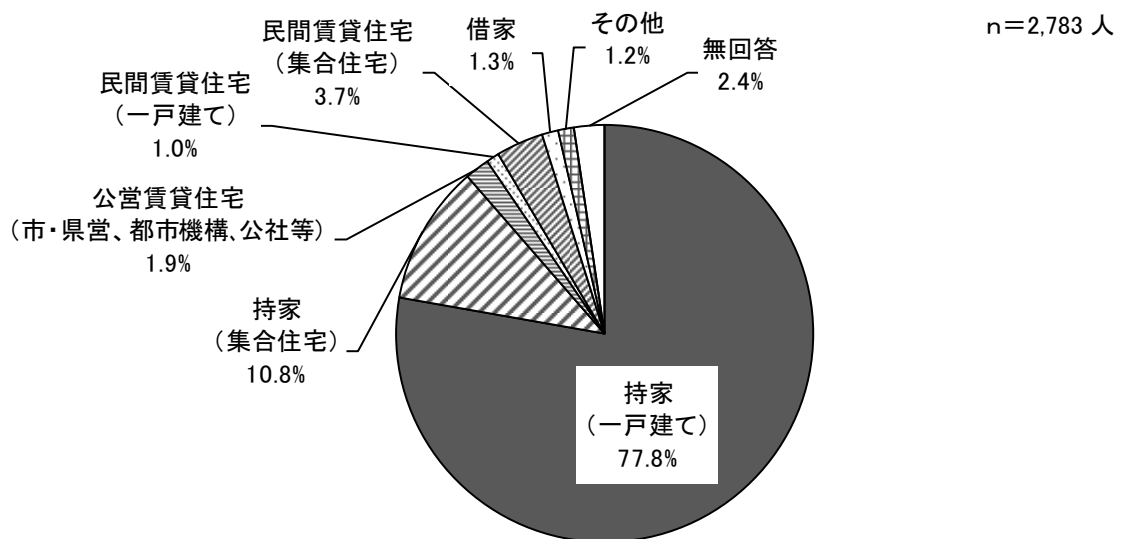


現在の暮らしの状況についてみると、「苦しい」(7.6%)と「やや苦しい」(17.9%)をあわせた『どちらかといえば経済的に苦しい』は2割半ばとなっており、「ゆとりがある」(2.3%)と「ややゆとりがある」(6.2%)をあわせた『どちらかといえば経済的にゆとりがある』の1割未満を上回っています。

年齢別にみると、『どちらかといえば経済的に苦しい』は60~69歳が27.8%で最も多くなっています。

(4) 住居の種類と所有形態

問4. お住まいは、次のどれにあたりますか(○は1つ)

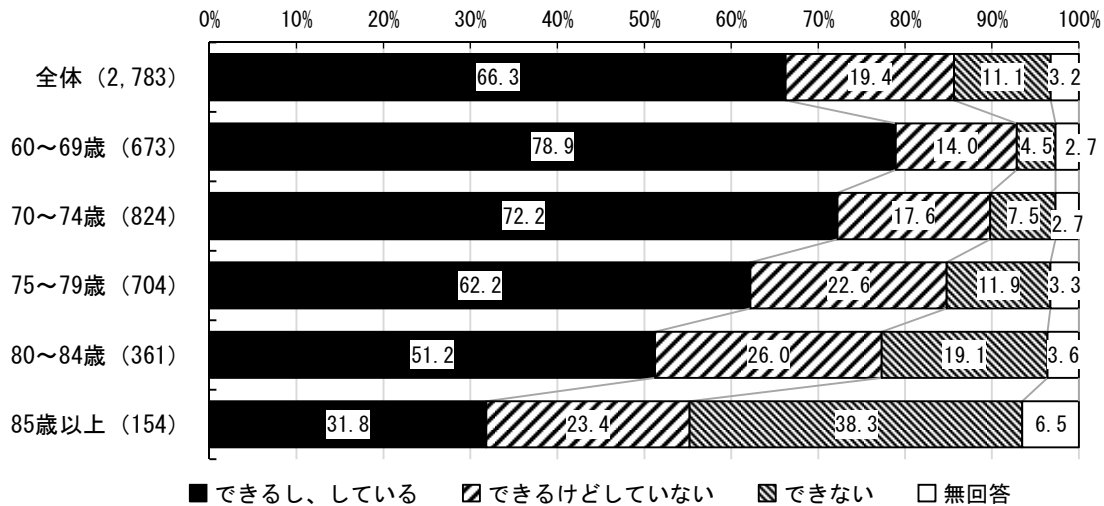


住居の種類と所有形態についてみると、「持家(一戸建て)」が77.8%で最も多く、「持家(集合住宅)」(10.8%)をあわせた『持家』は約9割となっています。

2 からだを動かすことについて

(1) 階段の昇りの状況

問1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(○は1つ)

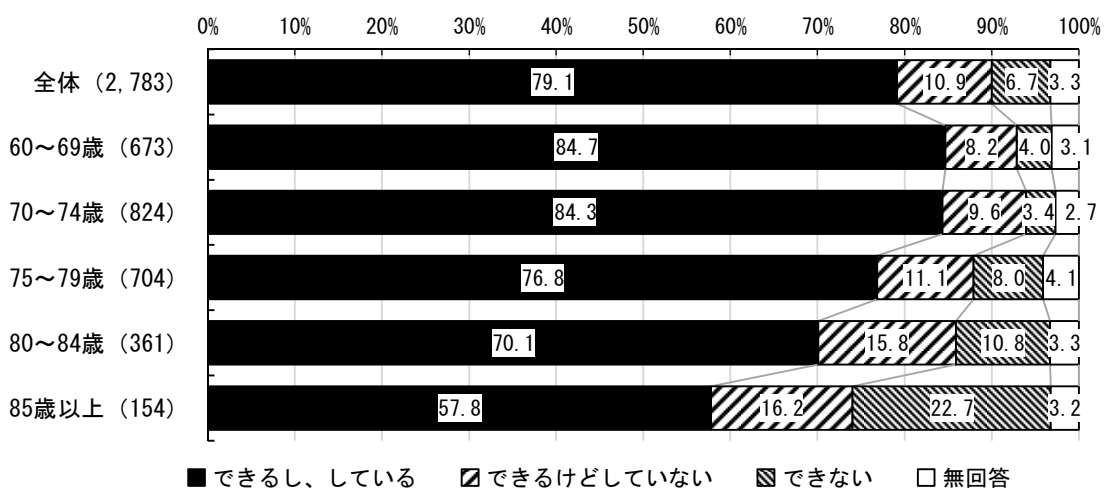


手すりや壁をつたわずに階段を昇っているかについてみると、「できるし、している」が66.3%、「できない」が11.1%となっています。また「できるけどしていない」は19.4%となっています。

年齢別にみると、「できない」は85歳以上で38.3%となっています。

(2) 立ち上がりの状況

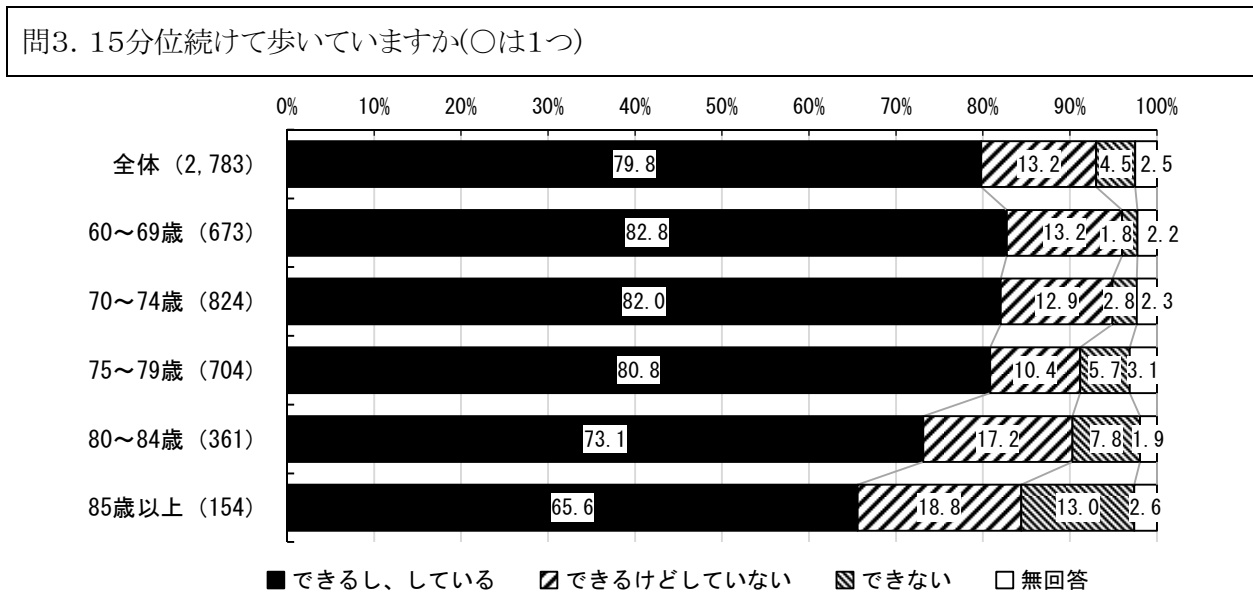
問2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(○は1つ)



椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が79.1%、「できない」が6.7%となっています。また「できるけどしていない」は10.9%となっています。

年齢別にみると、「できない」は85歳以上で22.7%となっています。

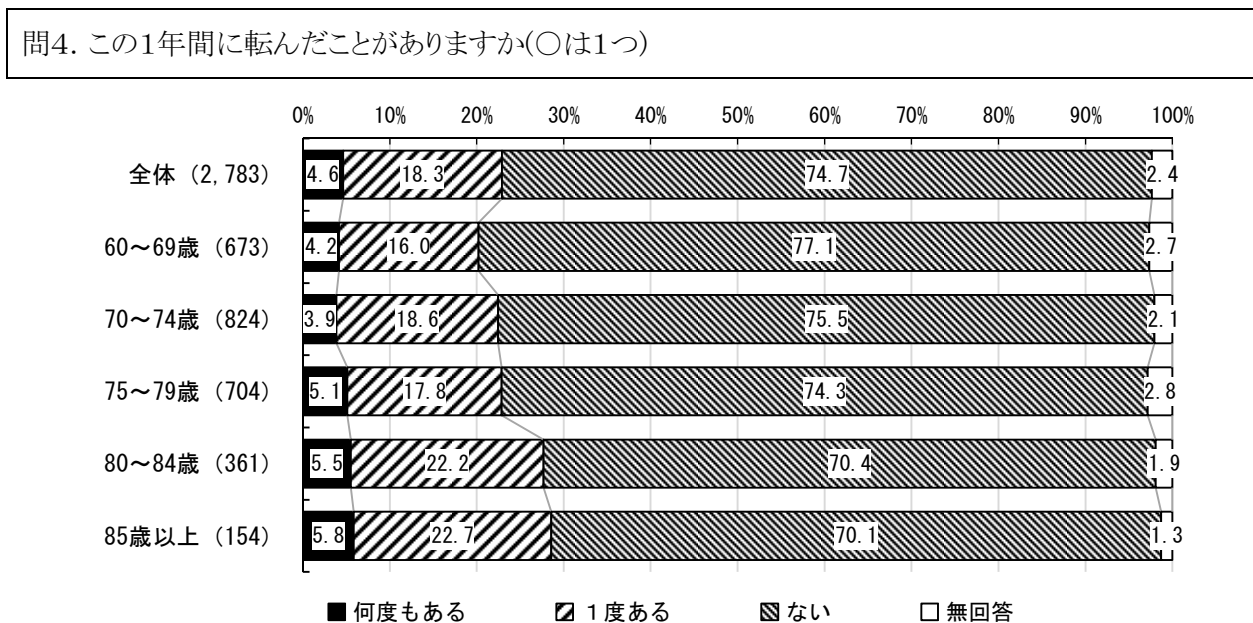
(3) 15分くらい続けて歩いているか



15分くらい続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が79.8%、「できない」が4.5%となっています。また「できるけどしていない」は13.2%となっています。

年齢別にみると、「できない」は85歳以上で13.0%となっています。

(4) 1年間の転倒経験

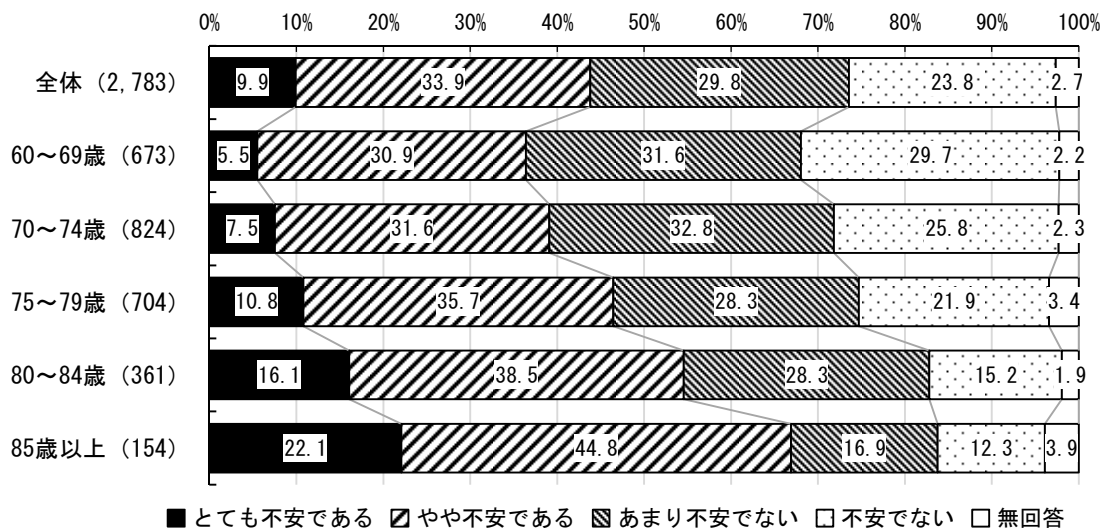


この1年間の転倒経験についてみると、「ない」は74.7%、「1度ある」(18.3%)と「何度もある」(4.6%)をあわせた『転倒した』は2割台となっています。

年齢別にみると、『転倒した』は85歳以上で28.5%となっています。

(5) 転倒に対する不安

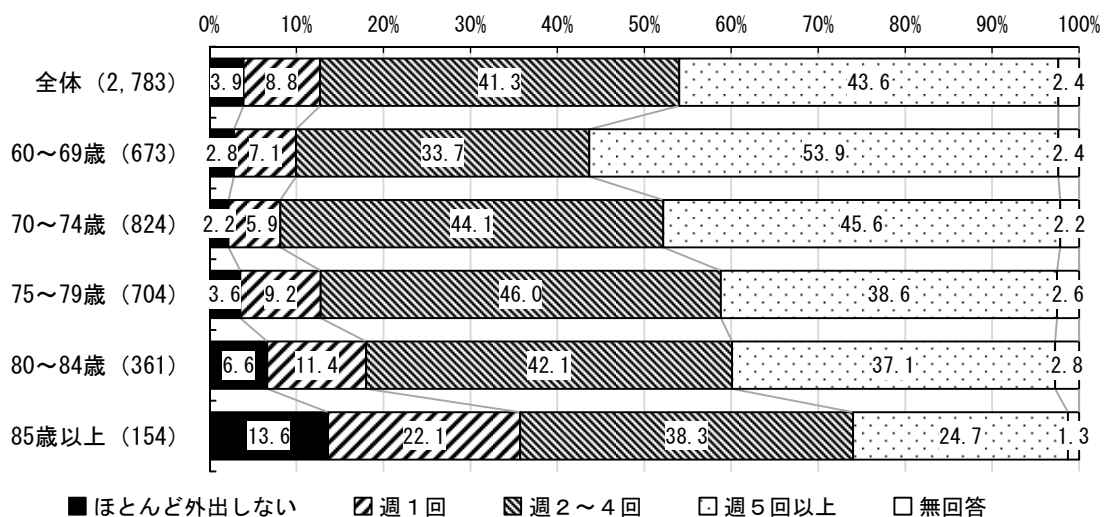
問5. 転倒に対する不安は大きいですか(○は1つ)



転倒に対する不安についてみると、「やや不安である」が33.9%で最も多く、「とても不安である」(9.9%)をあわせた『不安を感じる』は4割台となっています。年齢別にみると、『不安を感じる』は85歳以上で66.9%となっています。

(6) 外出の頻度

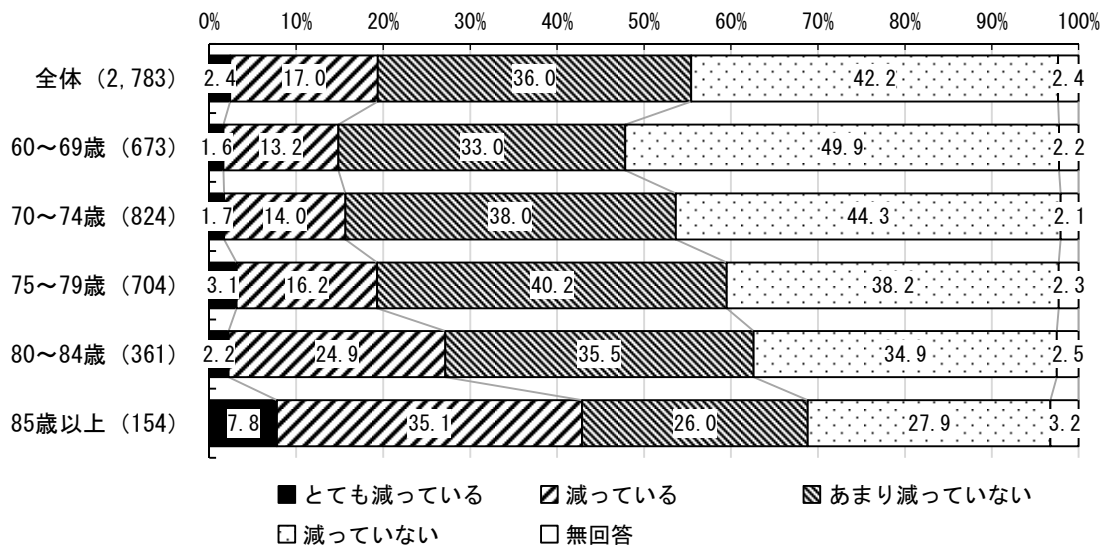
問6. 週にどれくらい外出していますか(○は1つ)



外出の頻度についてみると、「週5回以上」が43.6%で最も多く、次いで「週2~4回」が41.3%となっており、あわせると8割以上を占めています。年齢別にみると、「週5回以上」は60~69歳が53.9%で最も多くなっています。一方、85歳以上は24.7%で、年齢が上がるほど低くなっています。

(7) 外出頻度の前年比較

問7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(○は1つ)

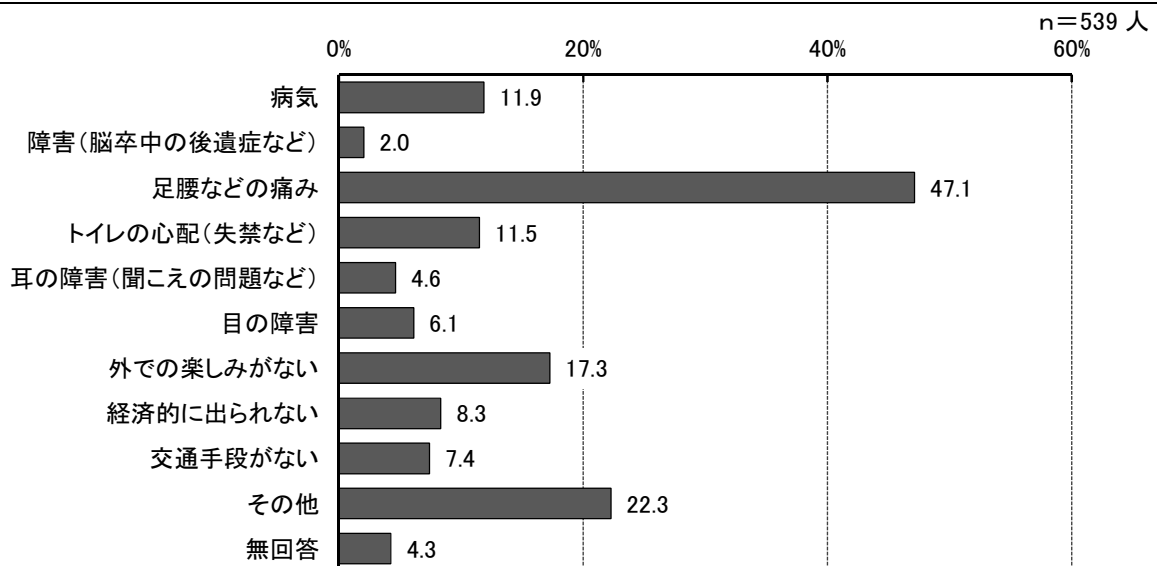


昨年と比べ外出の回数が減っているかについてみると、「あまり減っていない」(36.0%)と「減っていない」(42.2%)をあわせた『減少を感じない』が約8割となっています。

年齢別にみると、『減少を感じない』は60～69歳が82.9%で最も多くなっています。一方、85歳以上は53.9%で、年齢が上がるほど低くなっています。

■ 外出の回数が減った理由

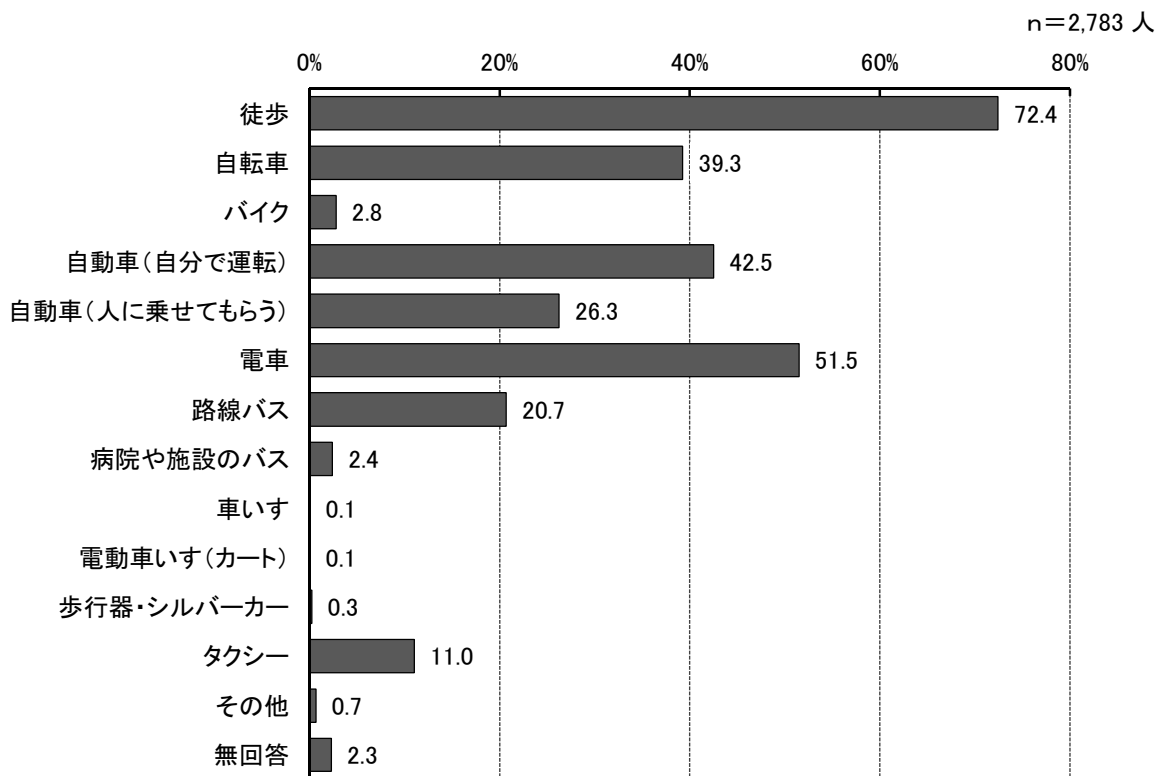
付問7-1. 問7で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。外出の回数が減った理由は、次のどれですか(あてはまるものすべてに○)



外出の回数が減ったと回答した方に、その理由を聞いたところ、「足腰などの痛み」が47.1%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」が17.3%、「病気」が11.9%、「トイレの心配(失禁など)」が11.5%などとなっています。

(8) 外出時の移動手段

問8. 外出する際の移動手段はなんですか(あてはまるものすべてに○)



外出時の移動手段についてみると、「徒歩」が72.4%で最も多く、次いで「電車」が51.5%、「自動車(自分で運転)」が42.5%などとなっています。

<年齢別集計>

	調査数	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
【総数】	2783	72.4	39.3	2.8	42.5	26.3	51.5	20.7	2.4	0.1	0.1	0.3	11.0	0.7	2.3
【性別】	0														
男性	1279	72.6	39.4	3.9	63.6	14.3	50.4	18.5	2.0	0.2	0.1	0.0	9.8	0.6	2.0
女性	1440	73.0	39.0	1.6	23.8	36.9	53.5	23.2	2.7	0.0	0.0	0.5	12.4	0.8	2.5
【年齢】	0														
60～69歳	673	73.0	39.8	5.3	56.2	24.4	54.2	17.2	0.7	0.1	0.0	0.0	5.1	0.3	3.4
70～74歳	824	76.2	42.5	1.9	48.4	25.7	55.6	21.8	1.7	0.1	0.0	0.2	8.7	0.5	2.1
75～79歳	704	70.5	40.2	2.7	35.9	27.4	51.3	21.3	3.1	0.0	0.0	0.4	12.8	0.6	2.4
80～84歳	361	72.0	35.2	0.6	29.4	23.5	47.4	24.1	3.6	0.0	0.0	0.3	17.5	1.1	1.4
85歳以上	154	66.2	24.0	0.6	13.6	38.3	38.3	24.0	6.5	0.0	0.6	0.6	27.9	3.2	0.0

年齢別にみると、「徒歩」は84歳以下の年齢で7割以上となっています。「自動車(自分で運転)」は60～69歳が56.2%で最も多く、年齢が上がるほど低くなっています。85歳以上では「タクシー」が27.9%で他の年齢と比べて多くなっています。

3 食べることについて

(1) BMI 値

問1. 身長と体重

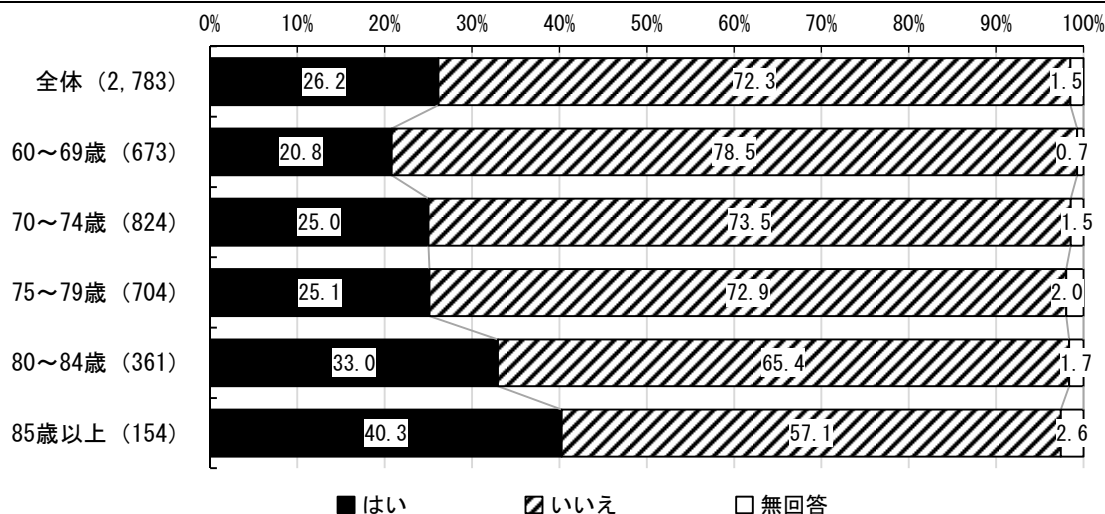


身長と体重からBMI 値を算出した結果についてみると、「普通(18.5以上25未満)」が69.1%で最も多く、次いで「肥満(25以上)」が24.3%、「やせ(18.5未満)」が6.5%となっています。

年齢別にみると、「やせ(18.5未満)」は全ての年齢で1割未満となっています。「肥満(25以上)」は60~69歳と85歳以上で、やや多くなっています。

(2) 半年前より固いものが食べにくくなったか

問2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

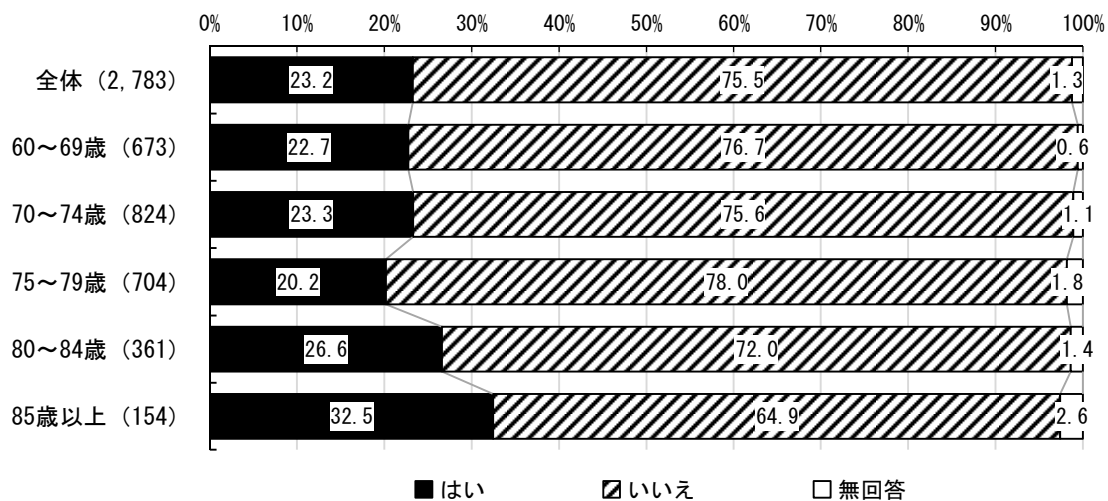


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「はい」が26.2%、「いいえ」が72.3%となっています。

年齢別にみると、「はい」は85歳以上で40.3%となっています。

(3) 飲食時むせることがあるか

問3. お茶や汁物等でむせることがありますか

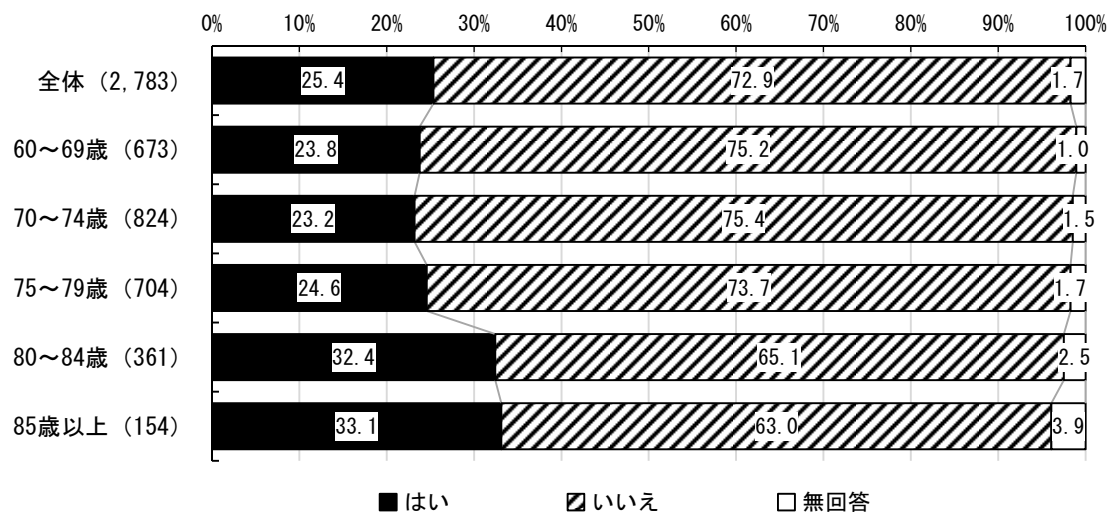


お茶や汁物等でむせることがあるかについてみると、「はい」が23.2%、「いいえ」が75.5%となっています。

年齢別にみると、「はい」は85歳以上で32.5%となっています。

(4) 口の渇きが気になるか

問4. 口の渇きが気になりますか

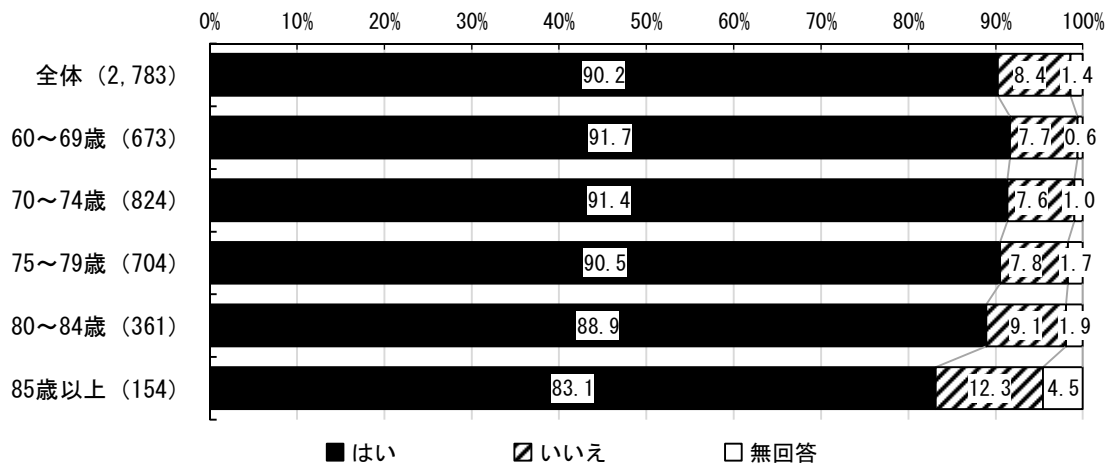


口の渇きが気になるかについてみると、「はい」が25.4%、「いいえ」が72.9%となっています。

年齢別にみると、「はい」は80歳以上の年齢で3割以上となっています。

(5) 毎日歯磨きをしているか

問5. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

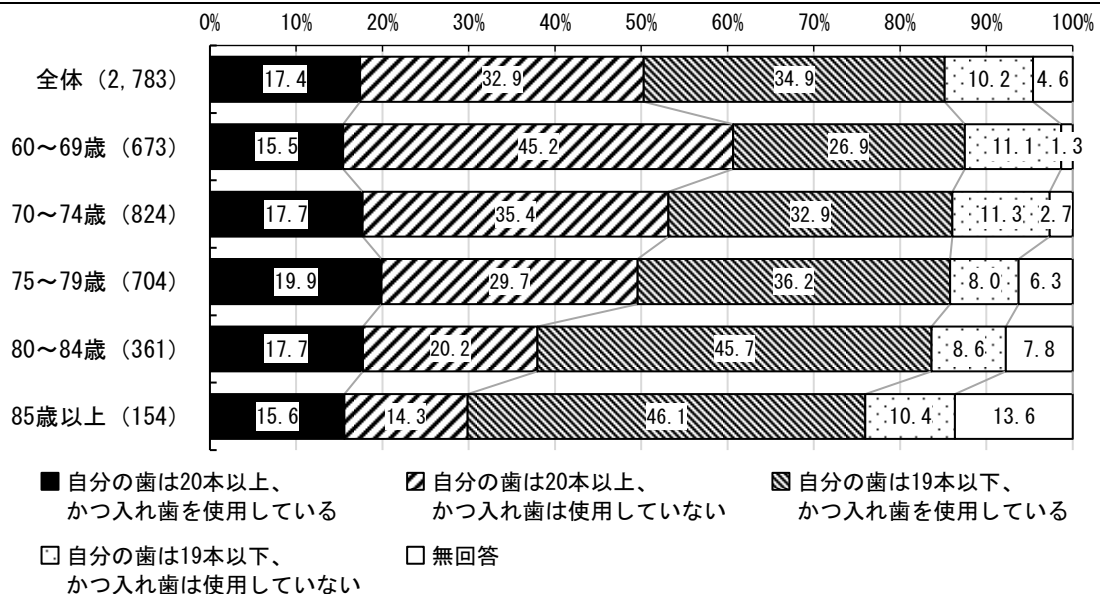


歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日しているかについてみると、「はい」が90.2%、「いいえ」が8.4%となっています。

年齢別にみると、「はい」は79歳以下の年齢で9割以上となっています。一方、「いいえ」は85歳以上で1割を超えています。

(6) 口腔内の状況

問6. 現在の歯の本数は何本ですか。また、入れ歯を使用していますか(○は1つ)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

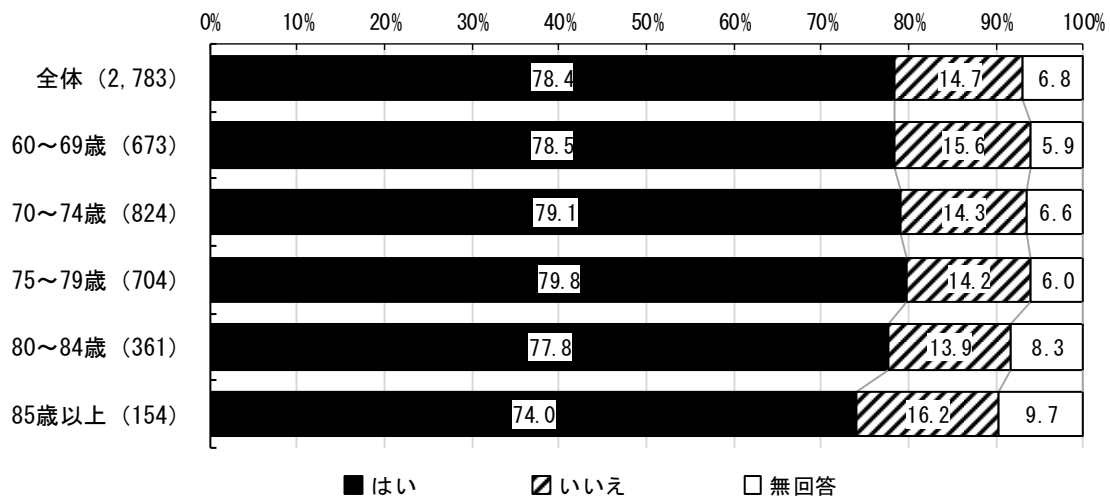


現在の歯の本数と入れ歯の使用についてみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を使用している」が34.9%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯は使用していない」が32.9%となっています。

年齢別にみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を使用している」は80歳以上の年齢で4割以上となっています。

■ 噛み合わせの状況

付問6-1. 噛み合わせは良いですか

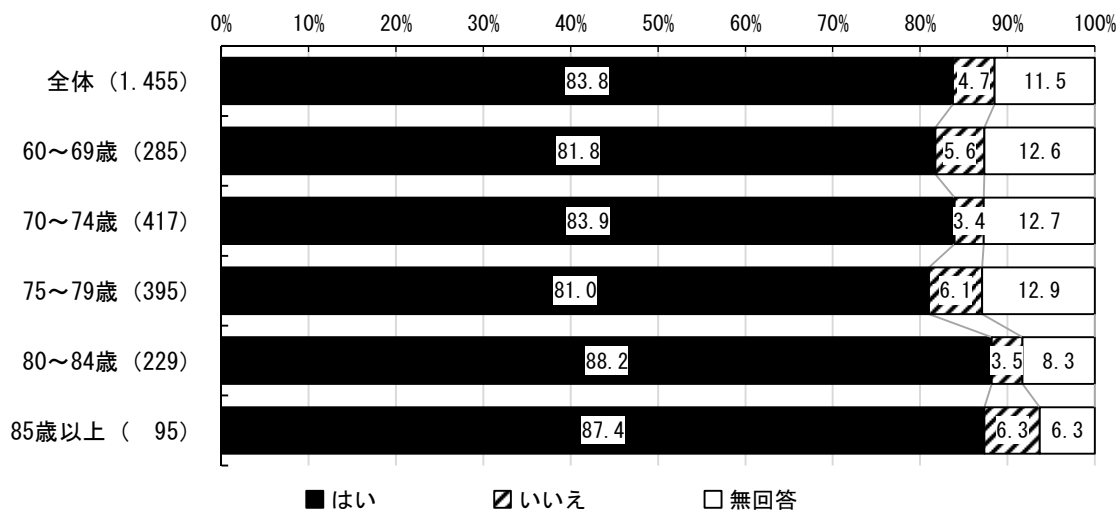


噛み合わせは良いか聞いたところ、「はい」が78.4%、「いいえ」が14.7%となっています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で7割以上となっています。

■ 毎日入れ歯の手入れをしているか

付問6-2. (入れ歯を使用している方のみ)毎日入れ歯の手入れをしていますか

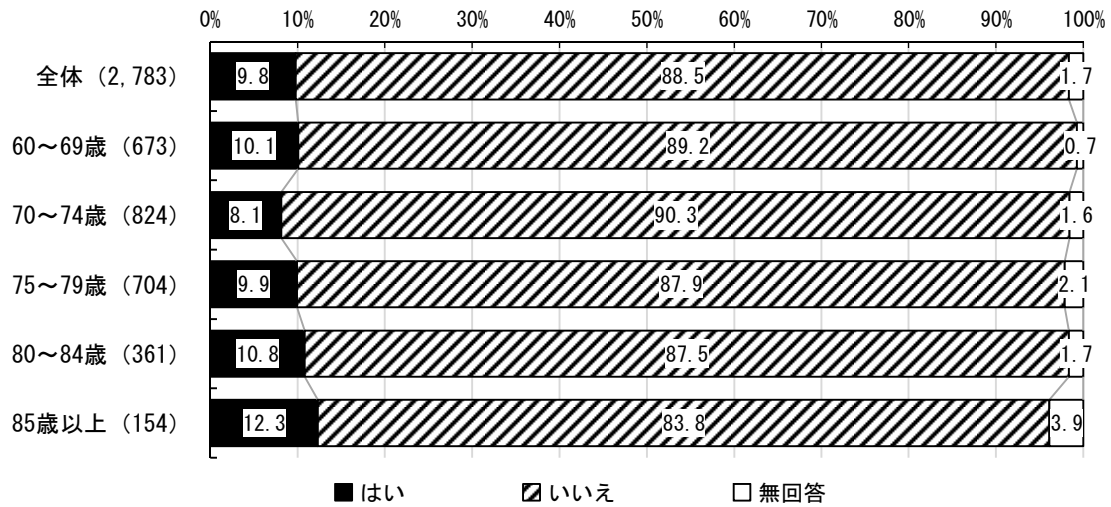


入れ歯を使用している方に、毎日入れ歯の手入れをしているかについて聞いたところ、「はい」が83.8%で、「いいえ」が4.7%となっています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で8割以上となっています。

(7) 6ヶ月間での体重減少の有無

問7. 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

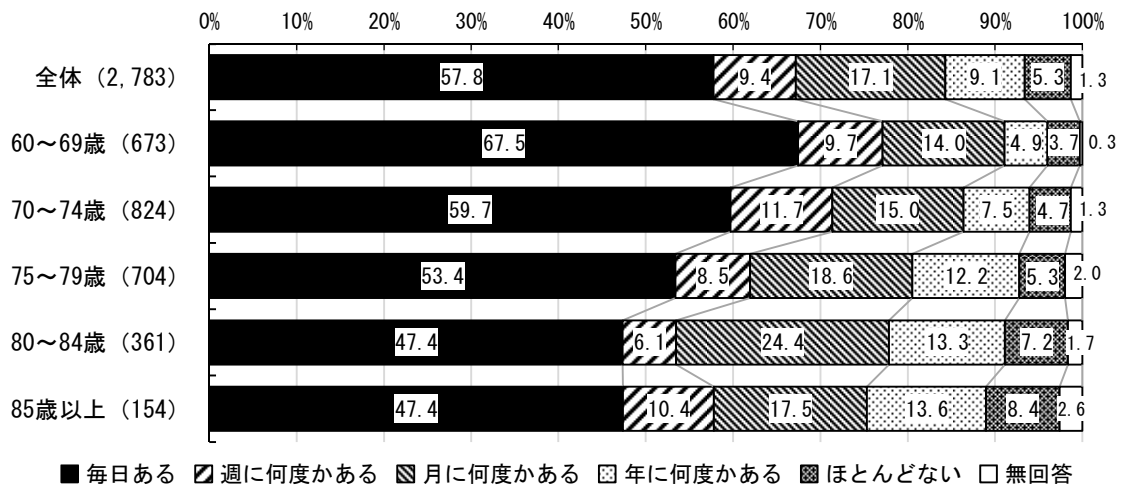


6ヶ月間での体重減少の有無についてみると、「はい」が9.8%、「いいえ」が88.5%となっています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で1割程度となっています。

(8) だれかと食事をする頻度

問8. どなたかと食事をともにする機会がありますか(○は1つ)



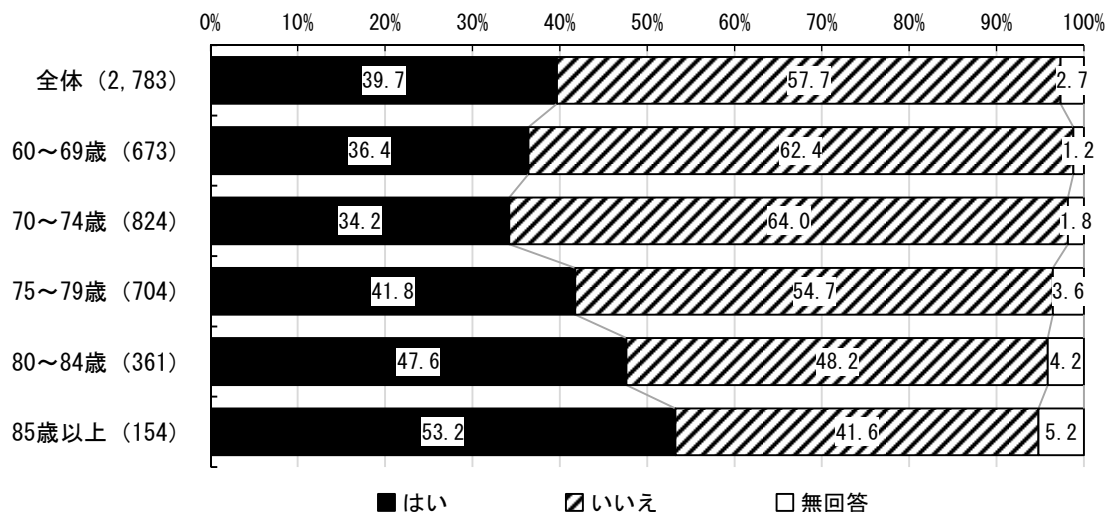
だれかと食事をする頻度についてみると、「毎日ある」が57.8%で最も多く、次いで「月に何度かある」が17.1%となっています。

年齢別にみると、「毎日ある」は60～69歳が67.5%で最も多く、80歳以上の年齢では4割台となっています。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問1. 物忘れが多いと感じますか

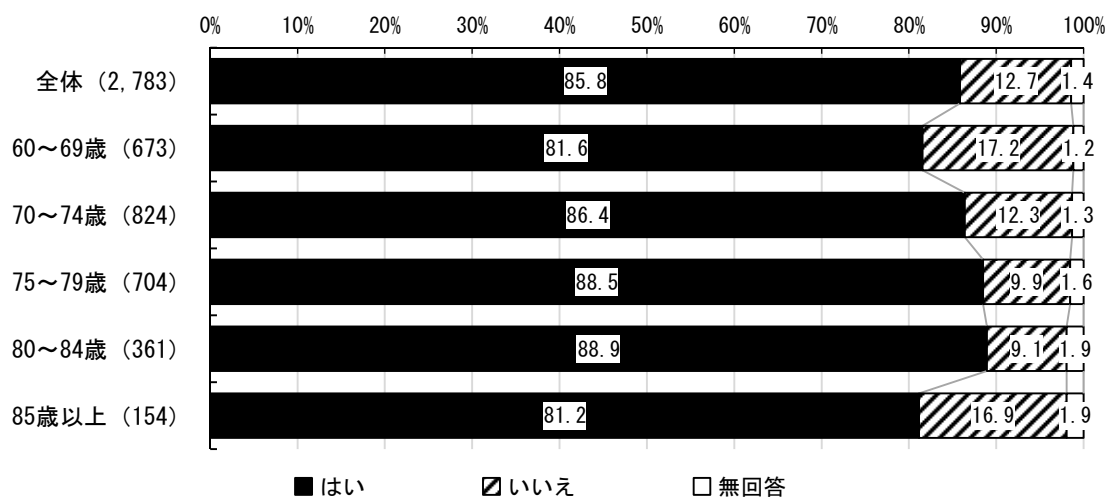


物忘れが多いと感じるかについてみると、「はい」が39.7%で、「いいえ」(57.7%)を下回っています。

年齢別にみると、「はい」は85歳以上で53.2%と最も多くなっています。

(2) 自分で電話番号を調べてかけているか

問2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

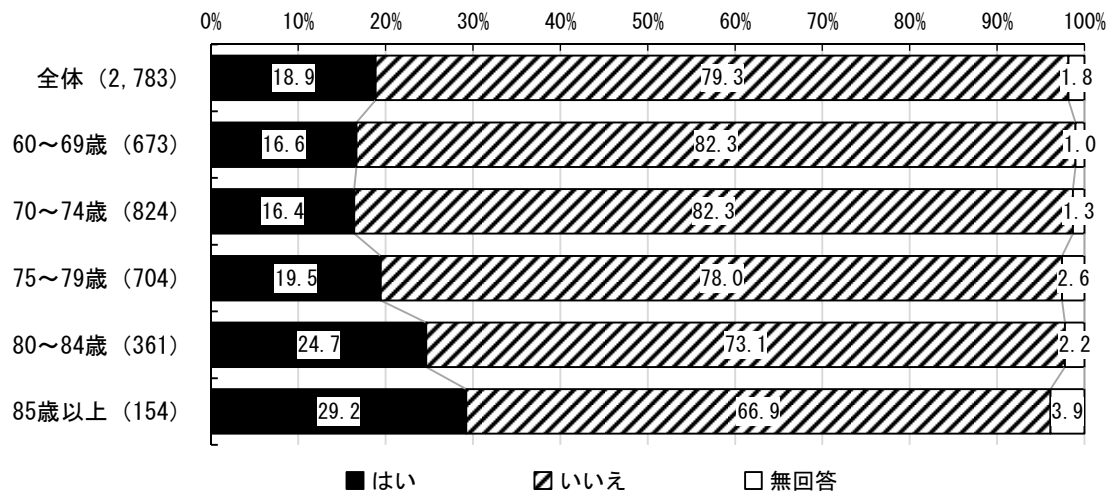


自分で電話番号を調べて、電話をかけているかについてみると、「はい」が85.8%、「いいえ」が12.7%となっています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で8割以上となっています。

(3) 日付がわからない時があるか

問3. 今日が何月何日かわからない時がありますか

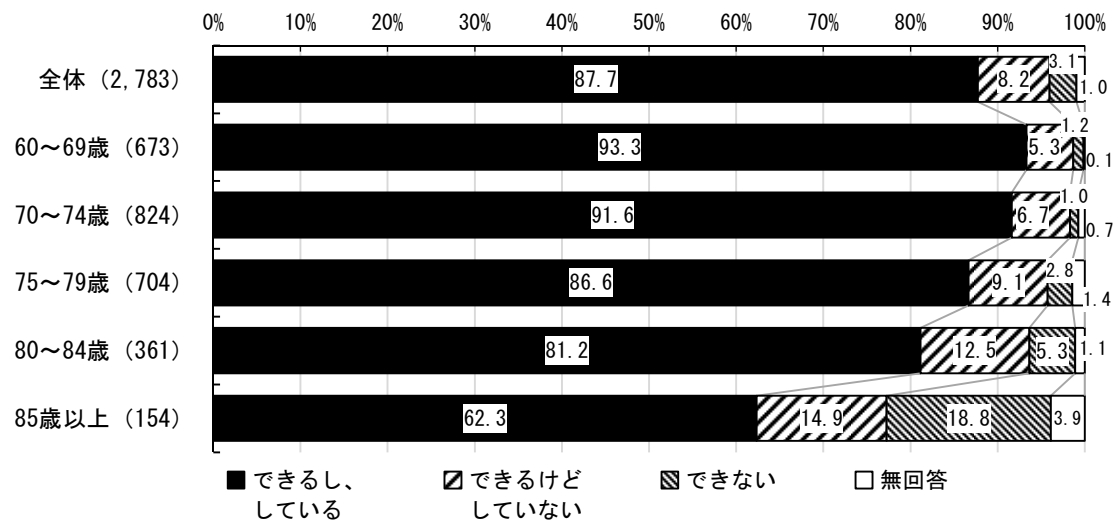


今日が何月何日かわからない時があるかについてみると、「はい」が18.9%、「いいえ」が79.3%となっています。

年齢別にみると、「はい」は80歳以上の年齢で2割を超えています。

(4) 単独での外出の状況

問4. バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)(○は1つ)

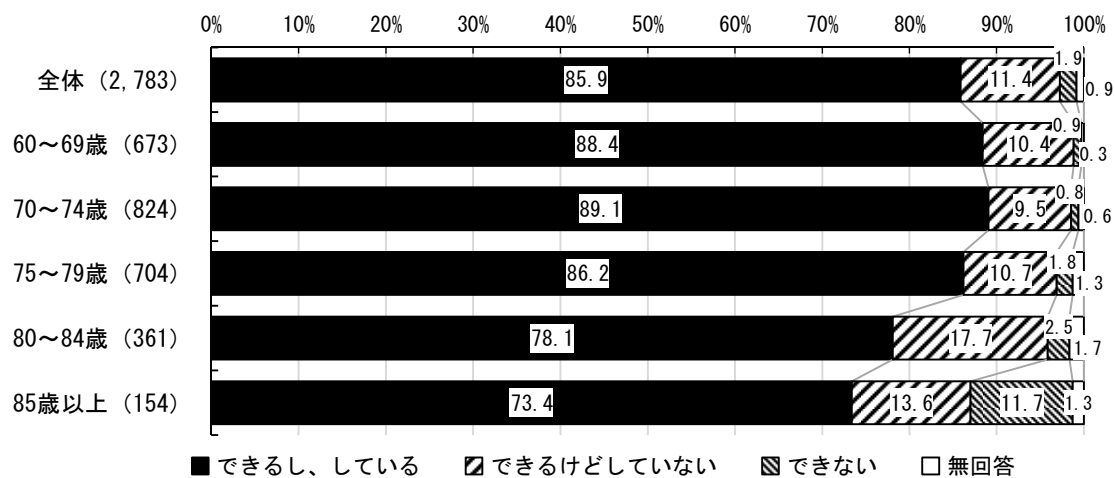


バスや電車等を使う単独での外出状況についてみると、「できるし、している」が87.7%、「できない」が3.1%となっています。また「できるけどしていない」は8.2%となっています。

年齢別にみると、「できるし、している」は60~69歳で93.3%と最も多くなっています。「できない」は85歳以上で18.8%となっています。

(5) 買物の状況

問5. 自分で食品・日用品の買物をしていますか(○は1つ)

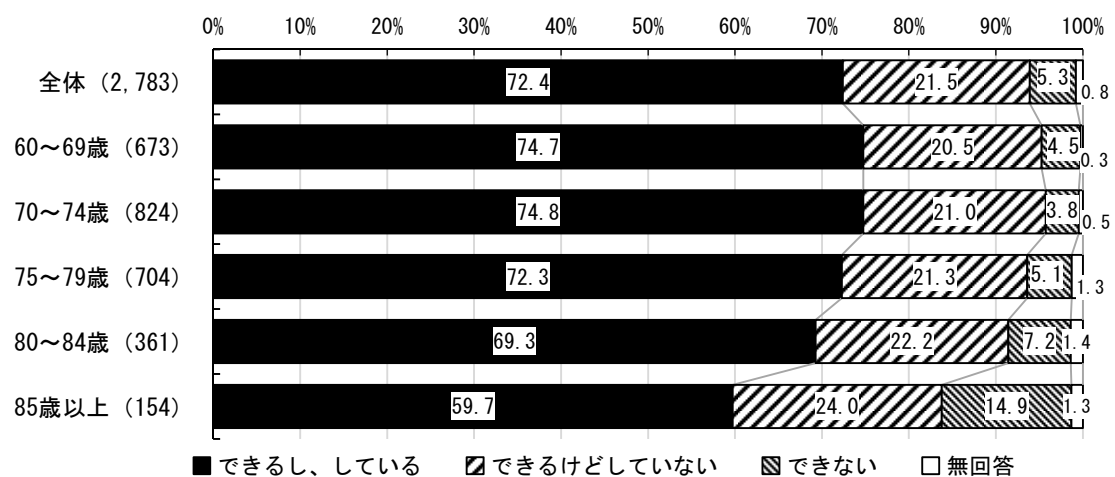


自分で食品・日用品の買物ができるかについてみると、「できるし、している」が85.9%、「できない」が1.9%となっています。また、「できるけどしていない」は11.4%となっています。

年齢別にみると、「できるし、している」は79歳以下の年齢で8割台となっています。「できない」は85歳以上で11.7%となっています。

(6) 食事の用意の状況

問6. 自分で食事の用意をしていますか(○は1つ)

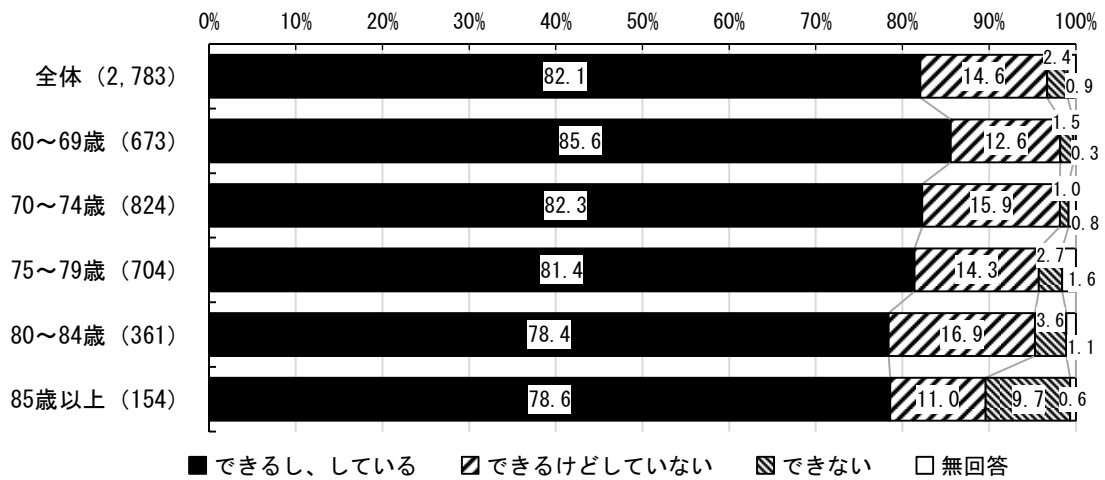


自分で食事の用意ができるかについてみると、「できるし、している」が72.4%、「できない」が5.3%となっています。また、「できるけどしていない」は21.5%となっています。

年齢別にみると、「できない」は85歳以上で14.9%となっています。

(7) 請求書の支払いの状況

問7. 自分で請求書の支払いをしていますか(○は1つ)

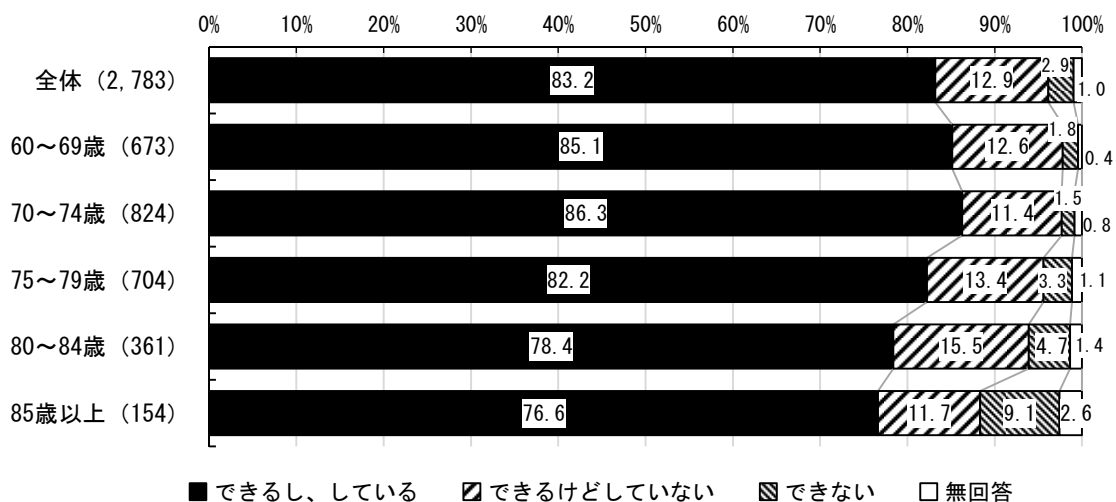


自分で請求書の支払いができるかについてみると、「できるし、している」が82.1%、「できない」が2.4%となっています。また、「できるけどしていない」は14.6%となっています。

年齢別にみると、「できない」は85歳以上で9.7%となっています。

(8) 預貯金の出し入れの状況

問8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか(○は1つ)

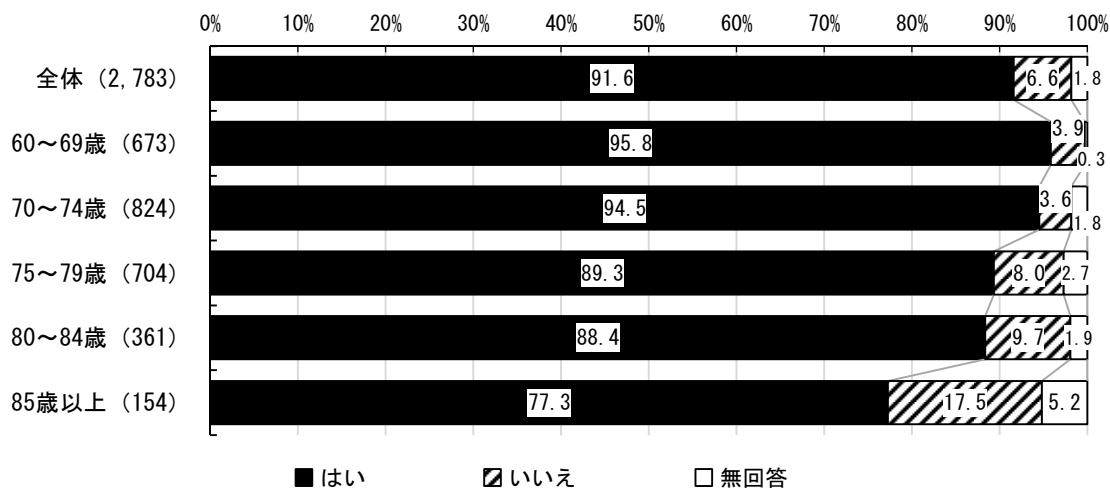


自分で預貯金の出し入れができるかについてみると、「できるし、している」が83.2%、「できない」が2.9%となっています。また、「できるけどしていない」は12.9%となっています。

年齢別にみると、「できない」は85歳以上で9.1%となっています。

(9) 書類への記入の状況

問9. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

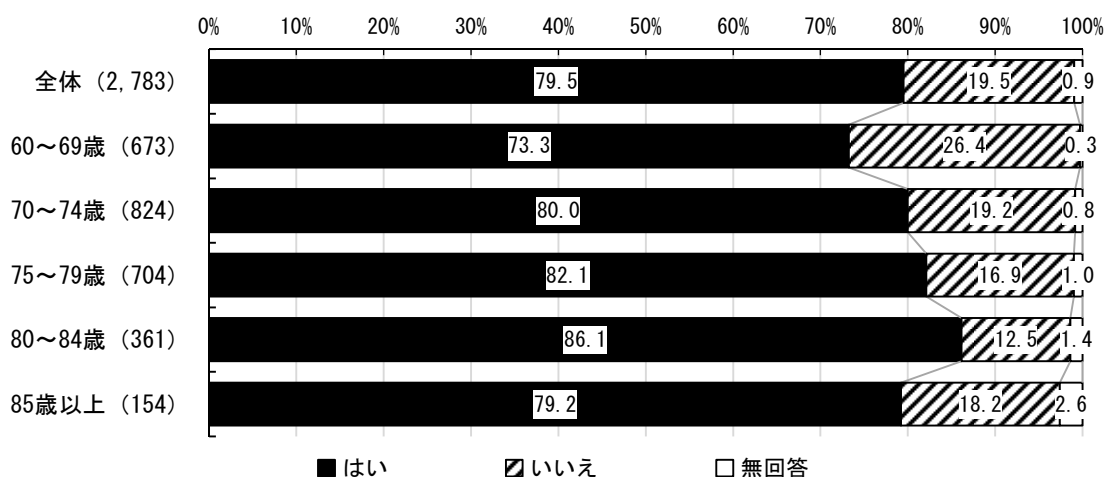


年金などの書類(役所や病院などに出す書類)への記入状況についてみると、書ける「はい」が91.6%、「いいえ」が6.6%となっています。

年齢別にみると、「はい」は85歳以上を除く全て年齢で8割台となっています。「いいえ」は85歳以上で17.5%となっています。

(10) 新聞を読んでいるか

問10. 新聞を読んでいますか

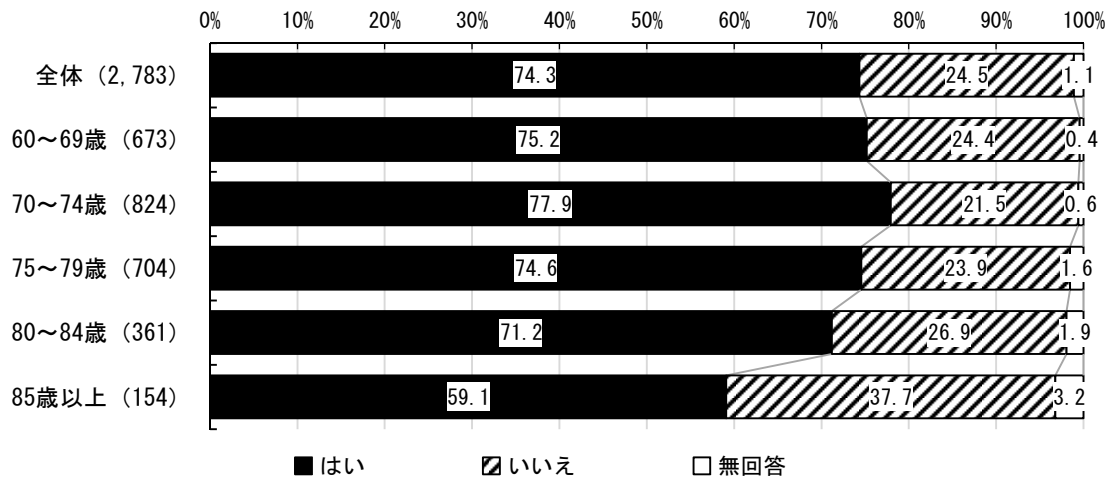


新聞を読んでいるかについてみると、読んでいる「はい」が79.5%、「いいえ」が19.5%となっています。

年齢別にみると、「はい」は80～84歳が86.1%で最も多くなっています。「いいえ」は60～69歳で26.4%となっています。

(11) 本や雑誌を読んでいるか

問 11. 本や雑誌を読んでいますか

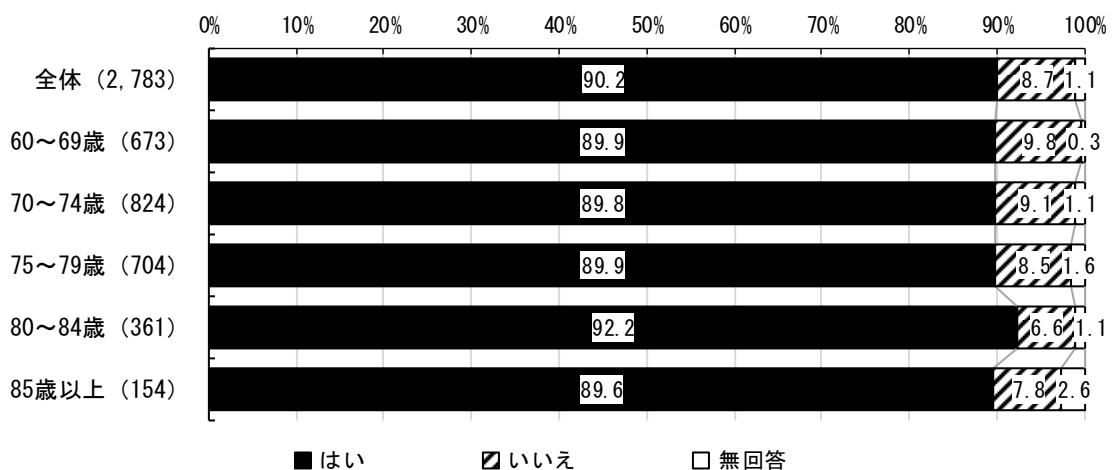


本や雑誌を読んでいるかについてみると、読んでいる「はい」が74.3%、「いいえ」が24.5%となっています。

年齢別にみると、「はい」は85歳以上を除く全ての年齢で7割台となっています。「いいえ」は85歳以上で37.7%となっています。

(12) 健康についての記事や番組への関心

問 12. 健康についての記事や番組に関心がありますか

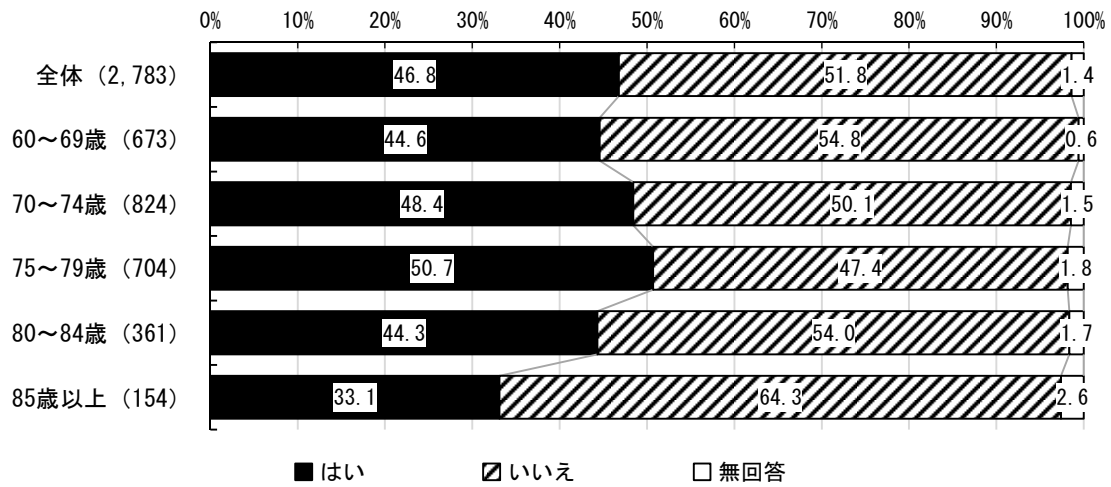


健康についての記事や番組への関心についてみると、関心がある「はい」は90.2%、「いいえ」は8.7%となっています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で9割程度となっています。

(13) 友人宅への訪問状況

問 13. 友人の家を訪ねていますか

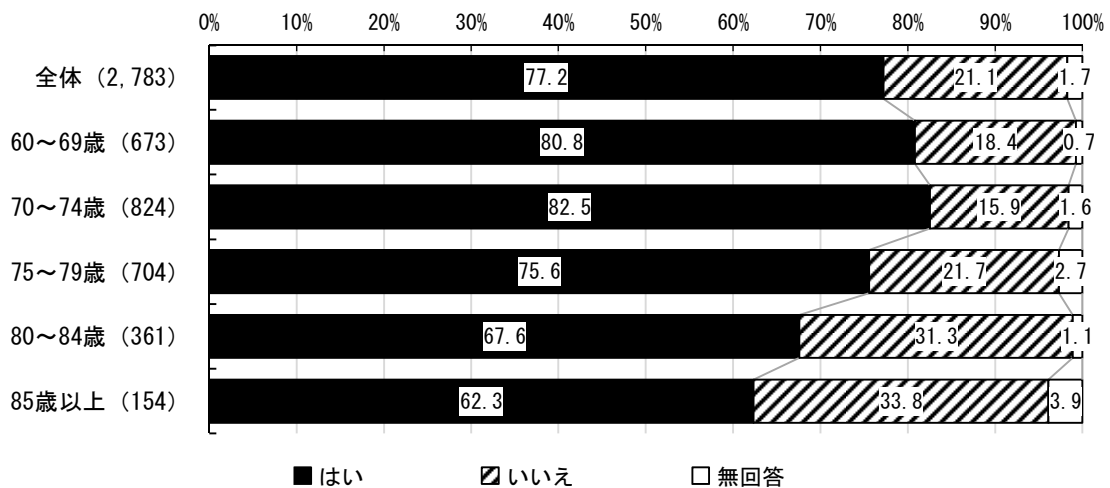


友人宅への訪問状況についてみると、訪ねている「はい」は46.8%、「いいえ」は51.8%となっています。

年齢別にみると、「はい」は75~79歳が50.7%で最も多くなっています。「いいえ」は85歳以上で64.3%となっています。

(14) 家族や友人の相談にのっているか

問 14. 家族や友人の相談にのっていますか

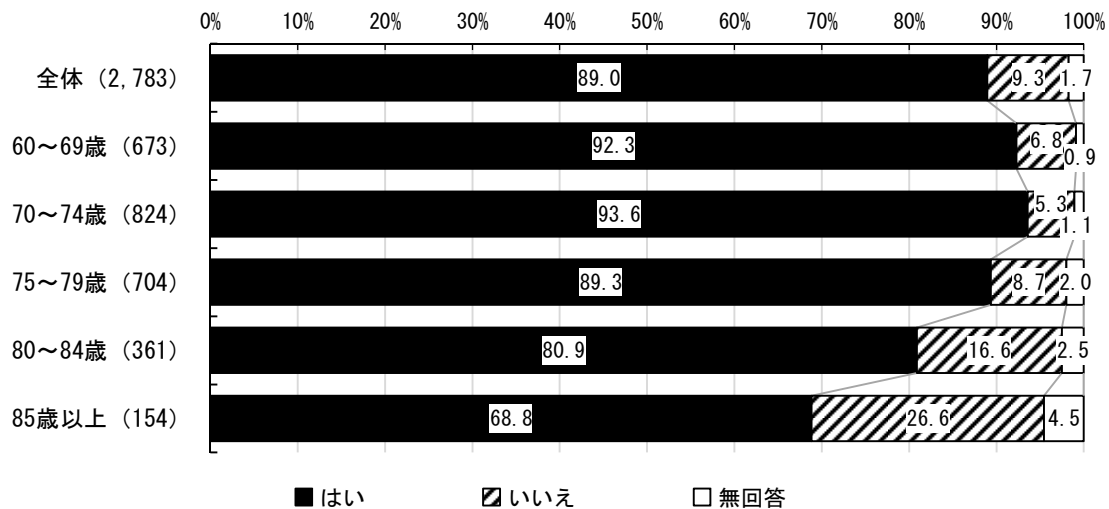


家族や友人の相談にのっているかについてみると、相談にのっている「はい」が77.2%、「いいえ」が21.1%となっています。

年齢別にみると、「はい」は70~74歳が82.5%で最も多くなっています。「いいえ」は85歳以上で33.8%となっています。

(15) 病人を見舞うことができるか

問 15. 病人を見舞うことができますか

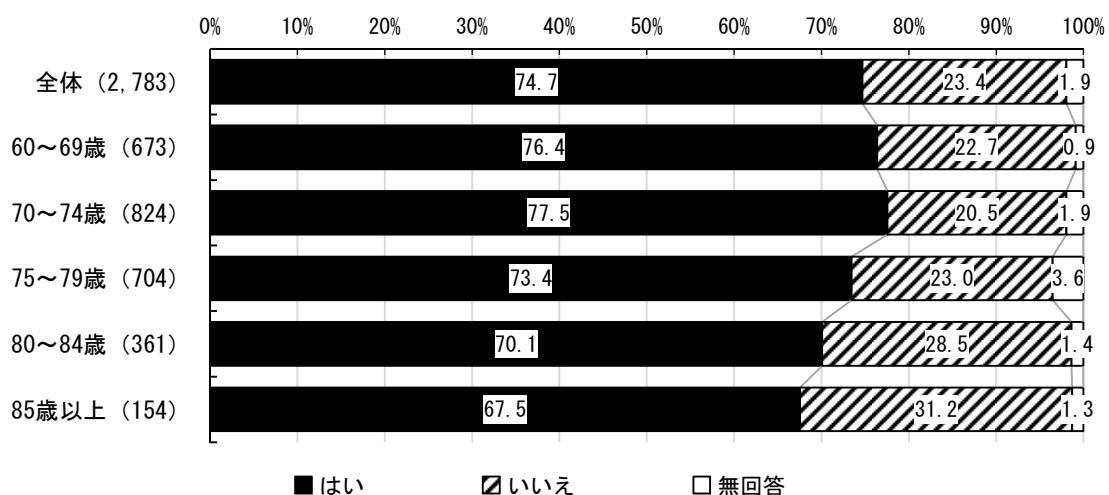


病人を見舞うことができるかについてみると、できる「はい」が 89.0%、「いいえ」が 9.3%となっています。

年齢別にみると、「はい」は 74 歳以下の年齢で 9 割台となっています。「いいえ」は 85 歳以上で 26.6%となっています。

(16) 若い人に話しかけることがあるか

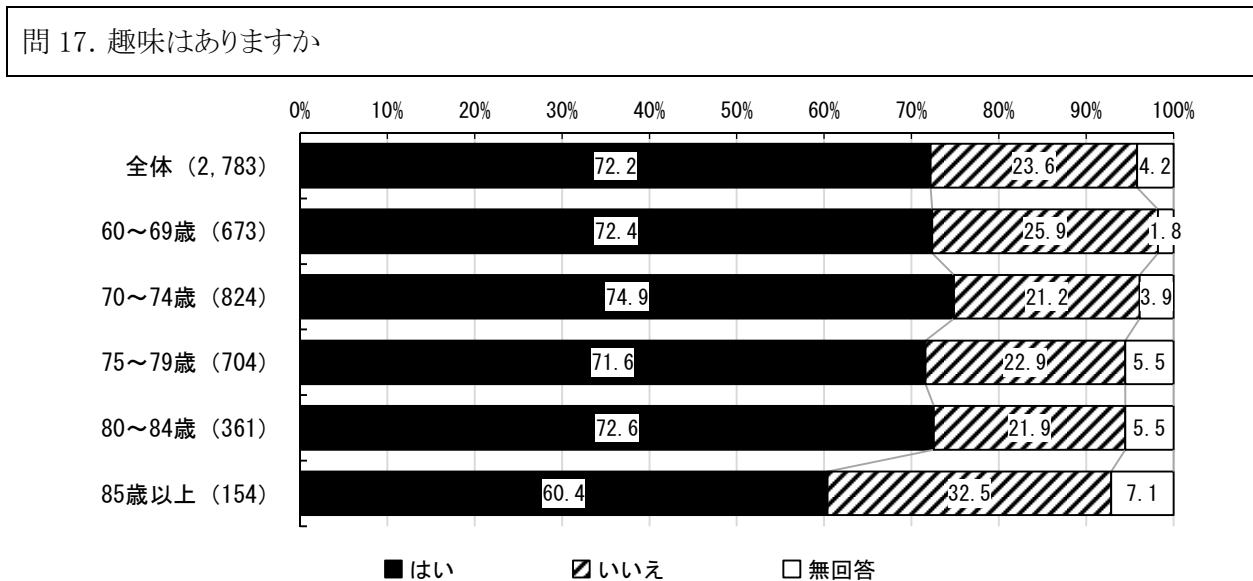
問 16. 若い人に自分から話しかけることがありますか



若い人に自分から話しかけることがあるかについてみると、ある「はい」が 74.7%、「いいえ」が 23.4%となっています。

年齢別にみると、「はい」は 85 歳以上を除く全ての年齢で 7 割台となっています。「いいえ」は 85 歳以上で 31.2%となっています。

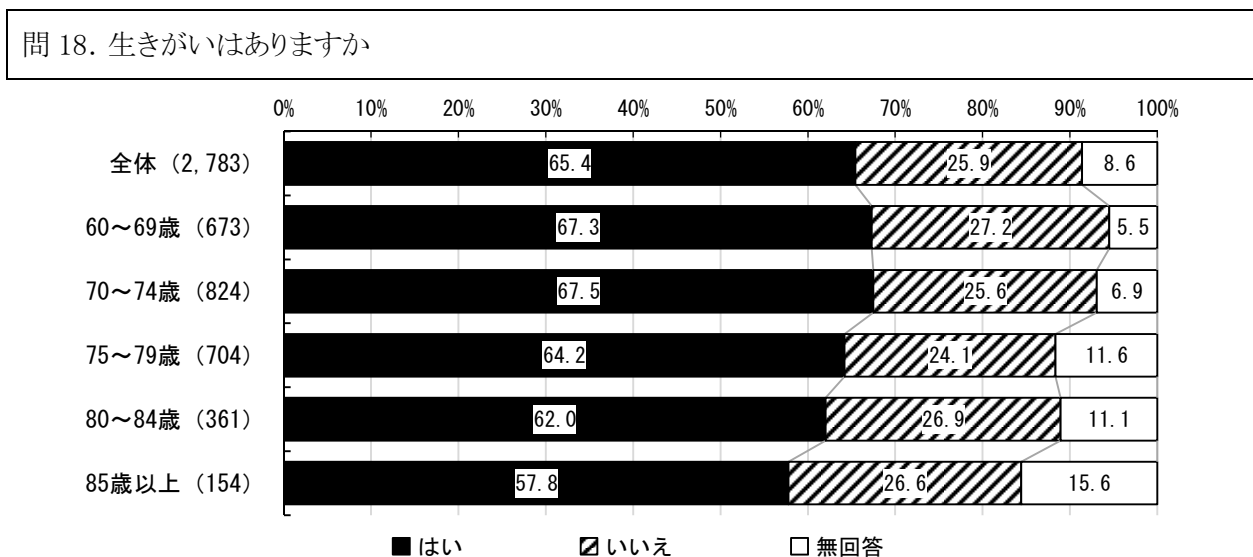
(17) 趣味の有無



趣味の有無についてみると、ある「はい」が72.2%、「いいえ」が23.6%となっています。

年齢別にみると、「はい」は85歳以上を除く全ての年齢で7割台となっています。「いいえ」は85歳以上で32.5%となっています。

(18) 生きがいの有無



生きがいの有無についてみると、ある「はい」が65.4%、「いいえ」が25.9%となっています。

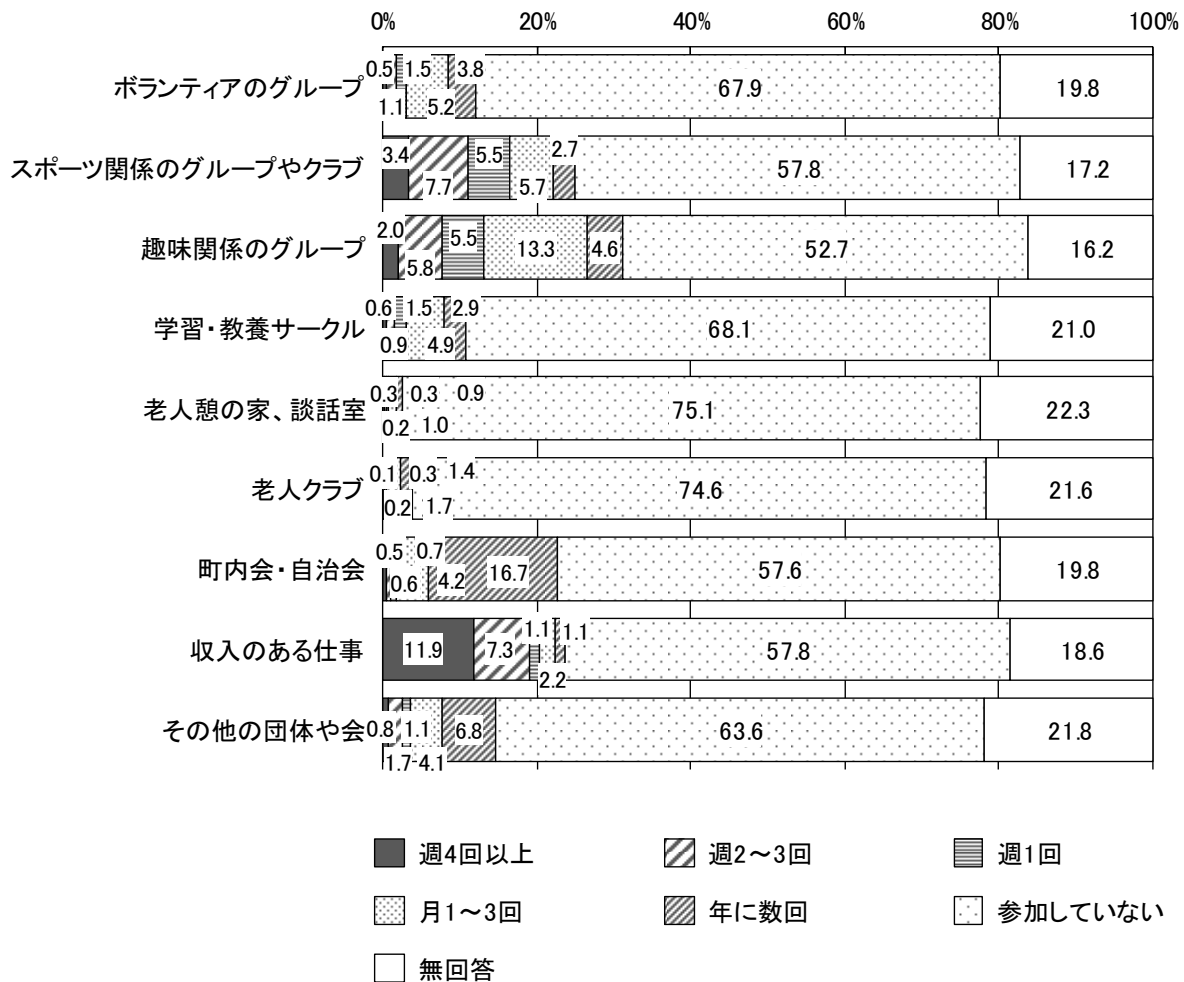
年齢別にみると、「はい」は85歳以上を除く全ての年齢で6割台となっています。「いいえ」は全ての年齢で2割台となっています。

5 地域での活動について

(1) 会・グループ等への参加状況

問1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(各項目で○は1つ)

n=2,783人



会・グループ等への参加状況についてみると、参加しているのは【趣味関係のグループ】が31.2%で最も多く、次いで【スポーツ関係のグループやクラブ】が25.0%、【収入のある仕事】が23.6%などとなっています。

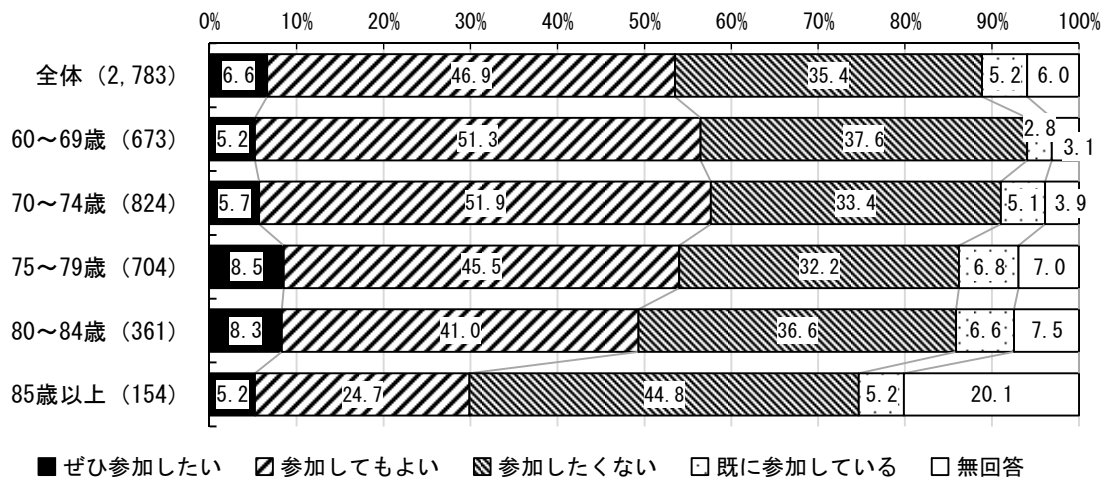
また、参加頻度についてみると【町内会・自治会】で「年に数回」(16.7%)、【趣味関係のグループ】で「月1~3回」(13.3%)、【収入のある仕事】で「週4回以上」(11.9%)などの割合が高くなっています。

一方、「参加していない」がいずれも5割以上を占めています。

(2) 地域づくり活動への参加意向（参加者として）

問2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

(○は1つ)

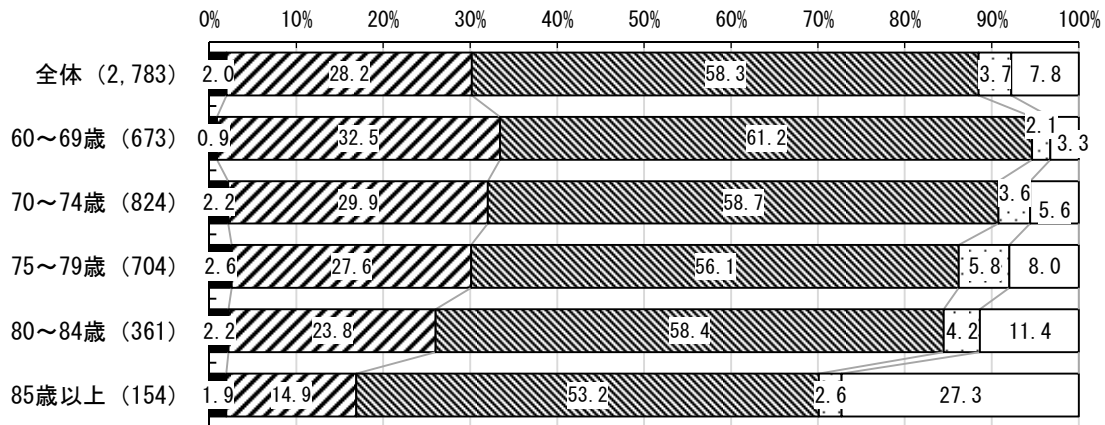


地域づくり活動への参加意向（参加者として）についてみると、「ぜひ参加したい」（6.6%）と「参加してもよい」（46.9%）をあわせた『参加の意志あり』が5割を超え、「参加したくない」（35.4%）を上回っています。

年齢別にみると、『参加の意思あり』は79歳以下の年齢で5割台となっています。「参加したくない」は85歳以上が44.8%で最も多くなっています。

(3) 地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）

問3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



■ ぜひ参加したい ▨ 参加してもよい ▩ 参加したくない □ 既に参加している □ 無回答

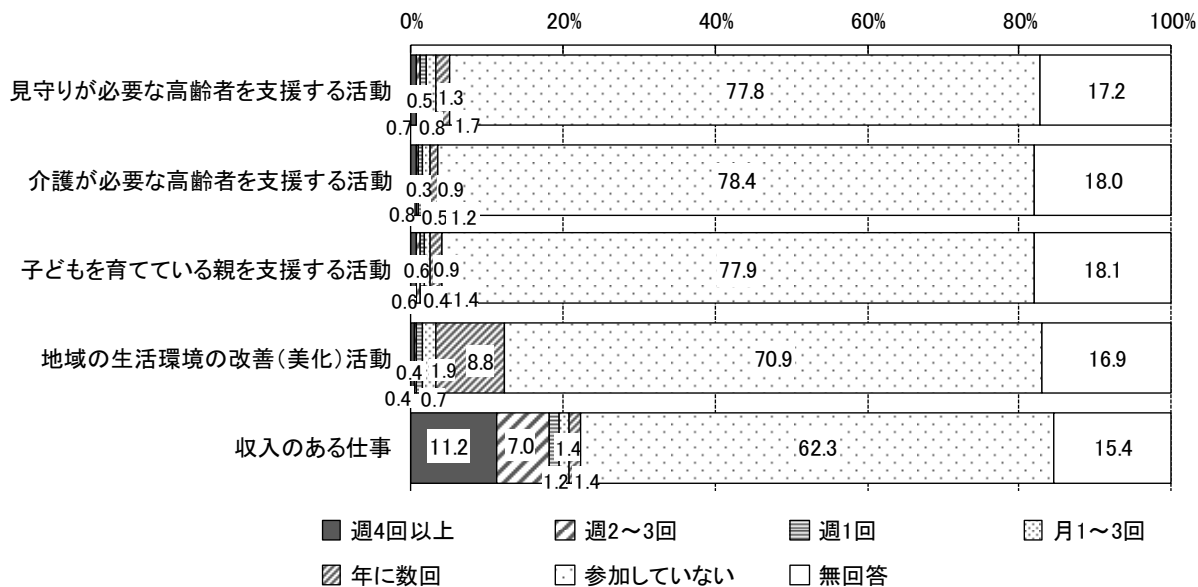
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）についてみると、「ぜひ参加したい」（2.0%）と「参加してもよい」（28.2%）をあわせた『参加の意志あり』は約3割で、「参加したくない」（58.3%）を下回っています。

年齢別にみると、『参加の意思あり』は60～69歳が33.4%で最も多く、年齢が上がるほど低くなっています。「参加したくない」は全ての年齢で5割以上となっています。

(4) 社会参加活動や仕事の状況

問4. 以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか
 (各項目で○は1つ)

n=2,783 人



社会参加活動や仕事の状況についてみると、参加している活動としては【収入のある仕事】が22.2%で最も多く、次いで【地域の生活環境の改善(美化)活動】が12.2%となっています。

また、参加頻度についてみると【収入のある仕事】で「週4回以上」が11.2%と比較的割合が高くなっています。

一方、「参加していない」がいずれも6割以上を占めています。

6 助け合いについて

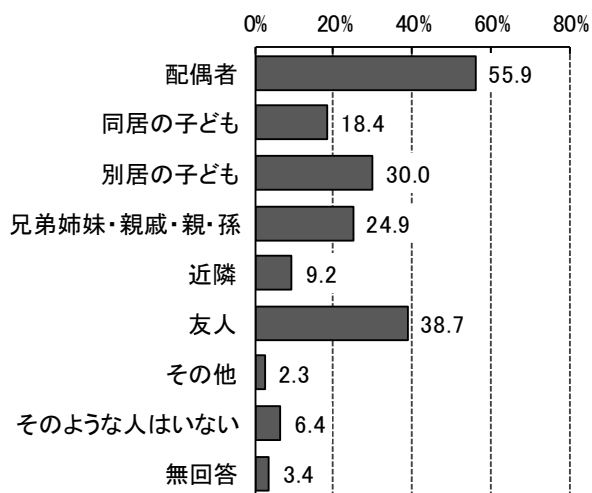
(1) 助け合いの状況

問1. あなたとまわりの人の「助け合い」についてお伺いします

あてはまるものすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください

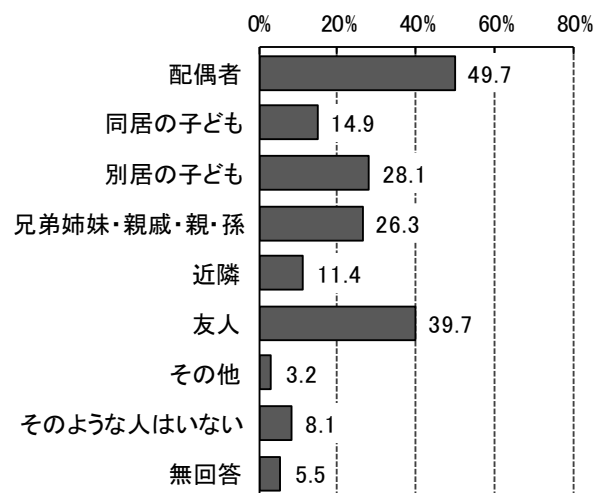
【心配事や愚痴を聞いてくれる人】

n=2,783人



【心配事や愚痴を聞いてあげる人】

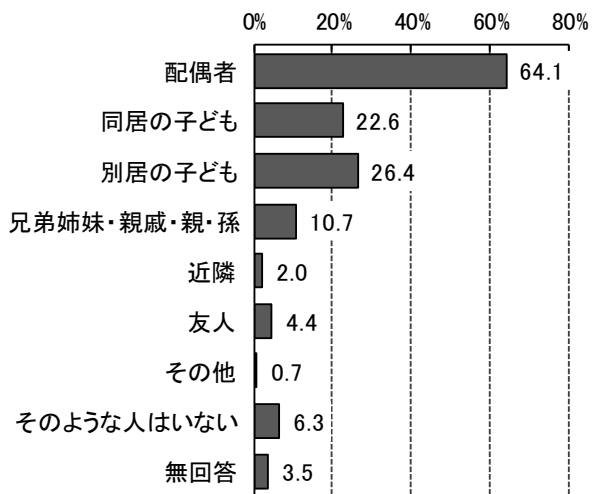
n=2,783人



【心配事や愚痴を聞いてくれる人】【心配事や愚痴を聞いてあげる人】について助け合いの状況を見ると、どちらも「配偶者」が最も多く、次いで「友人」、「別居の子ども」となっています。

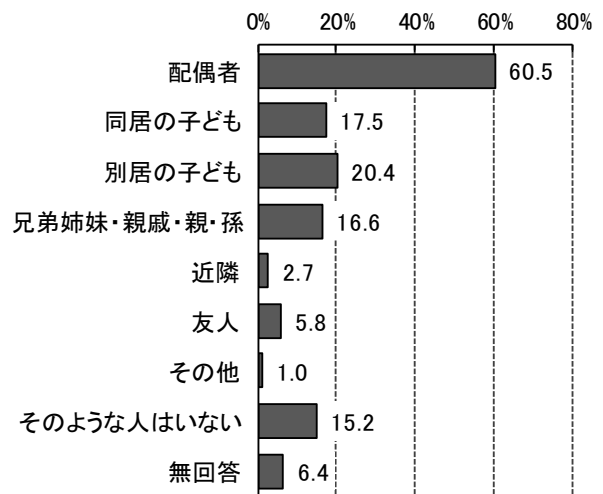
【 看病や世話をしてくれる人 】

n=2,783 人



【 看病や世話をしてあげる人 】

n=2,783 人



【看病や世話をしてくれる人】【看病や世話をしてあげる人】について助け合いの状況をみると、どちらも「配偶者」が最も多くなっています。

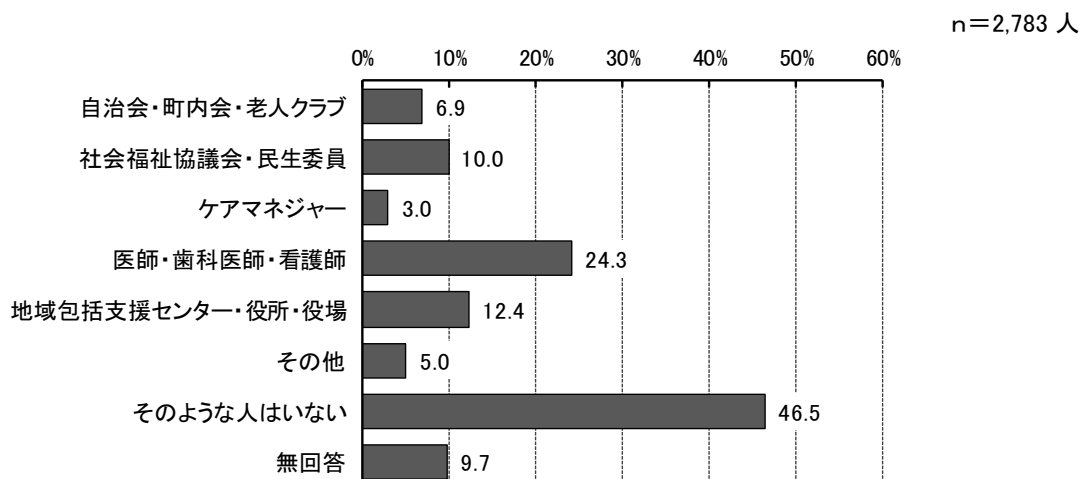
【看病や世話をしてくれる人】では「別居の子ども」「同居の子ども」が、ともに2割台となっています。

【看病や世話をしてあげる人】では、「別居の子ども」が20.4%となっています。

(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

問2. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

(あてはまるものすべてに○)



家族や友人・知人以外の相談相手についてみると、「そのような人はいない」が46.5%で最も多くなっています。

<性別・年齢別集計>

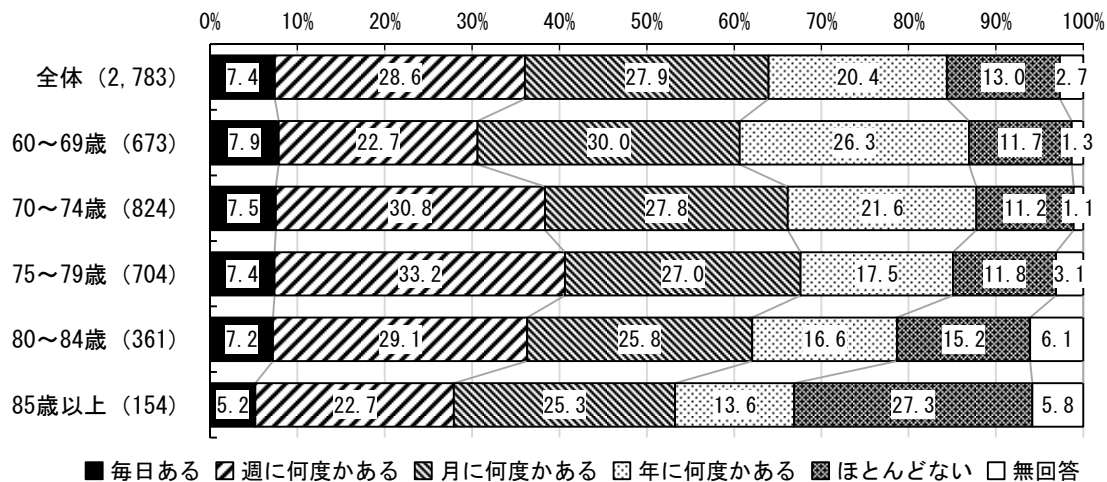
	調査数	人 ク ラ ブ	自 治 会 ・ 町 内 会 ・ 老 人	生 委 員	社 会 福 祉 協 議 会 ・ 民 生	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	医 師 ・ 歯 科 医 師 ・ 看 護 師	地 域 ・ 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 役 所 ・ 役 場	そ の 他	い そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
【総数】	2783	6.9	10.0	3.0	24.3	12.4	5.0	46.5	9.7		
【性別】											
男性	1279	8.3	9.8	3.0	26.4	11.6	5.4	48.9	6.2		
女性	1440	5.6	10.1	2.9	22.2	13.0	4.7	44.7	12.7		
【年齢】											
60～69歳	673	4.9	3.0	2.8	22.0	9.8	5.9	57.9	5.2		
70～74歳	824	5.7	7.6	2.8	22.2	12.1	4.1	52.8	7.8		
75～79歳	704	8.4	14.5	2.3	24.4	14.8	6.4	38.8	11.8		
80～84歳	361	9.7	16.9	3.9	31.3	13.9	3.0	32.4	14.7		
85歳以上	154	7.8	16.2	5.8	26.0	10.4	3.2	35.7	16.2		

性別にみると、男女ともに「そのような人はいない」が最も多く、それぞれ4割台となっています。相談相手としては、男女ともに「医師・歯科医師・看護師」が最も多く、それぞれ2割台となっています。

年齢別にみると「医師・歯科医師・看護師」は全ての年齢で2割以上となっています。「社会福祉協議会・民生委員」は75歳以上の年齢で1割台となっています。「そのような人はいない」は60～69歳が57.9%で最も多く、75歳以上の年齢では3割台となっています。

(3) 友人・知人と会う頻度

問3. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(○は1つ)

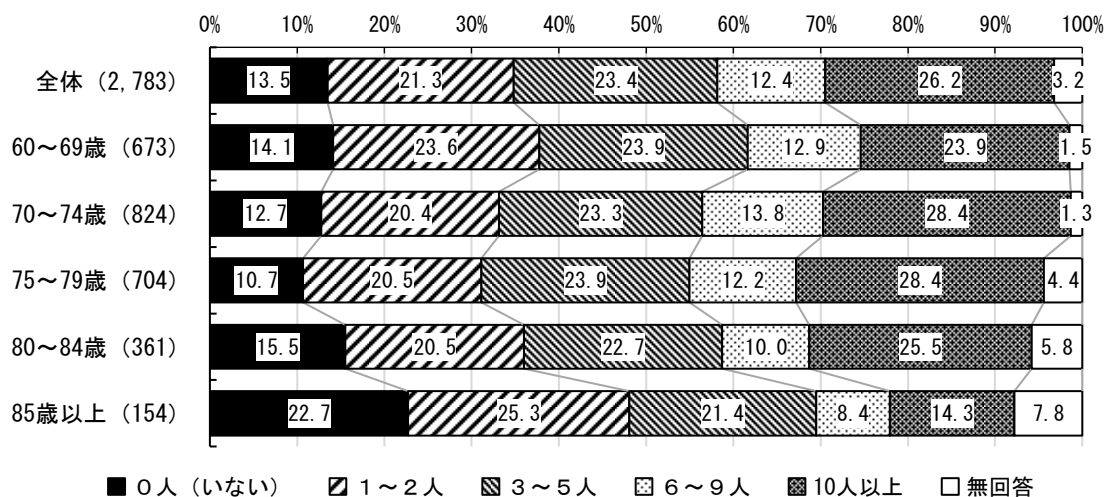


友人・知人と会う頻度についてみると、「月に何度かある」(27.9%)と「週に何度かある」(28.6%)、「年に何度かある」(20.4%)が2割台で多くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」は85歳以上が27.3%で最も多くなっています。

(4) 1ヶ月間のうちに会った友人・知人の人数

問4. この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか(○は1つ)
 ※同じ人には何度会っても1人と数えることとします



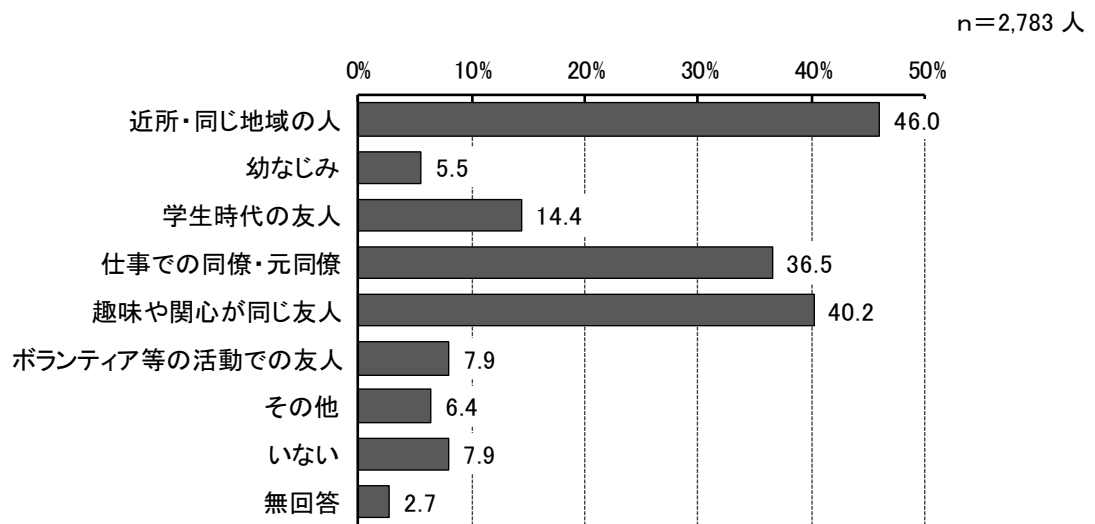
この1ヶ月間に会った友人・知人の人数についてみると、「10人以上」(26.2%)と「3~5人」(23.4%)、「1~2人」(21.3%)が2割台で多くなっています。

一方、「0人(いない)」が13.5%となっています。

年齢別にみると、「0人(いない)」は85歳以上が22.7%で最も多くなっています。

(5) よく会う友人・知人との関係

問5. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(あてはまるものすべてに○)



よく会う友人・知人との関係についてみると、「近所・同じ地域の人」が46.0%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が40.2%、「仕事での同僚・元同僚」が36.5%などとなっています。

一方、「いない」が7.9%となっています。

<性別・年齢別集計>

	調査数	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
【総数】	2783	46.0	5.5	14.4	36.5	40.2	7.9	6.4	7.9	2.7
【性別】										
男性	1279	35.8	4.8	15.4	46.2	35.2	6.9	4.9	10.3	2.5
女性	1440	55.6	6.3	13.8	28.3	45.0	8.8	7.6	5.7	2.7
【年齢】										
60～69歳	673	35.7	7.0	18.6	52.3	36.8	5.9	6.1	8.3	1.6
70～74歳	824	46.1	4.9	15.2	41.4	40.5	8.3	6.9	7.8	1.5
75～79歳	704	49.7	6.1	14.2	30.0	45.5	10.5	6.4	6.5	3.6
80～84歳	361	56.5	4.7	11.1	21.6	40.2	6.6	5.0	7.5	3.9
85歳以上	154	53.9	2.6	3.2	9.1	31.2	5.8	7.1	14.3	5.8

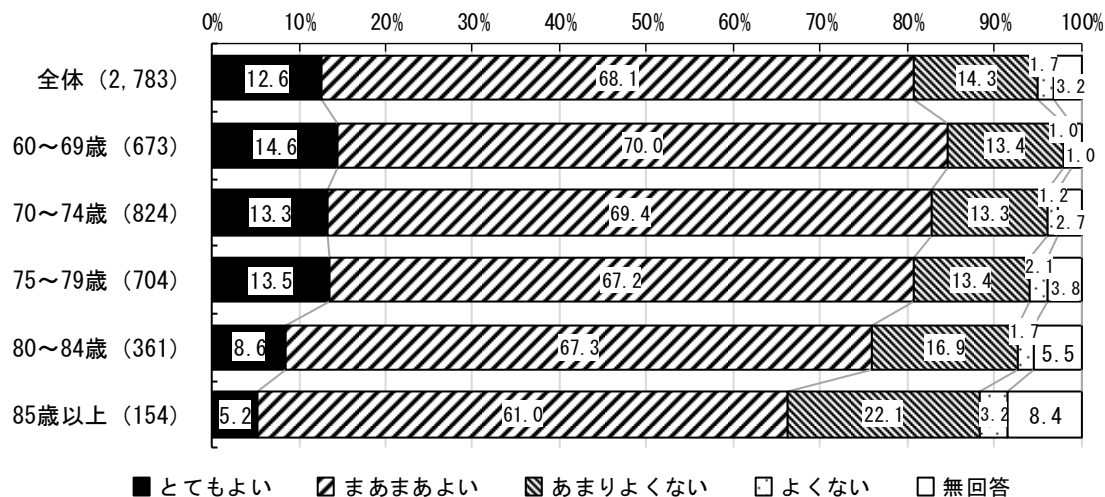
性別にみると、女性では「近所・同じ地域の人」が55.6%で最も多く、男性では「仕事での同僚・元同僚」が46.2%で最も多くなっています。「趣味や関心が同じ友人」は男女ともに3割以上となっています。

年齢別にみると、「近所・同じ地域の人」は80歳以上の年齢で5割台となっています。「仕事での同僚・元同僚」は60～69歳が52.3%で最も多く、年齢が上がるほど低くなっています。

7 健康について

(1) 現在の健康状態

問1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか(○は1つ)

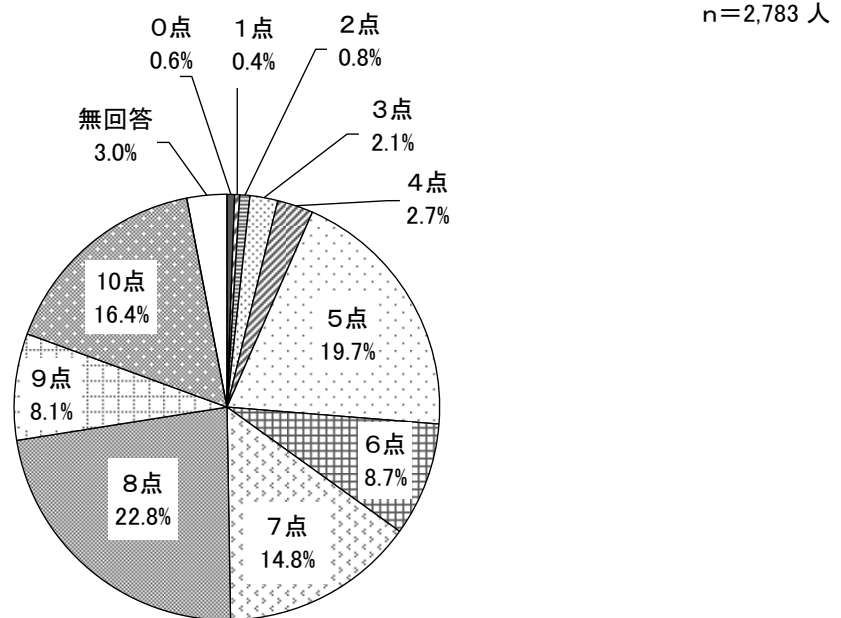


現在の健康状態についてみると、「まあまあよい」が68.1%で最も多く、「とてもよい」(12.6%)をあわせた『健康状態は良好』は約8割となっています。

年齢別にみると、『健康状態は良好』は79歳以下の年齢で8割台となっています。「よくない」は85歳以上で22.1%となっています。

(2) 現在の幸福度

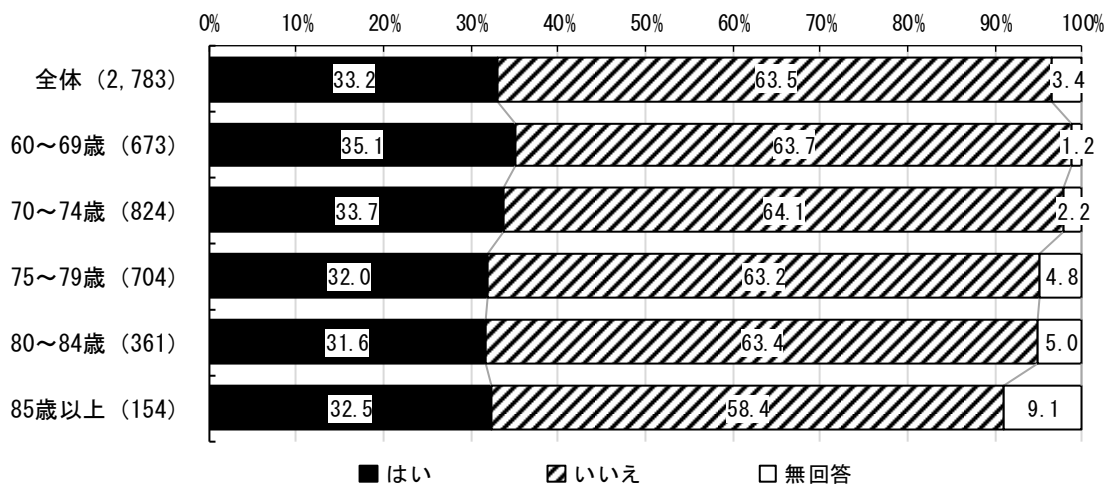
問2. あなたは、現在どの程度幸せですか(あてはまる点数に○)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



現在の幸福度についてみると、「8点」が22.8%で最も多くなっています。また『7点以上』が6割を超えています。

(3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあるか

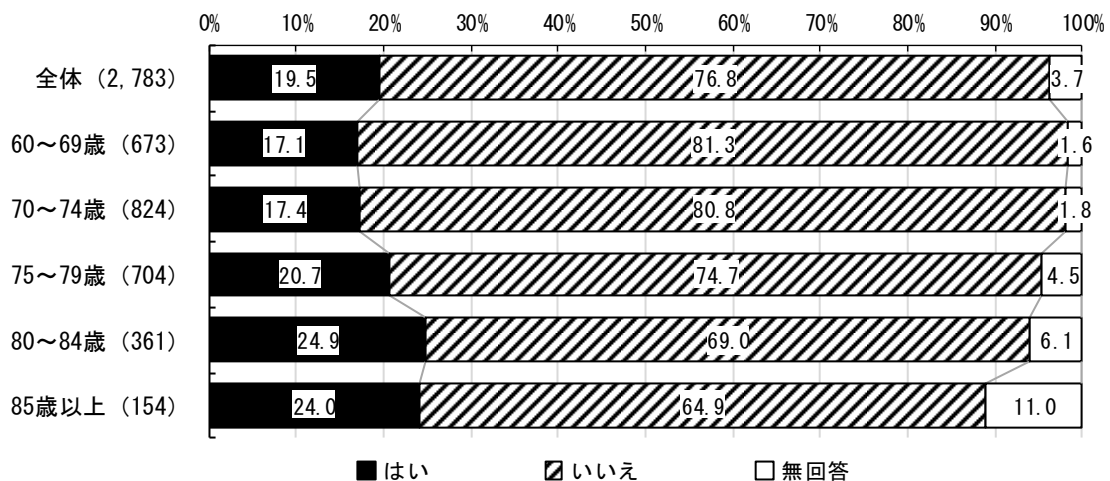
問3. この1ヶ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



ここ1ヶ月のうちに気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったかについてみると、あった「はい」が33.2%、「いいえ」が63.5%となっています。年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で3割台となっています。

(4) 物事に対して興味や楽しい感情が湧かなくなるがよくあるか

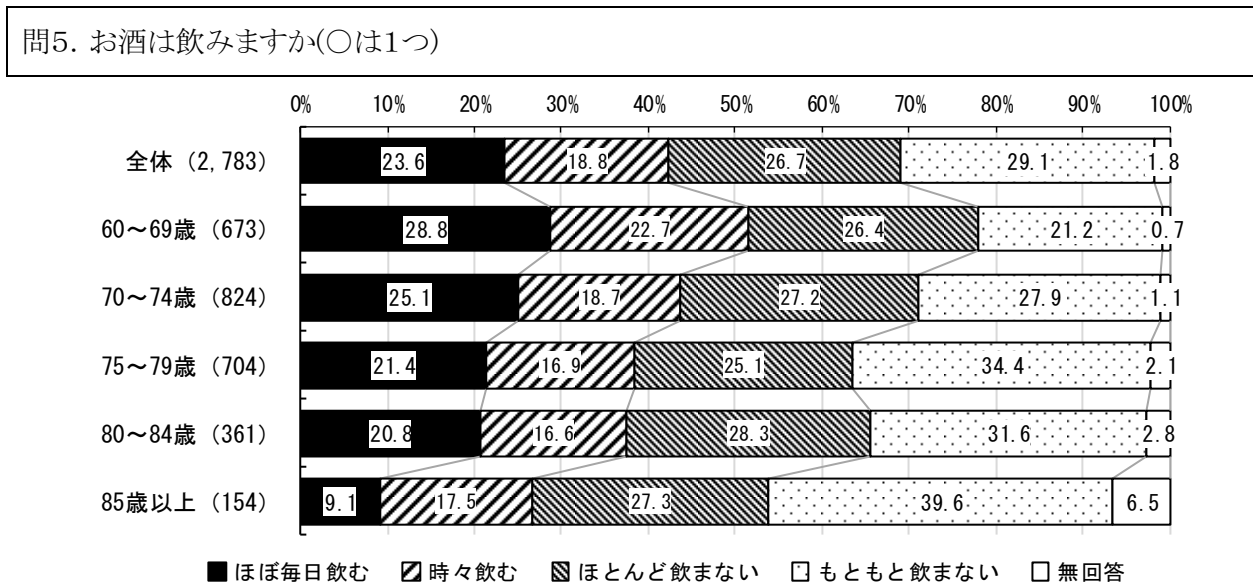
問4. この1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



ここ1ヶ月のうちに、物事に対して興味や楽しい感情が湧かなくなるがよくあったかについてみると、あった「はい」が19.5%、「いいえ」が76.8%となっています。

年齢別にみると、「はい」は75歳以上の年齢で2割台となっています。

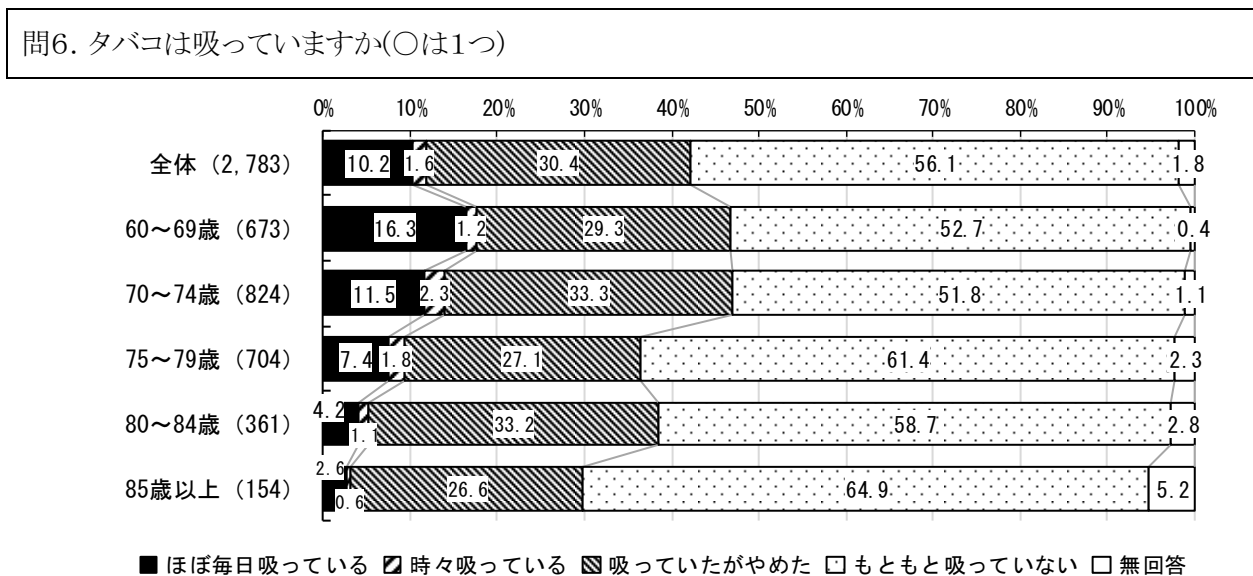
(5) 飲酒の状況



飲酒の状況についてみると、「もともと飲まない」が29.1%で最も多く、「ほとんど飲まない」(26.7%)をあわせた『飲まない』は5割台となっています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日飲む」は60～69歳が28.8%で最も多く、年齢が上がるほど低くなっています。『飲まない』は85歳以上の年齢で66.9%となっています。

(6) 喫煙の状況



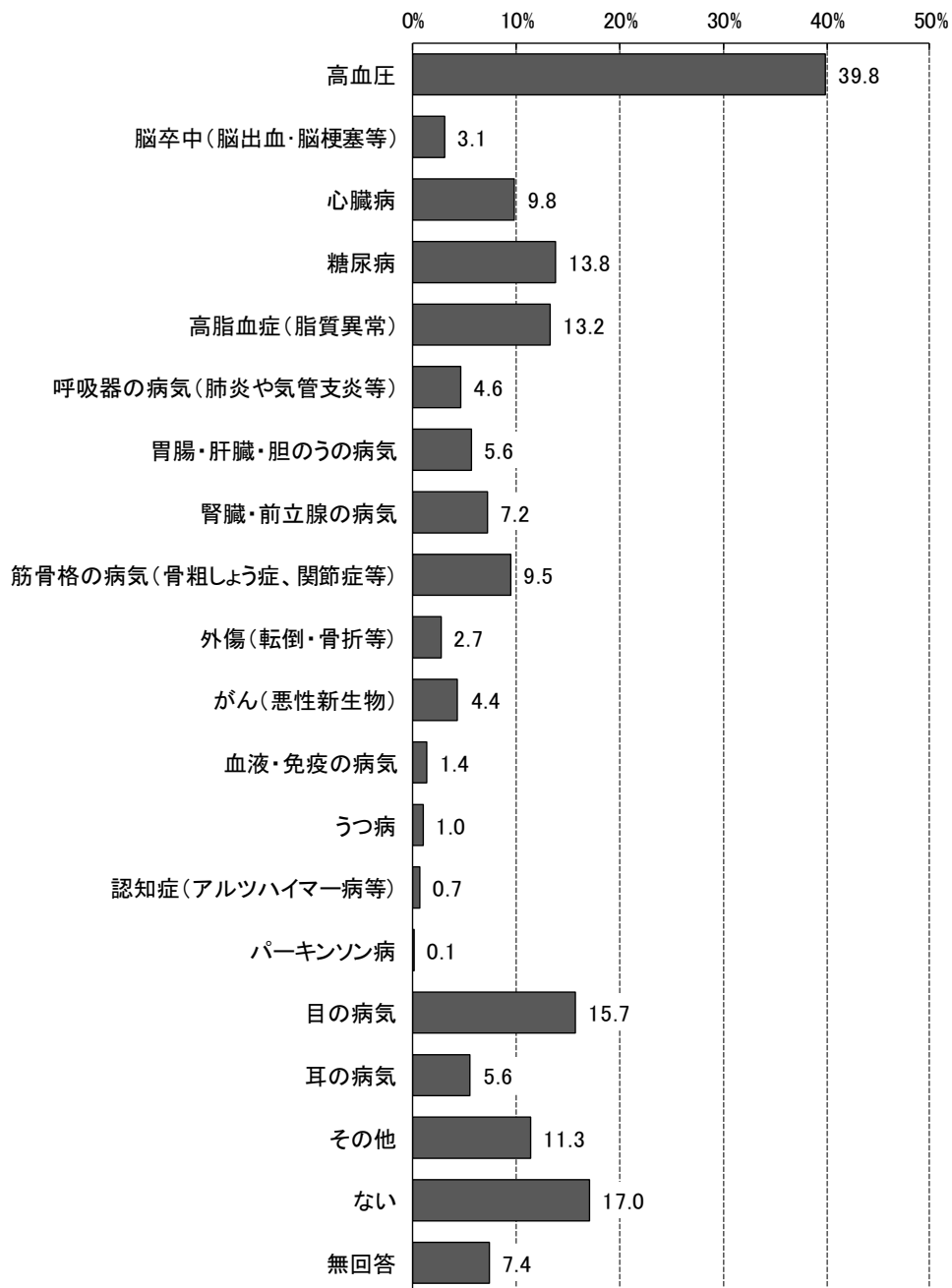
喫煙の状況についてみると、「もともと吸っていない」が56.1%で最も多く、「吸っていたがやめた」(30.4%)をあわせた『喫煙していない』は8割台となっています。

年齢別にみると、『喫煙していない』は全ての年齢で8割以上となっています。

(7) 現在治療中または後遺症のある病気

問7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(あてはまるものすべてに○)

n=2,783 人



現在治療中または後遺症のある病気についてみると、「高血圧」が 39.8%で最も多く、次いで「目の病気」が 15.7%、「糖尿病」が 13.8%などとなっています。

＜性別・年齢別集計＞

	調査数	ない	高血圧	脳梗塞等 (脳卒中・脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	常高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病 気(肺炎・ 気管支炎等)	胃腸・肝臓・ 胆の病	腎臓・前立 腺の病	粗しょう 骨格の病 気(関節 症等)
【総数】	2783	17.0	39.8	3.1	9.8	13.8	13.2	4.6	5.6	7.2	9.5
【性別】	0										
男性	1279	17.6	41.9	4.4	13.5	18.5	10.7	5.6	6.6	13.5	3.4
女性	1440	16.9	37.7	1.8	6.7	9.4	15.8	3.8	4.9	1.5	15.2
【年齢】											
60～69歳	673	23.2	34.0	2.5	5.3	11.6	18.3	3.6	5.6	4.2	7.9
70～74歳	824	19.9	39.0	2.8	8.6	14.1	13.5	4.4	4.6	5.1	8.1
75～79歳	704	12.9	40.5	3.6	12.1	14.1	11.5	5.4	5.3	7.1	11.4
80～84歳	361	13.0	46.3	3.3	13.0	15.0	11.4	5.8	7.2	12.7	9.7
85歳以上	154	7.1	49.4	3.2	18.8	14.9	5.2	3.9	11.0	18.2	16.9

	外傷 (転倒・骨折 等)	がん (悪性新生 物)	血液・免疫 の病	うつ病	認知症 (アルツ ハイマー 病等)	パーキン ソン病	目の病 気	耳の病 気	その他	無回 答
【総数】	2.7	4.4	1.4	1.0	0.7	0.1	15.7	5.6	11.3	7.4
【性別】										
男性	2.0	5.2	1.3	0.8	0.6	0.1	14.7	5.6	10.1	6.0
女性	3.4	3.5	1.3	1.2	0.8	0.1	16.7	5.5	12.6	8.0
【年齢】										
60～69歳	2.8	4.2	0.6	1.0	0.4	0.1	13.1	2.4	11.1	7.3
70～74歳	1.9	5.2	1.6	1.1	0.4	0.0	14.0	4.6	11.9	5.5
75～79歳	3.8	3.1	1.4	1.0	0.6	0.1	15.2	7.4	12.4	7.7
80～84歳	1.9	5.3	1.7	1.1	1.4	0.3	19.9	6.9	8.0	8.9
85歳以上	3.2	3.2	1.9	0.0	2.6	0.0	27.9	12.3	13.6	8.4

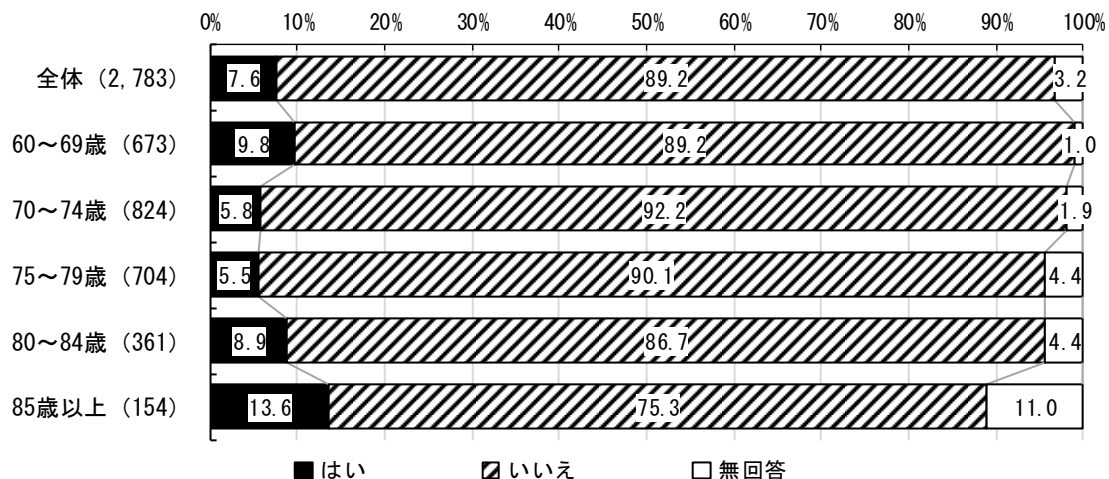
性別にみると、男女ともに「高血圧」が最も多く、男性では41.9%となっています。次いで男性では「糖尿病」(18.5%)、「目の病気」(14.7%)などとなっており、女性では「目の病気」(16.7%)、「高脂血症」(15.8%)、「筋骨格の病気」(15.2%)などとなっています。「ない」は男女ともに1割台にとどまっています。

年齢別にみると、「高血圧」は85歳以上が49.4%で最も多くなっています。「ない」は60～69歳が23.2%となっています。

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状の有無

問1. 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか

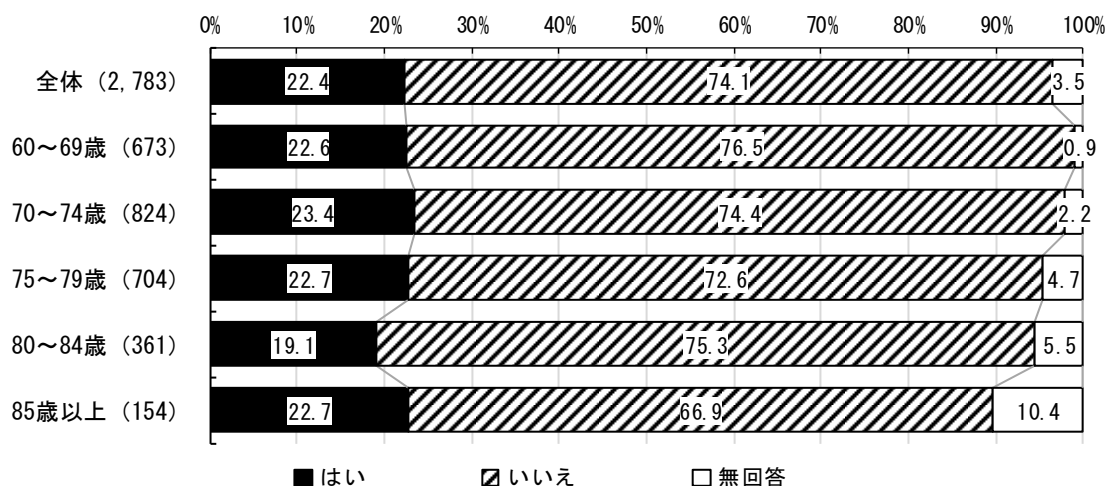


認知症の症状の有無についてみると、「いいえ」が89.2%で、「はい」(7.6%)を上回っています。

年齢別にみると、「はい」は85歳以上が13.6%で最も多くなっています。

(2) 認知症相談窓口の認知度

問2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか



認知症に関する相談窓口の認知度についてみると、「いいえ」が74.1%で、「はい」(22.4%)を上回っています。

年齢別にみると、「はい」は全ての年齢で2割程度となっています。

9 自由回答

ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は 490 件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	16
健康・介護予防	36
生活支援	17
人付き合い、社会参加	37
医療	7
住まい	4
交通機関・公共施設	39
情報提供	49
経済的な不安	15
将来について	17
その他	232
お礼など	21
合計	490

<回答結果>※一部を抜粋し、要約しています。

- 市からタクシー券を出してほしい。市のバス（ききょう号）私の家の近くには来ないし、行きたい場所にも行けない。
- 高齢者が住みやすい環境作りが必須だと思います。歩道の整備に休憩できるベンチの設置、健康体操や語り合う憩いの場を作るなど。
- 高齢者と若い人、子供達との一緒に楽しめる場所、（常に集まれる場所）イベントを作ってほしいです。東京都内で、保育園にお年寄りが行ける場があり、とても良いと思います。
- 現在、健康体操に通っていますが、月1回が、月に2～3回になると良い。特に、認知症などの予防体操が増える事を希望します。長生きの傾向にあるので、特に認知症予防が重要だと考えています。
- 昨年、市のちょ筋教室に参加しました。内容も充実していて、仲間との終了後の交流も続いています。参加希望者が多く、続けては出来ないということでしたが、高齢者向けの体操教室をもっと増やしてほしいです。
- 地域の民生委員の方を知らない。何年か前に一度たずねて来てもらったが、顔も名前も忘れてる。もっと密に訪問していただき、いざと言う時には相談にのって欲しい。
- 各地域に高齢者が気がるに立ち寄れるサロン、おしゃべりやお茶が飲める場所を作れると良

いと思います。1人住まいの方が多く、話す機会が少ない事が心配されます。

○今はインターネット等、指先1本で全世界と繋がる時代です。しかし、そういう事と無縁の人々も少なくないと思います。アナログの人間が情報化社会から、置きざりにされないよう、やさしい行政を希望します。

○階段の上り下りがスムーズに出来なくなり、二階から下りて来る時、特に「こわい」と感じます。手すりが欲しいなあと思っています。

○足元が心配で外出するのがためられるというお年寄りの声が多いです。住宅地から出ると狭い歩道、段差も多く、乳母車も車椅子も勿論歩行者も、命がけで歩かなくてはならず、困っています。施設の誘致の前に道路整備をお願いしたいです。

○家庭訪問等で近況を聞いて頂き、激れいやアドバイス、何か集会があれば参加を呼び掛け等、接触して頂くと、ありがたいと思います。

○介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、手続きが複雑で解りにくい。要支援、要介護、認定されてもどう動いていいか解らない。

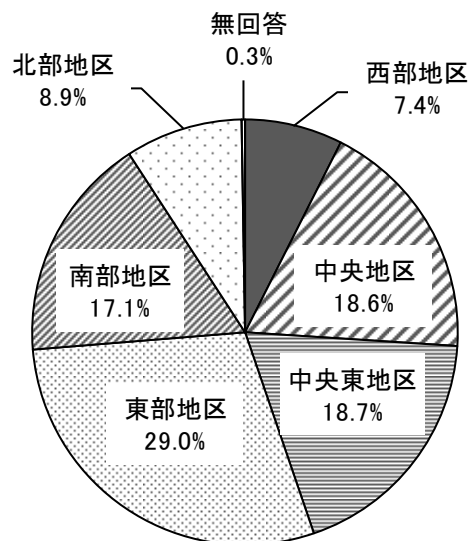
○ボランティア活動をしたいと思いますが、主人が車イス、隣で1人暮らしをする91才の母と、とても時間と経済的な余裕がありません。先日の台風の時2人をかかえてホテルに避難しましたが、大変な出費となりました。行政で対応をお願いしたいです。

第8章 在宅介護実態調査結果

F 基本的属性

(1) 居住地区（圏域）

n=753 人

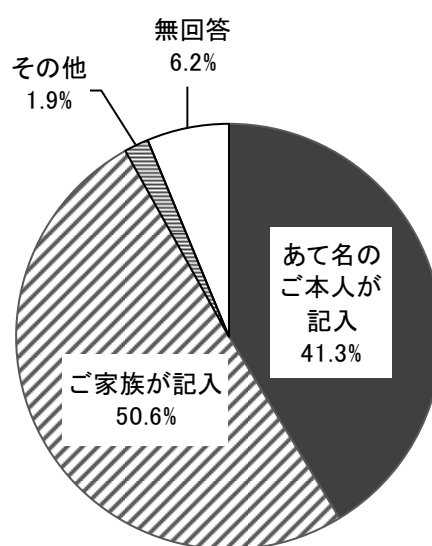


調査対象者の居住地区（圏域）についてみると、「東部地区」が2割台、「中央地区」「中央東地区」「南部地区」が1割台、「西部地区」「北部地区」が1割未満となっています。

(2) 調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

n=753 人

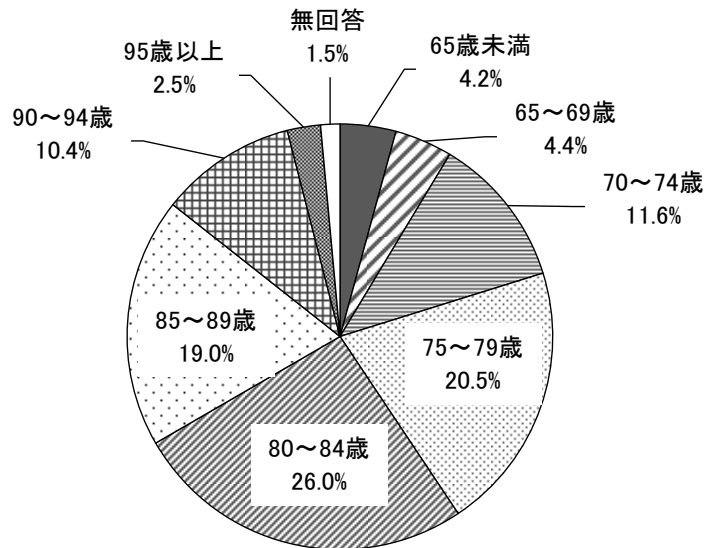


調査票の記入者についてみると、「ご家族が記入」が50.6%、「あて名のご本人が記入」が41.3%となっています。

(3) 年齢

あて名のご本人情報を記入してください。

n=753 人

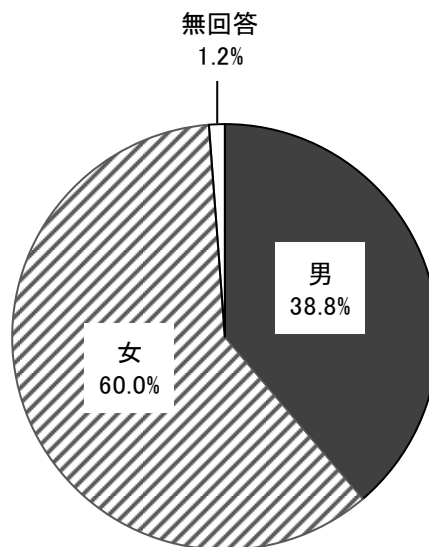


調査対象者の年齢についてみると、「80～84 歳」が 26.0%で最も多く、また『75 歳以上の後期高齢者』が約 8 割を占めています。

(4) 性別

あて名のご本人情報を記入してください。

n=753 人



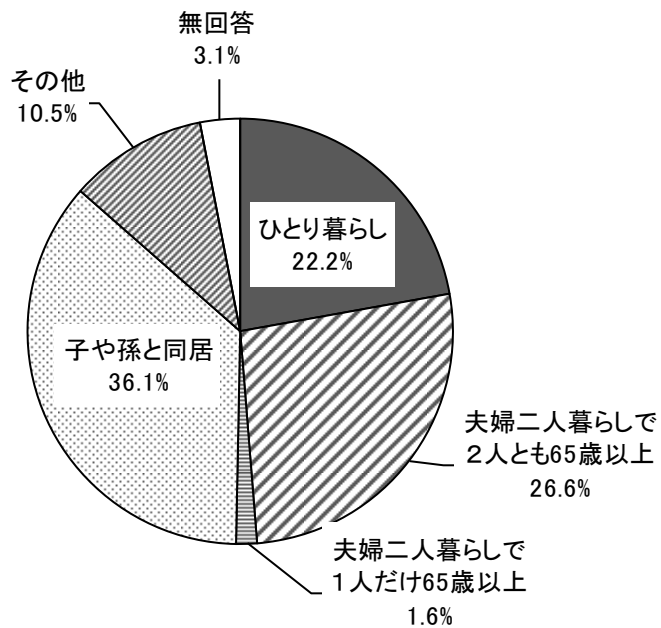
調査対象者の性別についてみると、「男性」が 38.8%、「女性」が 60.0%となっています。

あて名のご本人について

1 家族の状況

問1 あなたと同居されているご家族は。(〇は1つ)

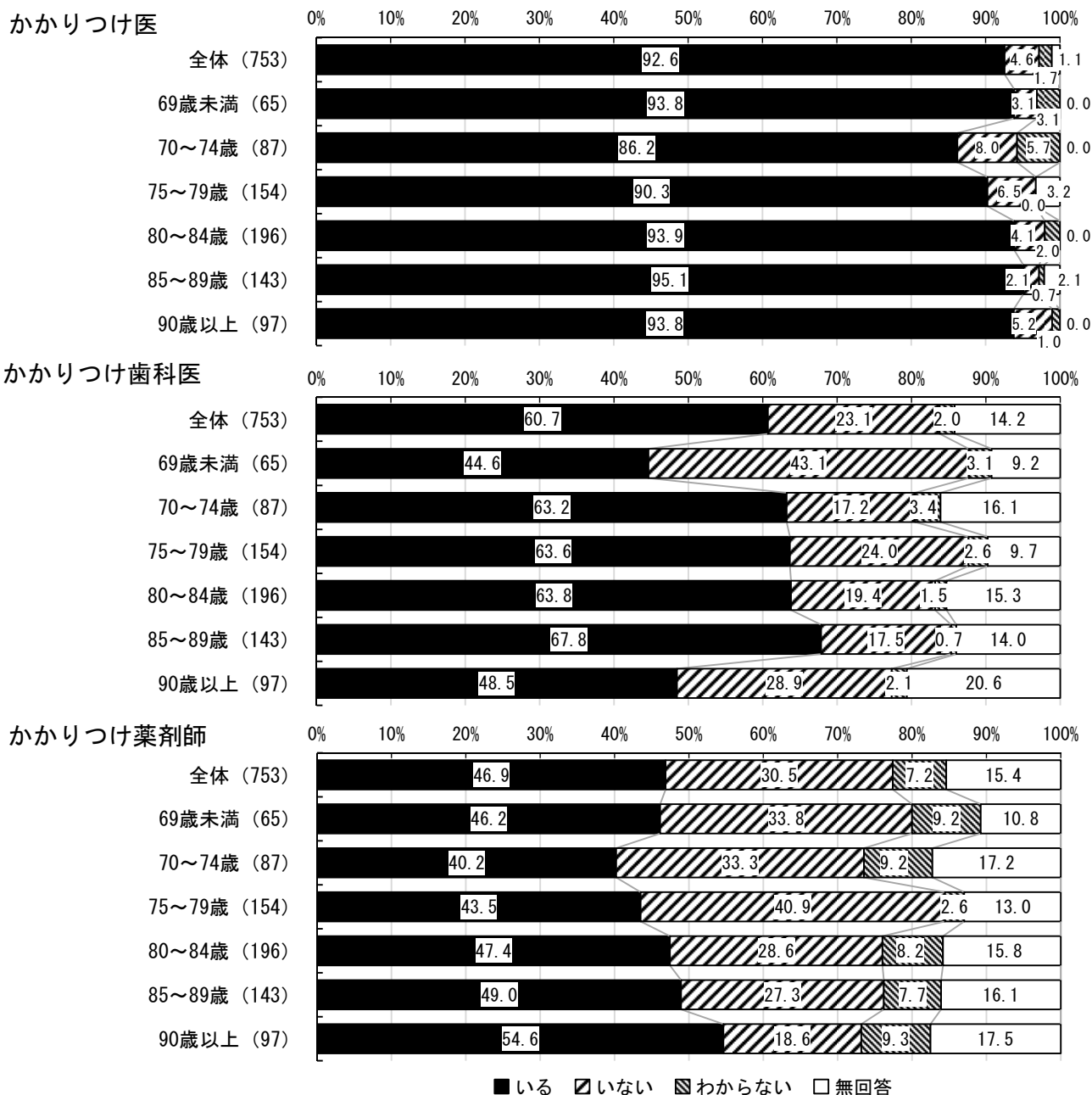
n=753人



調査対象者と同居している家族についてみると、「子や孫と同居」が36.1%で最も多く、次いで「夫婦二人暮らしで2人とも65歳以上」が26.6%となっています。

2 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師

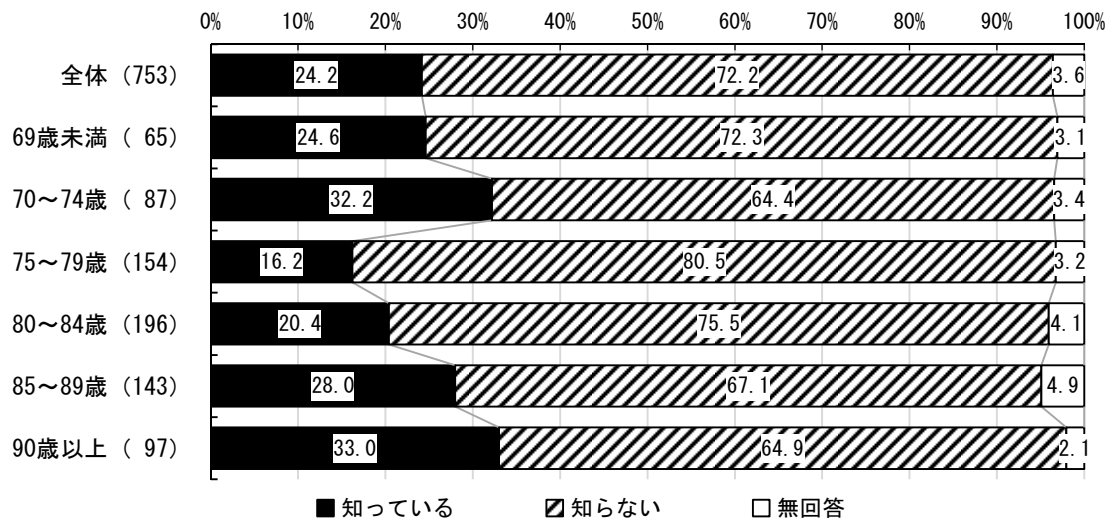
問2 あなたは、健康や病気のことを相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師」がいますか。(それぞれ1つに○)



調査対象者の健康や病気のことを相談できるかかりつけ医が「いる」割合は、「かかりつけ医」が92.6%で最も多く、「かかりつけ歯科医」が60.7%、「かかりつけ薬剤師」が46.9%となっています。年齢別にみると、「かかりつけ医」は全ての年齢で「いる」が8割以上となっています。「かかりつけ歯科医」は85~89歳で「いる」が67.8%、「かかりつけ薬剤師」は90歳以上で「いる」が54.6%と多くなっています。

3 訪問診療ができる医療機関の認知度

問3 市内で訪問診療ができる医療機関を知っていますか。(○は1つ)

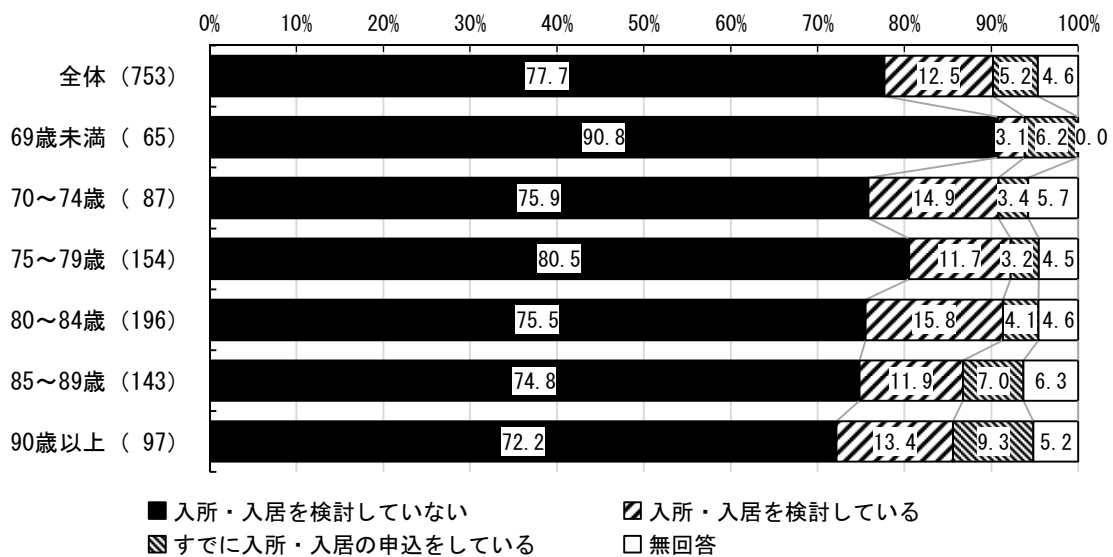


訪問診療ができる医療機関の認知度についてみると、「知っている」が24.2%で、「知らない」(72.2%)を大きく下回っています。

年齢別にみると、「知っている」は70～74歳と90歳以上で3割台となっています。

4 施設等への入所(居)の検討状況

問4 あなたは現在、施設等への入所・入居を検討していますか。(○は1つ)



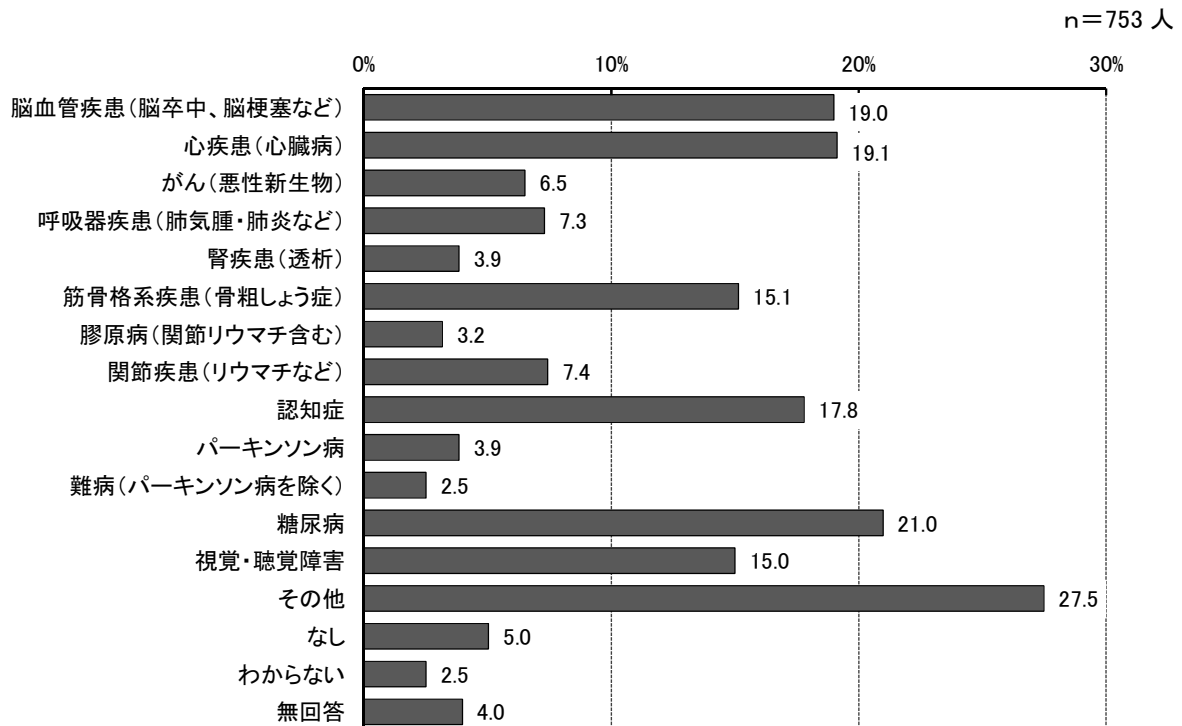
施設等への入所(居)の検討状況についてみると、「入所・入居を検討していない」が77.7%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が12.5%、「すでに入所・入居の申込をしている」が5.2%となっています。

年齢別にみると、「入所・入居を検討している」は69歳未満を除く全ての年齢で1割台となっています。

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

5 現在抱えている傷病

問5 あなたが現在抱えている傷病はありますか。(あてはまるものすべてに○)



現在抱えている傷病についてみると、「糖尿病」が21.0%で最も多く、次いで「心疾患(心臓病)」が19.1%、「脳血管疾患(脳卒中、脳梗塞など)」が19.0%などとなっています。

<性別・年齢別集計>

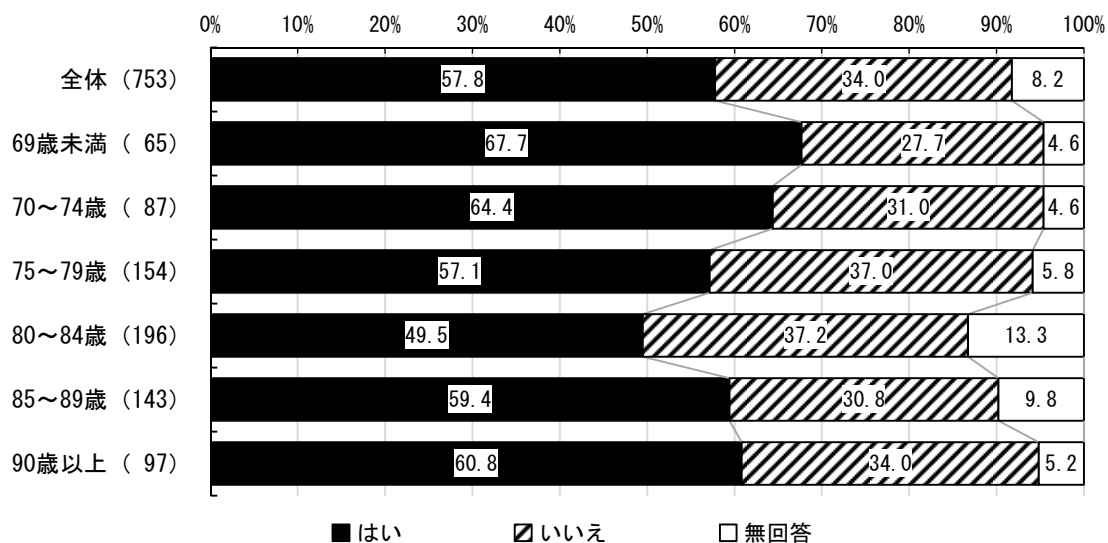
調査数	中、脳血管疾患(脳卒中、脳梗塞など)	心疾患(心臓病)	がん(悪性新生物)	腫・肺炎など)	呼吸器疾患(肺気腫・肺炎など)	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症)	膠原病(関節リウマチ含む)	関節疾患(リウマチなど)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他	なし	わからない	無回答
【総数】	753	19.0	19.1	6.5	7.3	3.9	15.1	3.2	7.4	17.8	3.9	2.5	21.0	15.0	27.5	5.0	2.5	4.0
【性別】																		
男	292	28.8	21.9	7.2	9.6	5.1	4.8	2.4	4.1	17.1	3.4	2.4	27.7	15.8	26.7	3.8	2.4	2.1
女	452	12.8	16.8	6.2	5.8	2.9	21.9	3.8	9.3	18.6	4.2	2.7	16.8	14.6	28.5	5.5	2.7	5.1
【年齢】																		
69歳未満	65	30.8	13.8	9.2	3.1	3.1	1.5	4.6	6.2	7.7	3.1	9.2	16.9	10.8	26.2	7.7	1.5	1.5
70～74歳	87	29.9	10.3	8.0	8.0	9.2	9.2	5.7	10.3	10.3	5.7	1.1	21.8	11.5	27.6	1.1	2.3	3.4
75～79歳	154	21.4	16.2	5.2	7.1	4.5	14.9	3.2	4.5	16.2	2.6	3.2	20.8	10.4	33.8	3.2	1.9	4.5
80～84歳	196	18.4	17.9	6.1	9.2	2.6	13.8	3.6	6.6	17.3	5.1	2.6	27.0	12.8	26.5	5.1	2.6	4.6
85～89歳	143	13.3	25.2	9.1	7.0	3.5	22.4	1.4	4.9	24.5	4.9	1.4	19.6	20.3	22.4	8.4	4.2	3.5
90歳以上	97	8.2	26.8	3.1	6.2	1.0	21.6	2.1	13.4	26.8	1.0	0.0	14.4	24.7	28.9	3.1	1.0	4.1

性別にみると、男性は「脳血管疾患」が28.8%で最も多く、女性は「筋骨格系疾患」と「その他」が2割台となっています。

年齢別にみると、「脳血管疾患」は69歳未満が30.8%で最も多く、年齢が上がるほど低くなっています。「心疾患」、「筋骨格系疾患」、「認知症」、「視覚・聴覚障害」は85歳以上の年齢で2割以上となっています。

6 介護保険サービスの利用の有無

問6 令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

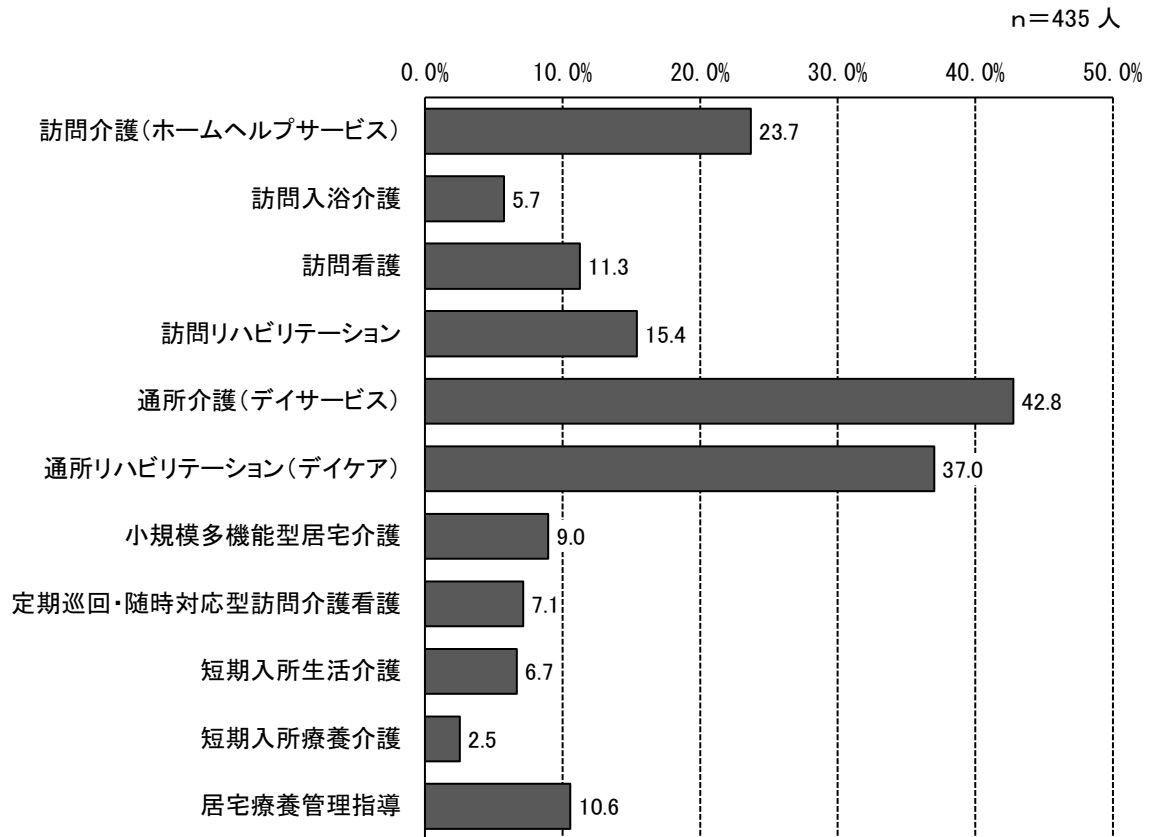


令和元年12月における介護保険サービス利用の有無についてみると、利用した「はい」は57.8%で、「いいえ」(34.0%)を大きく上回っています。

年齢別にみると、「はい」は69歳未満が67.7%で最も多くなっています。

付問6-1 問6で「1. はい」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。(それぞれ1つに○)

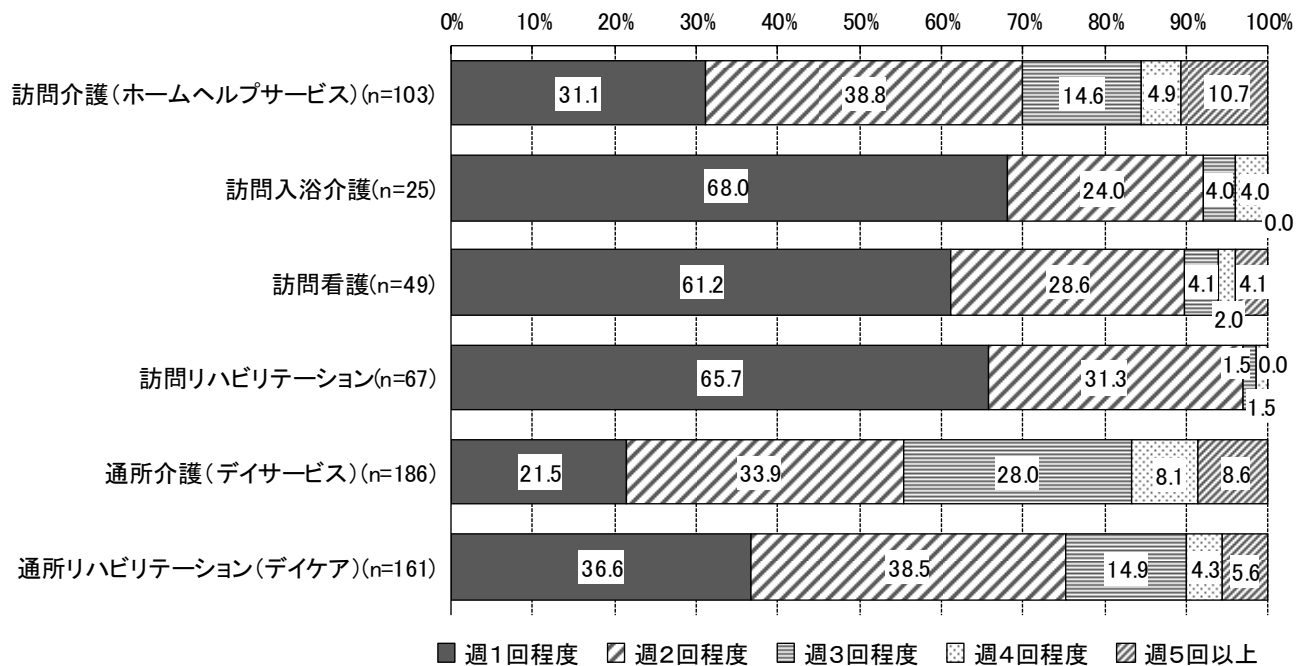
■ 介護保険サービスの利用状況



令和元年12月に介護保険サービスを利用したと回答した方に、各サービスの利用状況について聞いたところ、利用しているサービスは「通所介護(デイサービス)」が42.8%で最も多く、次いで「通所リハビリテーション(デイケア)」(37.0%)、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(23.7%)などとなっています。

■ 介護保険サービスの利用頻度

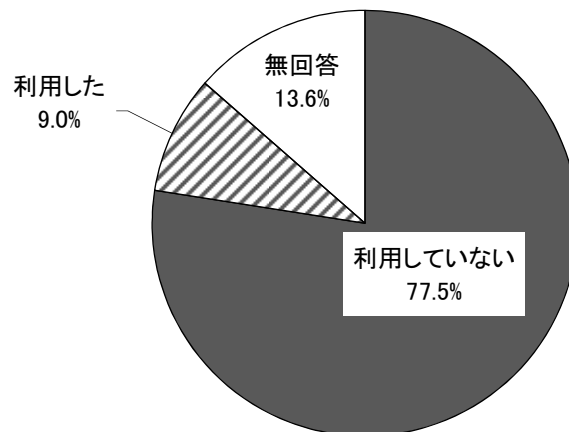
【各サービス】1週間あたりの利用回数



令和元年12月に介護保険サービスを利用したと回答した方に、各サービスの1週間あたりの利用回数について聞いたところ、利用頻度が最も高いサービスは【訪問介護(ホームヘルプサービス)】で「週5回以上」が10.7%となっています。また、【通所介護(デイサービス)】は「週3回程度」(28.0%)と「週4回程度」(8.1%)と「週5回以上」(8.6%)をあわせた『週3回以上』が4割台で、他のサービスに比べ多くなっています。

【小規模多機能型居宅介護】 利用の有無

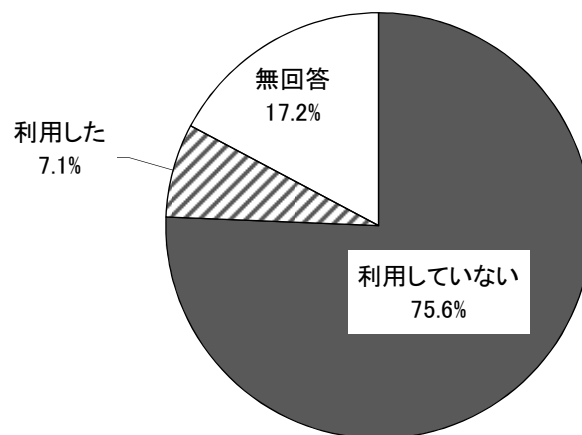
n=435 人



令和元年12月に介護保険サービスを利用したと回答した方に、【小規模多機能型居宅介護】の利用の有無について聞いたところ、「利用した」は9.0%にとどまり、「利用していない」(77.5%)を大きく下回っています。

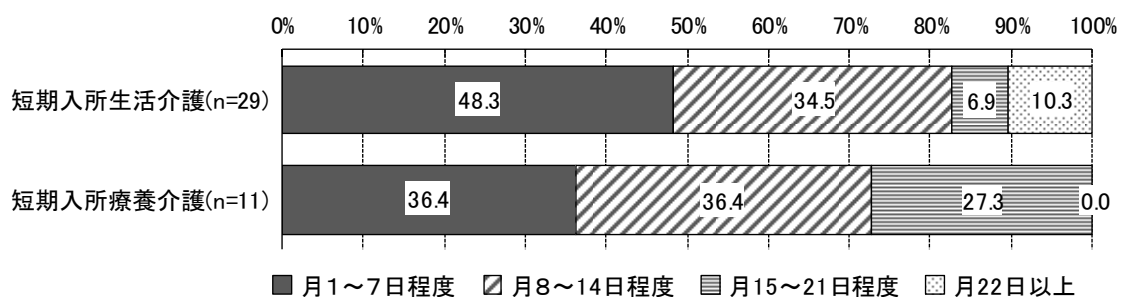
【定期巡回・随時対応型訪問介護看護】 利用の有無

n=435 人



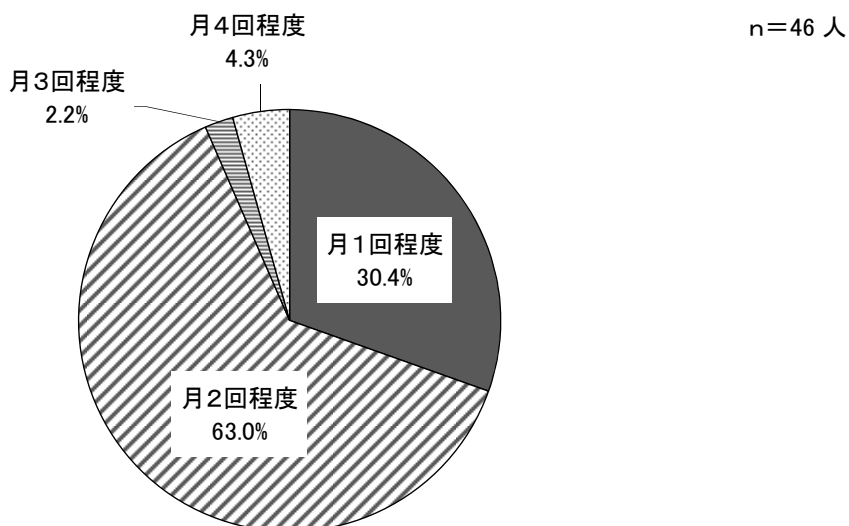
令和元年12月に介護保険サービスを利用したと回答した方に、【定期巡回・随時対応型訪問介護看護】の利用の有無について聞いたところ、「利用した」は7.1%にとどまり、「利用していない」(75.6%)を大きく下回っています。

【短期入所生活介護・短期入所療養介護】1ヶ月あたりの利用回数



令和元年12月に【短期入所生活介護・短期入所療養介護】を利用したと回答した方に、1ヶ月あたりの利用回数について聞いたところ、【短期入所生活介護】では「月22日以上」が10.3%となっています。【短期入所療養介護】では「月15~21日程度」が27.3%となっています。

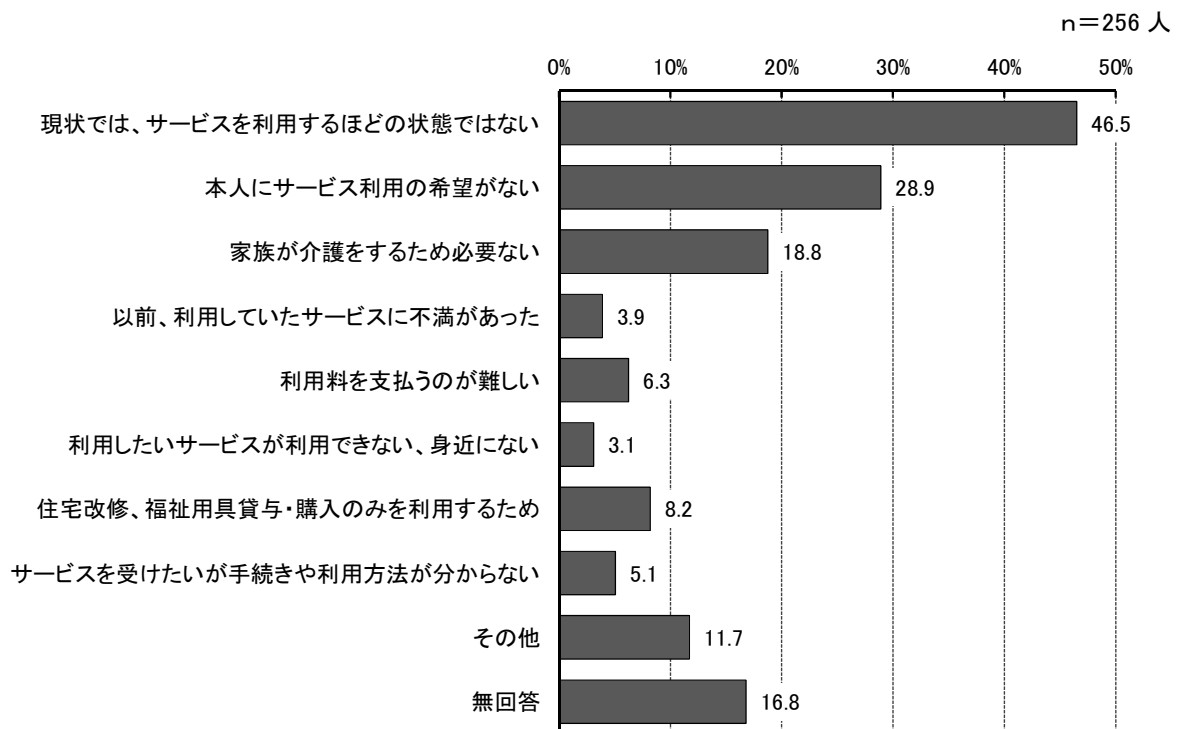
【居宅療養管理指導】1ヶ月あたりの利用回数



令和元年12月に【居宅療養管理指導】を利用したと回答した方に、1ヶ月あたりの利用回数について聞いたところ、「月2回程度」が63.0%で最も多く、次いで「月1回程度」が30.4%となっています。

■ 介護保険サービスを利用していない理由

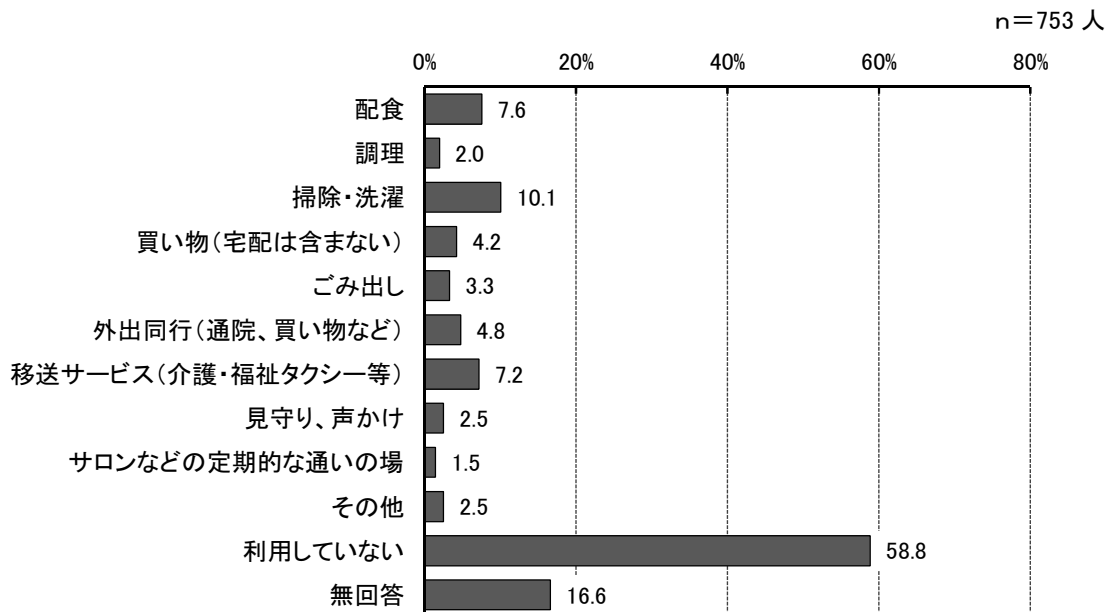
付問6-2 問6で「2. いいえ」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



令和元年12月に介護保険サービスを利用していないと回答した方に、その理由について聞いたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が46.5%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が28.9%、「家族が介護をするため必要ない」が18.8%となっています。

7 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(あてはまるものすべてに○)



現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「掃除・洗濯」(10.1%)、「配食」(7.6%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(7.2%)、「外出同行(通院、買い物など)」(4.8%)などが挙げられています。一方、「利用していない」は58.8%となっています。

<性別・年齢別集計>

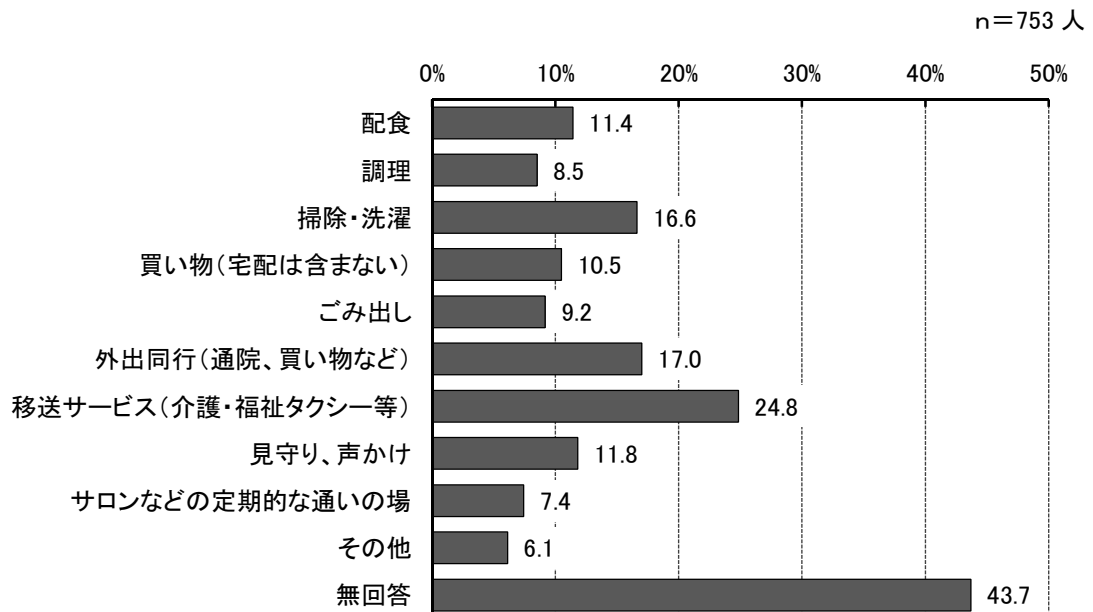
	調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ごみ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
【総数】	753	7.6	2.0	10.1	4.2	3.3	4.8	7.2	2.5	1.5	2.5	58.8	16.6
【性別】													
男	292	8.2	2.1	7.9	4.1	3.4	4.8	7.9	2.7	0.3	2.1	61.0	16.1
女	452	7.3	1.8	11.5	4.4	3.3	4.9	6.9	2.4	2.2	2.9	58.0	16.4
【年齢】													
69歳未満	65	6.2	3.1	6.2	4.6	1.5	6.2	6.2	3.1	0.0	1.5	67.7	9.2
70～74歳	87	3.4	0.0	3.4	2.3	1.1	1.1	13.8	0.0	1.1	4.6	58.6	17.2
75～79歳	154	7.8	1.9	10.4	3.2	4.5	5.2	5.2	2.6	1.3	1.3	57.8	19.5
80～84歳	196	5.1	1.5	8.7	2.6	2.0	5.1	4.1	2.0	0.5	2.0	63.3	18.4
85～89歳	143	12.6	2.1	15.4	9.1	6.3	5.6	11.2	4.2	2.8	3.5	51.0	14.7
90歳以上	97	10.3	3.1	12.4	4.1	3.1	5.2	6.2	3.1	3.1	3.1	59.8	13.4

性別にみると、男女ともに「利用していない」が6割程度で最も多くなっています。

年齢別にみると、「掃除・洗濯」は75～79歳と85歳以上の年齢で1割台、「移送サービス」は70～74歳と85～89歳で1割台となっています。「利用していない」は69歳未満が67.7%で最も多くなっています。

8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が24.8%で最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が17.0%、「掃除・洗濯」が16.6%などとなっています。

<性別・年齢別集計>

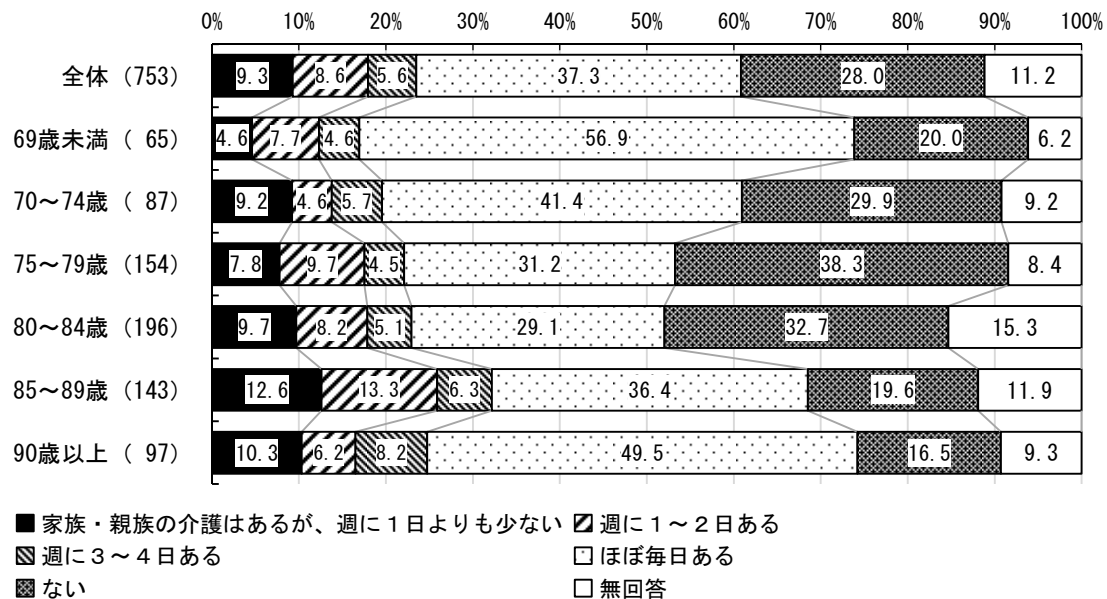
	調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ごみ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	無回答
【総数】	753	11.4	8.5	16.6	10.5	9.2	17.0	24.8	11.8	7.4	6.1	43.7
【性別】												
男	292	11.3	6.2	12.7	9.9	6.8	14.7	24.3	9.9	6.2	6.2	44.9
女	452	11.5	9.7	19.0	10.8	10.8	18.6	25.4	13.1	8.4	6.2	42.9
【年齢】												
69歳未満	65	7.7	7.7	10.8	7.7	6.2	18.5	23.1	9.2	9.2	6.2	46.2
70～74歳	87	8.0	9.2	5.7	6.9	3.4	16.1	26.4	9.2	5.7	8.0	48.3
75～79歳	154	9.7	7.1	18.2	10.4	8.4	14.9	17.5	9.7	5.2	7.1	46.8
80～84歳	196	10.7	8.7	19.9	13.3	10.2	16.3	19.9	12.8	5.1	6.1	41.3
85～89歳	143	13.3	9.1	21.0	14.0	12.6	20.3	30.8	15.4	11.9	5.6	42.7
90歳以上	97	18.6	8.2	13.4	5.2	10.3	16.5	39.2	11.3	10.3	4.1	39.2

性別にみると、男女ともに「移送サービス」が2割台で最も多くなっています。

年齢別にみると、「移送サービス」は85歳以上の年齢で3割台と多くなっています。「外出同行」と「掃除・洗濯」は85～89歳が2割台で多くなっています。

9 家族や親族から介護を受ける頻度

問9 ご家族などからの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(〇は1つ)



家族や親族から介護を受ける頻度についてみると、「ほぼ毎日ある」が 37.3%で最も多くなっています。

一方、「ない」は 28.0%で、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」(9.3%)とあわせると3割を超えています。

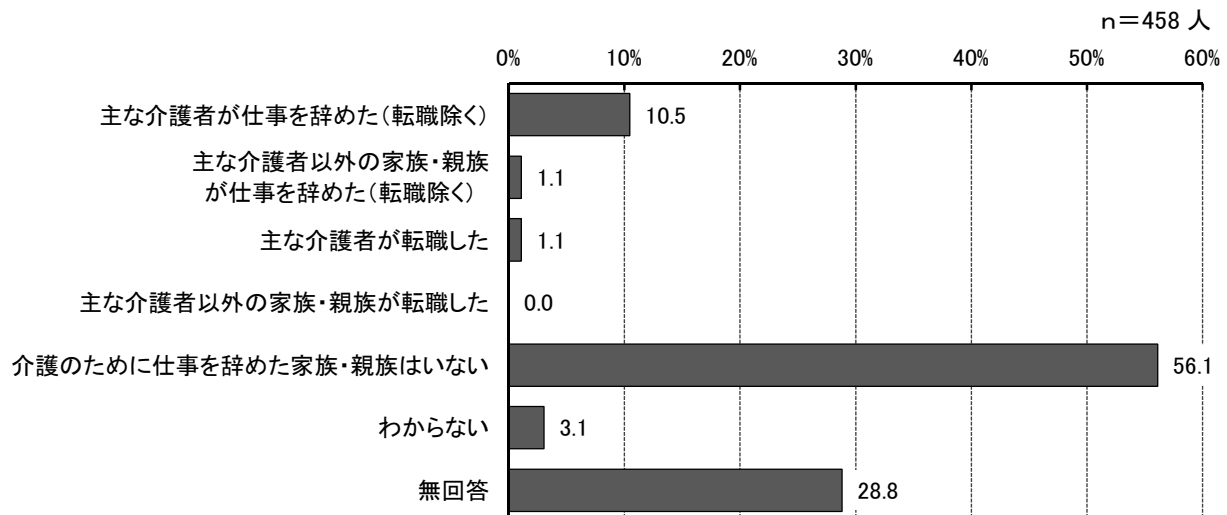
年齢別にみると、「ほぼ毎日ある」は 69歳未満が 56.9%で最も多く、次いで 90歳以上が 49.5%となっています。「ない」は 75~79歳と 80~84歳で3割台となっています。

介護者について

10 介護を理由に仕事を辞めるなどした人

問10 ご家族やご親族の中で、要介護認定者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。

(あてはまるものすべてに○)



家族や親族の中で、介護を理由に仕事を辞めるなどした人についてみると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(10.5%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」「主な介護者が転職した」(ともに 1.1%)などが挙げられています。

一方、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が56.1%となっています。

<性別・年齢別集計>

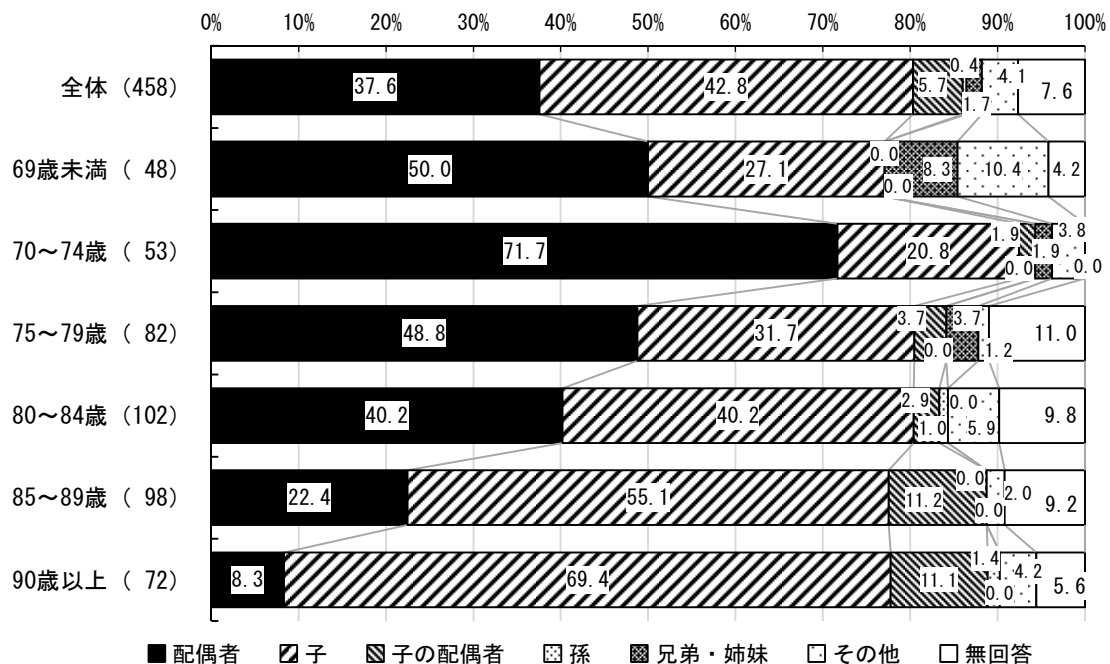
	調査数	辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために家族・親族は仕事を辞めた	わからない	無回答
【総数】	458	10.5	1.1	1.1	0.0	56.1	3.1	28.8
【性別】								
男	166	7.8	2.4	1.2	0.0	59.6	3.6	25.9
女	290	12.1	0.3	1.0	0.0	54.1	2.8	30.3
【年齢】								
69歳未満	48	20.8	2.1	0.0	0.0	58.3	6.3	12.5
70~74歳	53	7.5	0.0	1.9	0.0	64.2	1.9	24.5
75~79歳	82	4.9	1.2	0.0	0.0	58.5	2.4	32.9
80~84歳	102	7.8	2.0	1.0	0.0	53.9	2.9	34.3
85~89歳	98	9.2	1.0	3.1	0.0	53.1	3.1	30.6
90歳以上	72	18.1	0.0	0.0	0.0	52.8	2.8	27.8

性別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は女性が12.1%で男性(7.8%)よりやや多くなっています。

年齢別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は69歳未満が20.8%で最も多くなっています。

11 主な介護者

問11 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

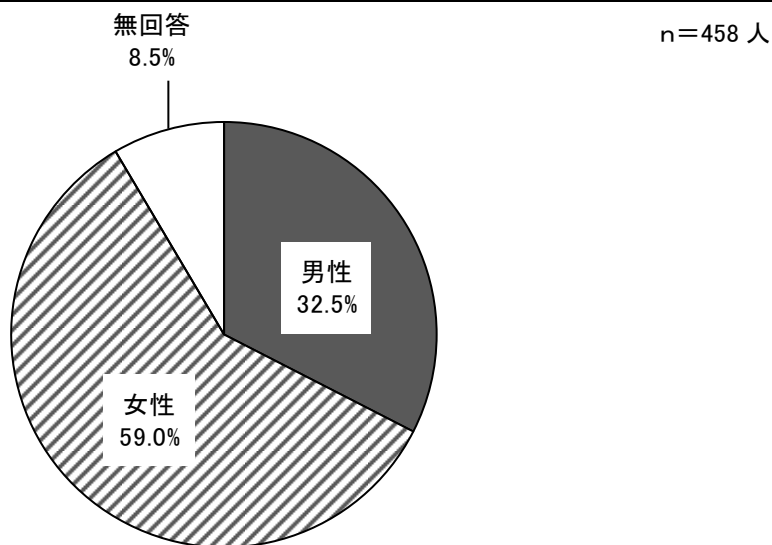


主な介護者についてみると、「子」が42.8%で最も多く、次いで「配偶者」が37.6%となっています。

年齢別にみると、「配偶者」は70~74歳が最も多く、71.7%となっています。「子」は85歳以上の年齢で5割以上となっています。

12 主な介護者の性別

問12 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

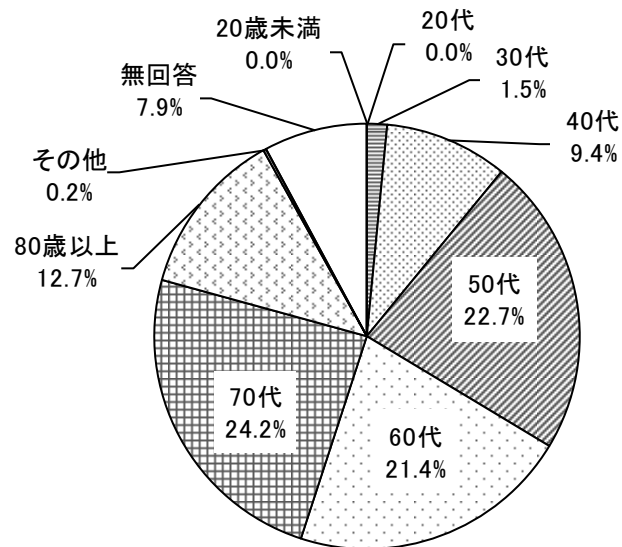


主な介護者の性別についてみると、「男性」が32.5%、「女性」が59.0%となっています。

13 主な介護者の年齢

問13 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

n=458人

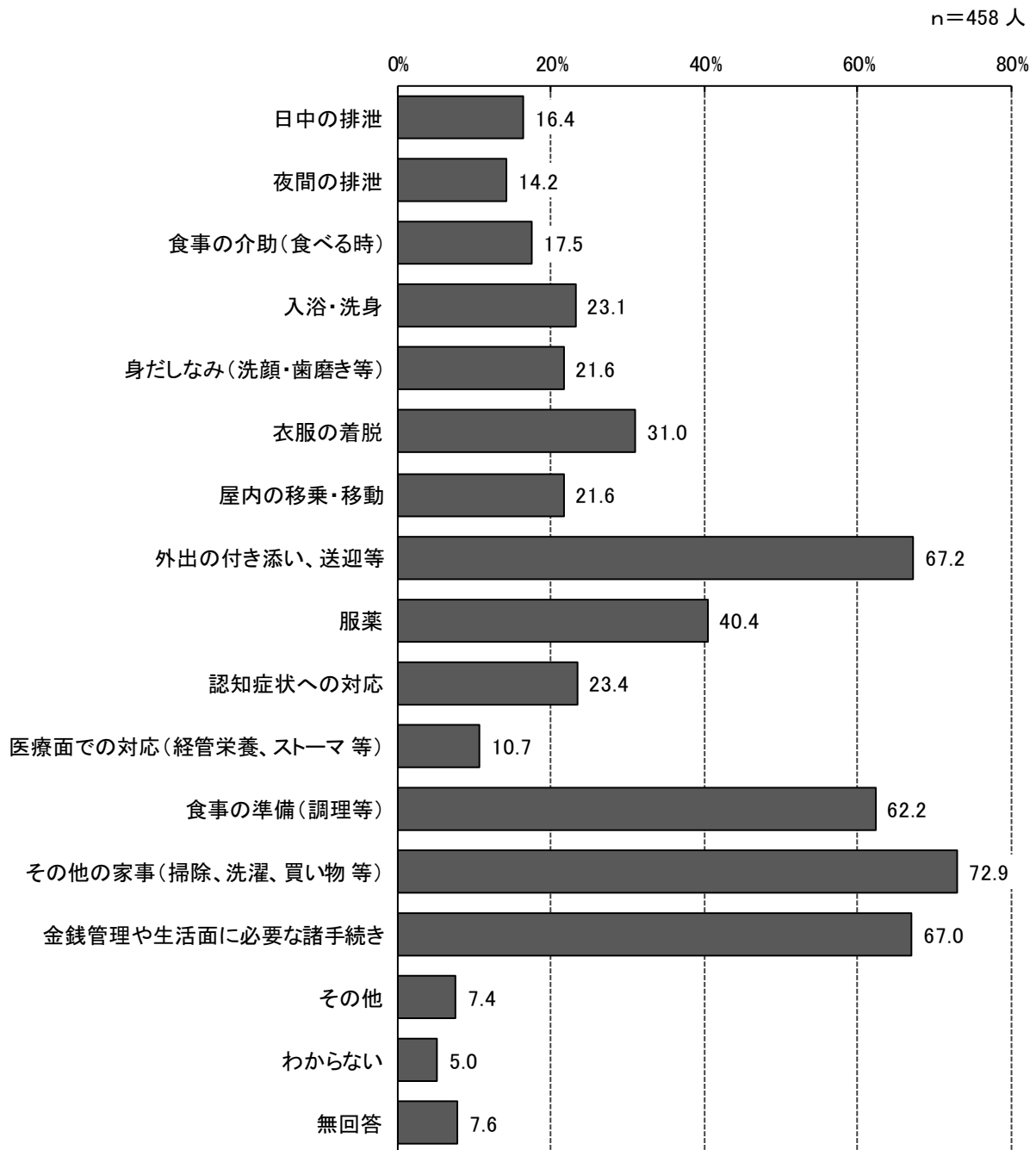


主な介護者の年齢についてみると、「70代」が24.2%で最も多く、次いで「50代」が22.7%、「60代」が21.4%となっています。

14 主な介護者が行っている介護等

問14 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

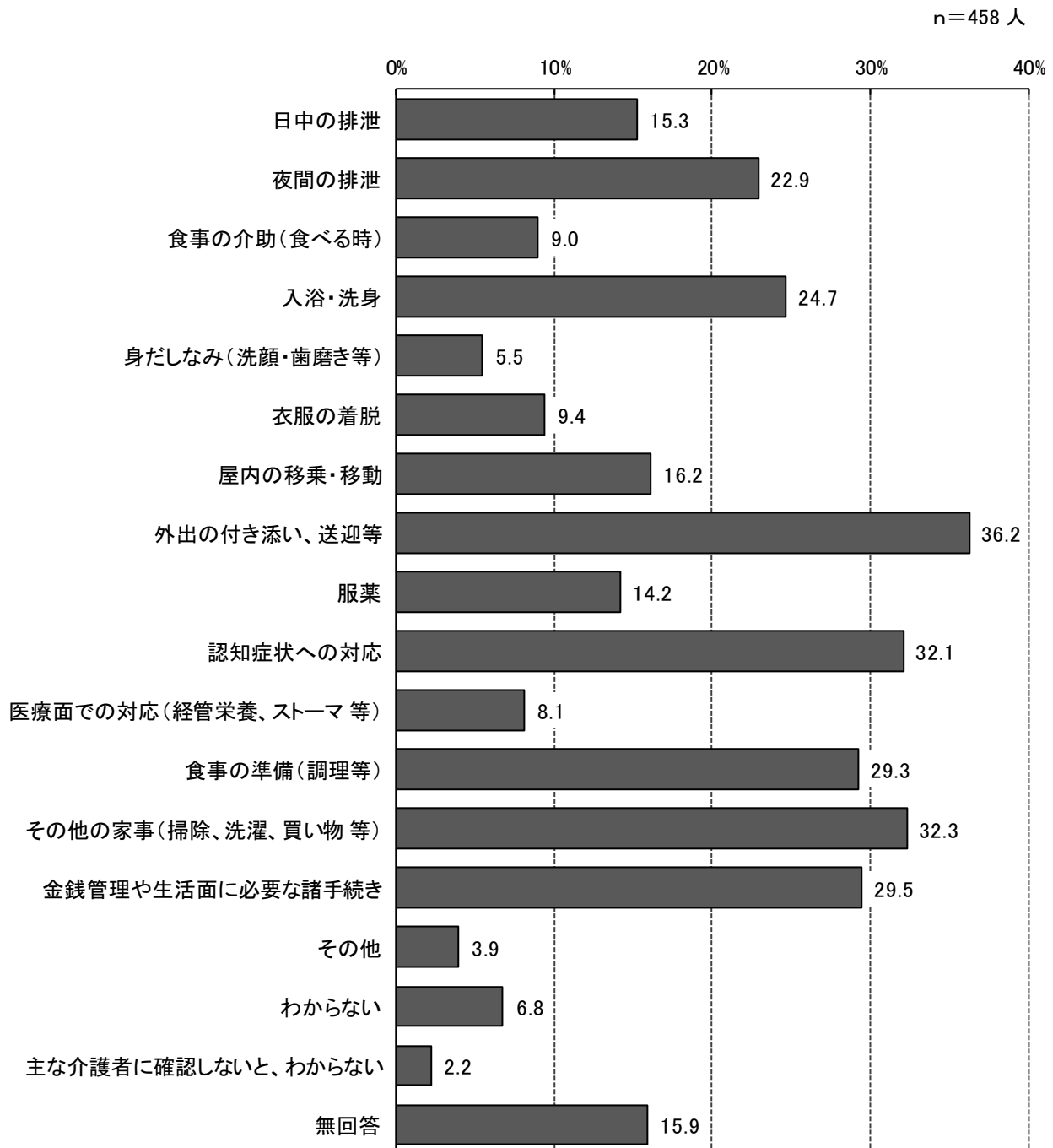
(あてはまるものすべてに○)



主な介護者が行っている介護等についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（72.9%）、「外出の付き添い、送迎等」（67.2%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（67.0%）、「食事の準備（調理等）」（62.2%）が6割を超え、特に多くなっています。

15 生活を継続するうえで主な介護者が不安に思う介護等

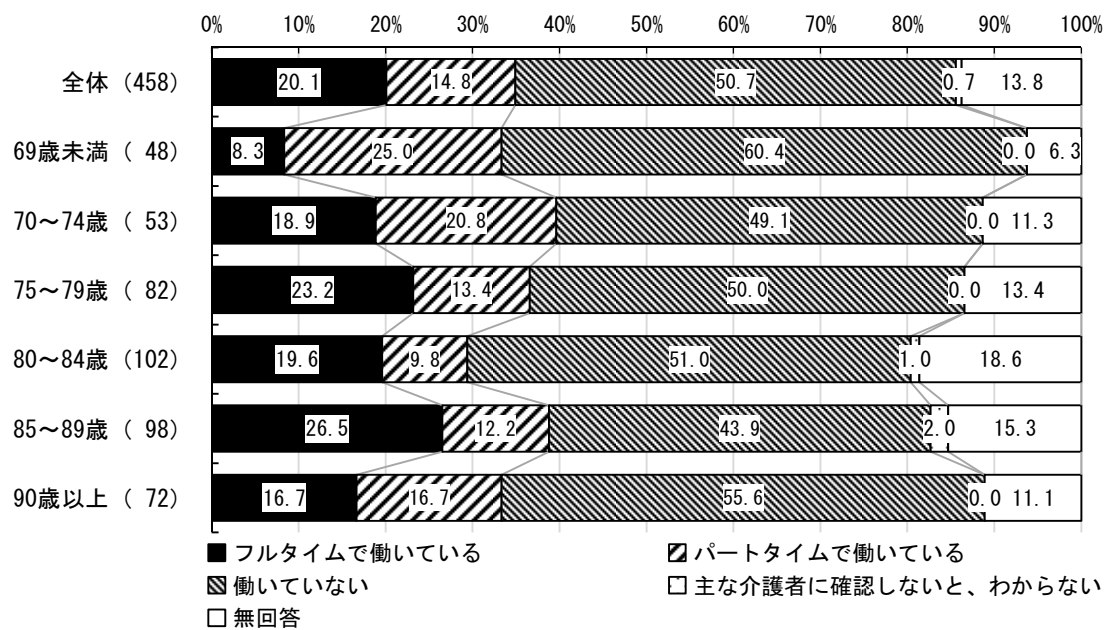
問15 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(3つまで選択可)



生活を継続するうえで主な介護者が不安に思う介護等についてみると、「外出の付き添い、送迎等」(36.2%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(32.3%)、「認知症状への対応」(32.1%)が3割を超え多くなっています。

16 主な介護者の勤務形態

問16 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)



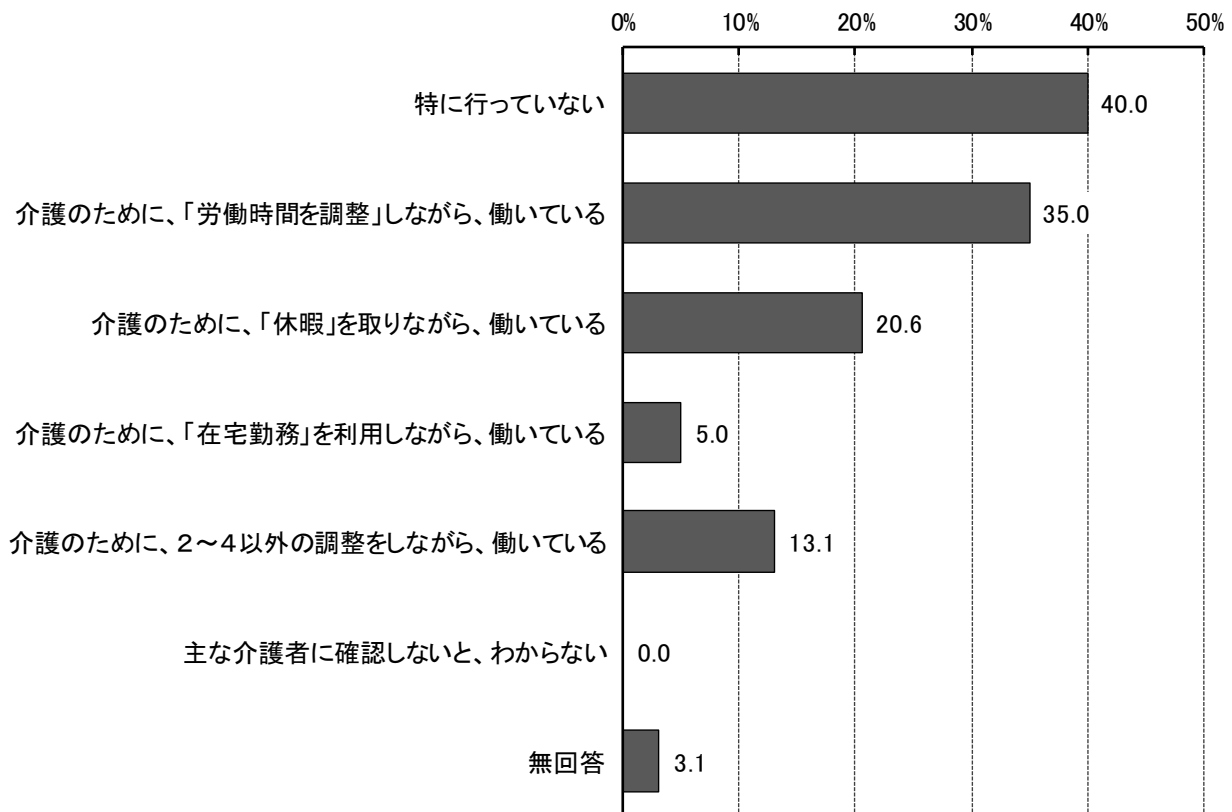
主な介護者の勤務形態についてみると、「フルタイムで働いている」(20.1%)と「パートタイムで働いている」(14.8%)をあわせた『働いている』は、3割台となっています。一方、「働いていない」は50.7%となっています。

年齢別にみると、『働いている』は70~74歳と85~89歳で約4割となっています。

■ 働いている主な介護者の働き方の調整等

付問16-1 問16で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

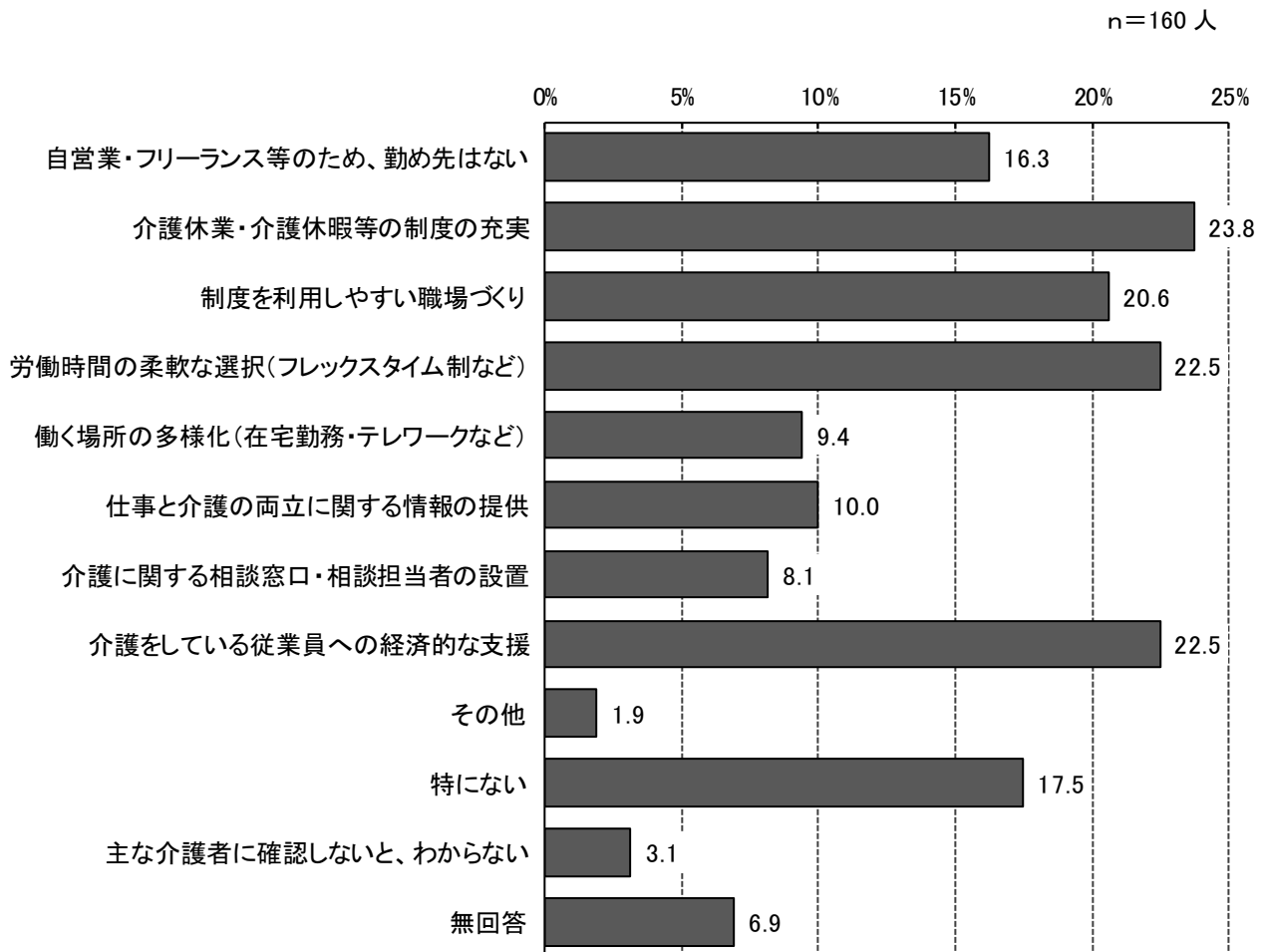
n=160人



働いている主な介護者の方に、働き方の調整等について聞いたところ、「特に行っていない」が40.0%で最も多いものの、「介護のために労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」（35.0%）や「介護のために、休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」（20.6%）なども多くなっています。

■ 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

付問16-2 問16で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

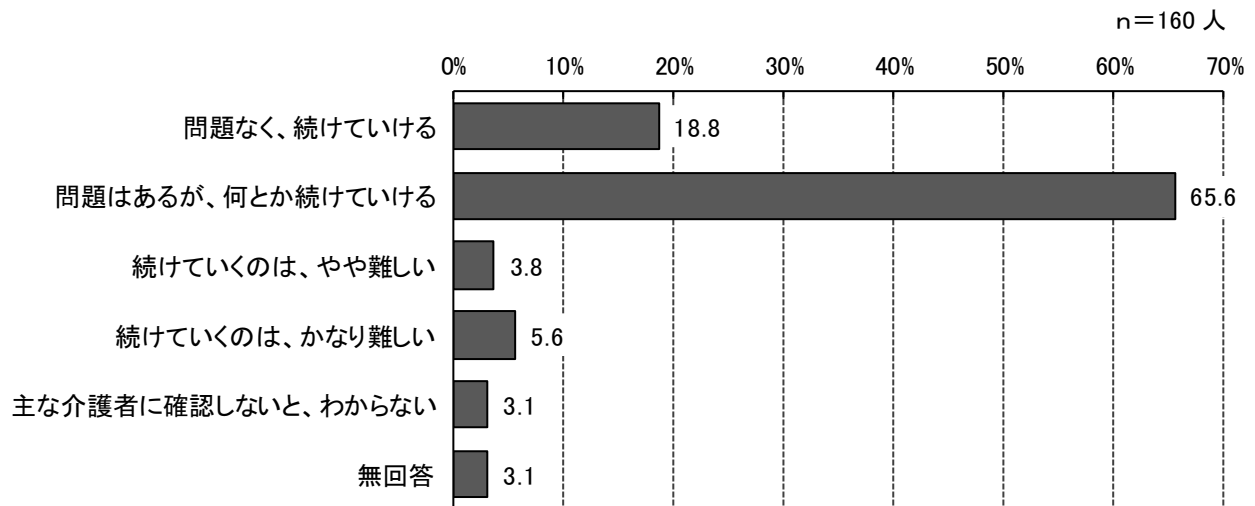


働いている主な介護者の方に、仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援について聞いたところ、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 23.8%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」「介護をしている従業員への経済的な支援」(ともに 22.5%) などとなっています。

■ 今後も働きながら介護を続けていけるか

付問16-3 問16で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

(○は1つ)

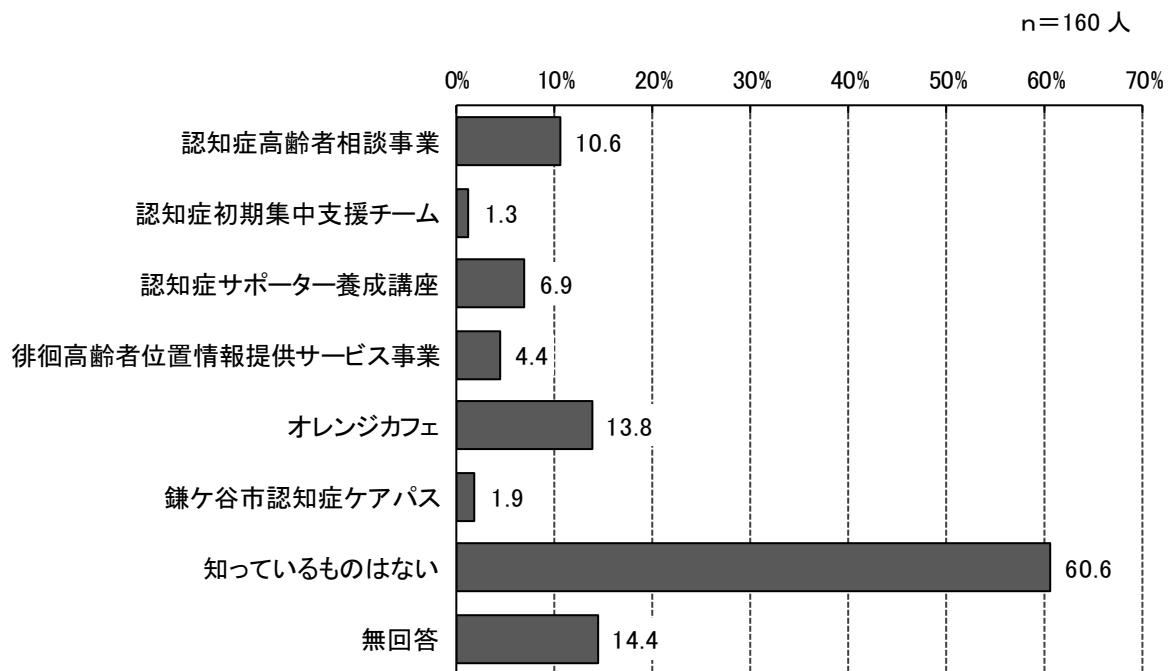


働いている主な介護者の方に、今後も働きながら介護を続けていけるか聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が65.6%で最も多く、「問題なく、続けていける」(18.8%)とあわせた『続けていける』は8割台となっています。

一方、「続けていくのは、かなり難しい」(5.6%)と「続けていくのは、やや難しい」(3.8%)をあわせた『難しい』は、1割未満となっています。

17 認知症に関連する市の施策で知っているもの

問17 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

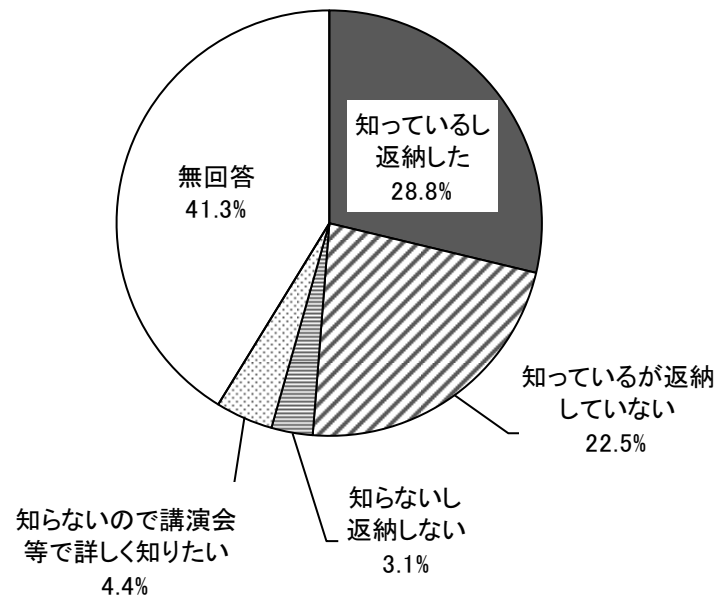


認知症に関連する市の施策で知っているものについてみると、「オレンジカフェ」が13.8%で最も多く、次いで「認知症高齢者相談事業」が10.6%となっています。一方、「知っているものはない」は60.6%となっています。

18 運転免許返納

問18 認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることを知っていますか。(○は1つ)

n=160人



認知症が疑われる方の運転について免許返納が推奨されることの認知度は、「知っているし返納した」が28.8%で最も多く、次いで「知っているが返納していない」が22.5%などとなっています。

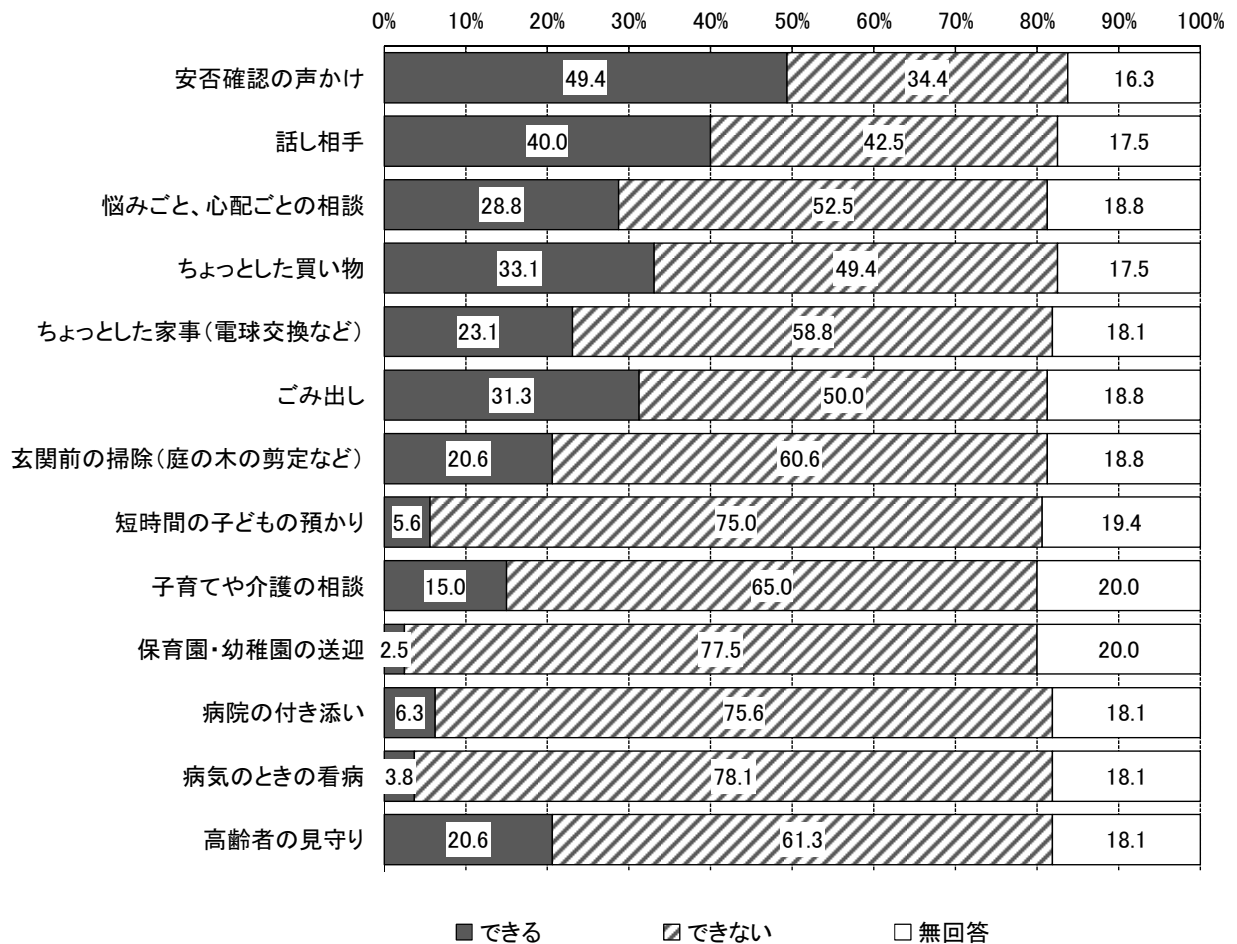
一方、「知らないし返納しない」は3.1%となっています。

19 隣近所の手助け

問19 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてもらいたいですか。各項目の「ア. 手助けできること」、「イ. 手助けして欲しいこと」それぞれにご回答ください

■ ア. 手助けできること

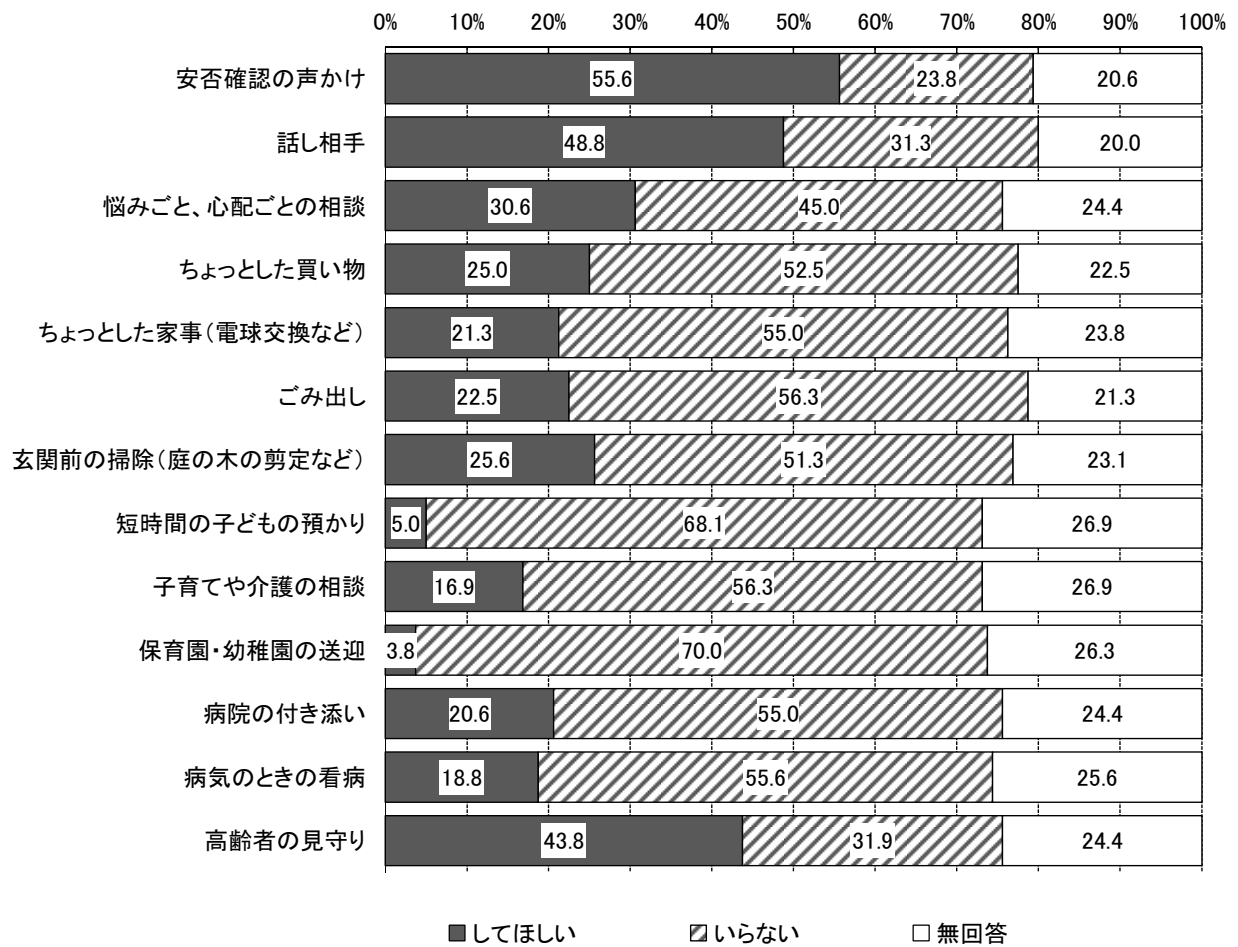
n=160人



手助けできることについてみると、「できる」は「安否確認の声かけ」が 49.4% で最も多く、次いで「話し相手」(40.0%)、「ちょっとした買い物」(33.1%) となっています。

■イ. 手助けして欲しいこと

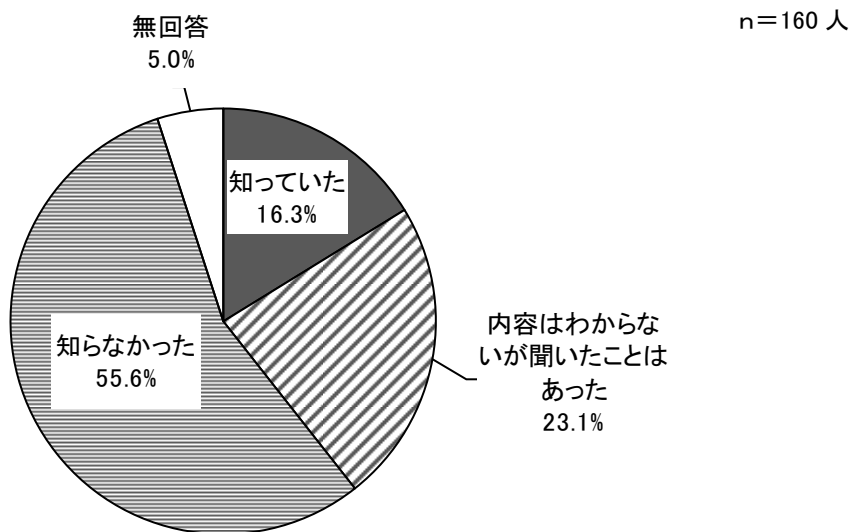
n=160人



手助けしてほしいことについてみると、「してほしい」は「安否確認の声かけ」が55.6%で最も多く、次いで「話し相手」(48.8%)、「高齢者の見守り」(43.8%)などとなっています。

20 市民後見人の認知状況

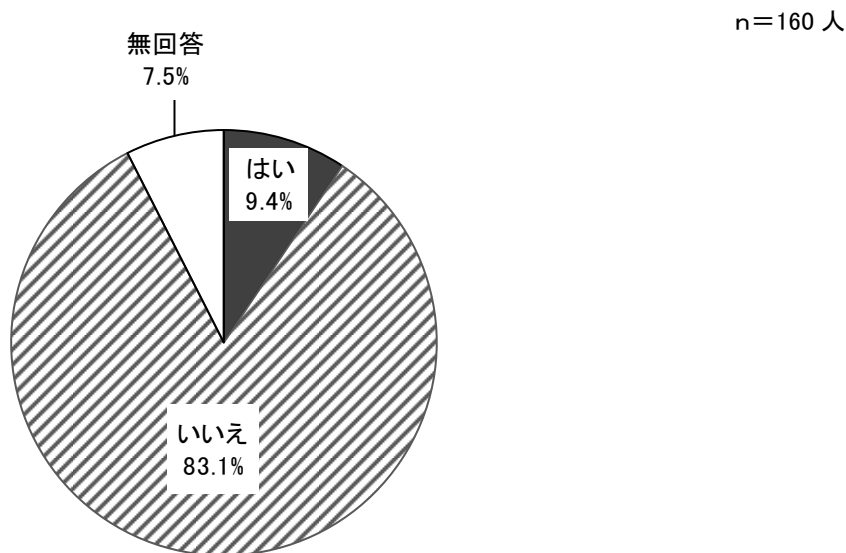
問20 このアンケート前から市民後見人を知っていましたか。(〇は1つ)



市民後見人の認知状況についてみると、「知っていた」(16.3%)と「内容はわからないが聞いたことはあった」(23.1%)をあわせた『市民後見人の認知あり』は約4割となっています。一方、「知らなかった」は55.6%となっています。

21 市民後見人の講座の受講意向

問21 市民後見人の講座を受講したいと思いますか。(〇は1つ)



市民後見人の講座の受講意向についてみると、受講したいと思う「はい」(9.4%)で、「いいえ」(83.1%)を大きく下回っています。

22 自由回答

問22 ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は78件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	11
人付き合い、社会参加	1
住まい	1
交通機関・公共施設	4
情報提供	8
経済的な不安	2
将来について	4
その他	42
お礼など	5
合計	78

<回答結果>※一部を抜粋し、要約しています。

- 12月に本人が退院、介護認定の見直しをしました。これから介護サービス等、増えると思います。介護者がより安心して介護をしていけるよう、支援願いたいと思います。
- 足が不自由で必要以外の外出が出来ない。送迎のサービスがあれば、少しは集いに参加出来るのと思う。
- 賃貸住宅の家賃補助をしてほしい。
- 車イスで散歩をしたいのですが、道路が狭くガタガタで、とても散歩できる状態ではないので改善を強く希望します。
- 認知症の家族交流会が本当に心の助け、アドバイスになり、参加して良かったと思います。是非回数を増やしてほしい。
- 認知症の相談事業などある様に、高次脳機能障害の相談事業などがあると、とても助かります。
- 介護保険サービスについて知らない人が多く、もっと積極的に案内してほしい。
- 一番困る事はお金のことです。もっと補助の幅が広がるようになると介護する側も、精神面でのストレスが少し軽くなると思います。
- 震度5以上の地震が来た時とか停電になった時の対応の仕方が心配です。
- 外出はなるべくバス電車を利用している。タクシーを利用したいが、障害者ではないので補助を受けられず、高いので外出しなくなった。

第8期 鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書

発行年月	令和2年3月
編集・発行	鎌ヶ谷市 健康福祉部 高齢者支援課
住 所	〒273-0195 千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号
電話番号	047-445-1141 (代表) 047-445-1380 (直通)
F A X	047-443-2233